

EPSON

Web Config リファレンスガイド

TM-P20II

TM-P80II

TM-m30III

TM-m30III-H

TM-m55

M00152008

Rev.I

ご注意

本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。

本書の内容については、予告なしに変更することがあります。最新の情報はお問い合わせください。

本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft®、Windows®、Internet Explorer および Microsoft Edge は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

WPA™、WPA2™、WPA3™ は Wi-Fi Alliance® の商標です。

Google Chrome は Google LLC の商標です。

Firefox® は Mozilla Foundation の登録商標です。

Mac、Mac OS、Safari は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Firefox® は、Mozilla Foundation の米国およびそのほかの国における商標または登録商標です。

その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

©Seiko Epson Corporation 2022-2025

本書について

記号の意味

本書では以下の記号が使われています。それぞれの記号の意味をよく理解してから製品を取り扱ってください。

注意	ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

Web Config の使い方

Web Config は、プリンターの設定確認や変更がブラウザー上でできるプリンター内蔵の Web ページです。

Web Config を使用するには、あらかじめコンピューターの IP アドレスを、プリンターと同じセグメントに設定しておく必要があります。

Web Config の起動方法

1. ネットワーク上のコンピューターやスマートデバイスからブラウザーを起動し、アドレス欄にプリンターの IP アドレスを入力します。

HTTPS アクセスの記入例	HTTP アクセスの記入例
IPv4 : https://192.0.2.111/	IPv4 : http://192.0.2.111/
IPv6 : https://[2001:db8::1000:1]/	IPv6 : http://[2001:db8::1000:1]/

2. 「詳細設定」を選択します。



3. 「管理者ログオン」を選択します。

The screenshot shows the 'EPSON' network security utility interface. At the top, there are tabs for 'Information Verification' and 'Network Security'. Below that, there are two sub-tabs: 'Product Information' (selected) and 'Network Configuration'. On the left, there's a sidebar with 'Product Information' and 'Network Configuration' options. The main area is titled 'Product Information' and contains the following fields:

- Language: 日本語 (Japanese)
- Status: プリンターステータス (Printer Status)
使用できます。 (Available.)
- Product Information:
 - Firmware: XX.XX.XXXXXXX
 - Root Certificate Version: XX.XX
 - Network MAC Address: XX:XX:XX:XX:XX:XX
- Date/Time: XXXX-XX-XX
- Administrator Name/Contact: (empty field)

At the bottom, there are two buttons: 'Update to latest status' (最新の状態へ更新) and 'Software License' (Software License).

4. 認証画面が表示されたらパスワードを入力し、ログインします。

パスワードの初期設定値は製品のシリアルナンバーです。シリアルナンバーはセルフテスト、もしくは製品に貼られた製造銘板で確認できます。

参考	ブラウザーの JavaScript を有効にしてください。HTTPS アクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Config を起動するとブラウザーに警告が表示されます。
-----------	---

対象機種

本書は、以下のプリンターの WebConfig について説明します。

- TM-P20II
- TM-P80II
- TM-m30III
- TM-m30III-H
- TM-m55

機種ごとの機能については、12章「機種別機能一覧表」を参照してください。

目次

ご注意.....	2
商標について.....	2
本書について.....	2
記号の意味.....	2
Web Config の使い方.....	3
Web Config の起動方法.....	3
対象機種.....	4
目次	5
1. 適用	10
1.1 定義	10
1.2 用語	10
2. 対応端末	11
3. ページ構成	11
3.1 基本設定ページ	11
3.1.1 スマートフォン向け構成	11
3.1.2 PC 向け構成	12
3.2 詳細設定ページ	13
4. 表示言語	14
4.1 サポート言語	14
4.2 表示言語の仕様	14
5. トップページ	14
5.1 URL	14
5.2 JavaScript	14
6. 管理者パスワード設定	15
6.1 トップページ	15
6.1.1 イメージ図	15
6.1.2 設定項目	15
6.1.3 ボタン	16
7. ユーザー認証	17
7.1 認証方法	17
7.2 常時閲覧可能なページ	17
7.3 ログオンページ	17
7.3.1 イメージ図	17
7.3.2 入力項目	18
7.3.3 ボタン	18
7.4 ログオン失敗ページ	19
7.4.1 イメージ図	19
7.4.2 認証結果	19
8. 共通仕様	20
8.1 パスワード入力欄	20

9. 基本設定ページ	21
9.1 メインページ	21
9.1.1 トップページ	21
9.1.1.1 イメージ図	21
9.1.1.2 表示言語選択	22
9.1.1.3 ネットワークステータス情報	22
9.1.1.4 リンク項目	22
9.2 ログオンページ	23
9.2.1 イメージ図	23
9.2.2 入力項目	23
9.2.3 ボタン	23
9.3 ログオン失敗ページ	24
9.3.1 イメージ図	24
9.3.2 認証結果	24
9.4 無線 LAN 設定ページ	25
9.4.1 トップページ	25
9.4.1.1 イメージ図	25
9.4.1.2 設定項目	25
9.4.1.3 ボタン	25
9.4.2 SSID 設定ページ	26
9.4.2.1 イメージ図	26
9.4.2.2 設定項目	26
9.4.2.3 ボタン	26
9.4.3 設定結果ページ	27
9.4.3.1 イメージ図	27
9.4.3.2 設定結果	27
9.4.3.3 ボタン	27
9.5 Wi-Fi Direct 設定ページ	28
9.5.1 トップページ	28
9.5.1.1 イメージ図	28
9.5.1.2 設定項目	28
9.5.1.3 ボタン	28
9.5.2 設定結果ページ	29
9.5.2.1 イメージ図	29
9.5.2.2 設定結果	29
9.5.2.3 ボタン	29
9.6 印刷設定ページ	30
9.6.1 トップページ	30
9.6.1.1 イメージ図	30
9.6.1.2 設定項目	30
9.6.1.3 ボタン	31
9.6.2 結果表示	31
9.6.2.1 イメージ図	32
9.6.2.2 設定結果	32
9.6.2.3 ボタン	32
9.7 フームウェアアップデートページ	33
9.7.1 トップページ	33
9.7.1.1 イメージ図	33
9.7.1.2 表示項目	33
9.7.1.3 説明文	33
9.7.1.4 ボタン	34

9.7.2 ファームウェア確認中ページ	34
9.7.2.1 イメージ図	34
9.7.2.2 説明文	34
9.7.2.3 ボタン	34
9.7.3 アップデート前確認ページ	35
9.7.3.1 イメージ図	35
9.7.3.2 説明文	35
9.7.3.3 ファームウェアアップデートデータ情報	35
9.7.3.4 ボタン	36
9.7.4 キャンセル中ページ	36
9.7.4.1 イメージ図	36
9.7.4.2 説明文	36
9.7.4.3 ボタン	36
9.7.5 結果表示ページ	37
9.7.5.1 イメージ図	37
9.7.5.2 設定結果	37
9.7.5.3 ボタン	38
9.8 詳細設定ページへのリンク	38
9.9 クラウドサービス	39
9.9.1 トップページ	39
9.9.1.1 クラウドサービス無効状態	39
9.9.1.2 クラウドサービス有効状態	40
9.9.1.3 クラウドサービス設定変更中状態	41
9.9.2 設定結果ページ	42
9.9.2.1 イメージ図	42
9.9.2.2 設定結果	42
9.9.2.3 ボタン	42
10. 詳細設定ページ	43
10.1 情報確認	43
10.1.1 製品情報	43
10.1.1.1 トップページ	43
10.1.2 ネットワーク情報	48
10.1.2.1 トップページ	48
10.1.3 TM-Intelligent	56
10.1.3.1 トップページ	56
10.2 印刷	57
10.2.1 印刷設定	57
10.2.1.1 トップページ	57
10.2.1.2 結果表示	59
10.3 ネットワーク	60
10.3.1 ネットワーク基本	60
10.3.1.1 トップページ	60
10.3.1.2 入力確認ページ	66
10.3.1.3 設定結果ページ	67
10.3.2 無線 LAN - Wi-Fi	68
10.3.2.1 トップページ	68
10.3.2.2 SSID 探索ページ	69
10.3.2.3 設定入力ページ	69
10.3.2.4 入力確認ページ	71
10.3.2.5 結果表示ページ	72

10.3.3 有線 LAN	73
10.3.3.1 トップページ	73
10.3.3.2 入力確認ページ	74
10.3.3.3 設定結果ページ	75
10.3.4 Wi-Fi Direct	76
10.3.4.1 トップページ	76
10.3.4.2 入力確認ページ	78
10.3.4.3 設定結果ページ	79
10.4 ネットワークセキュリティ..	80
10.4.1 プロトコル	80
10.4.1.1 トップページ	80
10.4.1.2 入力確認ページ	85
10.4.1.3 結果表示	86
10.4.2 相手サーバー検証用 CA 証明書	87
10.4.2.1 トップページ	87
10.4.2.2 インポートページ	88
10.4.2.3 結果表示ページ	90
10.4.3 ルート証明書更新	91
10.4.3.1 トップページ	91
10.4.3.2 実行中ページ	92
10.4.3.3 結果表示ページ	92
10.4.4 SSL/TLS	93
10.4.4.1 基本	93
10.4.4.2 証明書	96
10.4.4.3 証明書自動更新	107
10.4.5 IPsec/IP フィルタリング	110
10.4.5.1 基本- Basic	110
10.4.5.2 クライアント証明書	128
10.4.6 IEEE802.1X	138
10.4.6.1 基本	138
10.4.6.2 クライアント証明書設定	146
10.5 本体セキュリティ	156
10.5.1 パスワード暗号化	156
10.5.1.1 トップページ	156
10.5.1.2 結果表示ページ	157
10.5.2 管理者パスワード変更	158
10.5.2.1 トップページ	158
10.5.2.2 結果表示	160
10.6 デバイス管理	161
10.6.1 設定のエクスポート/インポート	161
10.6.1.1 エクスポート/インポートカテゴリー	161
10.6.1.2 エクスポート	163
10.6.1.3 インポート	166
10.6.2 フームウェアアップデート	172
10.6.2.1 トップページ	172
10.6.2.2 フームウェア確認中ページ	173
10.6.2.3 アップデート前確認ページ	174
10.6.2.4 キャンセル中ページ	175
10.6.2.5 結果表示ページ	176

10.6.3 管理者名/連絡先	178
10.6.3.1 トップページ	178
10.6.3.2 結果表示	178
10.6.4 日付/時刻	179
10.6.4.1 表示形式	179
10.6.4.2 日付時刻	181
10.6.4.3 時差	183
10.6.4.4 タイムサーバー	185
10.7 クラウドサービス	190
10.7.1 基本	190
10.7.1.1 トップページ	190
10.7.1.2 結果表示	191
10.7.2 自動接続	192
10.7.2.1 トップページ	192
10.7.2.2 結果表示	193
11. TM-i 設定	194
11.1 基本情報	194
11.1.1 イメージ図	194
11.1.2 表示項目	194
11.2 プリンター	195
11.2.1 イメージ図	195
11.2.2 表示項目	195
11.3 ePOS-Print	196
11.3.1 イメージ図	196
11.3.2 表示項目	196
11.4 ePOS-Device	197
11.4.1 イメージ図	197
11.4.2 表示項目	197
11.5迂回印刷	198
11.5.1 イメージ図	198
11.5.2 表示項目	198
11.5.3 エラーメッセージ	198
11.6 サーバーダイレクトプリント	199
11.6.1 イメージ図	199
11.6.2 表示項目	199
11.7 ステータス通知	200
11.7.1 イメージ図	200
11.7.2 表示項目	200
11.8 プロキシ	201
11.8.1 イメージ図	201
11.8.2 表示項目	201
11.9 リセット	202
11.9.1 イメージ図	202
11.9.2 表示項目	202
11.10 ヘルプ	203
11.10.1 イメージ図	203
11.10.2 表示項目	203
12. 機種別機能一覧表	204

1. 適用

本書は EPSON Web Config 機能(以降 'Web Config')に適用する。

1.1 定義

本書において""で括られる文字列については、Web Config で表示する文字列であることを示す。

1.2 用語

Table 1-1 用語

用語	意味
ボタン	押下することができるボタンを表現する部品。
テキストボックス	テキスト（文字列）を表示または編集するための箱をイメージした部品。読み出し専用、読み書き可能がある。
チェックボックス	いくつかあるオプションから複数の項目を選択するために使う部品。
タブ	リスト等の多数の表示内容から一つの表示を選択するためのボタン。
ラジオボタン	用意された選択項目から 1 つを選択するために使うボタン。
ドロップダウンリスト	項目の一覧が引き出され、その項目から一つが選択できる部品。
フレーム	ページを分割するために用いる部品。必要に応じてスクロールバーが付く。
ファイル参照ボタン	ブラウザーが用意するファイル参照画面を呼び出すボタン。
赤色	Web Config の CUD-Red として RGB 値が(255,80,0)と定義する色。
UTF-8	Web ブラウザー上から入力できる文字コードの 1 つ。 1 文字を表現するために、1byte から 3bytes までの文字コードがある。 例外として、1 文字で 4bytes のサロゲートペアも存在するが、内部処理としては 1 文字を 2 文字分としてカウントする
UTF-16	Web ブラウザー上から入力できる文字コードの 1 つ。 UTF-16 で U+010000 の値を超えるものはサロゲートペアと呼ばれ、字数カウントの処理は 1 文字を 2 文字分としてカウントする。

2. 対応端末

Web Config は以下のプラットフォーム、Web ブラウザーにて対応する。

Table 2-1 対応端末

プラットフォーム	Web ブラウザー
Windows 11, Windows 10, Windows 8.1, Windows 8, Windows 7	IE8, IE9, IE10, IE11, Edge, Firefox, Chrome
Mac OS X (10.6.8, 10.7.x, 10.8.x, 10.9.x, 10.10.x, 10.11.x, 10.12.x, 10.13.x, 10.14.x)	Safari, Firefox, Chrome
Chromebook	標準ブラウザー

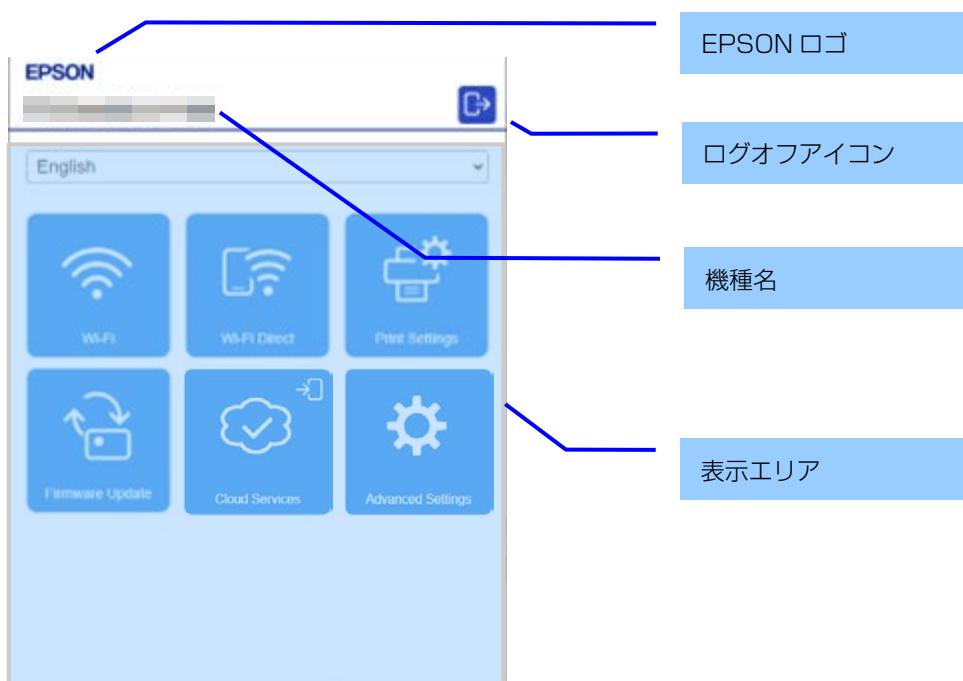
3. ページ構成

本章では、Web Config のページ構成について述べる。

3.1 基本設定ページ

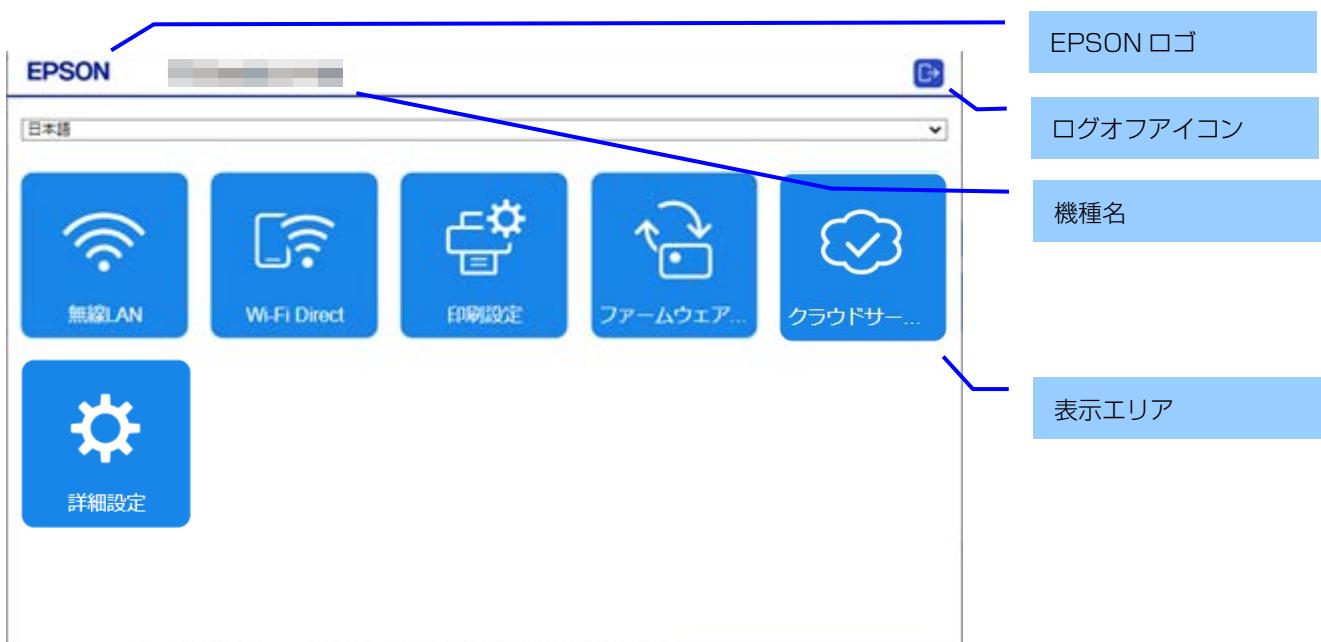
3.1.1 スマートフォン向け構成

表示デバイスの幅が 700px 以下の場合、スマートフォン向け構成で表示する



3.1.2 PC 向け構成

表示デバイスの幅が 700px より大きい場合は、PC 向け構成で表示する



パート	説明
EPSON ロゴ	EPSON ロゴを画像で表示する。ロゴを押下すると Web Config のトップページにアクセスする。ただし、ファームウェアアップデートページでは、トップページ以外のページでは押下してもトップページには遷移しない。
機種名	機種名を表示する。
ログオフアイコン	管理者ログオン時はログオフアイコンを表示する。ログオフアイコンを押下すると、管理者ログオフ後に Web Config のトップページにアクセスする。
表示エリア	製品の状態や設定項目を表示する。情報量が多い場合はページ全体がスクロールされる。

3.2 詳細設定ページ

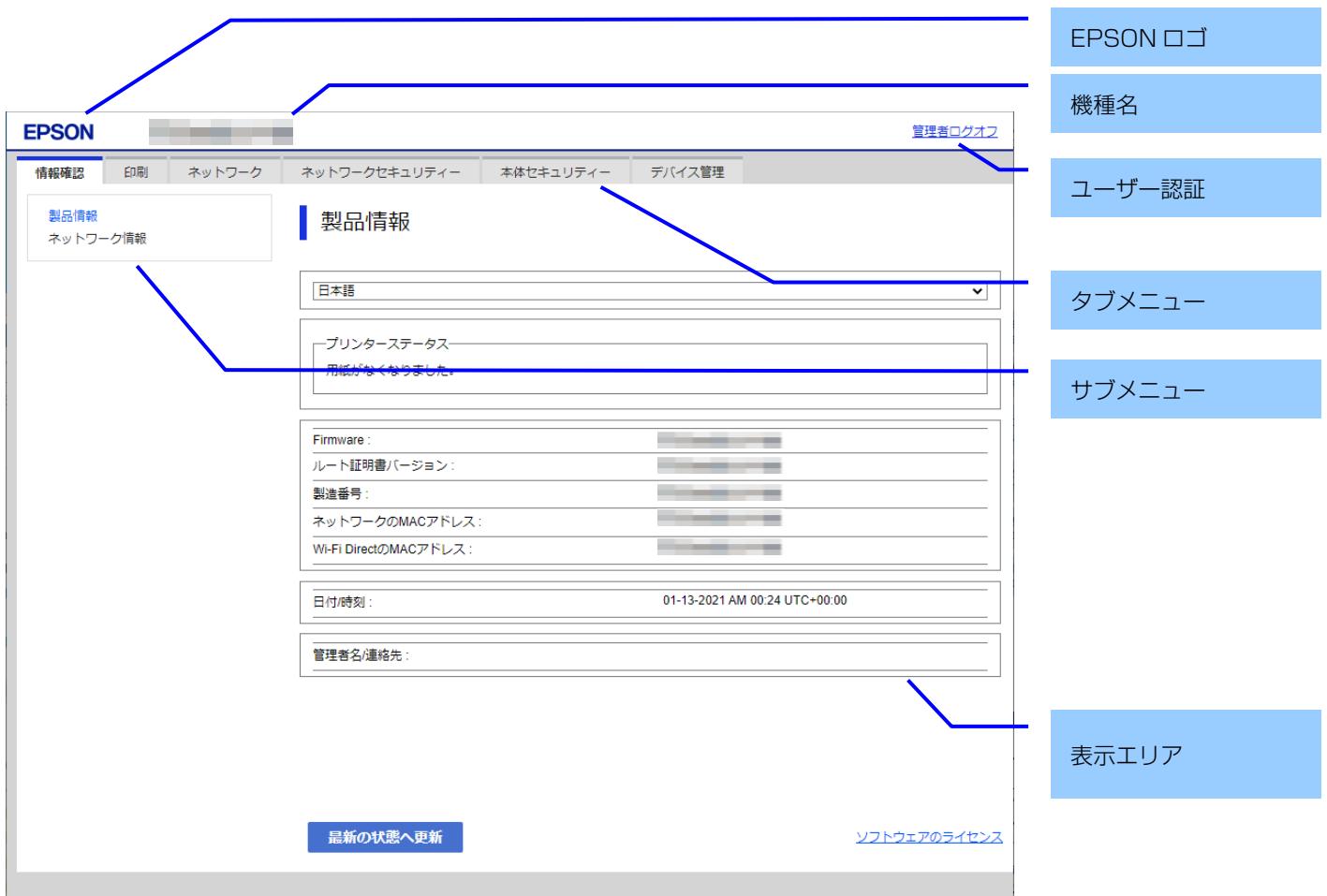


Figure 3-1 ページ構成

Table 3-1 ページ構成

パート	説明
EPSON ロゴ	EPSON ロゴを画像で表示する。
機種名	機種名を表示する。
ユーザー認証	ユーザーのログオン・ログオフを行う。ログオン時は認証情報を入力するページを表示する。“ログオン”と“ログオフ”というリンクを設ける。 ログオン時にはリンクの左側にログオン中のユーザー名を表示する（管理者ログオン時は“管理者”と表示する）。
タブメニュー	メインのメニューをタブ形式で表示する。選択されているタブメニューは強調して表示する。
サブメニュー	各タブメニューに対応するメニューを表示する。選択されているサブメニューは強調して表示する。
表示エリア	製品の状態や設定項目を表示する。情報量が多い場合はスクロールを行うが、表示エリアのみをスクロールする。

表示されるタブメニュー、サブメニューについては機能サポート参照。

4. 表示言語

4.1 サポート言語

Table 4-1 サポート言語

仕向	表示言語 – Languages
全て	日本語 / 英語 / フランス語 / ドイツ語 / イタリア語 / スペイン語 / ポルトガル語 Japanese / Basic English / French / German / Italian / Spanish / Portuguese

4.2 表示言語の仕様

Table 4-2 表示言語の仕様

言語	条件
日本語	日本仕向けで、Web Config での言語設定前
Web Config で設定した言語	Web Config での言語設定後

※日本仕向けか否かは、優先フォントが日本語か否かで判断する。

5. トップページ

5.1 URL

Web Config へのアクセスは、以下の URL で行える。

Table 5-1 Web Config アクセスの URL

URL	説明
http(s)://(製品の IP アドレス or デバイス名*)/PRESENTATION/BASIC/HOME/TOP	正式な URL
http(s)://(製品の IP アドレス or デバイス名*)	正式な URL にリダイレクトされる

*デバイス名が DNS に登録されている必要があります。

本体の設定で HTTPSへのリダイレクト機能が有効になっている場合、HTTPでアクセスした際は HTTPSへ自動でリダイレクトする。HTTPS アクセス時に使用するサーバー証明書は、製品内部で保持する自己署名証明書を使用するため、ブラウザーに警告が発生する。任意のサーバー証明書は SSL/TLS 設定で変更する。

5.2 JavaScript

Web ブラウザーの設定で JavaScript が無効になっている場合、トップページは JavaScript が無効の場合でも閲覧可能であり、左側のサブメニューから各設定ページに遷移可能。ただし、右側の表示領域幅の制限や、設定ページ内の設定ボタン等が操作不可となり制限があるため、タブ上に警告アイコンと“ブラウザーの JavaScript の設定を有効にしてください。”とエラーメッセージを表示する。

6. 管理者パスワード設定

Web Config ヘアクセスした際に、管理者パスワードが未設定状態であれば管理者パスワードの設定ページに遷移する。

6.1 トップページ

6.1.1 イメージ図

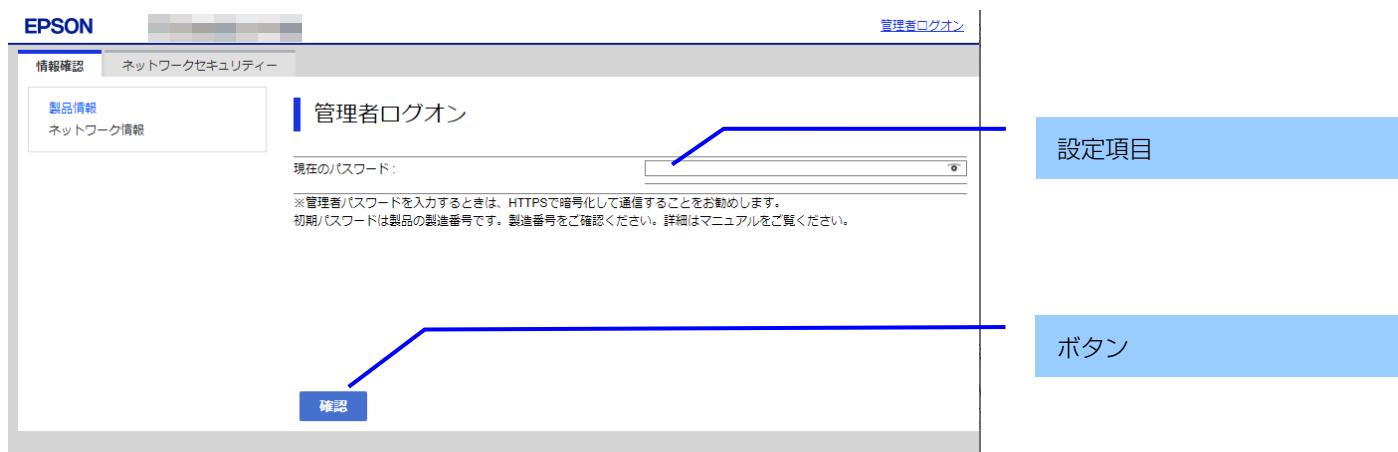


Figure 6-1 管理者パスワード設定

6.1.2 設定項目

以下に設定項目について記載する。

Table 6-1 設定項目

項目	説明	有効条件
"ユーザー名"	現在設定されている管理者ユーザー名を入力するためのテキストボックス。 ASCII 文字コード (0x20-0x7E) (英数字記号) 0~20 文字。 テキストボックス内には現在設定されているユーザー名を表示する。	管理者ユーザー名が設定可能な機種でのみ表示する。
"半角英数字記号 0~20 文字を入力"	ユーザー名の入力用テキストボックス上部に、表示する。	管理者ユーザー名が設定可能な機種でのみ表示する。
"新しいパスワード"	新しく設定するパスワードを入力するためのテキストボックス。 ASCII 文字コード (0x20-0x7E) (英数字記号) 1~20 文字。 ただし、パスワードポリシー反したパスワードの場合は設定に失敗する。	-

"半角英数字記号%d～20 文字を入力"	<p>新しいパスワードの入力用テキストボックス上部に、表示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 英国 PSTI 法案と ISO15408 の両方対応機種 "パスワードポリシー"が"有効"の場合、"1～20 文字"を表示する。 "パスワードポリシー"が"無効"の場合、"8～20 文字"を表示する。 ● 英国 PSTI 法案のみ対応機種 "8～20 文字" ● ISO15408 のみ対応機種 ● その他機種 "1～20 文字" 	-
"新しいパスワードの確認"	<p>ASCII 文字コード (0x20-0x7E) (英数字記号) 1～20 文字。 新しいパスワードと同じものを入力させるためのテキストボックス。</p>	-
"※管理者パスワードを入力するときは、HTTPS で暗号化して通信することをお勧めします。"	固定文字列	-

6.1.3 ボタン

設定項目の入力値を反映するためのボタンを設ける。

Table 6-2 ボタン

項目	説明
"設定"	ボタンを押下することで入力値チェックを行い、問題なければトップページへ遷移する。

"OK"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 6-3 エラーポップアップ

項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。"	入力されたユーザー名やパスワードの入力形式が間違っている場合に JavaScript のポップアップウィンドウで表示する。
"新しいパスワードと確認の入力が異なります。"	入力された新しいパスワードと、新しいパスワード（確認）が一致しない場合に JavaScript のポップアップウィンドウで表示する。

7. ユーザー認証

7.1 認証方法

Web Config ではユーザー名とパスワードを使用して、ユーザー認証を行うことができる。管理者パスワードはパネル UI のパネルロックパスワード、NetConfig のパスワード認証と共有する。管理者パスワード未設定状態は、全てのアクセスを管理者権限を持ったアクセスとして扱う。管理者ユーザー名とパスワードの設定/未設定状態による認証の有無を下記に示す。

Table 7-1 管理者認証状態

	管理者ユーザー名設定済み	管理者ユーザー名未設定
管理者パスワード設定済み	認証を要求する。	認証を要求する。ただし、管理者はユーザー名に何も入力しなくてもよい。
管理者パスワード未設定	"管理者パスワード設定"ページへ遷移する。	"管理者パスワード設定"ページへ遷移する。

7.2 常時閲覧可能なページ

以下のページは、管理者ログオン状態に関わらず、常にアクセス可能である。

Table 7-2 常時閲覧可能なページ

タブメニュー	サブメニュー
情報確認	製品情報（ソフトウェアのライセンス含む）
	ネットワーク情報
	使用状況
	ハードウェア情報

7.3 ログオンページ

7.3.1 イメージ図

ログオンページのイメージ図を以下に示す。

The screenshot shows the 'ログオン' (Login) page of the EPSON Web Config interface. At the top, there's a navigation bar with 'EPSON' and a 'ログオン' button. Below it, a sidebar lists '情報確認' (Information Confirmation) sections: '製品情報' (Product Information), 'ネットワーク情報' (Network Information), 'メンテナンス情報' (Maintenance Information), and 'ハードウェア情報' (Hardware Information). The main area is titled 'ログオン' (Login). It contains fields for '種類:' (Type) with a radio button selected for '● 登録ユーザー' (Registered User), and two password input fields for 'ユーザー名/ユーザーID:' (User Name/User ID) and '現在のパスワード:' (Current Password). At the bottom left is a '確認' (Check) button, and at the top right is a large 'ログオン' (Login) button.

Figure 7-1 ログオンページ

7.3.2 入力項目

Table 7-3 入力項目

項目	説明	有効条件
"現在のパスワード"	現在設定されているパスワードを入力させるためのテキストボックス。入力した値は*でマスクして表示する。本テキストボックスにカーソルがあたった状態で Enter キーを押した場合、"確認"ボタン押下時と同等の処理を行う。	-
"管理者パスワードを入力するときは、HTTPS で暗号化して通信することをお勧めします。"	コメント	-
"初期パスワードは製品の製造番号です。製造番号をご確認ください。詳細はマニュアルをご覧ください。"	コメント	-

7.3.3 ボタン

Table 7-4 ボタン

項目	説明
"確認"	ログオンを行うためのボタン。ログオンに成功すると情報確認タブの製品情報ページを表示する。

管理者ログオンページは以下のケースで表示される。

- ユーザー認証のリンクで管理者ログオンが選択されたとき。
- 管理者ログオフ状態のブラウザーから管理者ログオン時のみアクセスできるページに直接アクセスした場合。
- Web Config への最終アクセスから 20 分以上たった後の Web Config アクセス時。
- 管理者ログオン中に別のブラウザーから管理者ログオンされた後の Web Config アクセス時。

7.4 ログオン失敗ページ

ログオンに失敗した場合、認証結果付のログオンページを表示する。
このとき、パスワードは空の状態で表示する。

7.4.1 イメージ図

The screenshot shows the 'EPSON' logo at the top left and a navigation bar with '情報確認' (Information Confirmation), 'ネットワークセキュリティー' (Network Security), and '管理者ログオン' (Administrator Login) on the right. The main area is titled '管理者ログオン' (Administrator Login). A red line points to the error message 'パスワードが間違っています。' (The password is incorrect.) below the password input field. Another red line points to the '確認' (Check) button at the bottom left. To the right, there are two blue boxes: '認証結果' (Authentication Result) and '入力項目' (Input Item). The '認証結果' box contains the error message. The '入力項目' box contains the password input field and the '確認' button. Below the input field is a note: '※管理者パスワードを入力するときは、HTTPSで暗号化して通信することをお勧めします。初期パスワードは製品の製造番号です。製造番号をご確認ください。詳細はマニュアルをご覧ください。'

7.4.2 認証結果

Table 7-5 設定結果

項目	説明
"パスワードが間違っています。"	入力されたパスワードが間違っていた場合に表示する。 本項目は赤文字で表示する。 本項目は、管理者でログオンが失敗した際に表示する。
"認証に失敗しました。" "しばらくしてからやり直してください。"	管理者ログインのロックアウトによる失敗、もしくは登録ユーザーのログオンに失敗した際に表示する。 本項目は赤文字で表示する。

8. 共通仕様

8.1 パスワード入力欄

Web Config のパスワード入力欄は以下の共通仕様を持つ。

- 入力した文字は、ブラウザー上でマスクして表示する。マスク表示はブラウザーの仕様に依存する。（実現方法として HTML 上では type 属性に "password" を指定する）
- パスワードが 1 文字以上で設定済みの場合は、テキストボックスの value 属性に * (アスタリスク) を 10 個表示する。
- パスワードが空の場合は、テキストボックスの value 属性を空で表示する。ただしパスワードが空でも * (アスタリスク) 10 個で表示する場合があり、その条件は各項目で説明する。
- パスワードが * (アスタリスク) 10 個で入力された場合（設定済みの状態から変更がない場合）、パスワードの変更は行わない。
- パスワード入力欄の右側に表示した目のアイコンをクリックすることで、入力したパスワードの表示・非表示を切り替える。

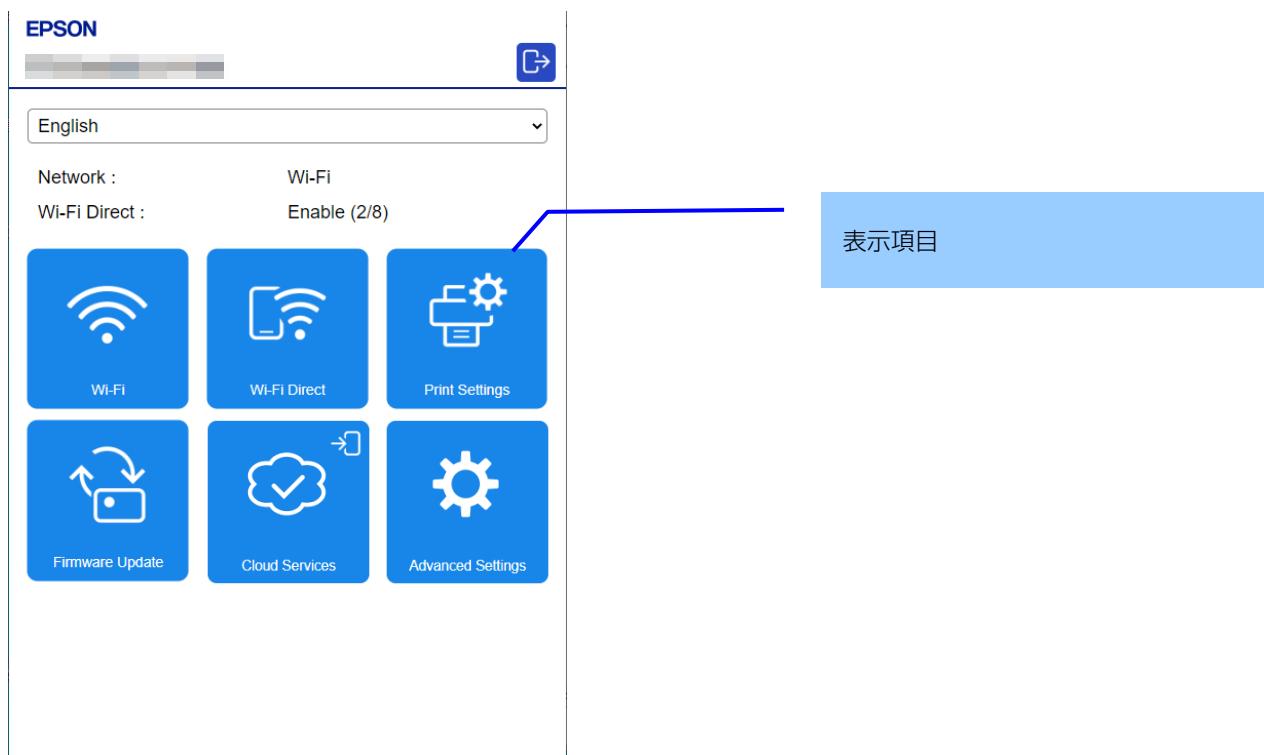
9. 基本設定ページ

9.1 メインページ

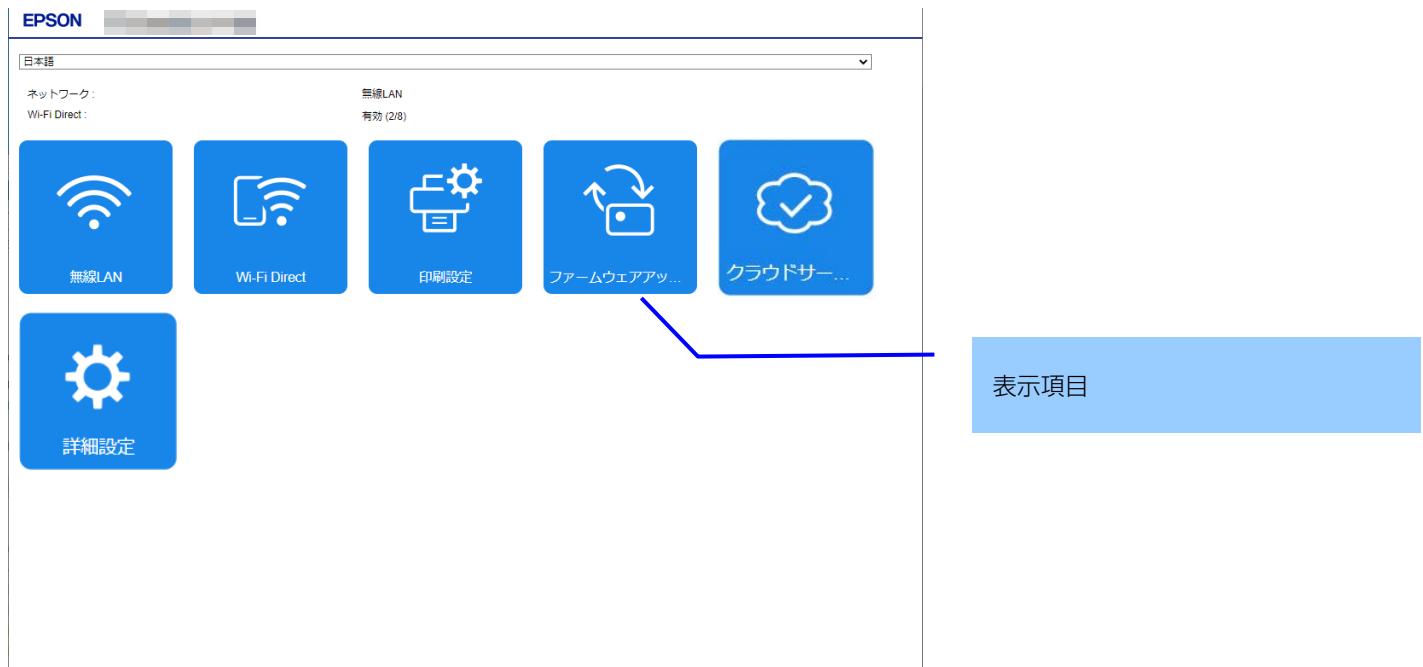
9.1.1 トップページ

9.1.1.1 イメージ図

9.1.1.1.1 スマートフォン向け構成



9.1.1.1.2 PC 向け構成



9.1.1.2 表示言語選択

複数の表示言語をサポートしている場合に項目が表示される。

表示言語の仕様は、4章「表示言語」に従う。

ドロップダウンリストで選択後、すぐさま選択された言語が設定され、表示言語が切り替わる。

9.1.1.3 ネットワークステータス情報

TM-P20II、TM-P80II のみ表示されます。

Table 9-1 ネットワークステータス情報

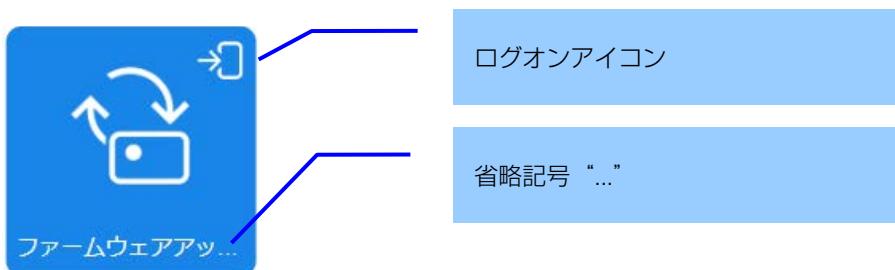
項目	説明	有効条件
"ネットワーク"	ネットワークの接続状態(有線 LAN/無線 LAN)を表示する。	-
"Wi-Fi Direct"	Wi-Fi Direct 設定(有効/無効)を表示する。 有効時は"(接続台数/最大台数)"を併記する。	-

9.1.1.4 リンク項目

リンク項目は正方形のボタン形式で表示する。スマートフォン向け構成では横 3 × 縦 N、PC 向け構成では横 5 × 縦 N のレイアウトで表示する。

未ログオン状態で、かつログオンが必要なリンク項目には、ボタンの右上にログオンアイコンを表示する。

項目名称の長さが正方形のボタンの幅よりあふれる場合は、省略記号"..."を表示する。



項目	説明	有効条件
"無線 LAN"	無線 LAN 設定のトップページにアクセスする	-
"Wi-Fi Direct"	Wi-Fi Direct 設定のトップページにアクセスする	-
"プリンター設定"	プリンター設定のトップページにアクセスする	
"ファームウェアアップデート"	ファームウェアアップデートのトップページにアクセスする	
"クラウドサービス"	クラウドサービス接続ページにアクセスする	
"詳細設定"	詳細設定のトップページにアクセスする	

† ログオンアイコンが表示されたリンク項目を押下した場合は、まずログオンページにアクセスし、ログオン成功すると各トップページにアクセスする。

9.2 ログオンページ

9.2.1 イメージ図

ログオンページのイメージ図を以下に示す。

The screenshot shows a login form with the following elements:

- A blue header bar labeled "ログオン".
- An input field for "現在のパスワード" (Current Password) with a password mask icon.
- A note below the password field: "※管理者パスワードを入力するときは、HTTPSで暗号化して通信することをお勧めします。初期パスワードは製品の製造番号です。製造番号をご確認ください。詳細はマニュアルをご覧ください。".
- A blue button labeled "確認" (Confirm).
- A grey button labeled "メインに戻る" (Return to Main).
- A blue callout box labeled "入力項目" (Input Item) pointing to the password input field.
- A blue callout box labeled "ボタン" (Button) pointing to the "確認" button.

Figure 9-1 ログオンページ

9.2.2 入力項目

Table 9-2 入力項目

項目	説明	有効条件
"現在のパスワード"	現在設定されているパスワードを入力させるためのテキストボックス。入力した値は*でマスクして表示する。 本テキストボックスにカーソルがあたった状態で Enter キーを押した場合、"確認"ボタン押下時と同等の処理を行う。 "☞"押下で入力した値を表示する。 "☞"押下で入力した値を*でマスクして表示する。	-
"管理者パスワードを入力するときは、HTTPS で暗号化して通信することをお勧めします。"	コメント	-

9.2.3 ボタン

Table 9-3 ボタン

項目	説明
"確認"	ログオンを行うためのボタン。ログオンに成功すると各機能の先頭ページを表示する。
"メインに戻る"	メインページを表示する。

管理者ログオンページは以下のケースで表示される。

- ユーザー認証のリンクで管理者ログオンが選択されたとき。
- 管理者ログオフ状態のブラウザーから管理者ログオン時のみアクセスできるページに直接アクセスした場合。
- Web Config への最終アクセスから 20 分以上たった後の Web Config アクセス時。
- 管理者ログオン中に別のブラウザーから管理者ログオンされた後の Web Config アクセス時。

9.3 ログオン失敗ページ

ログオンに失敗した場合、認証結果付のログオンページを表示する。

このとき、ユーザー名は直前の入力値が残った状態で表示し、パスワードは空の状態で表示する。

9.3.1 イメージ図

The screenshot shows a login form with the following elements:

- A blue box labeled "ログオン" (Login) is positioned above a red error message: "パスワードが間違っています。" (The password is incorrect).
- An input field for "現在のパスワード:" (Current password) is shown, with a blue line pointing to it from a box labeled "入力項目" (Input item).
- Below the input field is a note: "※管理者パスワードを入力するときは、HTTPSで暗号化して通信することをお勧めします。初期パスワードは製品の製造番号です。製造番号をご確認ください。詳細はマニュアルをご覧ください。" (Note: When entering the administrator password, it is recommended to use HTTPS for encryption. The initial password is the product's serial number. Please check the serial number. For details, refer to the manual.)
- At the bottom, there are two buttons: "メインに戻る" (Return to main) and a blue "確認" (Check) button, with a blue line pointing to it from a box labeled "ボタン" (Button).

9.3.2 認証結果

Table 9-4 設定結果

項目	説明
"パスワードが間違っています。"	入力されたパスワードが間違っていた場合に表示する。 本項目は赤文字で表示する。 本項目はユーザー名入力非対応機種で、管理者でログオンが失敗した際に表示する。
"認証に失敗しました。" "しばらくしてからやり直してください。"	管理者ログインのロックアウトによる失敗、もしくは登録ユーザーのログオンに失敗した際に表示する。 本項目は赤文字で表示する。

9.4 無線 LAN 設定ページ

9.4.1 トップページ

9.4.1.1 イメージ図



9.4.1.2 設定項目

Table 9-5 設定項目

項目	説明	有効条件
"SSID"	SSID 探索で見つかった SSID と手動の選択肢をラジオボタンで選択する。	-

9.4.1.3 ボタン

Table 9-6 ボタン

項目	説明	有効条件
"設定"	SSID 接続を行うための設定ページへ遷移する。	-
"戻る"	メインページへ遷移するためのボタン。	-

9.4.2 SSID 設定ページ

9.4.2.1 イメージ図



9.4.2.2 設定項目

Table 9-7 設定項目

項目	説明	有効条件
"SSID"	検索リストから選択された場合は、選択された SSID を固定文字列で表示する。 手動の場合はテキストボックスで設定を行う。	-
"パスワード"	パスワードを入力するテキストボックスを設ける。以下の文字をテキストボックスに 0、5、8~63 文字の範囲で入力可能である（ASCII コードで 0x20-0x7E の範囲）。ただし入力時の表示は"**"でマスクする。	検索リストから選択された SSID が PW 未設定の場合は非表示とする。

9.4.2.3 ボタン

Table 9-8 ボタン

項目	説明	有効条件
"設定"	SSID 接続を行うための設定ページへ遷移する。	-
"中止"	ポップアップを消すボタン	-

9.4.3 設定結果ページ

9.4.3.1 イメージ図

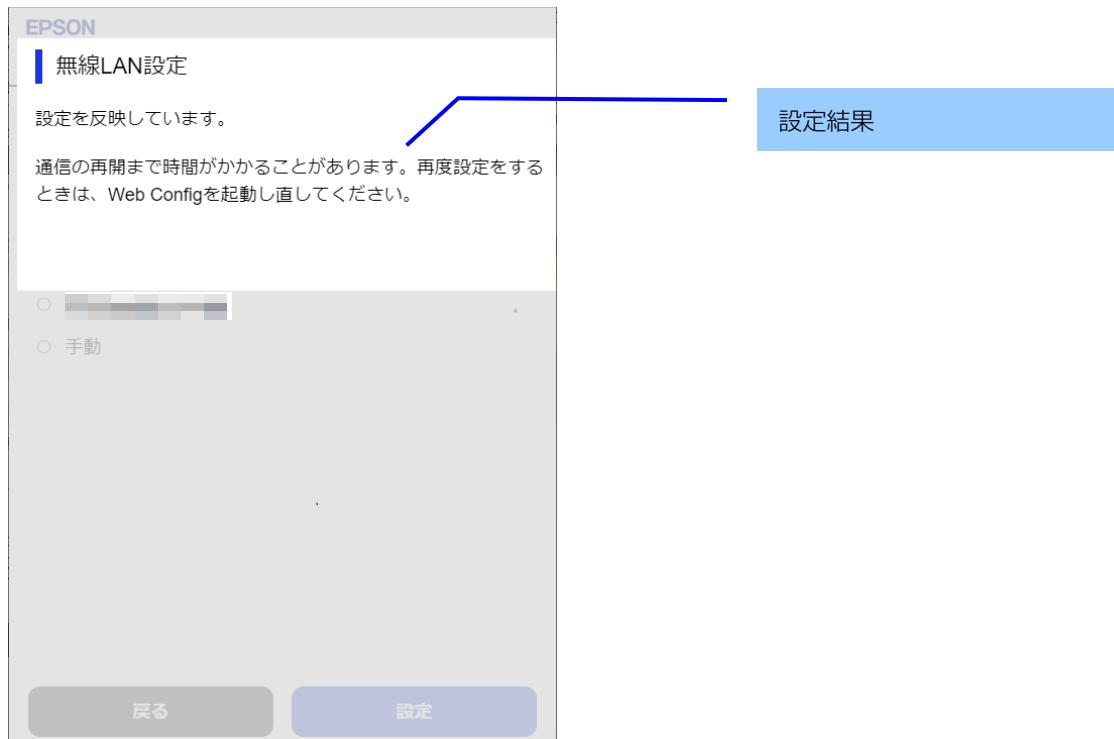


Figure 9-2 設定結果ページ

9.4.3.2 設定結果

Table 9-9 設定結果

項目	説明
"通信を再起動しています。¥n 通信の再開まで時間がかかることがあります。再度設定をするときは、Web Config に再接続してください。"	設定に成功したときに表示する。
"設定に失敗しました。"	設定に失敗したときに表示する。

9.4.3.3 ボタン

Table 9-10 ボタン

項目	説明	有効条件
"メインに戻る"	メインページに遷移するためのボタン。	設定が失敗した時のみ表示する。

9.5 Wi-Fi Direct 設定ページ

9.5.1 トップページ

9.5.1.1 イメージ図



9.5.1.2 設定項目

Table 9-11 設定項目

項目	説明	有効条件
"Wi-Fi Direct"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効" / "無効"	-
"接続機器数"	Wi-Fi Direct 接続している機器の数を、接続機器数/最大接続可能数で表示する。	"Wi-Fi Direct"が"有効"のときのみ表示する。

9.5.1.3 ボタン

Table 9-12 ボタン

項目	説明	有効条件
"戻る"	メインページへ遷移するためのボタン。	-
"設定"	設定を開始するためのボタン。 ボタンが押されると設定結果ページへ遷移する。	-

9.5.2 設定結果ページ

9.5.2.1 イメージ図

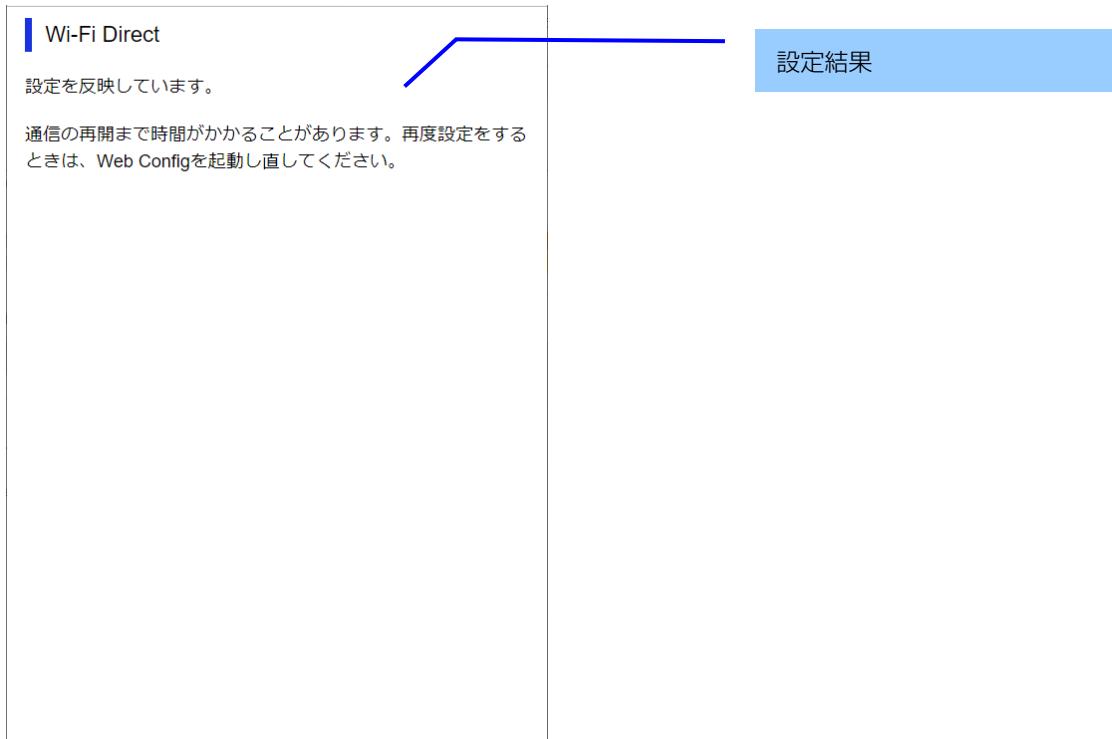


Figure 9-3 設定結果ページ

9.5.2.2 設定結果

Table 9-13 設定結果

項目	説明
"設定を反映しています。¥n 通信の再開まで時間がかかることがあります。再度設定をするときは、Web Config を起動し直してください。"	設定に成功したときに表示する。
"設定に失敗しました。"	設定に失敗したときに表示する。

9.5.2.3 ボタン

Table 9-14 ボタン

項目	説明	有効条件
"メインに戻る"	メインページに遷移するためのボタン。	設定が失敗した時のみ表示する。

9.6 印刷設定ページ

9.6.1 トップページ

9.6.1.1 イメージ図

以下にトップページの画面イメージを示す。

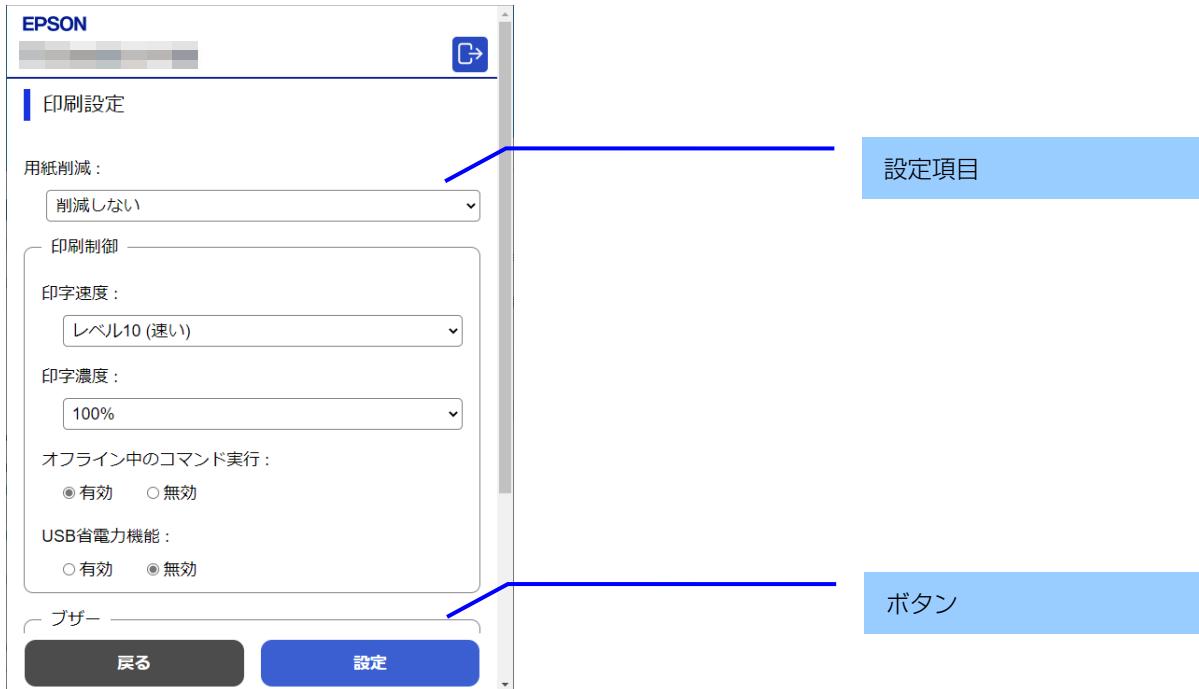


Figure 9-4 イメージ図

9.6.1.2 設定項目

Table 9-15 設定項目

項目	説明	有効条件
"用紙削減"	"削減量最大" / "削減量おすすめ" / "なし"をドロップダウンリストから選択する。	用紙削減サポート機種で表示する
"印刷制御"	タイトル	-
"印字速度"	印字最大速度"Level10"対応機種の場合 "レベル1(遅い)" / "レベル2" / "レベル3" / "レベル4" / "レベル5" / "レベル6" / "レベル7" / "レベル8" / "レベル9" / "レベル10(速い)" をドロップダウンリストから選択する。 印字最大速度"Level13"対応機種の場合 "レベル1(遅い)" / "レベル2" / "レベル3" / "レベル4" / "レベル5" / "レベル6" / "レベル7" / "レベル8" / "レベル9" / "レベル10" / "レベル11" / "レベル12" / "レベル13(速い)" をドロップダウンリストから選択する。 印字最大速度"Level17"対応機種の場合 "レベル1(遅い)" / "レベル2" / "レベル3" / "レベル4" / "レベル5" / "レベル6" / "レベル7" / "レベル8" / "レベル9" / "レベル10" / "レベル11" / "レベル12" / "レベル13" / "レベル14" / "レベル15" / "レベル16" / "レベル17(速い)" をドロップダウンリストから選択する。	印字速度サポート機種で表示する

"印字濃度"	"70%" / "75%" / "80%" / "85%" / "90%" / "95%" / "100%" / "105%" / "110%" / "115%" / "120%" / "125%" / "130%" をドロップダウンリストから選択する。	印字濃度サポート機種で表示する
"オフライン中コマンド実行"	"有効" / "無効" をラジオボタンから選択する。	オフライン中コマンド実行サポート機種で表示する
"USB 省電力機能の設定"	"有効" / "無効" をラジオボタンから選択する。	USB 省電力機能サポート機種で表示する
"ブザー"	タイトル	-
"ブザー"	"オプションブザー" / "無効" をラジオボタンから選択する。	ブザー搭載機種で表示する
"エラー発生時"	"鳴らさない" / "1回鳴らす" / "鳴らし続ける" をドロップダウンリストから選択する。 ※"鳴らし続ける"は対応機種の場合のみ表示する。	エラー発生時ブザー搭載機種で表示する
"オートカット駆動時"	"鳴らさない" / "鳴らし続ける" をラジオボタンから選択する。	自動用紙カット動作時ブザー搭載機種で表示する
"紙無し発生時"	"鳴らさない" / "1回鳴らす"をラジオボタンから選択する。	用紙エンド発生時ブザー機種で表示する
"バッテリー残量変更時"	"鳴らさない" / "1回鳴らす"をラジオボタンから選択する。	バッテリーレベル変更時ブザー機種で表示する
"指定パルス 1(2 pin)発生時"	"鳴らさない" / "1回鳴らす"をラジオボタンから選択する。	指定パルス 1 発生時ブザー機種で表示する
"指定パルス 2(5 pin)発生時"	"鳴らさない" / "1回鳴らす"をラジオボタンから選択する。	指定パルス 2 発生時ブザー機種で表示する

9.6.1.3 ボタン

設定項目に含まれる情報で設定するためのボタンを設ける。

Table 9-16 ボタン

項目	説明
"戻る"	メインページへ遷移するためのボタン。
"設定"	印刷設定を開始するためのボタン。ボタンを押下することで再起動確認ポップアップを表示する。

"設定"ボタンが押された際に、再起動確認ポップアップを出す。

Table 9-17 再起動確認ポップアップ

項目	説明
"設定を反映するために、製品を再起動します。"	"設定"ボタンが押下された場合に表示する。ポップアップウインドウ内の"OK"ボタン押下で結果表示ページへ遷移する。

9.6.2 結果表示

再起動確認ポップアップの"OK"ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

9.6.2.1 イメージ図

以下に結果表示ページの画面イメージを示す。

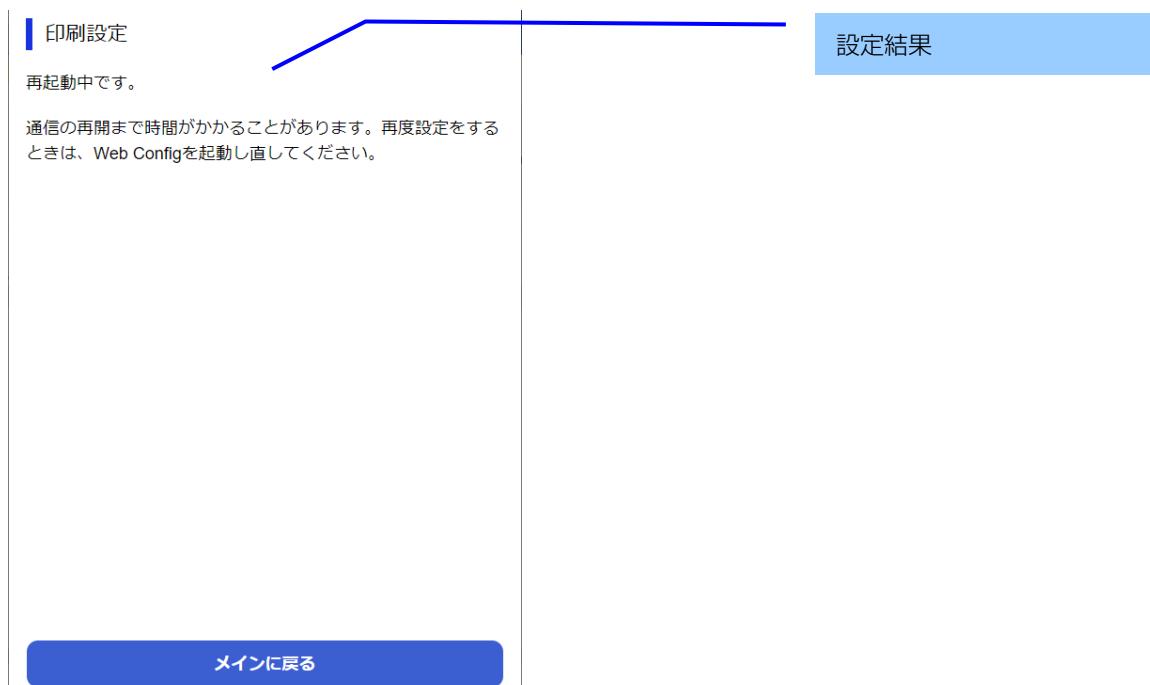


Figure 9-5 イメージ図

9.6.2.2 設定結果

Table 9-18 設定結果

項目	説明
"再起動中です。 通信の再開まで時間がかかることがあります。 再度設定をするときは、Web Config に再接続してください。"	設定成功時に表示する。
"設定に失敗しました。"	設定に失敗したときに表示する。
"製品は処理動作中のためアクセスできません。"	製品がビジーによる設定失敗時に表示する。

9.6.2.3 ボタン

Table 9-19 ボタン

項目	説明
"メインに戻る"	メインページに遷移する。

9.7 フームウェアアップデートページ

9.7.1 トップページ

9.7.1.1 イメージ図

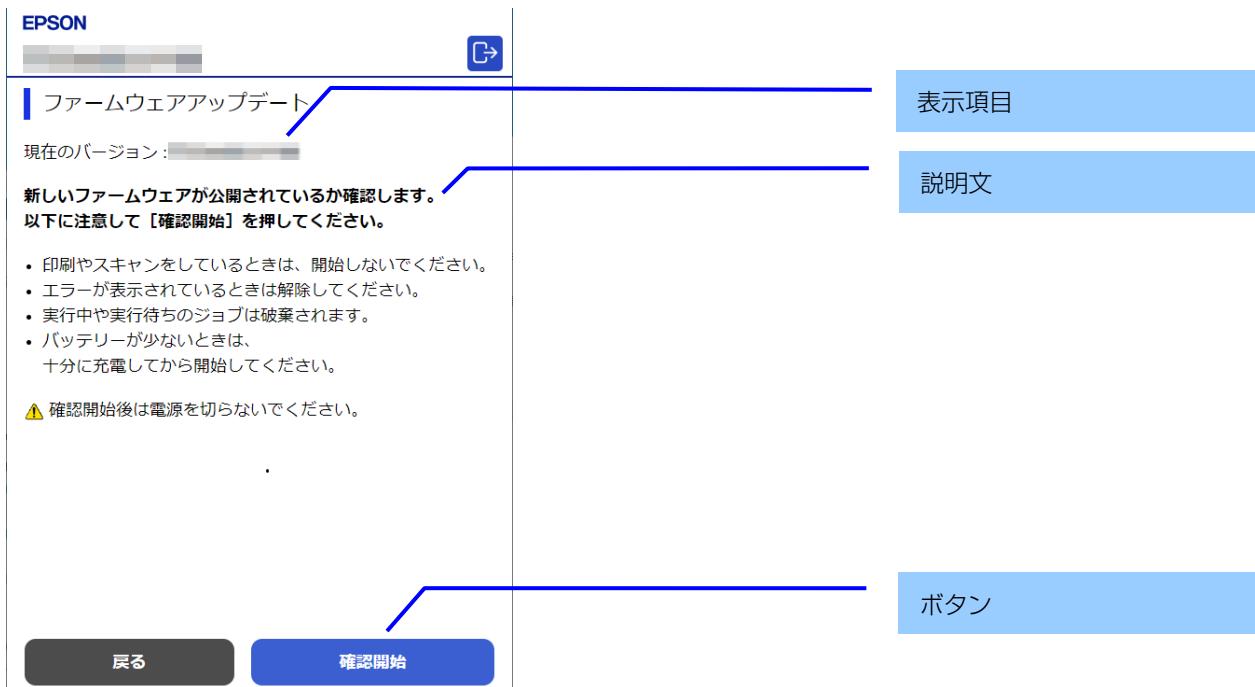


Figure 9-6 トップページ

9.7.1.2 表示項目

Table 9-20 表示項目

項目	説明
"現在のバージョン"	12 文字以下の ASCII 文字列。 XX.YY.ZZZZZ -XX: Linux Kernel バージョン -YY: Linux Appli バージョン -ZZZZZZ: Main バージョン

9.7.1.3 説明文

Table 9-21 説明文

項目	説明	有効条件
"新しいファームウェアが公開されているか確認します。" "以下に注意して「確認開始」を押してください。"	固定文字列	-
"・印刷やスキャンをしているときは、開始しないでください。 "	固定文字列	-
"・エラーが表示されているときは解除してください。"	固定文字列	-
"・ロール紙が挿入されているときは取り外してください。"	固定文字列	ロール紙給紙サポート機種のみ表示する。
"・実行中や実行待ちのジョブは破棄されます。"	固定文字列	-
"・バッテリーが少ないとときは、充電してから開始してください。"	固定文字列	バッテリー機能搭載機種のみ表示する。
"確認開始後は電源を切らないでください。"	固定文字列 文字列の前に ! マークアイコンを表示する。	-

9.7.1.4 ボタン

Table 9-22 ボタン

項目	説明
"戻る"	メインページに遷移する。
"確認開始"	ファームウェア確認中ページに遷移する。

9.7.2 ファームウェア確認中ページ

ファームウェアアップデートトップページの確認開始ボタンを押下することによって、以下のファームウェア確認中ページに遷移する。

9.7.2.1 イメージ図

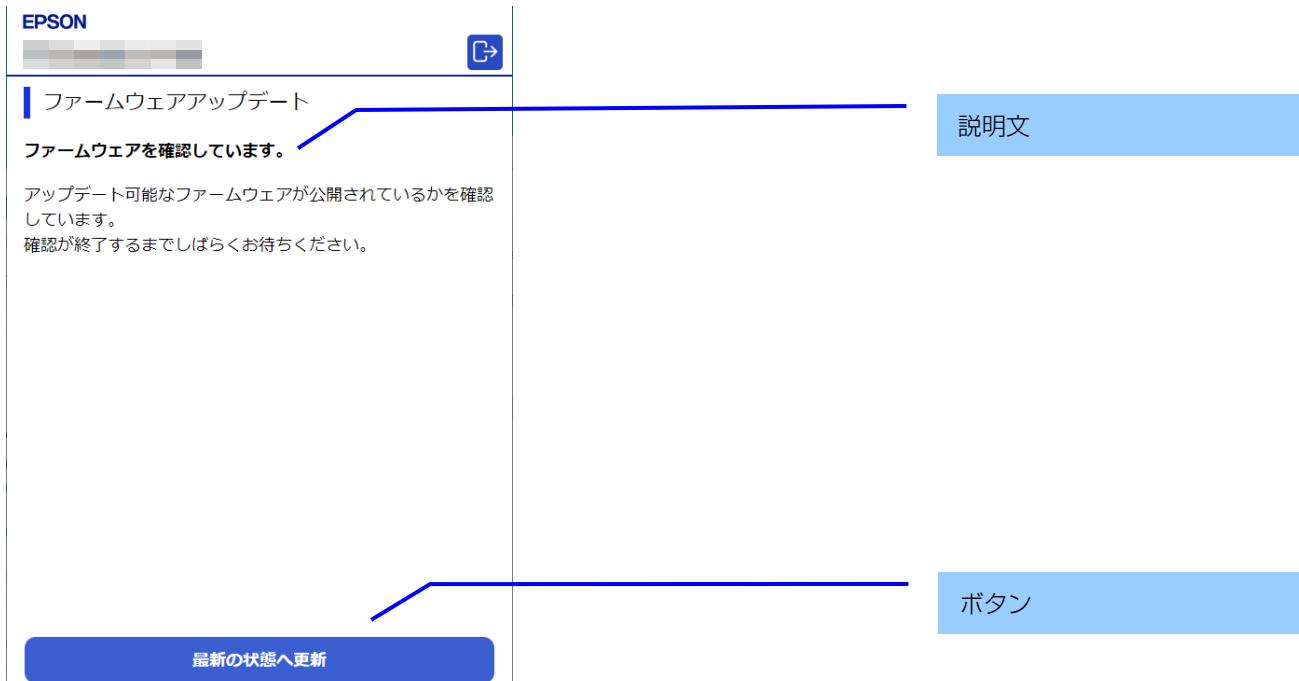


Figure 9-7 ファームウェア確認中ページ

9.7.2.2 説明文

Table 9-23 説明文

項目	説明
"ファームウェアを確認しています。" "アップデート可能なファームウェアが公開されているかを確認しています。¥n 確認が終了するまでしばらくお待ちください。"	固定文字列

9.7.2.3 ボタン

Table 9-24 ボタン

項目	説明
"最新の状態へ更新"	実行中ページ最下部にボタンを設ける。 押下するとページを最新の状態へ更新する。

9.7.3 アップデート前確認ページ

アップデート可能なファームウェアが見つかった場合、以下のアップデート前確認ページに遷移する。

9.7.3.1 イメージ図

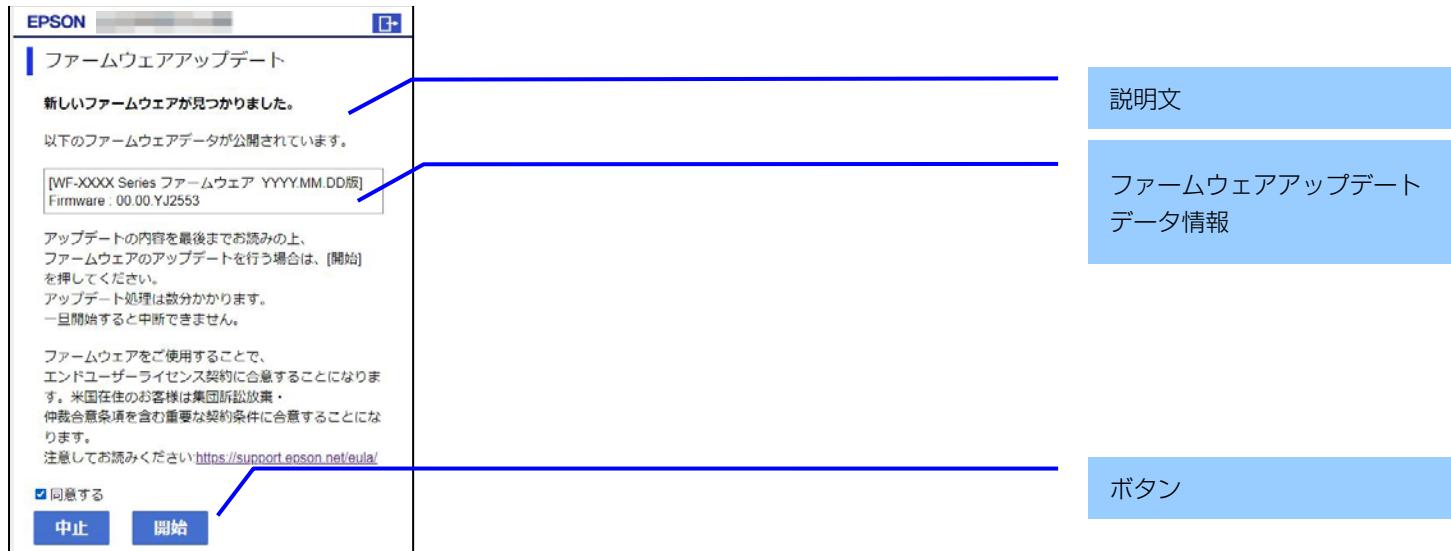


Figure 9-8 アップデート前確認ページ

9.7.3.2 説明文

Table 9-25 説明文

項目	説明
"新しいファームウェアが見つかりました。" "以下のファームウェアデータが公開されています。"	固定文字列
"アップデートの内容を最後までお読みの上、¥n ファームウェアのアップデートを行う場合は、[開始]を押してください。" "アップデート処理は数分かかります。 ¥n 一旦開始すると中断できません。"	固定文字列
"ファームウェアをご使用することで、エンドユーザーライセンス契約に合意することになります。米国在住のお客様は集団訴訟放棄・仲裁合意条項を含む重要な契約条件に合意することになります。注意してお読みください: https://support.epson.net/eula/ "	EULA 説明文
"同意する"	チェックボックス。本チェックボックスにチェックを入れると "開始" のボタンが有効になる。（未チェック状態の時は "開始ボタン" はグレーアウト）

9.7.3.3 ファームウェアアップデートデータ情報

Table 9-26 ファームウェアアップデートデータ情報

項目	説明
機種名とファームウェアアップデートファイル公開日	10 文字以下の ASCII 文字列。 YYYY.MM.DD
ファームウェアアップデートファイルバージョン	12 文字以下の ASCII 文字列。 XX.YY.ZZZZZZ -XX: Linux Kernel バージョン -YY: Linux Appli バージョン -ZZZZZZ: Main バージョン
ファームウェアアップデートデータ説明文	1024Byte 以下の UTF-8 文字列。

9.7.3.4 ボタン

Table 9-27 ボタン

項目	説明
"中止"	ファームウェアアップデートを中止する。
"開始"	ファームウェアアップデートを開始する。

9.7.4 キャンセル中ページ

9.7.4.1 イメージ図

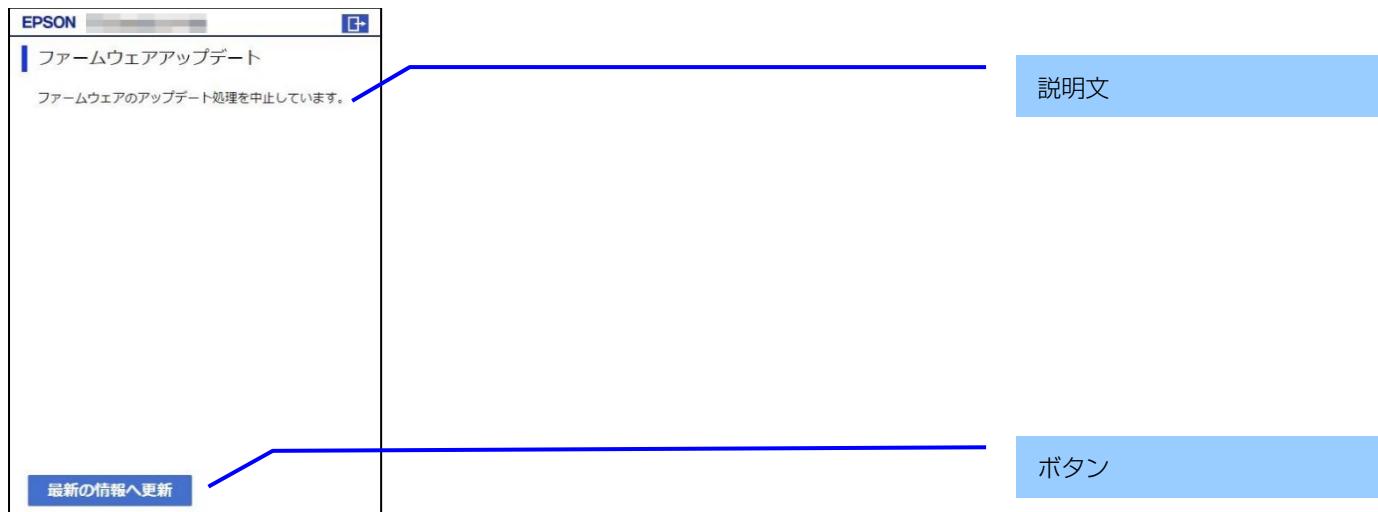


Figure 9-9 キャンセル中ページ

9.7.4.2 説明文

Table 9-28 説明文

項目	説明
"ファームウェアのアップデート処理を中止しています。"	固定文字列

9.7.4.3 ボタン

Table 9-29 ボタン

表示項目	説明
"最新の状態へ更新"	実行中ページ最下部にボタンを設ける。 押下するとページを最新の状態へ更新する。

9.7.5 結果表示ページ

9.7.5.1 イメージ図

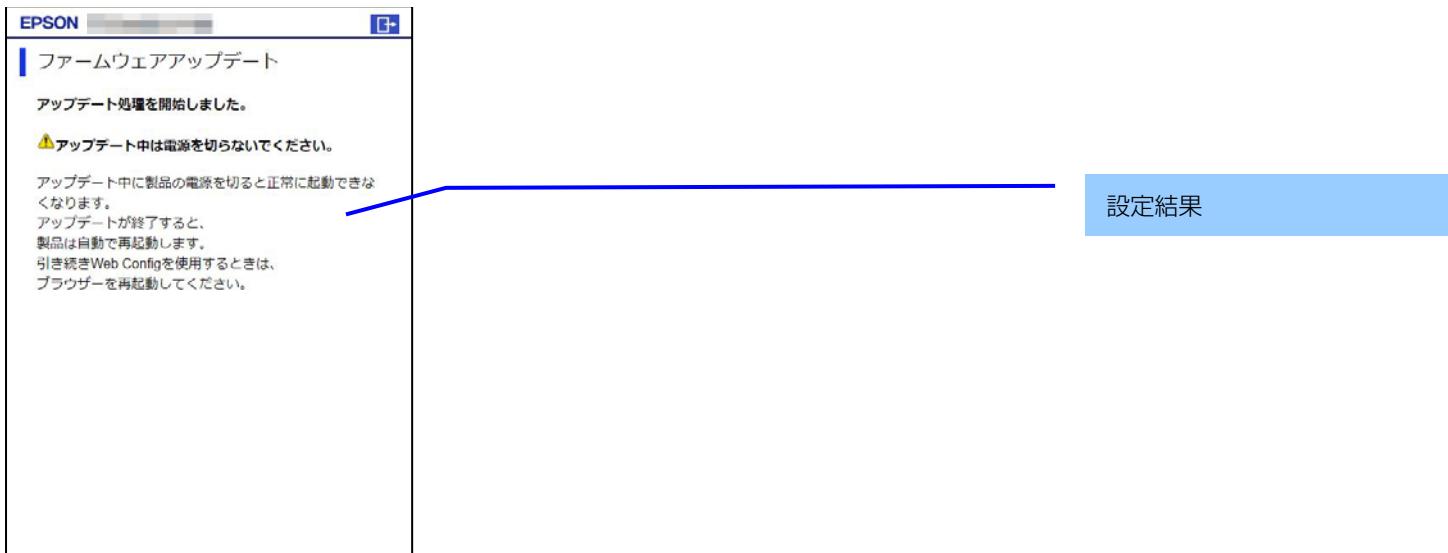


Figure 9-10 結果表示ページ

9.7.5.2 設定結果

Table 9-30 設定結果

項目	説明
"アップデート処理を開始しました。" "アップデート中は電源を切らないでください。" "アップデート中に製品の電源を切ると正常に起動できなくなります。"n アップデートが終了すると、製品は自動で再起動します。 "n 引き続き Web Config を使用するときは、ブラウザを再起動してください。"	正常にアップデート処理を開始した場合に表示する。 "アップデート中は電源を切らないでください。"の先頭に!マークアイコンを表示する。
"ファームウェアのアップデートを中止しました。" "お使いの製品のファームウェアは最新です。" "エプソンのサーバーに接続できません。"	正常に中止処理が完了した場合に表示する。 ファームウェアが最新である場合に表示する。 Epson サーバーに接続不可能な状態の場合に表示する。 文字列の前に×マークアイコンを表示する。
"ファームウェアアップデートを実行できません。" "・印刷やスキャンをしているときは終了してください。 "・ロール紙が挿入されているときは取り外してください。 "・パネルに警告やエラーが表示されているときはエラーを解除してください。 "※インクパックを含む消耗品等のエラーが発生している可能性もあります。 "外部メモリーを取り出してください。 "上記の対応を行ってから一旦終了し、再度実行してください。"n それでもエラーが表示されるときは、ブラウザを再起動してください。"	ファームウェアアップデートが実行できない状態の場合に表示する。 "ファームウェアアップデートを実行できません。"の先頭に×マークアイコンを表示する。 "・ロール紙が挿入されているときは取り外してください。"はロール紙給紙サポート機種のみ表示する。
"処理を実行できませんでした。" "他のコンピュータから処理が行われている可能性があります。"	他のコンピュータから処理が行われていて処理が実行できなかった場合に表示。 "処理を実行できませんでした。"の先頭に×マークアイコンを表示する。

"ファームウェアアップデートを実行できません。" "バッテリー残量がありません。充電してください。"	電源非接続状態、かつ、バッテリー残量が少ないため、処理が実行できなかった場合に表示する。 "ファームウェアアップデートを実行できません。"の先頭に×マークアイコンを表示する。
---	--

9.7.5.3 ボタン

Table 9-31 ボタン

項目	説明
"メインに戻る"	メインページに遷移する。

9.8 詳細設定ページへのリンク

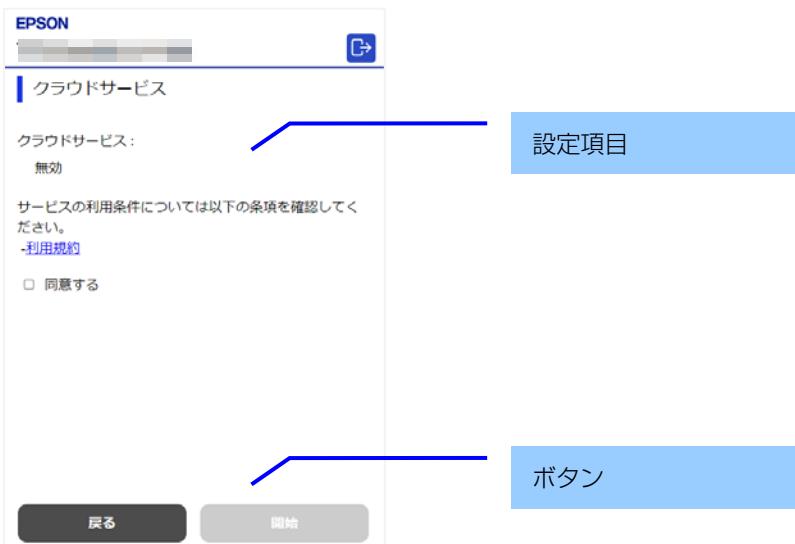
ボタンを押下すると詳細設定の情報確認 > 製品情報を表示する。

9.9 クラウドサービス

9.9.1 トップページ

9.9.1.1 クラウドサービス無効状態

9.9.1.1.1 イメージ図



9.9.1.1.2 設定項目

Table 9-32 設定項目

項目	説明	有効条件
"クラウドサービス"	クラウドサービスに接続可能か表示する。 "有効" / "無効"	-
"サービスの利用条件 については以下の条 項を確認してくださ い。"	固定文字列	-
"利用規約"	文字列中の"利用規約"はリンクになっており、クリックすると別窓で https://pos-cloud-link.epson.com/documents/license.html	-
"同意する"	チェックボックス。本チェックボックスにチェックを入れると"有効"のボタンが有効になる。（未チェック状態の時は"有効ボタン"はグレーアウト）	-

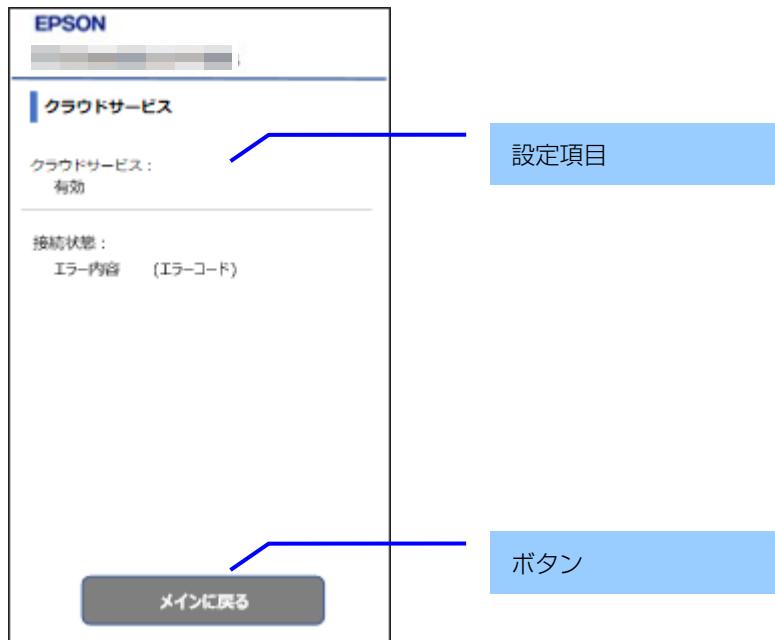
9.9.1.1.3 ボタン

Table 9-33 ボタン

項目	説明	有効条件
"開始"	クラウドサービス接続を有効にするための処理を開始する。	-
"戻る"	メインページへ遷移するためのボタン。	-

9.9.1.2 クラウドサービス有効状態

9.9.1.2.1 イメージ図



9.9.1.2.2 設定項目

Table 9-34 設定項目

項目	説明	有効条件
"クラウドサービス"	クラウドサービスに接続可能か表示する。 "有効" / "無効"	-
"接続状態"	クラウドサービスの接続状態を表示する。 "接続" / エラー内容を表示	クラウドサービス接続は有効だが、接続できていない時にエラー内容を表示する

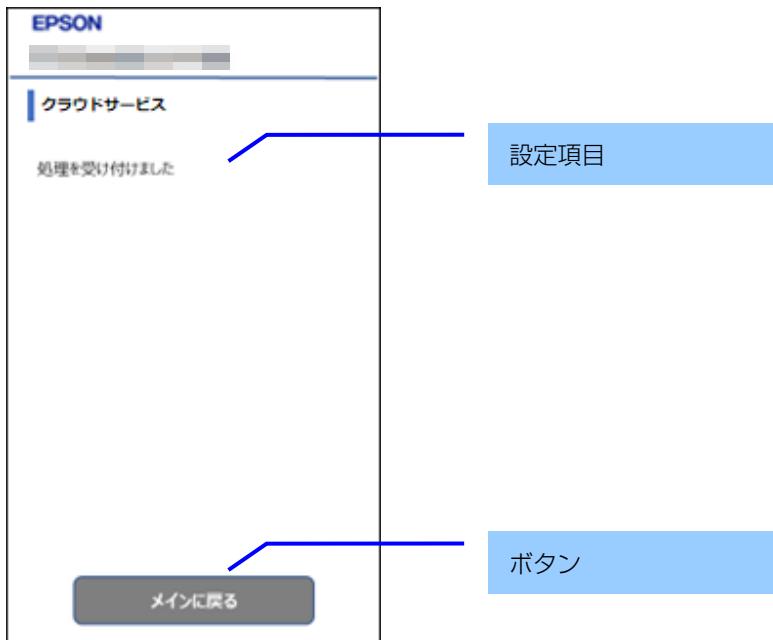
9.9.1.2.3 ボタン

Table 9-35 ボタン

項目	説明	有効条件
"メインに戻る"	メインページを表示する。	-

9.9.1.3 クラウドサービス設定変更中状態

9.9.1.3.1 イメージ図



9.9.1.3.2 設定項目

Table 9-36 設定項目

項目	説明	有効条件
"処理を受け付けました"	クラウドサービス接続ページで、PINコード入力ページへリダイレクト後、接続が有効になるまでにTOPページへアクセスした場合に表示する。この時別タブでPINコード入力画面も表示する。	-

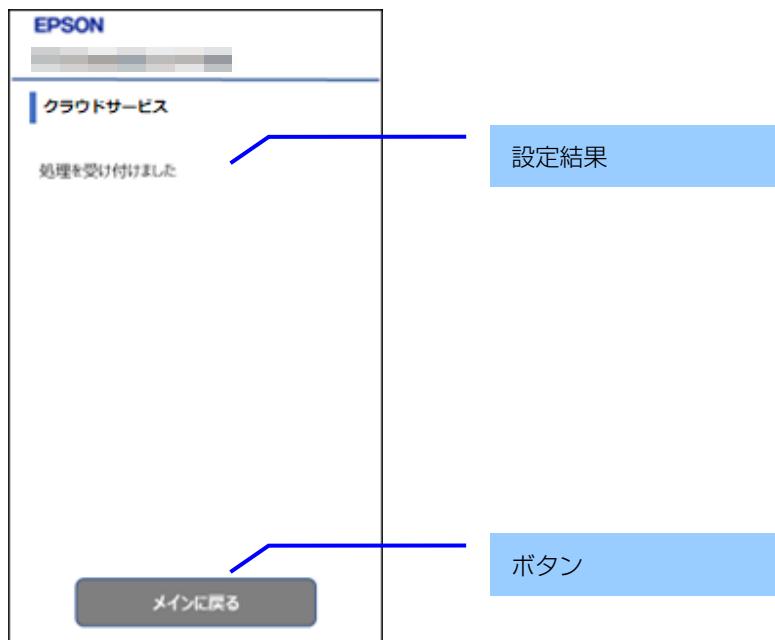
9.9.1.3.3 ボタン - Button

Table 9-37 ボタン - Button

項目	説明	有効条件
"メインに戻る"	メインページを表示する。	-

9.9.2 設定結果ページ

9.9.2.1 イメージ図



9.9.2.2 設定結果

Table 9-38 設定結果

項目	説明	有効条件
"処理を受け付けました"	設定が成功し、クラウドサービスの PIN コード入力画面を別タブ表示する際に表示する。	-
"設定に失敗しました"	設定に失敗したときに表示する。	-
"製品が動作中のため実行できません"	製品がビジーによる設定失敗時に表示する。	設定に失敗した際に、エラー内容を追加で表示する。
"ネットワーク機器に問題があるか、サーバーがつながりにくい状態になっています"	ネットワークエラーによる設定失敗時に表示する。	設定に失敗した際に、エラー内容を追加で表示する。
"プリンターがサービスに登録されていません。"	クラウドサービスに製品が登録されていない時に表示する。	設定に失敗した際に、エラー内容を追加で表示する。

9.9.2.3 ボタン

Table 9-39 ボタン

項目	説明	有効条件
"メインに戻る"	メインページを表示する。	-

10. 詳細設定ページ

10.1 情報確認

10.1.1 製品情報

10.1.1.1 トップページ

10.1.1.1.1 イメージ図

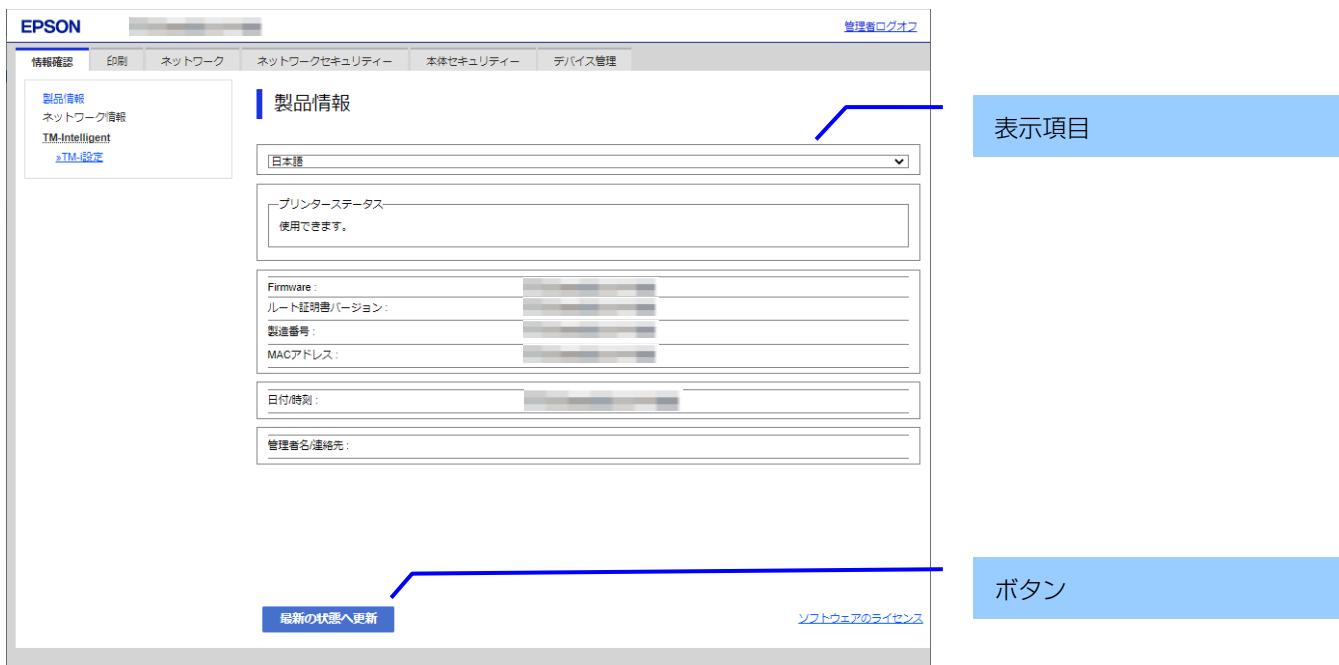


Figure 10-1 製品情報

10.1.1.1.2 表示項目

10.1.1.1.2.1 表示言語選択

表示言語の仕様は、4章「表示言語」に従う。

ドロップダウンリストで選択後、すぐさま選択された言語が設定され、表示言語が切り替わる。

10.1.1.1.2.2 ステータス情報

プリンターステータスは、印刷機能のある機種で以下のいずれかの情報を表示する。

"使用できます。"と"使用中です。"以外が表示されている場合はパネルのスナップショットへのリンクをメッセージの下に表示する。

Table 10-1 プリンターステータス

項目	説明
"使用できます。"	プリンターが使用可能な状態の場合に表示する。
"使用中です。"	エラーではないが、プリンターが使用不可能な状態の場合に表示する。
"用紙がなくなりました。"	プリンターで用紙なしエラーが発生している場合に表示する。
"用紙が詰りました。"	プリンターで紙ジャムエラーが発生している場合に表示する。
"エラーが発生しました。製品を確認してください。"	故障ではないが、エラーでプリンターが使用不可能な状態の場合に表示する。
"プリンターエラーが発生しました。電源を入れ直してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。"	その他のプリンターメカフェータルエラーが発生している場合に表示する。エラーコードが割り当てられている場合は、本文言の後ろにエラーコードを表示する。

スキャナーステータスは、印刷機能のない機種で以下のいずれかの情報を表示する。
"使用できます。"と"使用中です。"以外が表示されている場合はパネルのスナップショットへのリンクをメッセージの下に表示する。

Table 10-2 スキャナーステータス

項目	説明	有効条件
"使用できます。"	スキャナーが使用可能な状態の場合に表示する。	-
"使用中です。"	エラーではないが、プリンターが使用不可能な状態の場合に表示する。	-
"ADFで原稿が詰まりました。原稿を取り除いてください。"	スキャナーで紙ジャムエラーが発生している場合に表示する。	-
"ADFにセットされた原稿のサイズが設定と異なります。原稿が排出されないときは取り除いてください。"	スキャナーで ADF 両面サイズエラーが発生している場合に表示する。	-
"重送が発生しました。"	スキャナーで重送エラーが発生している場合に表示する。スキャナーで紙ジャムと重送が判別できる機種で表示する。	-
"スキャン枚数が給紙ローラーの耐用枚数に近づいています。"	スキャナーで消耗品ローラー交換時期間近ワーニングが発生している場合に表示する。	消耗品ローラー交換可能機種でのみ表示する。
"スキャン枚数が給紙ローラーの耐用枚数を超えました。"	スキャナーで消耗品ローラー交換時期超過ワーニングが発生している場合に表示する。	消耗品ローラー交換可能機種でのみ表示する。
"使用できません。[ハードウェア情報]を確認してください。"	故障によるエラーでスキャナーが使用不可能な状態の場合に表示する。	-
"エラーが発生しました。製品を確認してください。"	上記以外のエラーが発生した場合に表示する。 (仕様上、表示されることはないが、実装としてメッセージを用意しておく。)	-

ハードウェア情報は、以下のいずれかの情報を表示する。

Table 10-3 ハードウェア情報

項目	説明
"スキャナーが故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "パネルのスナップショット"	スキャナーのみが故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"無線 LAN が故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "パネルのスナップショット"	無線 LAN のみが故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"メモリカードスロットが故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "パネルのスナップショット"	メモリカードスロットのみが故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"内蔵 SD カードが故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "パネルのスナップショット"	内蔵 SD カードのみが故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"TPM が故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "機器データ暗号鍵をバックアップしていない場合は、鍵をバックアップしてください。" "TPM を交換せずにプリンターを使い続ける場合は機器データ暗号化を無効にしてください。" "パネルのスナップショット"	TPM のみが故障していて、暗号化機能が有効な場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。 パネルのスナップショットへのリンクを表示する。

"TPM が故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "機器データ暗号化を有効にすることができます。" "パネルのスナップショット"	TPM のみが故障していて、暗号化機能が無効な場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"PDL 基板が故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "パネルのスナップショット"	PDL 基板のみが故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"PS 基板が故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "パネルのスナップショット"	PS 基板標準搭載機で PS 基板が故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"PS 基板に異常があります。電源を切り、コンセントを抜いてから基板を装着しなおしてください。復旧しない場合はエプソンの修理窓口にご相談ください。" "パネルのスナップショット"	PS 基板オプション機で PS 基板が故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"用紙カセット 1 が故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "パネルのスナップショット"	LP 機種以外のプリンターで用紙カセット 1 のみが故障している場合に表示する。文字は赤色で表示する。パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"用紙カセット 2 が故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "パネルのスナップショット"	LP 機種以外のプリンターで用紙カセット 2 のみが故障している場合に表示する。文字は赤色で表示する。パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"用紙カセット 3 が故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "パネルのスナップショット"	LP 機種以外のプリンターで用紙カセット 3 のみが故障している場合に表示する。文字は赤色で表示する。パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"用紙カセット 4 が故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "パネルのスナップショット"	LP 機種以外のプリンターで用紙カセット 4 のみが故障している場合に表示する。文字は赤色で表示する。パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"NFC が故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "パネルのスナップショット"	NFC モジュールのみが故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"増設ネットワークが故障しています。エプソン修理窓口までご相談ください。" "パネルのスナップショット"	増設ネットワークのみが故障している場合に表示する。本文の後ろにエラーコードを表示する。文字は赤色で表示する。パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"増設ネットワーク: 現在のファームウェアでは使用できません。ファームウェアのアップデートをしてください。" "パネルのスナップショット"	バージョン不一致により増設ネットワークのみが使用できない場合に表示する。文字は赤色で表示する。パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"用紙カセット 1 が故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "パネルのスナップショット"	動作に異常があるハードウェアが複数存在しており、エプソン修理窓口への相談が必要な場合に表示する。「x」には異常件数を表示する。文字は赤色で表示する。ハードウェア情報ページを別タブとして開くリンクを用意する。パネルのスナップショットへのリンクを表示する。
"用紙カセット 2 が故障しています。エプソンの修理窓口にご相談ください。" "パネルのスナップショット"	動作に異常があるハードウェアが複数存在しているが、ユーザー環境で解決可能な場合に表示する。「x」には異常件数を表示する。文字は赤色で表示する。ハードウェア情報ページを別タブとして開くリンクを用意する。パネルのスナップショットへのリンクを表示する。

他のステータスは、JavaScript 情報と IP アドレス衝突情報を表示する。

JavaScript が無効で、IP アドレス衝突が起こっている場合は JavaScript 情報と IP アドレス衝突情報を両方を表示する。

Table 10-4 その他のステータス

項目	説明
"ブラウザーの JavaScript の設定を有効にしてください。"	ブラウザー側の設定で、JavaScript が無効にされていた場合に表示する。JavaScript が有効の場合は表示しない。

"xxx.xxx.xxx.xxx を使用している他の機器が存在します。"	「xxx.xxx.xxx.xxx」には製品の IP アドレスを表示する。 デバイスと他のネットワーク機器で同じ IP アドレス(IPv4)を使用していたら表示する。そうでなければ表示しない。 パネル表示で同様のエラーの画面が消された場合は、本文言は表示されなくなる。
"日付/時刻が設定されていません。"	日付時刻が未設定であるときに表示する。
"再起動が必要な設定が変更されました。製品の電源を入れ直してください。"	反映に本体の再起動が必要な設定が変更されているときに表示する。
"Direct-XX-YYYYYY を使用している他の機器が存在します。"	Wi-Fi チップ搭載機種のみ 「Direct-XX-YYYYYY」には製品の SSID を表示する。 デバイスと他のネットワーク機器で同じ SSID を使用していたら表示する。そうでなければ表示しない。 パネル表示で同様のエラーの画面が消された場合は、本文言は表示されなくなる。

10.1.1.1.2.3 クラウドサービス情報

Table 10.1.5 クラウドサービス状態

項目	説明	有効条件
"クラウドサービス"	クラウドサービス接続の有無を表示する。	-
"状態"	クラウドサービスの接続状態を表示する。 非接続の場合はエラー内容とエラーコードも表示する。	-

10.1.1.1.2.4 製品システム情報

Table 10-6 製品システム情報

項目	説明	有効条件
"Firmware"	ファームウェアバージョンを表示する。 12 文字以下の ASCII 文字列 XX.YY.ZZZZZZ -XX: Linux Kernel バージョン -YY: Linux Appli バージョン -ZZZZZZ: Main バージョン	-
"ルート証明書バージョン"	ルート証明書バージョンを表示する	-
"製造番号"	製造番号を表示する	管理者パスワードの初期値対応が入っている機種では、管理者ログインを行っている場合のみ表示する。
"ネットワークの MAC アドレス"	有線 LAN、無線 LAN インフラ、無線 LAN アドホック用のインターフェイスの MAC アドレスを表示する。	無線機能を使える機種でのみ表示
"Wi-Fi Direct の MAC アドレス"	Wi-Fi Direct (Simple AP 接続含む)用のインターフェイスの MAC アドレスを表示する。Wi-Fi Direct 無効時は、本項目は非表示。	無線機能を使える機種でのみ表示
"MAC アドレス"	全ての通信モード (有線 LAN、無線 LAN インフラ、Wi-Fi Direct) 用のインターフェイスの MAC アドレスを表示する。	無線機能をサポートしない機種でのみ表示

10.1.1.1.2.5 日時情報

Table 10-7 日時情報

項目	説明	有効条件
"日付/時刻"	ページを開いた時の日付時刻を表示する。 時刻未設定の場合は"日付/時刻が設定されていません。"を表示する。	日付/時刻設定可能機種のみ表示する。

10.1.1.1.2.6 管理者情報

Table 10-8 管理者情報

項目	説明
"管理者名/連絡先"	連絡先を表示する

10.1.1.1.2.7 ソフトウェアのライセンス

製品情報ページの最下部にある"ソフトウェアのライセンス"リンクが押下された場合に、製品の使用しているオープンソースのライセンスを記載したページが新規タブとして表示される。

10.1.1.1.3 ボタン

Table 10-9 ボタン

項目	説明
"最新の状態へ更新"	製品情報に含まれる情報を最新のものに更新し、トップページを再表示する。

10.1.2 ネットワーク情報

ネットワーク情報確認機能では、プリンターやスキャナなどの製品のネットワーク情報を確認することが可能である。

10.1.2.1 トップページ

10.1.2.1.1 イメージ図



Figure 10-2 ネットワーク情報

10.1.2.1.2 タブ

無線機能を使える機種の場合は"ネットワーク"と"Wi-Fi Direct"のタブを表示し、それぞれの情報表示を切り替える。

10.1.2.1.3 表示項目

無線機能を使える機種での表示（ネットワーク、Wi-Fi Direct）と無線機能をサポートしない機種での表示項目を以下に示す。

Table 10-10 表示項目（ネットワーク）

項目	説明	条件
"デバイス名"	使用しているデバイス名が表示される。	-
"接続状態"	"非接続" / "10BASE-T, Half Duplex" / "10BASE-T, Full Duplex" / "100BASE-TX, Half Duplex" / "100BASE-TX, Full Duplex" / "1000BASE-T, Full duplex" / "不定"	有線 LAN 接続の場合に表示する。
	"無線 LAN 非接続" / "無線 LAN 検索中" / "無線 LAN-xxxMbps" ("xx"には"00"~"495"が入る) / "不定"	無線 LAN 接続の場合に表示する。
	"無効"	有線 LAN も無線 LAN も無効の場合 (Wi-Fi Direct のみ接続している場合) に表示する。
"電波状態"	"非常に良い" / "良い" / "弱い" / "悪い" / "不定"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。Wi-Fi Direct 中は非表示にする。
"TCP/IP 設定"	"自動設定" / "手動設定"	接続状態が無効時は、非表示する。

"BOOTP による設定"	"有効" / "無効"	"TCP/IP 設定"が"手動設定"の時は非表示にする。
"プライベート IP 自動指定 (APIPA) による設定"	"有効" / "無効"	"TCP/IP 設定"が"手動設定"の時は非表示にする。
"IP アドレス"	<ul style="list-style-type: none"> "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 "xxx"部分は"0"~"255"の10進数である。 	接続状態が無効時は、非表示する。
"サブネットマスク"	<ul style="list-style-type: none"> "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 "xxx"部分は"0"~"255"の10進数である。 	接続状態が無効時は、非表示する。
"デフォルトゲートウェイ"	<ul style="list-style-type: none"> "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 "xxx"部分は"0"~"255"の10進数である。 	接続状態が無効時は、非表示する。
"DNS サーバー設定"	"自動設定" / "手動設定"	接続状態が無効時は、非表示する。
"プライマリ-DNS サーバー"	<ul style="list-style-type: none"> "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 "xxx"部分は"0"~"255"の10進数である。 	接続状態が無効時は、非表示する。
"セカンダリ-DNS サーバー"	<ul style="list-style-type: none"> "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 "xxx"部分は"0"~"255"の10進数である。 	接続状態が無効時は、非表示する。
"DNS ホスト名の取得方法"	"自動設定" / "手動設定"	接続状態が無効時は、非表示する。
"DNS ホスト名の取得状態"	"不定" / "自動取得成功" / "自動取得失敗"	"DNS ホスト名取得方法"が"自動設定"の時に内容を表示する。接続状態が無効時は、非表示する。
"DNS ホスト名"	使用している DNS ホスト名が表示される。	接続状態が無効時は、非表示する。
"DNS ドメイン名の取得方法"	"自動設定" / "手動設定"	接続状態が無効時は、非表示する。
"DNS ドメイン名の取得状態"	"不定" / "自動取得成功" / "自動取得失敗"	"DNS ホスト名取得方法"が"自動設定"の時に内容を表示する。接続状態が無効時は、非表示する。
"DNS ドメイン名"	使用している DNS ドメイン名が表示される。	接続状態が無効時は、非表示する。
"ネットワーク I/F のアドレスを DNS に登録する"	"有効" / "無効"	接続状態が無効時は、非表示する。
"プロキシサーバー設定"	"使用しない" / "使用する"	接続状態が無効時は、非表示する。
"プロキシサーバー"	<p>IP アドレス形式か FQDN 形式で表示される。</p> <p>IP アドレス形式</p> <ul style="list-style-type: none"> "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 "xxx"部分は"0"~"255"の10進数である。 <p>FQDN 形式</p> <ul style="list-style-type: none"> 最大 252 文字の文字列 使用可能文字 : ("a"~"z", "A"~"Z"), digits("0"~"9"), minus sign("-"), period(".") の組み合わせで表現される。 	"プロキシサーバー設定"が"使用する"の時に内容を表示する。接続状態が無効時は、非表示する。
"プロキシサーバーポート番号"	"0"~"65535"の範囲の10進数である。	"プロキシサーバー設定"が"使用する"の時に内容を表示する。接続状態が無効時は、非表示する。

"プロキシサーバー認証ユーザ 一名"	<ul style="list-style-type: none"> 0～255byte の半角文字 ASCII 文字コード 0x20～0x7E 	"プロキシサーバー設定"が"使用 する"の時に内容を表示する。 接続状態が無効時は、非表示す る。
"プロキシサーバー認証パスワ ード"	"未設定" / "*****"	"プロキシサーバー設定"が"使用 する"の時に内容を表示する。 接続状態が無効時は、非表示す る。
"IPv6 設定"	"有効" / "無効"	接続状態が無効時は、非表示す る。
"IPv6 匿名アドレス"	"有効" / "無効"	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示 する。 接続状態が無効時は、非表示す る。
"IPv6 DHCP サーバー設定"	"使用しない" / "使用する"	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示 する。 DHCPv6 機能をサポートしない 場合は項目を表示しない。 接続状態が無効時は、非表示す る。
"IPv6 アドレス"	任意の IPv6 アドレス	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示 する。 接続状態が無効時は、非表示す る。
"IPv6 デフォルトゲートウェイ"	任意の IPv6 デフォルトゲートウェイを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示 する。 接続状態が無効時は、非表示す る。
"IPv6 リンクローカルアドレス"	有効なリンクローカルアドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示 する。 接続状態が無効時は、非表示す る。
"IPv6 ステートフルアドレス"	有効なステートフルアドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示 する。 DHCPv6 機能をサポートしない 場合は項目を表示しない。 接続状態が無効時は、非表示す る。
"IPv6 ステートレスアドレス 1"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示 する。 接続状態が無効時は、非表示す る。
"IPv6 ステートレスアドレス 2"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示 する。 接続状態が無効時は、非表示す る。

"IPv6 ステートレスアドレス 3"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示する。 接続状態が無効時は、非表示する。
"IPv6 プライマリーDNS サーバー"	任意の IPv6 アドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示する。 接続状態が無効時は、非表示する。
"IPv6 セカンダリーアクセス DNS サーバー"	任意の IPv6 アドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示する。 接続状態が無効時は、非表示する。
"無線 LAN 設定方法"	"AOSS" / "WPS" / "手動設定" / "カンタン自動設定" / "Epson iPrint"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。 接続状態が無効時は、非表示する。
"無線モード"	"IEEE802.11b" / "IEEE802.11g" / "IEEE802.11b/g" / "IEEE802.11b/g/n" / "IEEE802.11a/n/ac"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。 接続状態が無効時は、非表示する。
"ネットワーク(SSID)"	・ 1~32 文字の半角英数字と半角記号である。	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。 接続状態が無効時は、非表示する。
"チャネル"	Wi-Fi チップ搭載機種以外 ・ "1"~"13"の範囲の半角数字である。 Wi-Fi チップ搭載機種 2.4GHz の場合 ・ "1"~"13"の範囲の半角数字である。 5GHz の場合 "36"/"40"/"44"/"48"/"52"/"56"/"60"/"64"/"100"/"104"/"108"/"112"/"116"/"120"/"124"/"128"/"132"/"136"/"140"/"149"/"153"/"157"/"161"/"165"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。 接続状態が無効時は、非表示する。
"セキュリティー設定"	"なし" / "WEP-64bit(40bit)" / "WEP-128bit(104bit)" / "WPA-PSK(TKIP)" / "WPA2-PSK(AES)" / "WPA2/WPA3-Enterprise" / "WPA3-SAE(AES)"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。 接続状態が無効時は、非表示する。
"パスワード"	"未設定" / "*****"	無線 LAN 接続の場合、かつセキュリティー設定が"WPA2/WPA3-Enterprise"以外のときのみ表示する。 接続状態が無効時は、非表示する。
"MAC アドレス"	"XX:XX:XX:XX:XX:XX" X は "0"~"F"までの 16 進数である。	接続状態が無効時は、非表示する。

"IEEE802.11k/v"	"有効" / "無効"	IEEE802.11k/v/r 機能対応機種で表示。 無線 LAN オプションドングル機種である場合、ドングルが本体に挿入されている場合に表示し、非挿入時は非表示化する。
"IEEE802.11r"	"有効" / "無効"	IEEE802.11k/v/r 機能対応機種で表示。 無線 LAN オプションドングル機種である場合、ドングルが本体に挿入されている場合に表示し、非挿入時は非表示化する。
"ローミング設定"	フィールド名として表示する固定文字列	ローミング機能対応機種で無線 LAN 接続の場合のみ表示する。接続状態が"無効"時は、非表示する。
"ローミング設定"	"有効" / "無効"	ローミング機能対応機種で無線 LAN 接続の場合のみ表示する。接続状態が"無効"時は、非表示する。
"アクセスポイント密度"	"Low" / "Medium" / "High"	ローミング機能対応機種で"ローミング設定"が"有効"の時のみ表示する。

Table 10-11 表示項目 (Wi-Fi Direct)

項目	説明	条件
"デバイス名"	使用しているデバイス名が表示される。	-
"接続方法"	"未設定" / "シンプル AP"	-
"IP アドレス"	<ul style="list-style-type: none"> "自動設定" / "手動設定"と IP アドレスを表示する。 IP アドレスは、"xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 "xxx"部分は"0"~"255"の 10 進数である。 	"接続方法"が"未設定"でない時に表示する。
"サブネットマスク"	<ul style="list-style-type: none"> "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 "xxx"部分は"0"~"255"の 10 進数である。 	"接続方法"が"未設定"でない時に表示する。
"デフォルトゲートウェイ"	<ul style="list-style-type: none"> "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 "xxx"部分は"0"~"255"の 10 進数である。 	"接続方法"が"未設定"でない時に表示する。
"接続機器数"	"0"~"8"の範囲の半角数字である。	"接続方法"が"シンプル AP"の時に表示する。
"ネットワーク(SSID)"	<ul style="list-style-type: none"> 1~32 文字の半角英数字と半角記号である。 	"接続方法"が"未設定"でない時に表示する。
"チャネル"	<p>■Wi-Fi チップ搭載機種以外</p> <ul style="list-style-type: none"> "1"~"13"の範囲の半角数字である。 <p>■Wi-Fi チップ搭載機種</p> <p>2.4GHz の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> "1"~"13"の範囲の半角数字である。 <p>5GHz の場合</p> <p>"36"/"40"/"44"/"48"/"52"/"56"/"60"/"64"/"100"/"104"/"108"/"112"/"116"/"120"/"124"/"128"/"132"/"136"/"140"/"149"/"153"/"157"/"161"/"165"</p>	"接続方法"が"未設定"でない時に表示する。

"セキュリティー設定"	"WPA2-PSK(AES)"固定	"接続方法"が"未設定"でない時に表示する。
"パスワード"	"*****" "*****"	"接続方法"が"未設定"でない時に表示する。
"MAC アドレス"	"XX:XX:XX:XX:XX:XX" Xは"0"~"F"までの16進数である。	"接続方法"が"未設定"でない時に表示する。

Table 10-12 表示項目（無線機能をサポートしない機種）

項目	説明	有効条件
"デバイス名"	使用しているデバイス名が表示される。	-
"接続状態"	"非接続" / "10BASE-T, Half Duplex" / "10BASE-T, Full Duplex" / "100BASE-TX, Half Duplex" / "100BASE-TX, Full Duplex" / "1000BASE-T, Full duplex" / "不定"	有線 LAN 接続の場合に表示する。
	"無線 LAN 非接続" / "無線 LAN 検索中" / "無線 LAN-xxxMbps" ("xx"には"00"~"495"が入る) / "不定"	無線 LAN 接続の場合に表示する。
"電波状態"	"非常に良い" / "良い" / "弱い" / "悪い" / "不定"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。"無線 LAN 設定方法"が "Wi-Fi Direct"中は非表示にする。
"TCP/IP の設定方法"	"自動設定" / "手動設定"	-
"BOOTP による設定"	"有効" / "無効"	"TCP/IP 設定"が"手動設定"の時は非表示にする。
"プライベート IP 自動指定 (APIPA)による設定"	"有効" / "無効"	"TCP/IP 設定"が"手動設定"の時は非表示にする。
"IP アドレス"	<ul style="list-style-type: none"> ・ "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 ・ "xxx"部分は"0"~"255"の10進数である。 	-
"サブネットマスク"	<ul style="list-style-type: none"> ・ "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 ・ "xxx"部分は"0"~"255"の10進数である。 	-
"デフォルトゲートウェイ"	<ul style="list-style-type: none"> ・ "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 ・ "xxx"部分は"0"~"255"の10進数である。 	-
"DNS サーバー設定"	"自動設定" / "手動設定"	-
"プライマリーDNS サーバー"	<ul style="list-style-type: none"> ・ "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 ・ "xxx"部分は"0"~"255"の10進数である。 	-
"セカンダリーDNS サーバー"	<ul style="list-style-type: none"> ・ "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 ・ "xxx"部分は"0"~"255"の10進数である。 	-
"DNS ホスト名取得方法"	"自動設定" / "手動設定"	-
"DNS ホスト名の取得状態"	"不定" / "自動取得成功" / "自動取得失敗"	"DNS ホスト名取得方法"が"自動設定"の時に内容を表示する。
"DNS ホスト名"	使用している DNS ホスト名が表示される。	-
"DNS ドメイン名取得方法"	"自動設定" / "手動設定"	-
"DNS ドメイン名の取得状態"	"不定" / "自動取得成功" / "自動取得失敗"	"DNS ホスト名取得方法"が"自動設定"の時に内容を表示する。

"DNS ドメイン名"	使用している DNS ドメイン名が表示される。	-
"プロキシサーバー設定"	"使用しない" / "使用する"	-
"プロキシサーバー"	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレス形式か FQDN 形式で表示される。 ■IP アドレス形式 <ul style="list-style-type: none"> "xxx.xxx.xxx.xxx"形式である。 "xxx"部分は"0"~"255"の 10 進数である。 ■FQDN 形式 <ul style="list-style-type: none"> 最大 252 文字の文字列 使用可能文字 : ("a"~"z", "A"~"Z"), digits("0"~"9"), minus sign("-"), period("."))の組み合わせで表現される。 	"プロキシサーバー設定"が"使用する"の時に内容を表示する。
"プロキシサーバーポート番号"	<ul style="list-style-type: none"> 値は"0"~"65535"の範囲の 10 進数である。 	"プロキシサーバー設定"が"使用する"の時に内容を表示する。
"プロキシサーバー認証ユーザ一名"	<ul style="list-style-type: none"> 0~255byte の半角文字 ASCII 文字コード 0x20~0x7E 	"プロキシサーバー設定"が"使用する"の時に内容を表示する。
"プロキシサーバー認証パスワード"	"未設定" / "*****"	"プロキシサーバー設定"が"使用する"の時に内容を表示する。
"IPv6 設定"	"有効" / "無効"	-
"IPv6 匿名アドレス"	"有効" / "無効"	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示する。
"IPv6 DHCP サーバー設定"	"使用しない" / "使用する"	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示する。 DHCIPv6 機能をサポートしない場合は項目を表示しない。
"IPv6 アドレス"	<p>任意の IPv6 アドレス IPv6 の IP アドレスは、以下の 1~3 の表現をサポートする。</p> <ol style="list-style-type: none"> "x:x:x:x:x:x" の形式。 x は"0"~"FFFF"の 16 進数である。 1.において、x が"0"のブロックが 1 つまたは 2 つ以上連続する場合、"::"で省略できる。ただし、"::"はアドレス中に一回しか使用できない。"::"はアドレス全体の先頭および末尾にも使用できる。 例) 1080:0:0:0:800:200C:417A →1080::800:200C:417A に省略可 "x:x:x:x:x:d.d.d.d"の形式。 x は "0"~"FFFF"の 16 進数である。d は"000"~"255"の 10 進数である。 IPv4 と IPv6 の混在環境において、アドレスの下位 4×8bit を IPv4 表現で表記する。":"および"."で区切られた個々のブロックの先頭の"0"は省略することができる。また、x 部分は 2.の"::"による省略記法が利用できる。 例) ::FFFF:129.144.52.38 アルファベットは大文字/小文字どちらもサポートする。 	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示する。
"IPv6 デフォルトゲートウェイ"	任意の IPv6 アドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示する。

"IPv6 リンクローカルアドレス"	有効なリンクローカルアドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示する。
"IPv6 ステートフルアドレス"	有効なステートフルアドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示する。 DHCPv6 機能をサポートしない場合は項目を表示しない。
"IPv6 ステートレスアドレス 1"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示する。
"IPv6 ステートレスアドレス 2"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示する。
"IPv6 ステートレスアドレス 3"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示する。
"IPv6 プライマリーDNS サーバー"	任意の IPv6 アドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示する。
"IPv6 セカンダリーや DNS サーバー"	任意の IPv6 アドレスを表示する。	"IPv6 設定"が"有効"の時に表示する。
"無線 LAN 設定方法"	"AOSS" / "WPS" / "Wi-Fi Direct" / "手動設定" / "カンタン自動設定" / "Epson iPrint"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。
"無線モード"	"IEEE802.11b" / "IEEE802.11g" / "IEEE802.11b/g" / "IEEE802.11b/g/n"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。
"接続機器数"	半角数字であること 値は"0"~"4"の範囲でなければならない	シンプル AP モードのみ
"ネットワーク(SSID)"	・ 使用可能文字 : 半角英数字と半角記号 ・ 文字数 1~32 文字	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。
"チャネル"	・ 半角数字であること ・ 値は"1"~"13"の範囲でなければならない	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。
"セキュリティ設定"	"なし" / "WEP-64bit(40bit)" / "WEP-128bit(104bit)" / "WPA-PSK(TKIP)" / "WPA2-PSK(AES)" / "WPA2/WPA3-Enterprise" / "WPA3-SAE(AES)"	無線 LAN 接続の場合のみ表示する。
"パスワード"	"未設定" / "*****"	無線 LAN 接続の場合、かつセキュリティ設定が"WPA2-Enterprise"以外のときのみ表示する。
"MAC アドレス"	"XX:XX:XX:XX:XX:XX" X は"0"~"F"までの 16 進数である。	-

10.1.2.1.4 ボタン

Table 10-13 ボタン

項目	説明
"最新の状態へ更新"	ネットワーク情報確認に含まれる情報を最新のものに更新し、トップページを再表示する。

10.1.3 TM-Intelligent

TM-iへのリンクを可能とする。

10.1.3.1 トップページ

メニュー項目をクリックすることで TM-i の設定ページを新規タブで開く。

(詳細は「[TM-i 設定](#)」を参照。)

10.1.3.1.1 イメージ図

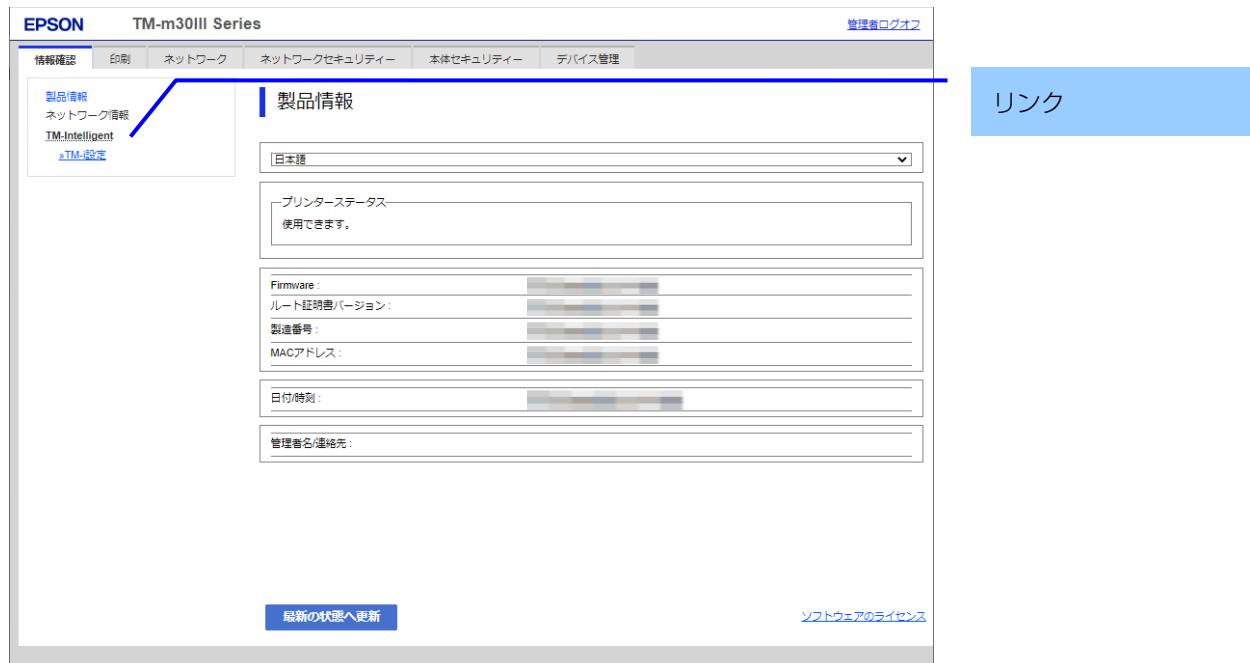


Figure 10-3 TM-i リンクイメージ図

10.2 印刷

10.2.1 印刷設定

10.2.1.1 トップページ

10.2.1.1.1 イメージ図

以下にトップページの画面イメージを示す。

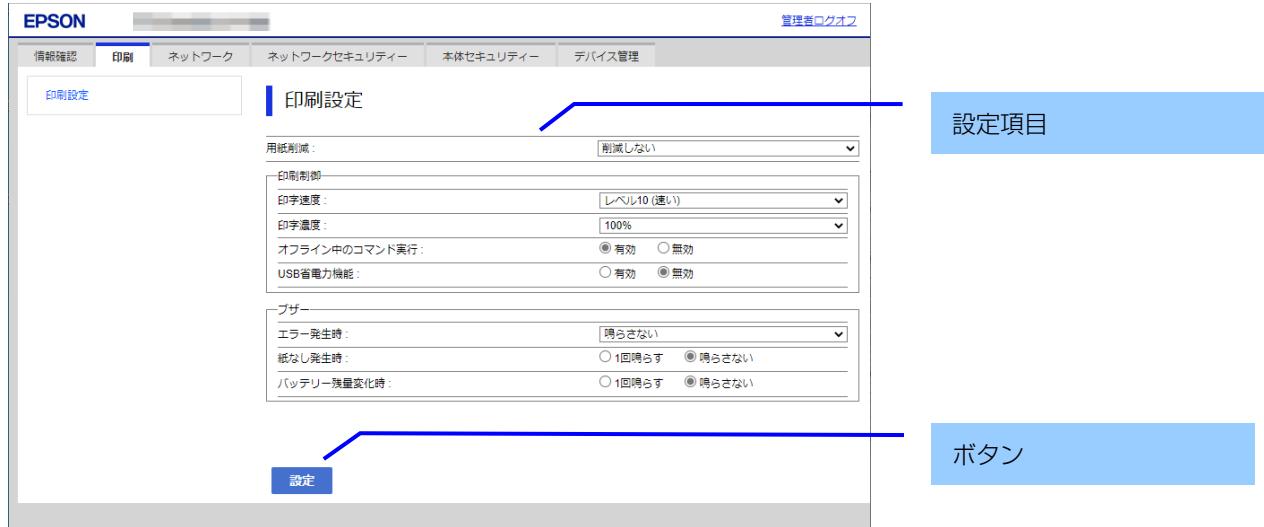


Figure 10-4 イメージ図

10.2.1.1.2 設定項目

Table 10-14 設定項目

項目	説明	有効条件
"用紙削減"	"削減量最大" / "削減量おすすめ" / "削減しない" をドロップダウンリストから選択する。	用紙削減サポート機種で表示する
"印刷制御"	タイトル	-
"印字速度"	<p>印字最大速度"Level10"対応機種の場合 "レベル 1 (遅い)" / "レベル 2" / "レベル 3" / "レベル 4" / "レベル 5" / "レベル 6" / "レベル 7" / "レベル 8" / "レベル 9" / "レベル 10 (速い)" をドロップダウンリストから選択する。</p> <p>印字最大速度"Level13"対応機種の場合 "レベル 1 (遅い)" / "レベル 2" / "レベル 3" / "レベル 4" / "レベル 5" / "レベル 6" / "レベル 7" / "レベル 8" / "レベル 9" / "レベル 10" / "レベル 11" / "レベル 12" / "レベル 13 (速い)" をドロップダウンリストから選択する。</p> <p>印字最大速度"Level17"対応機種の場合 "レベル 1 (遅い)" / "レベル 2" / "レベル 3" / "レベル 4" / "レベル 5" / "レベル 6" / "レベル 7" / "レベル 8" / "レベル 9" / "レベル 10" / "レベル 11" / "レベル 12" / "レベル 13" / "レベル 14" / "レベル 15" / "レベル 16" / "レベル 17 (速い)" をドロップダウンリストから選択する。</p>	印字速度サポート機種で表示する
"印字濃度"	"70%" / "75%" / "80%" / "85%" / "90%" / "95%" / "100%" / "105%" / "110%" / "115%" / "120%" / "125%" / "130%" をドロップダウンリストから選択する。	印字濃度サポート機種で表示する

"オフライン中コマンド実行"	"有効"/ "無効" をラジオボタンから選択する。	オフライン中コマンド実行サポート機種で表示する
"USB 省電力機能の設定"	"有効"/ "無効" をラジオボタンから選択する。	USB 省電力機能の設定サポート機種で表示する
"ブザー"	タイトル	-
"ブザー"	"オプションブザー" / "無効" をラジオボタンから選択する。	ブザー搭載機種で表示する
"エラー発生時"	"鳴らさない" / "1 回鳴らす" / "鳴らし続ける" をドロップダウンリストから選択する。 ※"鳴らし続ける"は対応機種の場合のみ表示する。	エラー発生時ブザー搭載機種で表示する
"オートカット駆動時"	"鳴らさない" / "1 回鳴らす"をラジオボタンから選択する。	自動用紙カット動作時ブザー搭載機種で表示する
"紙無し発生時"	"鳴らさない" / "1 回鳴らす"をラジオボタンから選択する。	用紙エンド発生時ブザー機種で表示する
"バッテリー残量変更時"	"鳴らさない" / "1 回鳴らす"をラジオボタンから選択する。	バッテリーレベル変更時ブザー機種で表示する
"指定パルス 1(2 pin)発生時"	"鳴らさない" / "1 回鳴らす"をラジオボタンから選択する。	指定パルス 1 発生時ブザー機種で表示する
"指定パルス 2(5 pin)発生時"	"鳴らさない" / "1 回鳴らす"をラジオボタンから選択する。	指定パルス 2 発生時ブザー機種で表示する

10.2.1.1.3 ボタン

設定項目に含まれる情報で設定するためのボタンを設ける。

Table 10-15 ボタン

項目	説明
"設定"	印刷設定を開始するためのボタン。ボタンを押下することで再起動確認ポップアップを表示する。
"戻る"	メインページへ遷移するためのボタン。

"設定"ボタンが押された際に、再起動確認ポップアップを出す。

Table 10-16 再起動確認ポップアップ

項目	説明
"設定を反映するために、製品を再起動します。"	"設定"ボタンが押下された場合に表示する。ポップアップウィンドウ内の"OK"ボタン押下で結果表示ページへ遷移する。

10.2.1.2 結果表示

再起動確認ポップアップの"OK"ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

10.2.1.2.1 イメージ図

以下に結果表示ページの画面イメージを示す。

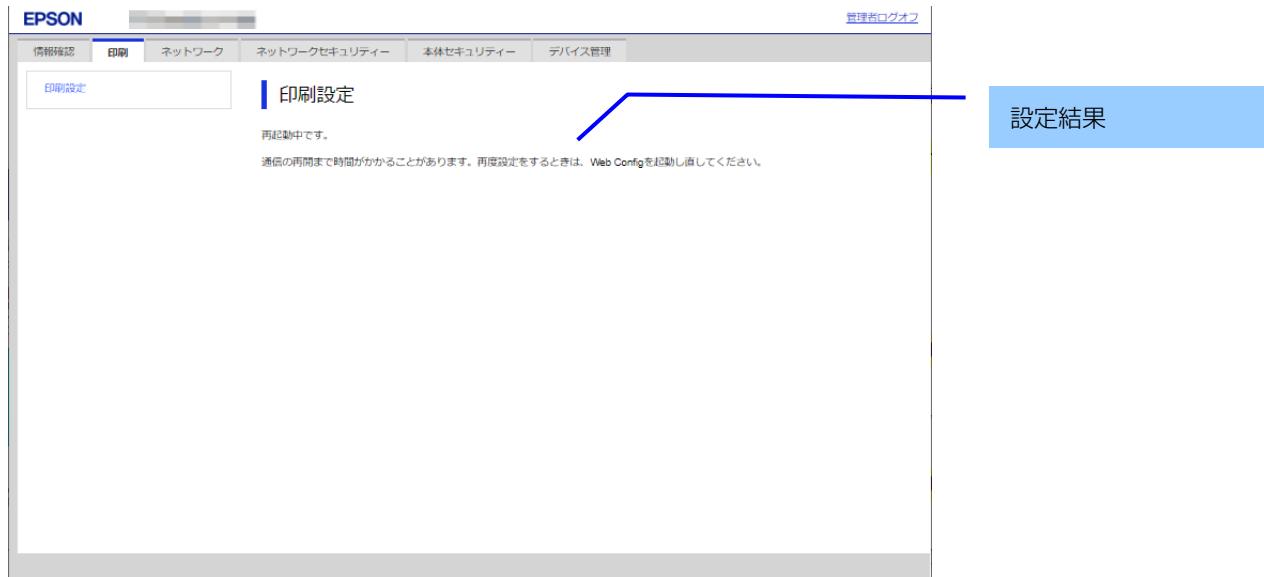


Figure 10-5 イメージ図

10.2.1.2.2 設定結果

Table 10-17 設定結果

項目	説明
"再起動中です。 通信の再開まで時間がかかるこ とがあります。 再度設定をするときは、Web Config に再接続してください。"	設定成功時に表示する。
"設定に失敗しました。"	設定に失敗したときに表示する。
"製品は処理動作中のためアクセ スできません。"	製品がビジーによる設定失敗時に表示する。

10.3 ネットワーク

10.3.1 ネットワーク基本

10.3.1.1 トップページ

10.3.1.1.1 イメージ図



Figure 10-6 トップページ

10.3.1.1.2 設定項目

以下にネットワーク基本設定の設定項目について記載する。

Table 10-18 設定項目

項目	説明	有効条件
"デバイス名"	テキストボックスに文字数 2~15 文字（文字列長 1 は不可）の範囲で入力する。 使用可能文字 "A"~"Z", "a"~"z", "0"~"9", "-" (半角スペースは不可) 先頭に使用できる文字 "A"~"Z", "a"~"z" ("0"~"9", "-"は不可) 最後に使用できる文字 "A"~"Z", "a"~"z", "0"~"9" ("-"は不可)	-
"ロケーション"	テキストボックスに最大 127Byte の UTF-8 で入力する。	-
"※ デバイス名とロケーションは複数のサービスに共通で反映されます。"	"デバイス名"と"ロケーション"の注意書き	-
"TCP/IP 設定"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "自動設定" / "手動設定"	-
"IP Address Printing"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効" / "無効"	IP Address Printing 設定対応機種のみ表示する。
"BOOTP による設定"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効" / "無効"	"TCP/IP 設定"が"手動設定"の時にグレーアウトする。 CIJ では表示しない。

"プライベートIP自動指定(APIPA)による設定"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効"/ "無効"	"TCP/IP 設定"が"手動設定"の時にグレーアウトする。 CJ1では表示しない。
"IP アドレス"	<ul style="list-style-type: none"> "xxx.xxx.xxx.xxx"形式でテキストボックスに入力する。 "xxx"部分は"0"~"255"でなければならない 以下のIPアドレスは入力不可とする "0.0.0.0"~"0.255.255.255" ループバックアドレス("127.0.0.0"~"127.255.255.255") クラスD("224.0.0.0"~"239.255.255.255") クラスE("240.0.0.0"~"255.255.255.255") ディレクティッド・ブロードキャストアドレス("255.255.255.255") 	"TCP/IP 設定"が"自動設定"の時にグレーアウトする。
"サブネットマスク"	<ul style="list-style-type: none"> "xxx.xxx.xxx.xxx"形式でテキストボックスに入力する。 "xxx"部分は"0"~"255"でなければならない 以下のIPアドレスは入力不可とする 非連続マスクビット("255.254.128.0"等) 0.0.0.0 255.255.255.254 255.255.255.255 	"TCP/IP 設定"が"自動設定"の時にグレーアウトする。
"デフォルトゲートウェイ"	<ul style="list-style-type: none"> "xxx.xxx.xxx.xxx"形式でテキストボックスに入力する。 "xxx"部分は"0"~"255"でなければならない 以下のIPアドレスは入力不可とする "0.0.0.0"(未設定の意味で入力は許容するが、表示の際は空欄とする。) "0.0.0.1"~"0.255.255.255" ループバックアドレス("127.0.0.0"~"127.255.255.255") クラスD("224.0.0.0"~"239.255.255.255") クラスE("240.0.0.0"~"255.255.255.255") ディレクティッド・ブロードキャストアドレス("255.255.255.255") 	"TCP/IP 設定"が"自動設定"の時にグレーアウトする。
"DNSサーバー設定"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "自動設定" / "手動設定" "TCP/IP 設定"が"手動設定"のときは"DNSサーバー設定"は"手動設定"のみ選択される。	-
"プライマリ-DNSサーバー"	<ul style="list-style-type: none"> "xxx.xxx.xxx.xxx"形式であること "xxx"部分は"0"~"255"でなければならない ブロードキャストアドレス("255.255.255.255")は入力不可とする ("0.0.0.0")は入力不可とする プライマリ-DNSサーバーが空欄で、セカンダリ-DNSサーバーが入力されている場合はエラーとする。 空文字列入力は可能。 	"DNSサーバー設定"が"自動設定"の時にグレーアウトする。
"セカンダリ-DNSサーバー"	<ul style="list-style-type: none"> "xxx.xxx.xxx.xxx"形式であること "xxx"部分は"0"~"255"でなければならない ブロードキャストアドレス("255.255.255.255")は入力不可とする ("0.0.0.0")は入力不可とする 空文字列入力は可能。 	"DNSサーバー設定"が"自動設定"の時にグレーアウトする。
"DNSホスト名の取得方法"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "自動設定" / "手動設定"	-
"DNSホスト名"	デバイス名を表示する。	-

"DNS ドメイン名の取得方法"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "自動設定" / "手動設定"	-
"DNS ドメイン名"	<ul style="list-style-type: none"> テキストボックスに全体の文字数 2~249 文字（文字列長 1 は不可）で入力する。 ただし、ホスト名と合わせて 251 文字以内で入力する必要があり、これを超える長さの場合は、設定が反映されない。 使用可能文字 "A"~"Z" , "a"~"z" , "0"~"9" , "-" , "." (半角スペースは不可) 先頭に使用できる文字 "A"~"Z" , "a"~"z" ("0"~"9" , "-" , "."は不可) 最後に使用できる文字 "A"~"Z" , "a"~"z" , "0"~"9" ("-" , "."は不可) period(.)で区切られた各ラベルの文字数 1~63 文字 	"DNS ドメイン名取得方法" "が"自動設定"の時にグレーアウトする。
"ネットワーク I/F のアドレスを DNS に登録する"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効" / "無効"	-
"プロキシサーバー設定"	"使用しない" / "使用する"	-
"プロキシサーバー"	IPv4 アドレス形式、もしくは、FQDN 形式で入力する。	"プロキシサーバー設定" "が"使用しない"の時にグレーアウトする。
"プロキシサーバーポート番号"	<ul style="list-style-type: none"> テキストボックスに半角数字で入力する。 値は"0"~"65535"の範囲でなければならない 	"プロキシサーバー設定" "が"使用しない"の時にグレーアウトする。
"プロキシサーバー認証ユーザー名"	<ul style="list-style-type: none"> テキストボックスに 0~255byte の半角文字で入力する。 ASCII 文字コード 0x20~0x7E 	"プロキシサーバー設定" "が"使用しない"の時にグレーアウトする。
"プロキシサーバー認証パスワード"	<ul style="list-style-type: none"> テキストボックスに 0~255byte の半角文字で入力する。 ASCII 文字コード 0x20~0x7E パスワードが空でも"プロキシサーバー設定"が"使用する"となっているときは* (アスタリスク) 10 個を表示する。 	"プロキシサーバー設定" "が"使用しない"の時にグレーアウトする。
"IPv6 設定"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効" / "無効"	-
"IPv6 匿名アドレス"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効" / "無効"	"IPv6 設定" "が"無効"の時にグレーアウトする。
"IPv6 DHCP サーバー設定"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "使用しない" / "使用する"	"IPv6 設定" "が"無効"の時にグレーアウトする。 DHCPv6 機能をサポートしない場合は項目を表示しない。
"IPv6 アドレス"	<p>空入力もしくは IPv6 アドレス形式(prefix 有)で入力する入力する場合は以下のいずれかの形式に従う</p> <ul style="list-style-type: none"> xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx/prefix xxxx は 1 ~4 衔の 16 進数 prefix は 1~128 の 10 進数 アドレス内で 1 箇所のみ 全て 0 で構成される 1 個以上の連続した xxxx を :: として省略できる アドレス部が以下となるアドレスはエラーとする "..:/128" "..1/128" "FF00::/8" IPv6 デフォルトゲートウェイが入力されている場合は入力必須とする 	"IPv6 設定" "が"無効"の時にグレーアウトする。

"IPv6 デフォルトゲートウェイ"	空入力もしくは IPv6 アドレス形式で入力する 入力する場合は以下のいずれかの形式に従う ・ xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx xxxx は 1 ~ 4 行の 16 進数 アドレス内で 1 箇所のみ 全て 0 で構成される 1 個以上の連続した xxxx を :: として省略できる アドレス部が以下となるアドレスはエラーとする "::/128" "::1/128" "FF00::/8"	"IPv6 設定"が"無効"の時に グレーアウトする。
"IPv6 リンクローカルアドレス"	有効なリンクローカルアドレスを表示する。	-
"IPv6 ステートフルアドレス"	有効なステートフルアドレスを表示する。	DHCPv6 機能をサポートしない場合は項目を表示しない。
"IPv6 ステートレスアドレス 1"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	-
"IPv6 ステートレスアドレス 2"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	-
"IPv6 ステートレスアドレス 3"	有効なステートレス自動構成アドレスを表示する。	-
"IPv6 プライマリ-DNS サーバー"	IPv6 アドレス形式で入力する 以下のいずれかの形式 ・ xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx xxxx は 4 行の 16 進数で先頭の 0 は省略可能、ただし最低 1 文字が必要 アドレス内で 1 箇所のみ 全て 0 で構成される 1 個以上の連続した xxxx を :: として省略できる アドレス部が以下となるアドレスはエラーとする "::/128" "::1/128" "FF00::/8" IPv6 プライマリ-DNS サーバーが空欄で、IPv6 セカンダリ-DNS サーバーが入力されている場合はエラーとする。 ・ 空文字列入力は可能。	"IPv6 設定"が"無効"の時に グレーアウトする。
"IPv6 セカンダリ-DNS サーバー"	IPv6 アドレス形式で入力する 以下のいずれかの形式 ・ xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx xxxx は 4 行の 16 進数で先頭の 0 は省略可能、ただし最低 1 文字が必要 アドレス内で 1 箇所のみ 全て 0 で構成される 1 個以上の連続した xxxx を :: として省略できる アドレス部が以下となるアドレスはエラーとする "::/128" "::1/128" "FF00::/8" 他の IPv6DNS サーバーアドレスすでに登録されているアドレスは登録できない ・ 空文字列入力は可能。	"IPv6 設定"が"無効"の時に グレーアウトする。
"省電力(無線 LAN)"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効"/ "無効"	内蔵 Wi-Fi モードであれば、常に表示する。 ドングルモードであれば、ドングル装着中のみ表示し、非装着であれば、非表示とする。

<p>< Wi-Fi Direct 対応機種> "周波数帯(無線 LAN・Wi-Fi Direct)"</p> <p>< Wi-Fi Direct 非対応機種> "周波数帯"</p>	<p>以下の2つを選択するドロップダウンリストを設ける。</p> <p>"自動" / "2.4 GHz" / "5 GHz"</p>	<p>内蔵 Wi-Fi モードの場合は、5GHz 対応の無線チップを搭載する機種であれば表示する。2.4GHz のみ対応の無線チップ搭載機種であれば非表示。</p> <p>ドングルモードであれば、5GHz 対応のドングルを装着中であれば表示する。</p> <p>2.4GHz のみ対応するドングルの装着中や、あるいは、ドングルが非装着であれば、非表示。</p>
"IEEE802.11k/v"	<p>"有効" / "無効"</p>	<p>IEEE802.11k/v/r 機能対応機種で表示。</p> <p>無線 LAN オプションドングル機種である場合、ドングルが本体に挿入されている場合に表示し、非挿入時は非表示化する。</p>
"IEEE802.11r"	<p>"有効" / "無効"</p>	<p>IEEE802.11k/v/r 機能対応機種で表示。</p> <p>無線 LAN オプションドングル機種である場合、ドングルが本体に挿入されている場合に表示し、非挿入時は非表示化する。</p>
"ローミング設定"	<p>フィールド名として表示する固定文字列</p>	<p>ローミング機能対応機種のみ表示する。</p> <p>無線 LAN オプションドングル機種である場合、ドングルが本体に挿入されている場合に表示し、非挿入時は非表示化する。</p>
"ローミング設定"	<p>以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。</p> <p>"有効" / "無効"</p>	<p>ローミング機能対応機種のみ表示する。</p> <p>無線 LAN オプションドングル機種である場合、ドングルが本体に挿入されている場合に表示し、非挿入時は非表示化する。</p>
"アクセスポイント密度"	<p>以下の2つを選択するドロップダウンリストを設ける。</p> <p>"Low" / "Medium" / "High"</p>	<p>無線 LAN オプションドングル機種である場合、ドングルが本体に挿入されている場合に表示し、非挿入時は非表示化する。</p> <p>"ローミング設定"が"無効"の時にグレーアウトする。</p>

10.3.1.1.3 ボタン

ネットワーク基本情報を設定するためのボタンを設ける。

Table 10-19 ボタン

項目	説明
"次へ"	入力確認ページへ遷移する。

"次へ"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーポップアップウィンドウを出す。

複数の入力値エラーが発生した場合は、より優先度の高いものが表示される。（下記表の順番で上にあるものが下にあるものよりも優先度が高い）

Table 10-20 エラーポップアップ

項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。"	テキストボックスへの入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は 1 行に 1 項目表示する。
"IP アドレスとサブネットマスクの組合せが不正です。" "IP アドレスのホストアドレス部のビットがすべて 1 のため設定できません。"	IP アドレスのホスト部が全ビット 1 の場合に表示する。
"IP アドレスとサブネットマスクの組合せが不正です。" "IP アドレスのホストアドレス部のビットがすべて 0 のため設定できません。"	IP アドレスのホスト部が全ビット 0 の場合に表示する。
"デフォルトゲートウェイとサブネットマスクの組合せが不正です。" "デフォルトゲートウェイのホストアドレス部のビットがすべて 1 のため設定できません。"	デフォルトゲートウェイのホスト部が全ビット 1 の場合に表示する。
"デフォルトゲートウェイとサブネットマスクの組合せが不正です。" "デフォルトゲートウェイのホストアドレス部のビットがすべて 0 のため設定できません。"	デフォルトゲートウェイのホスト部が全ビット 0 の場合に表示する。
"IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの組合せが不正です。" "IP アドレスとデフォルトゲートウェイはサブネットマスクで定義される同一のネットワークセグメントにする必要があります。"	デフォルトゲートウェイの設定があり、かつ、サブネットマスクが表すネットワーク部が IP アドレスとデフォルトゲートウェイで異なる場合に表示する。

10.3.1.2 入力確認ページ

10.3.1.2.1 イメージ図



Figure 10-7 入力確認ページ

10.3.1.2.2 入力情報

Table 10-21 入力情報

項目	説明
"以下の内容で設定します。"	左記の文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。
"※ 設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。設定を変更した直後はネットワーク接続できません。"	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。

10.3.1.2.3 ボタン

ネットワーク基本設定ページで表示した値でネットワーク設定を行うためのボタンを設ける。設定ボタンを押下することで設定結果ページを表示する。

Table 10-22 ボタン

項目	説明
"設定"	入力確認ページで表示した値でネットワーク設定を行うためのボタンを設ける。ボタンを押下することで設定結果ページへ遷移する。
"戻る"	ネットワーク基本設定ページへ戻るためのボタンを設ける。ボタンを押下することでネットワーク基本設定ページへ遷移する。

10.3.1.3 設定結果ページ

"OK"ボタンを押すと結果ページが表示される。設定成功時に表示されるページと設定失敗時に表示されるページを以下に示す。

10.3.1.3.1 イメージ図



Figure 10-8 設定結果ページ

10.3.1.3.2 設定結果

Table 10-23 設定結果

項目	説明
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。" "再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザに 「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"	ネットワーク基本情報の設定に成功したときに表示する。
"設定に失敗しました。"	ネットワーク基本情報の設定に失敗したときに表示する。

10.3.2 無線 LAN – Wi-Fi

無線 LAN 対応機種のみ表示する。

10.3.2.1 トップページ

10.3.2.1.1 イメージ図

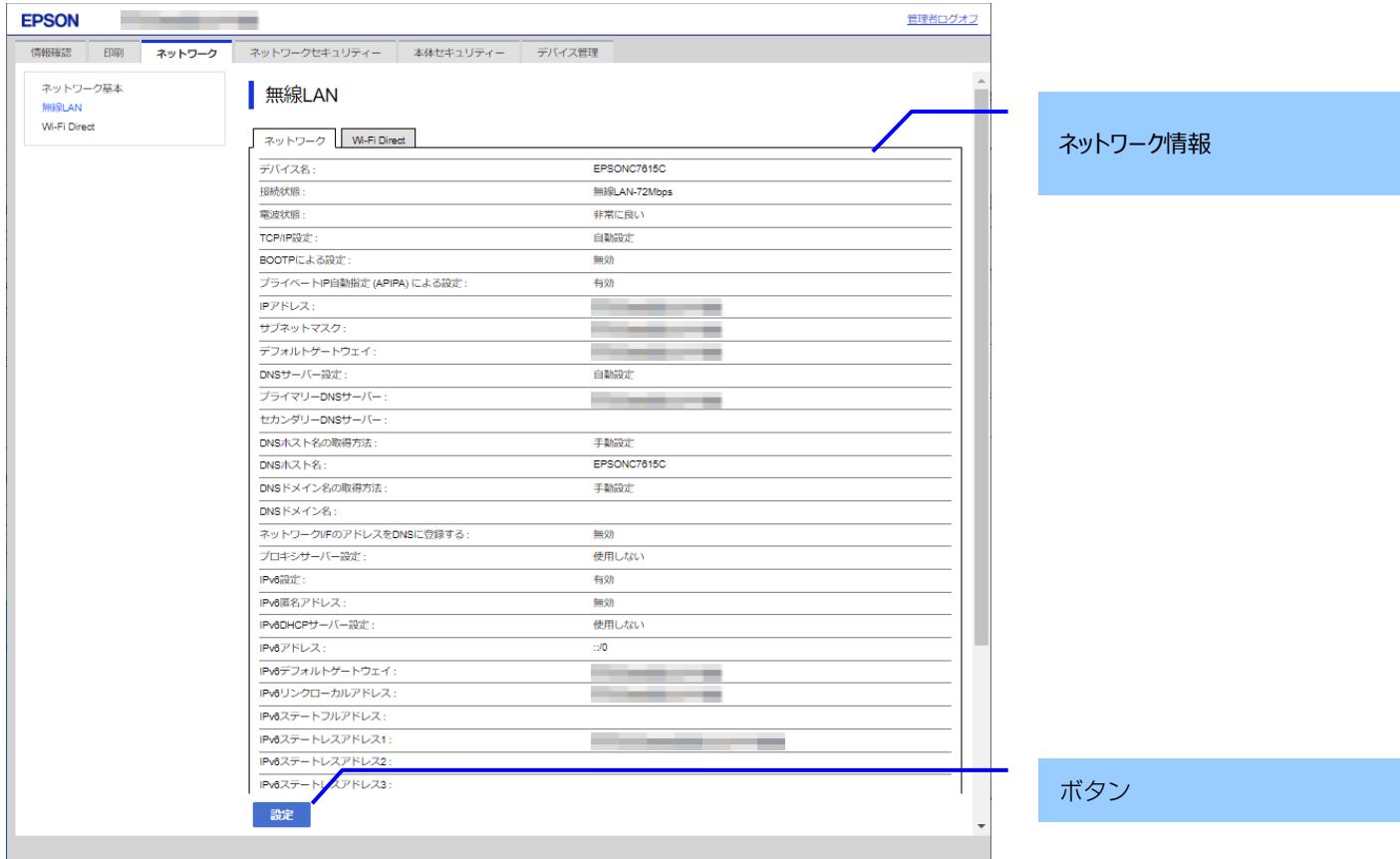


Figure 10-9 無線 LAN 設定トップページ

10.3.2.1.2 ネットワーク情報

情報確認タブのネットワーク情報と同内容を表示する。

10.3.2.1.3 ボタン

無線 LAN 設定の開始、無効にするためのボタンを表示する。

Table 10-24 ボタン

項目	説明	有効条件
"設定"	無線 LAN 設定を開始するためのボタン。ボタンを押下することで SSID 探索ページに遷移する。	—

10.3.2.2 SSID 探索ページ

10.3.2.2.1 イメージ図

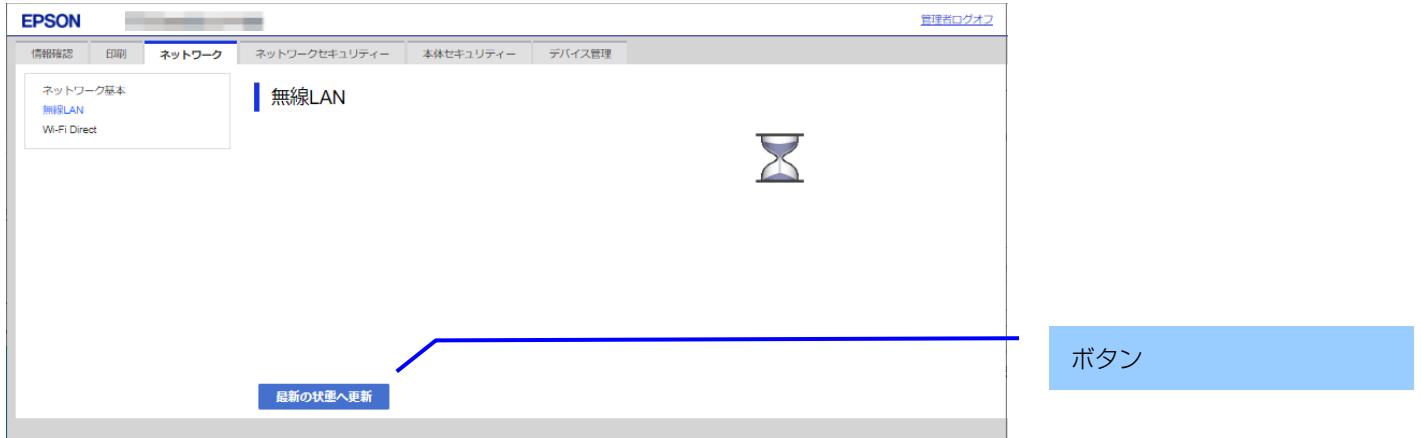


Figure 10-10 SSID 探索ページ

10.3.2.2.2 ボタン

Table 10-25 ボタン

項目	説明
"最新の状態へ更新"	ボタン押下により SSID 探索が完了していた場合は設定入力ページを、未完了の場合は SSID 探索ページへ遷移する。

10.3.2.3 設定入力ページ

SSID 探索ページより、"最新の状態へ更新"ボタンの押下、あるいは定期的な探索結果確認により SSID の探索が完了した時点で、設定入力ページに遷移する。設定入力ページは以下のようになる。ラジオボタンにて、探索された SSID、あるいは手動設定の SSID の中から設定する SSID を選択する。

10.3.2.3.1 イメージ図

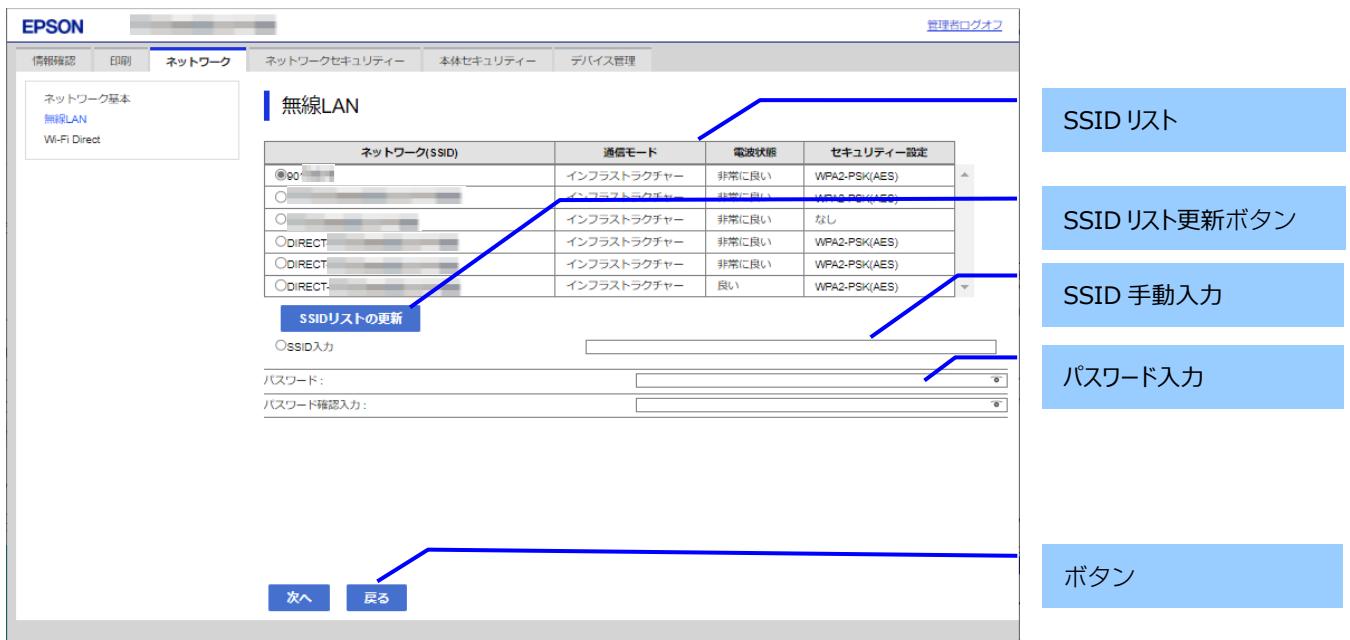


Figure 10-11 設定入力ページ

10.3.2.3.2 SSID リスト

SSID リストから設定する SSID を選択する。SSID リストは以下のように構成され、信号強度の強い順に、インフラストラクチャモードで接続できる SSID を最大 50 個まで表示する。セキュリティー設定が“WPA2/WPA3-Enterprise”的 SSID はここでは表示しない。

Table 10-26 SSID リスト

項目	説明	条件
"ネットワーク (SSID)"	SSID 名を表示する。	-
"通信モード"	通信方法を表示する。表示される文字列は“インフラストラクチャー”である。	-
"電波状態"	電波状態を表示する。表示される文字列は “非常に良い” / “良い” / “弱い” / である。	Wi-Fi チップ搭載機種のみ
"セキュリティー設定"	セキュリティーの方式を表示する。 表示される文字列は "なし" / "WEP-64bit(40bit)" / "WEP-128bit(104bit)" / "WPA-PSK(TKIP)" / "WPA2-PSK(AES)" / "WPA3-SAE(AES)" / "不定"である。 現時点ではセキュリティー設定が WEP-64bit か WEP-128bit のアクセスポイントを探査した場合、"不定"を表示する。(64bit か 128bit かがプリンターで判別できないため)	-

10.3.2.3.3 SSID 手動入力

手動入力した SSID に対する設定を行う。

Table 10-27 SSID 手動入力

項目	説明
"SSID 入力"	SSID 手動入力用のテキストボックスを設ける。入力可能文字は、1~32 文字の範囲で、半角英数字、半角記号（ASCII コードでは 0x20-0x7E の範囲）である。

10.3.2.3.4 SSID リスト更新ボタン

SSID リストを更新するためのボタンを設ける。

Table 10-28 SSID リスト更新ボタン

項目	説明
"SSID リストの更新"	ボタンを押下することで SSID 探索ページを表示する。

10.3.2.3.5 パスワード入力

指定した SSID で接続するためのパスワードを入力する。

Table 10-29 パスワード入力

項目	説明
"パスワード"	パスワードを入力するテキストボックスを設ける。以下の文字をテキストボックスに 0、5、8~63 文字の範囲で入力可能である（ASCII コードで 0x20-0x7E の範囲）。ただし入力時の表示は“*”でマスクする。
"パスワード確認入力"	パスワードと同じ。

10.3.2.3.6 ボタン

設定入力ページで入力された値で無線 LAN 設定を進める、あるいは操作を戻すためのボタンを設ける。

Table 10-30 ボタン

項目	説明
"次へ"	設定入力ページで入力された値で無線 LAN 設定を進めるためのボタン。ボタン押下でも設定は反映されず、入力確認ページへ遷移する。
"戻る"	設定入力ページで入力された値を破棄し、無線 LAN 設定トップページへ遷移するためのボタン。

"設定"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーpopupアップウンドウを出す。

Table 10-31 エラーpopupアップ

項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。"	SSID、パスワード、パスワードの確認の入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は1行に1項目表示する。
"パスワードと確認の入力が一致しません。"	パスワードと確認用のパスワードが一致しない場合に表示する。

10.3.2.4 入力確認ページ

10.3.2.4.1 イメージ図

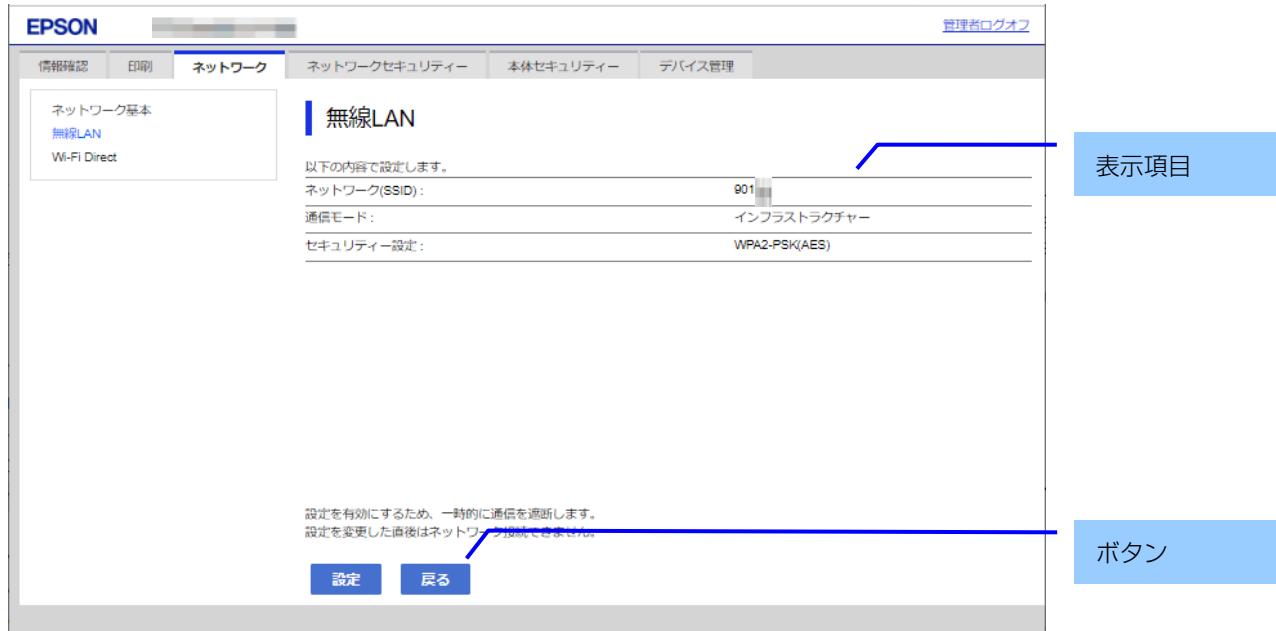


Figure 10-12 入力確認ページ

10.3.2.4.2 表示項目

Table 10-32 表示項目

項目	説明
"以下の内容で設定します。"	左記の文言をページのトップに表示する。
"ネットワーク(SSID)"	設定入力ページで入力された値を表示する。
"通信モード"	設定入力ページで入力された値を表示する。
"セキュリティ設定"	設定入力ページで入力された値を表示する。
"※ 設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。設定を変更した直後はネットワーク接続できません。"	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。

"Security Level"は、設定入力ページでの入力値により表示する値が決定される。

Table 10-33 セキュリティー設定の値

設定入力ページでの入力値			表示されるセキュリティー設定
SSID	選択 SSID のセキュリティー設定	セキュリティーキー長	
"SSID 入力"を選択	-	0	"なし"
		5	"WEP-64bit(40bit)"
		その他	"不定"
リストから選択	"不定"	0	"なし"
		10 (16進数)	"WEP-64bit(40bit)"
		26 (16進数)	"WEP-128bit(104bit)"
		5 (16進数以外)	"WEP-64bit(40bit)"
		13 (16進数以外)	"WEP-128bit(104bit)"
		その他	"不定"
	その他	-	選択したセキュリティー設定

10.3.2.4.3 ボタン

入力確認ページで表示した値で無線 LAN 設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-34 ボタン

項目	説明
"設定"	入力確認ページで表示した値で無線 LAN 設定を行うためのボタン。ボタンを押下することで結果表示のページへ遷移する。
"戻る"	設定入力ページへ戻るためのボタン。ボタンを押下することで設定入力ページへ遷移する。

10.3.2.5 結果表示ページ

10.3.2.5.1 イメージ図

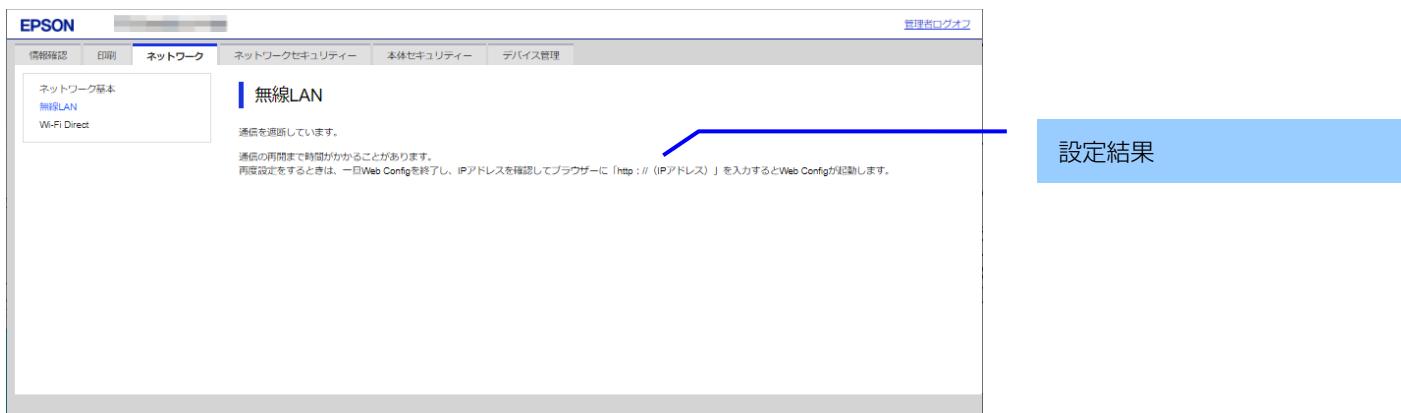


Figure 10-13 結果表示ページ

10.3.2.5.2 設定結果

Table 10-35 設定結果

項目	説明
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。"	設定成功時に表示する。
"再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザーに「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"	
"設定に失敗しました。"	設定失敗時に表示する。

10.3.3 有線 LAN

有線 LAN 対応機種のみ表示する。

10.3.3.1 トップページ

10.3.3.1.1 イメージ図

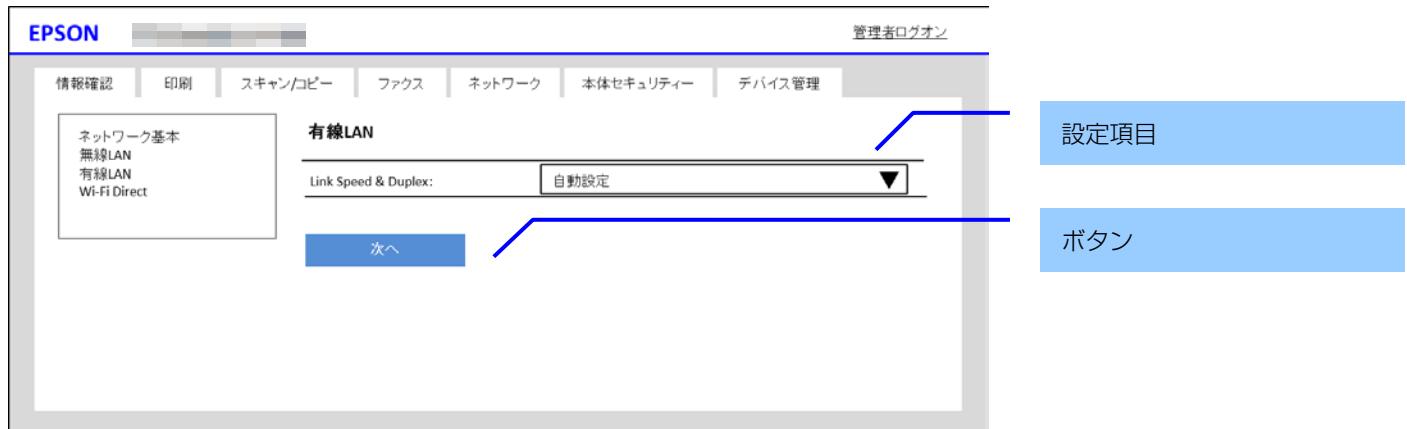


Figure 10-14 トップページ

10.3.3.1.2 設定項目

以下に有線 LAN 設定の設定項目について記載する。

Table 10-36 設定項目

項目	説明	有効条件
"Link Speed & Duplex"	以下を選択するドロップダウンリストを設ける。 "自動設定" / "10BASE-T Half Duplex" / "10BASE-T Full Duplex" /"100BASE-TX Half Duplex" / "100BASE-TX Full Duplex" / "100BASE-TX Auto"	"100BASE-TX Auto"は SoC12H 機種のみ
"IEEE 802.3az"	"オン" / "オフ"をラジオボタンで選択する	-

10.3.3.1.3 ボタン

以下に有線 LAN 設定のボタンについて記載する。

Table 10-37 ボタン

項目	説明
"次へ"	ボタンを押下することで入力確認ページへ遷移する。

10.3.3.2 入力確認ページ

10.3.3.2.1 イメージ図

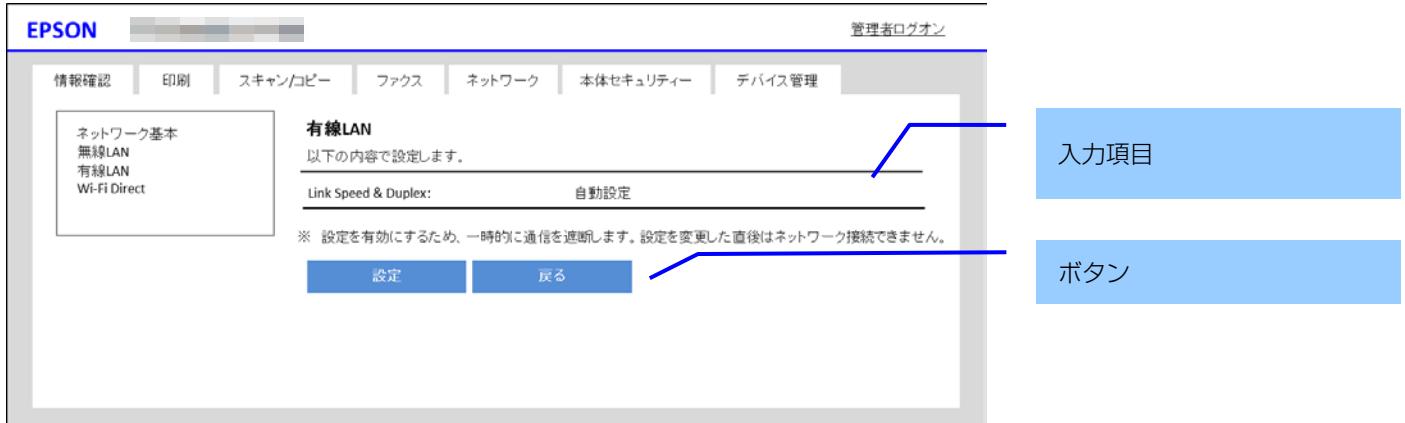


Figure 10-15 入力確認ページ

10.3.3.2.2 入力情報

Table 10-38 入力情報

項目	説明
"以下の内容で設定します。"	左記の文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。
"※ 設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。設定を変更した直後はネットワーク接続できません。"	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。

10.3.3.2.3 ボタン

有線 LAN 設定ページで表示した値で有線 LAN 設定を行うためのボタンを設ける。設定ボタンを押下することで設定結果ページを表示する。

Table 10-39 ボタン

項目	説明
"設定"	入力確認ページで表示した値で有線 LAN 設定を行うためのボタンを設ける。ボタンを押下することで設定結果ページへ遷移する。
"戻る"	有線 LAN 設定ページへ戻るためのボタンを設ける。ボタンを押下することで有線 LAN 設定ページへ遷移する。

10.3.3.3 設定結果ページ

設定ボタンを押すと結果ページが表示される。設定成功時に表示されるページと設定失敗時に表示されるページを以下に示す。

10.3.3.3.1 イメージ図

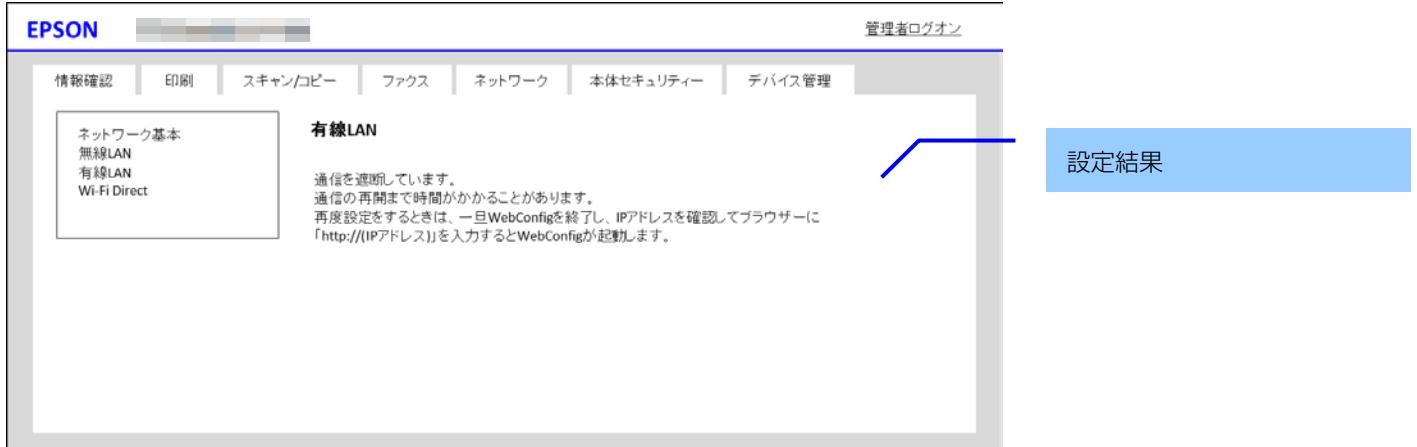


Figure 10-16 設定結果ページ

10.3.3.3.2 設定結果

Table 10-40 設定結果

項目	説明
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。" "再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザーに 「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"	設定に成功したときに表示する。
"設定に失敗しました。"	ネットワーク基本情報の設定に失敗したときに表示する。

10.3.4 Wi-Fi Direct

無線 LAN 対応機種のみ表示する。

Wi-Fi Direct の設定では、Wi-Fi Direct ネットワークの情報確認と、Wi-Fi Direct に関する設定ができる。

10.3.4.1 トップページ

10.3.4.1.1 イメージ図

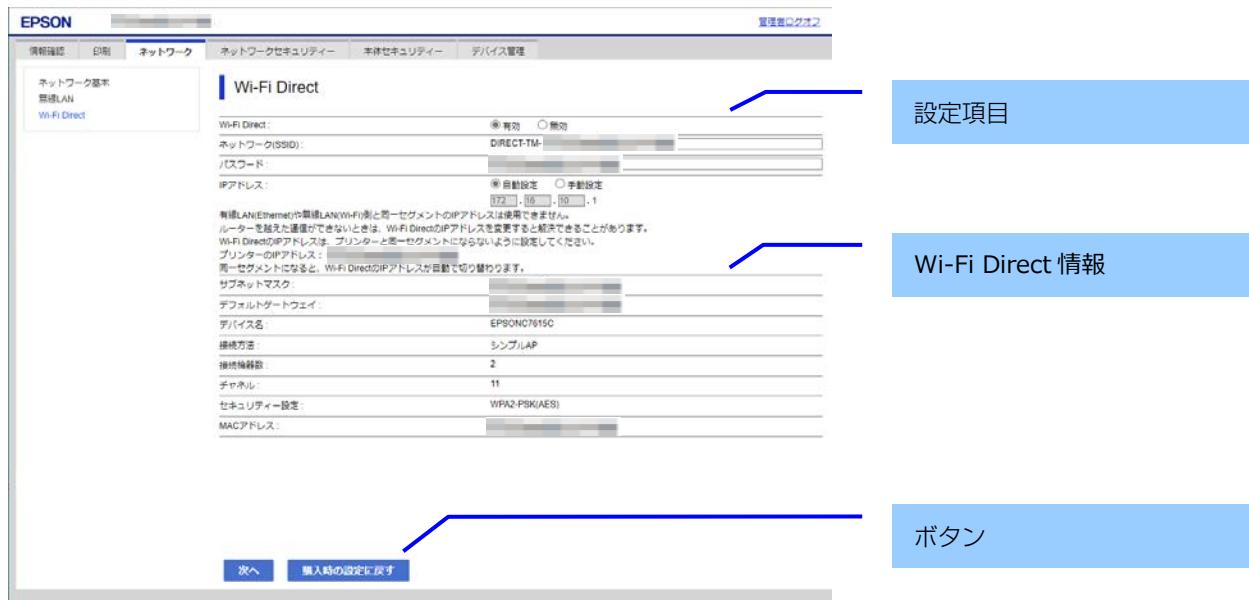


Figure 10-17 トップページ

10.3.4.1.2 設定項目

Wi-Fi Direct 設定ページでは、以下の設定が可能である。

Table 10-41 設定項目

項目	説明	有効条件
"Wi-Fi Direct"	<p>以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。</p> <p>"有効" / "無効"</p> <p>"無効"を選択した場合は、Wi-Fi Direct (シンプル AP)を無効にする。</p> <p>"有効"が選択された場合は、Wi-Fi Direct(シンプル AP)を有効にする。</p>	-
"ネットワーク(SSID)"	<p>テキストボックスに0~22文字を0x20-0x7FのASCII文字を入力する。</p> <p>"DIRECT-TM-"を固定文字列としてテキストボックスの前に表示し、 "DIRECT-TM-" + 本テキストボックスに入力された文字列がSSID名となる。</p>	Wi-Fi チップ搭載機種のみ
"パスワード"	<p>Wi-Fi Direct のパスワードを設定する。</p> <p>テキストボックスにASCII文字列を8~22文字の範囲で入力できる。</p>	Wi-Fi チップ搭載機種以外は、"Wi-Fi Direct"が"有効"が選択されていれば有効であり、LCDなし機種ではWi-Fi Direct機能対応機種のみ表示される。

<p>"IP アドレス"</p>	<p>以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "自動設定" / "手動設定"</p> <p>IP アドレスを入力するためのテキストボックスを表示する。 IP アドレスのバイト区切りを10進数で入力するための3つの入力欄とし、 最後の1バイトは"1"を固定表示する。それぞれの入力欄の間には"."を表示する。 Wi-Fi Direct が有効の時は、動作値が初期表示される。無効の時は、IP アドレスが手動設定であれば設定値が初期表示され、それ以外は、空欄表示となる。</p> <p>それぞれのテキストボックスは0~255の範囲で入力できるが、 IP アドレスの入力値として以下の入力チェックを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下のIPアドレスは入力不可とする "0.0.0.1"~"0.255.255.1" ループバックアドレス ("127.0.0.1"~"127.255.255.1") クラス D ("224.0.0.1"~"239.255.255.1") クラス E ("240.0.0.1"~"255.255.255.1") <p>また、有線または無線 LAN(Wi-Fi)側のIPアドレスとの衝突をチェックする。エラーの場合はその旨ポップアップ表示する。ただし、未接続のときはチェックしない。 (有線または無線 LAN 側の IP アドレスの2バイト目までをチェックする。)</p>	<p>"Wi-Fi Direct"が"無効"のときはグレーアウトする。 テキストボックスは、自動設定の場合はグレーアウトする。</p>
<p>"有線 LAN(Ethernet)や無線 LAN(Wi-Fi)側と同一セグメントのIPアドレスは使用できません。" "ルーターを越えた通信ができないときは、Wi-Fi Direct の IP アドレスを変更すると解決することができます。¥nWi-Fi Direct の IP アドレスは、プリンターと同一セグメントにならないように設定してください。¥n プリンターの IP アドレス : %s¥n 同一セグメントになると、Wi-Fi Direct の IP アドレスが自動で切り替わります。"</p>	<p>IP アドレスの設定項目内に表示される固定文字列。 "%s"には現在の有線 LANor 無線 LAN(Wi-Fi)の IP アドレスを表示する。</p>	<p>-</p>

10.3.4.1.3 Wi-Fi Direct 情報

情報確認タブのネットワーク情報の Wi-Fi Direct 情報の記載と同じ内容を表示する。

10.3.4.1.4 ボタン

設定を反映、及び、プリンターに登録されている無線機器の登録所を削除するためのボタンを設ける。

Table 10-42 ボタン

項目	説明	有効条件
"次へ"	設定を開始するためのボタン。 ボタンが押されると入力確認ページに遷移する。	-
"購入時の設定に戻す"	"購入時の設定に戻しますか？" の設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。 " 設定を変更した直後はネットワーク接続できません。 " の警告ポップアップを表示し、OK ボタンを押下されたら、Wi-Fi Direct 設定を購入時の状態に戻す。 キャンセルボタンを押下されたら、警告ポップアップの表示を消すのみで何もしない。	Wi-Fi チップ搭載機種のみ表示される。

"次へ"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラー ポップアップ ウィンドウを出す。

Table 10-43 エラー ポップアップ

表示項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。"	設定項目について、入力された値が間違っている場合に表示する。

10.3.4.2 入力確認ページ

10.3.4.2.1 イメージ図

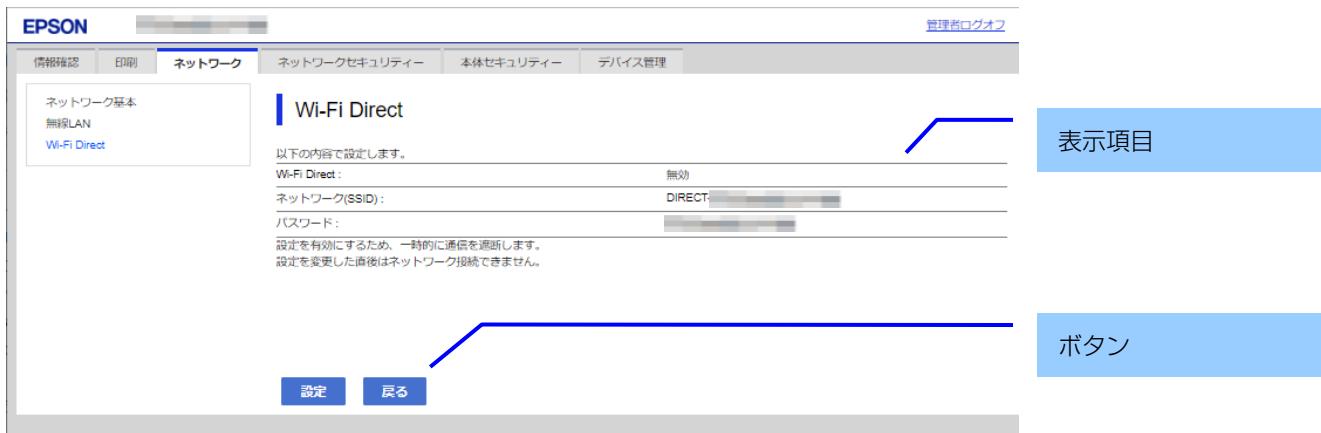


Figure 10-18 入力確認ページ

10.3.4.2.2 表示項目

"以下の内容で設定します。"という文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。また設定項目の最下部に以下の注意文を表示する。"設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。設定を変更した直後はネットワーク接続できません。"

10.3.4.2.3 ボタン

入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-44 ボタン

項目	説明
"設定"	入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタン。ボタンを押下することで設定結果表示のページへ遷移する。
"戻る"	設定入力ページへ戻るためのボタン。ボタンを押下することで設定入力ページへ遷移する。

10.3.4.3 設定結果ページ

設定ボタンを押した際、結果ページが表示される。プリンターの無線 LAN モードの設定が IEEE802.11g の場合はエラーページを表示する。また、"削除"ボタン押下により削除結果表示のページに遷移する。

10.3.4.3.1 イメージ図

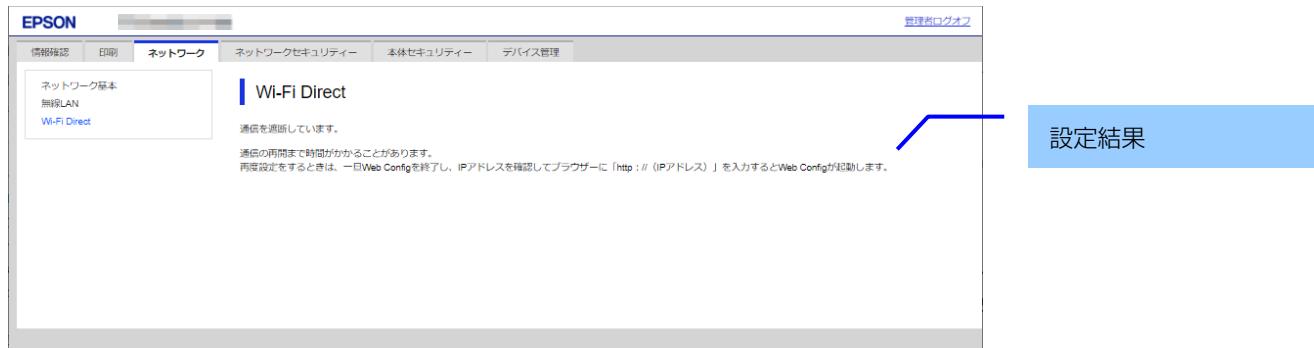


Figure 10-19 設定結果ページ

10.3.4.3.2 設定結果

Table 10-45 設定結果

項目	説明
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。" "再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザに「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"	設定に成功したときに表示する。
"設定が終了しました。"	削除成功時に表示する。

10.4 ネットワークセキュリティ

10.4.1 プロトコル

10.4.1.1 トップページ

10.4.1.1.1 イメージ図

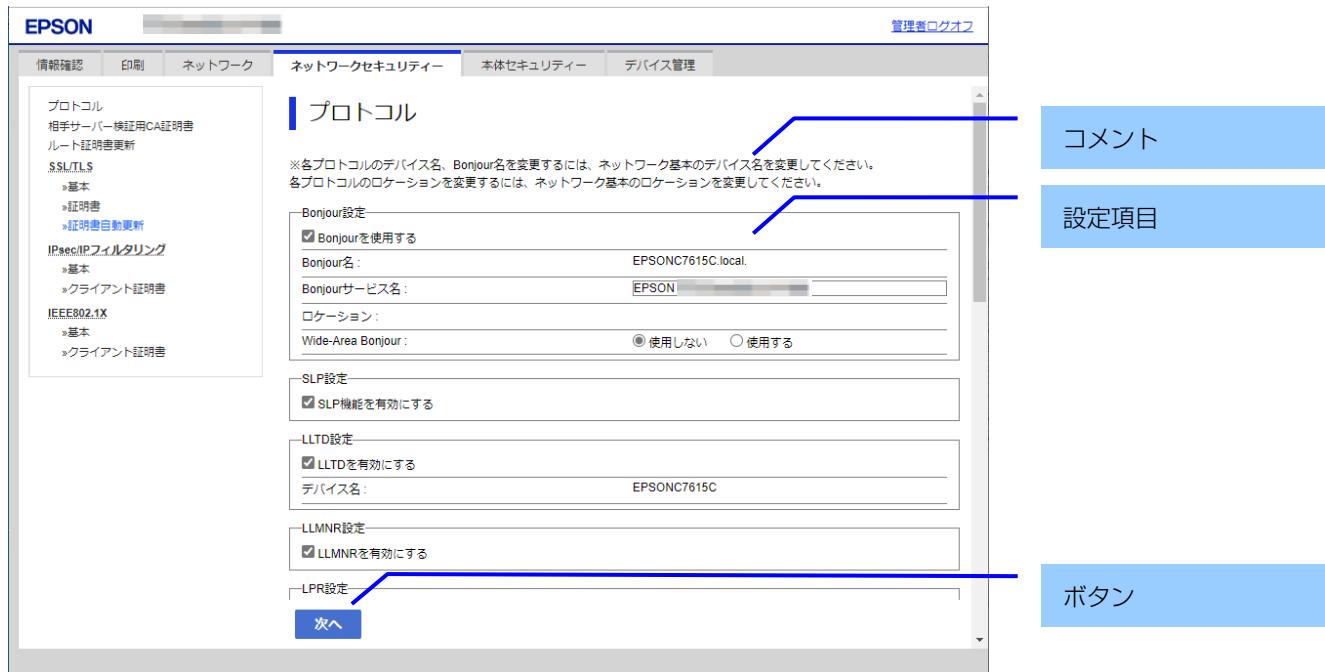


Figure 10-20 トップページ

10.4.1.1.2 コメント

Table 10-46 コメント

コメント	説明
"IP トラブル※ 各プロトコルのデバイス名、Bonjour 名を変更するには、ネットワーク基本のデバイス名を変更してください。¥n 各プロトコルのロケーションを変更するには、ネットワーク基本のロケーションを変更してください。"	固定文字列

10.4.1.1.3 設定項目

Table 10-47 設定項目

項目	説明	有効条件
"Bonjour 設定"	タイトル	-
"Bonjour を使用する"	チェックボックスで Bonjour の使用と未使用の切り替えを可能にする。 チェック時は使用を意味する。	-
"Bonjour 名"	Bonjour 名として"デバイス名" + ".local."を表示する読み出し専用のテキストボックスとする デバイス名はネットワーク基本設定から変更可能	Read only
"Bonjour サービス名"	Bonjour のサービス名の文字列を設定するテキストボックスとする。 最大 41Byte の英数字記号 (0x20-0x7E) であること	"Bonjour を使用する"がチェックされているときのみ入力可能にする。
"ロケーション"	Bonjour のロケーション文字列を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。	Read only

"最優先プロトコル"	"Port9100" / "IPP"をドロップダウンリストから選択する。	RAW(Port9100)かつ IPP 対応機種のみ表示。 "Bonjour を使用する"がチェックされているときのみ入力可能にする。
"iBeacon 設定"	タイトル	iBeacon 対応機種のみ表示
"iBeacon 対応機器からの探索を有効にする"	チェックボックスで iBeacon 対応機器からの探索の有効と無効の切り替えを可能にする。 チェック時は有効を意味する。	iBeacon 対応機種のみ表示
"SLP 設定"	タイトル	-
"SLP 機能を有効にする"	チェックボックスで SLP の有効と無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	-
"WSD 設定"	タイトル	-
"WSD を有効にする"	チェックボックスで WSD の有効と無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	-
"スキャンタイムアウト(秒)"	テキストボックスで WSD(スキャン)通信のタイムアウトの設定を可能にする。(3-3600)秒	WSD が有効のときのみ入力可能にする。 WSD スキャン対応機種のみ項目を表示する。
"デバイス名"	WSD のデバイス名を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。 本値は、ネットワーク基本設定から変更可能	Read only
"口けーション"	WSD の口けーション文字列を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。 本値は、ネットワーク基本設定から変更可能	Read only
"LLTD 設定"	タイトル	-
"LLTD を有効にする"	チェックボックスで LLTD の有効と無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	-
"デバイス名"	LLTD のデバイス名を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。 本値は、ネットワーク基本設定から変更可能	Read only
"LLMNR 設定"	タイトル	-
"LLMNR を有効にする"	チェックボックスで LLMNR の有効と無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	-
"LPR 設定"	タイトル	LPR 対応機種のみ表示。
"LPR ポートからの印刷を許可する"	チェックボックスで LPR ポートからの印刷の許可と非許可の切り替えを可能にする。チェック時は許可を意味する。	LPR 対応機種のみ表示。
"印刷タイムアウト(秒)"	テキストボックスで LPR 通信のタイムアウトの設定を可能にする。(0-3600)秒	LPR 対応機種のみ表示。 LPR ポート印刷が許可されている場合のみ有効とする。
"RAW(Port9100)設定"	タイトル	RAW(Port9100)対応機種のみ表示。
"RAW ポート(Port9100)からの印刷を許可する"	チェックボックスで RAW(Port9100)からの印刷の許可と非許可の切り替えを可能にする。チェック時は許可を意味する。	RAW(Port9100)対応機種のみ表示。
"印刷タイムアウト(秒)"	テキストボックスで RAW(Port9100)通信のタイムアウトの設定を可能にする。(0-3600)秒	RAW(Port9100)対応機種のみ表示。 RAW(Port9100)印刷が許可されている場合のみ有効とする。

"RAW (任意ポート) 設定"	タイトル	RAW (任意ポート) 対応機種のみ表示。
"RAW (任意ポート) からの印刷を許可する"	チェックボックスで RAW (任意ポート) からの印刷の許可の切り替えを可能にする。チェック時は許可を意味する。	RAW (任意ポート) 対応機種のみ表示。
"ポート番号"	テキストボックスでポート番号を設定する。 1024 – 65535 (9100、1865、2968 を除く)	RAW (任意ポート) 対応機種のみ表示。 "RAW (任意ポート) 印刷"が許可の場合のみ有効。
"印刷タイムアウト (秒)"	テキストボックスで RAW (任意ポート) 通信のタイムアウトの設定を可能にする。(0-3600 秒)	RAW (任意ポート) 対応機種のみ表示。 "RAW (任意ポート) 印刷"が許可の場合のみ有効。
"IPP 設定"	タイトル	IPP 対応機種のみ表示。
"IPP を有効にする"	チェックボックスで IPP の有効と無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	IPP 対応機種のみ表示。
"非セキュア通信を許可する"	"許可する"/"許可しない"が選べるラジオボタン。	IPP 対応機種のみ表示。
"通信タイムアウト(秒)"	テキストボックスで IPP ポート通信のタイムアウトの設定を可能にする。(3-3600)秒	IPP 対応機種のみ表示。 IPP が有効のときのみ入力可能にする。
"IPP 印刷時に PIN コードを必須とする"	"はい"/"いいえ"が選べるラジオボタン。	IPP 対応機種のみ表示。 IPP が有効のときのみ入力可能にする。 PIN 印刷対応機種のみ表示。
"URL(ネットワーク)"	IPP の URL 文字列を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。 http://xxx.xxx.xxx.xxx:yyy/ipp/print と http S ://xxx.xxx.xxx.xxx:yyy/ipp/print を併記する。 "xxx.xxx.xxx.xxx" は、 IPv4 アドレス、 "yyy" はポート番号、 "ipp/print" は、 IPP Printer Name の値が反映される。	IPP 対応機種のみ表示。 有線 LAN、あるいは無線 LAN で接続されている場合のみ有効とする。
"URL(Wi-Fi Direct)"	IPP の URL 文字列 (Wi-Fi Direct 側) を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。 http://xxx.xxx.xxx.xxx:yyy/ipp/print と http S ://xxx.xxx.xxx.xxx:yyy/ipp/print を併記する。 "xxx.xxx.xxx.xxx" は、 IPv4 アドレス、 "yyy" はポート番号、 "ipp/print" は、 IPP Printer Name の値が反映される。	IPP 対応機種のみ表示。 Wi-Fi Direct が接続されている場合のみ有効とする。
"プリンターナンバーリスト"	IPP のプリンターナンバーリストを表示する読み出し専用のテキストボックスとする。	Read only IPP 対応機種のみ表示。
"ロケーション"	IPP のロケーション文字列を表示する読み出し専用のテキストボックスとする。 本値は、ネットワーク基本設定から変更可能	Read only IPP 対応機種のみ表示。
"SNMPv1/v2c 設定"	タイトル	SNMPv3 サポート機種のみ表示。
"SNMPv1/v2c を有効にする"	チェックボックスで有効、無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	SNMPv3 サポート機種、かつ、SNMPv1/v2c 個別設定機能非サポート機種で表示する。

"アクセス権限"	"読み込み専用" / "読み書き可能"をドロップダウンリストから選択する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。SNMPv1/v2cの有効にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"コミュニティ名(読み込み専用)"	テキストボックスに0~32文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。SNMPv1/v2cの有効にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"コミュニティ名(読み書き可能)"	テキストボックスに0~32文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。SNMPv1/v2cの有効にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"IP トラップ1"	以下の4項目をまとめるフィールドのタイトル。	SIDM 機種のみ表示
"IP トラップ1を有効にする"	チェックボックスで有効、無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	SIDM 機種のみ表示
"アドレス"	IPv4 アドレスをテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"コミュニティ名"	テキストボックスに0~32文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。	SIDM 機種のみ表示
"ポート番号"	0~65535 の値をテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"IP トラップ2"	以下の4項目をまとめるフィールドのタイトル。	SIDM 機種のみ表示
"IP トラップ2を有効にする"	チェックボックスで有効、無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	SIDM 機種のみ表示
"アドレス"	IPv4 アドレスをテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"コミュニティ名"	テキストボックスに0~32文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。	SIDM 機種のみ表示
"ポート番号"	0~65535 の値をテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"IP トラップ3"	以下の4項目をまとめるフィールドのタイトル。	SIDM 機種のみ表示
"IP トラップ3を有効にする"	チェックボックスで有効、無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	SIDM 機種のみ表示
"アドレス"	IPv4 アドレスをテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"コミュニティ名"	テキストボックスに0~32文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。	SIDM 機種のみ表示
"ポート番号"	0~65535 の値をテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"IP トラップ4"	以下の4項目をまとめるフィールドのタイトル。	SIDM 機種のみ表示
"IP トラップ4を有効にする"	チェックボックスで有効、無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	SIDM 機種のみ表示
"アドレス"	IPv4 アドレスをテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"コミュニティ名"	テキストボックスに0~32文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。	SIDM 機種のみ表示
"ポート番号"	0~65535 の値をテキストボックスで入力する。	SIDM 機種のみ表示
"SNMPv3 設定"	タイトル	SNMPv3 サポート機種のみ表示。
"SNMPv3 を有効にする"	チェックボックスで有効、無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。
"ユーザー名"	テキストボックスに1~32byte の範囲で UTF-8 文字列を入力する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。SNMPv3 の有効にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。

"認証設定"	タイトル	SNMPv3 サポート機種のみ表示。
"アルゴリズム"	認証アルゴリズムを選択する。 "MD5" / "SHA-1"をドロップダウンリストから選択する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。SNMPv3 の有効にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"パスワード"	認証パスワードを入力する。 テキストボックスに8~32byte の範囲で ASCII 文字列を入力する。入力時の表示はマスクする。 パスワードが空で設定されているときに* (アスタリスク) 10 個で入力された場合は設定に失敗する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。SNMPv3 の有効にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"パスワード確認入力"	"パスワード"と同様	"パスワード"と同様
"暗号化設定"	タイトル	SNMPv3 サポート機種のみ表示。
"アルゴリズム"	暗号化アルゴリズムを選択する。 "DES" / "AES-128"をドロップダウンリストから選択する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。SNMPv3 の有効にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"パスワード"	暗号化パスワードを入力する。 テキストボックスに8~32byte の範囲で ASCII 文字列を入力する。入力時の表示はマスクする。 パスワードが空で設定されているときに* (アスタリスク) 10 個で入力された場合は設定に失敗する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。SNMPv3 の有効にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"パスワード確認入力"	"パスワード"と同様	"パスワード"と同様
"コンテキスト名"	テキストボックスに0~32byte の範囲で UTF-8 文字列を入力する。	SNMPv3 サポート機種のみ表示。SNMPv3 の有効にチェックがついているときに有効。無効時は現在の設定を表示したうえでグレーアウト。
"ePOS-Print"	タイトル	ePOS-Print Lite 対応機種で表示する。
"ePOS-Print を有効にする"	チェックボックスで有効と無効の切り替えを可能にする。チェック時は有効を意味する。	ePOS-Print Lite 対応機種で表示する。
"Version"	ePOS-Print のバージョンをテキストで表示する。	ePOS-Print Lite 対応機種で表示する。
"Device ID"	テキストボックスに1~30 文字の範囲で、以下の ASCII 文字列を入力できる。 A-Z, a-z, 0-9, -(ハイフン), _(アンダースコア), .(ピリオド)	ePOS-Print Lite 対応機種で表示する。"ePOS-Print を有効にする"がチェックされているときに有効となる。

10.4.1.1.4 ボタン

入力を確認するためのボタンを設ける。

Table 10-48 ボタン

項目	説明
"次へ"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。 ボタンが押されると入力確認ページに遷移する。

"次へ"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-49 エラーポップアップ

表示項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。" "-WSD 設定 > タイムアウト"	タイムアウトの設定項目について、入力された値が間違っている場合に表示する。表示形式は「タイトル > 項目名」とし、1行につき1項目表示する。
"パスワードと確認入力の値が一致しません。" "-SNMPv3 設定 > 認証設定"	パスワードとパスワードの確認の入力した値が一致しない場合に表示する。表示形式は「タイトル > タイトル」とし、1行につき1項目表示する。

10.4.1.2 入力確認ページ

10.4.1.2.1 イメージ図

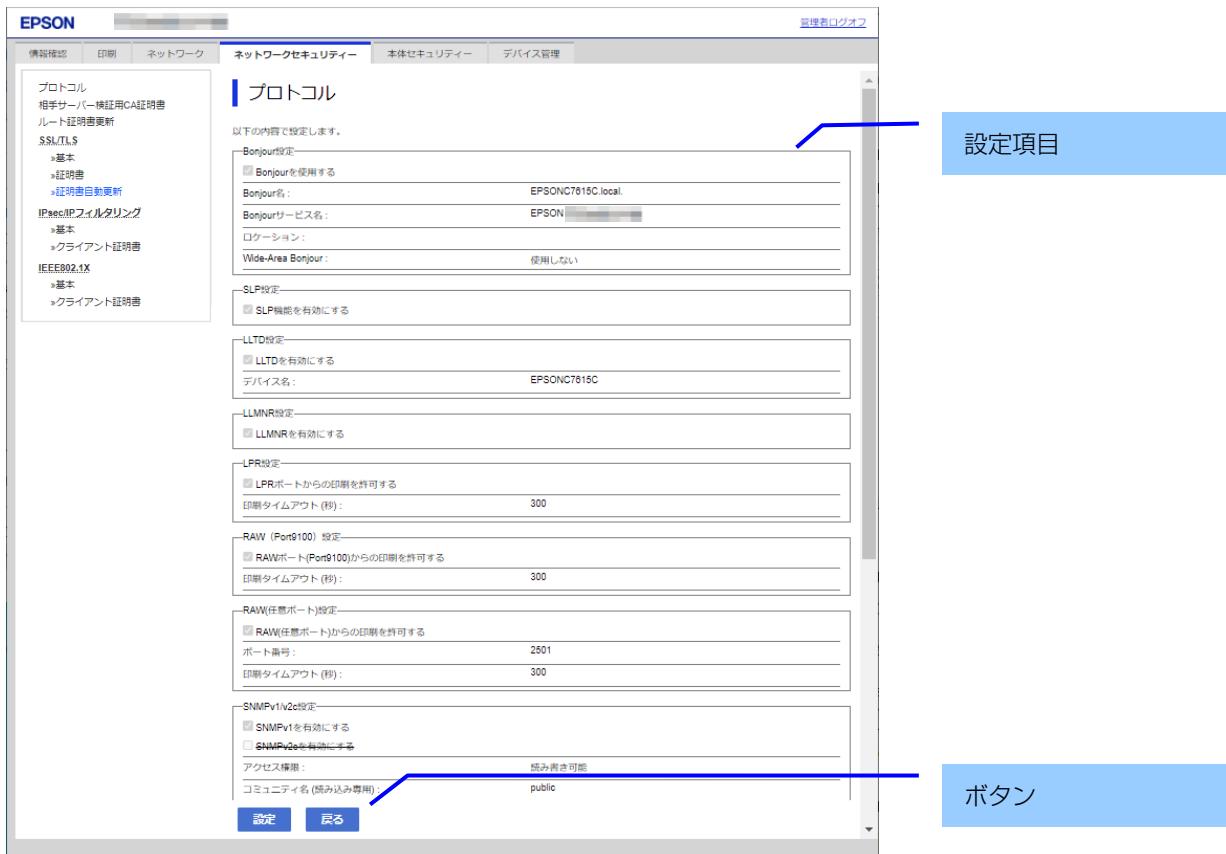


Figure 10-21 入力確認ページ

10.4.1.2.2 設定項目

"以下の内容で設定します。"という文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。（"パスワード確認入力"の項目は表示しない）また設定項目の最下部に以下の注意文を表示する。

"※ 設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。設定を変更した直後はネットワーク接続できません。"

10.4.1.2.3 ボタン

入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-50 ボタン

項目	説明
"設定"	入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタン。ボタンを押下することで結果表示のページへ遷移する。
"戻る"	設定入力ページへ戻るためのボタン。ボタンを押下することで設定入力ページへ遷移する。

10.4.1.3 結果表示

10.4.1.3.1 イメージ図

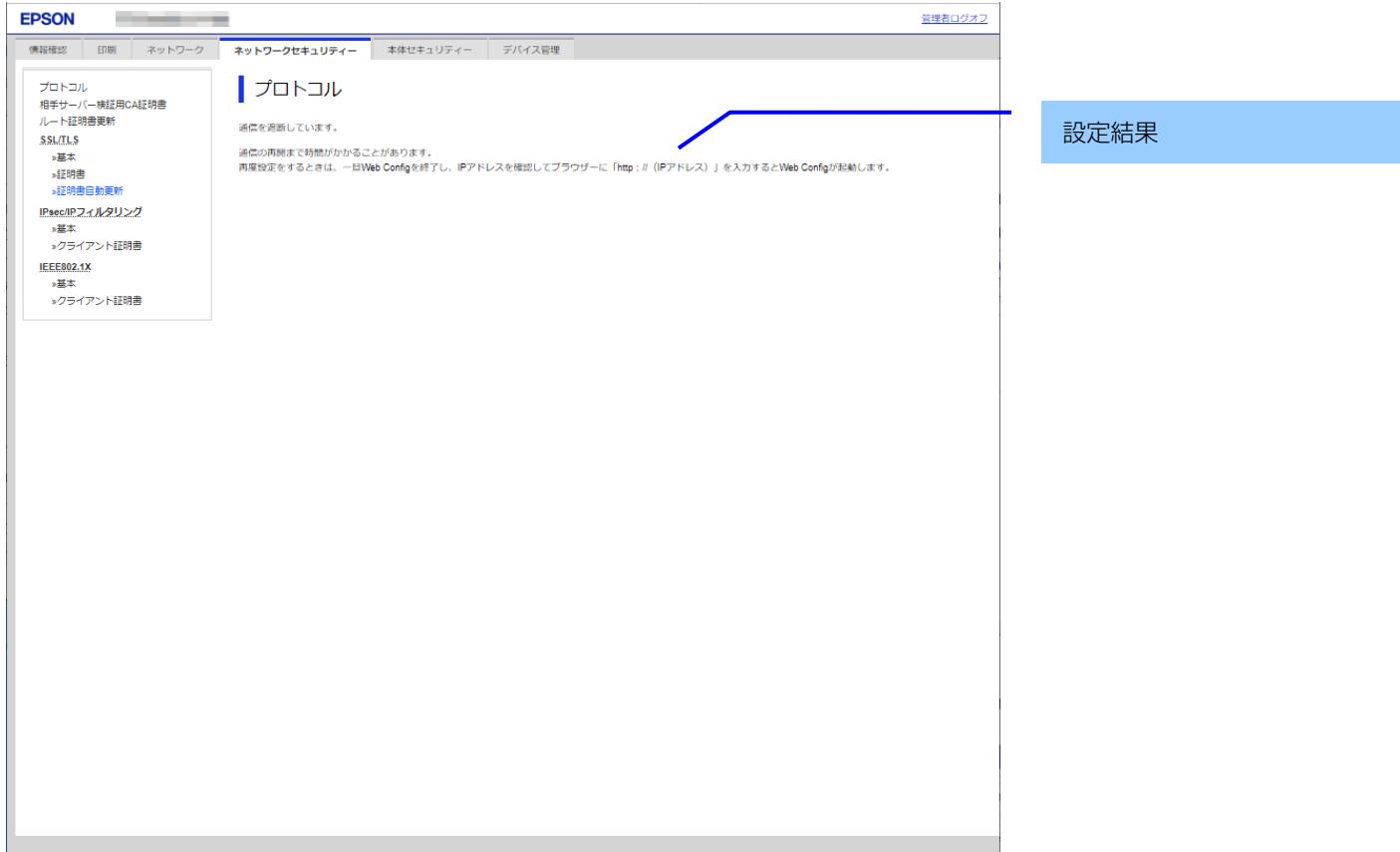


Figure 10-22 結果表示ページ

10.4.1.3.2 設定結果

Table 10-51 設定結果

項目	説明
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。"	成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)
"再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザーに「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"	
"設定に失敗しました。"	失敗の場合に表示する。

10.4.2 相手サーバー検証用 CA 証明書

10.4.2.1 トップページ

相手サーバー検証用 CA 証明書トップページでは、相手サーバー検証用 CA 証明書のインポート、表示、削除が可能である。証明書のインポート、削除に成功した場合に、このページに遷移する。以下にトップページの画面イメージを示す。

10.4.2.1.1 イメージ図

以下にトップページの画面イメージを示す。



Figure 10-23 トップページ

10.4.2.1.2 説明文

Table 10-52 説明文

項目	説明
"証明書のインポートや削除をすぐに通信に反映するには[ネットワーク再起動]を押してください。"	固定文字列
"他の機能の設定や、本体の再起動でも、この設定が通信に反映されることがあります。"	固定文字列

10.4.2.1.3 表示項目

Table 10-53 表示項目

項目	説明
"1"	相手サーバー検証用 CA 証明書の情報を表示する。ASCII 最大 8192Byte。
"2"	同上
"3"	同上
"4"	同上
"5"	同上
"6"	同上
"7"	同上
"8"	同上
"9"	同上
"10"	同上

10.4.2.1.4 ボタン

Table 10-54 相手サーバー検証用 CA 証明書情報 ボタン

項目	説明	有効条件
"インポート"	相手サーバー検証用 CA 証明書のインポート設定ページに遷移する。	相手サーバー検証用 CA 証明書が未インポート時に表示
"削除"	ポップアップ表示後、インポート済みの相手サーバー検証用 CA 証明書を削除する。	相手サーバー検証用 CA 証明書がインポート済時
"ネットワーク再起動"	ネットワークを再起動し、証明書のインポートまたは削除を通信に反映させる。	-

10.4.2.1.5 削除

相手サーバー検証用 CA 証明書設定トップページの削除ボタンを押下することによって、以下の警告ポップアップを表示してから、相手サーバー検証用 CA 証明書を削除しトップページへ遷移する。OK ボタン、キャンセルボタンの文言は各ブラウザーの表示仕様に従う。

Table 10-55 ポップアップウィンドウ

項目	説明
"%d 番の証明書を削除します。"	固定文字列

10.4.2.1.6 ネットワーク再起動

相手サーバー検証用 CA 証明書設定トップページのネットワーク再起動ボタンを押下することによって、以下の警告ポップアップを表示してから、ネットワークを再起動し、結果表示ページへ遷移する。

Table 10-56 ポップアップウィンドウ

項目	説明
"ネットワークを再起動します。"	固定文字列
"通信は一時的に遮断されます。"	

10.4.2.2 インポートページ

相手サーバー検証用 CA 証明書設定トップページのインポートボタンを、押下することによって、以下の相手サーバー検証用 CA 証明書インポート設定ページに遷移する。

10.4.2.2.1 イメージ図

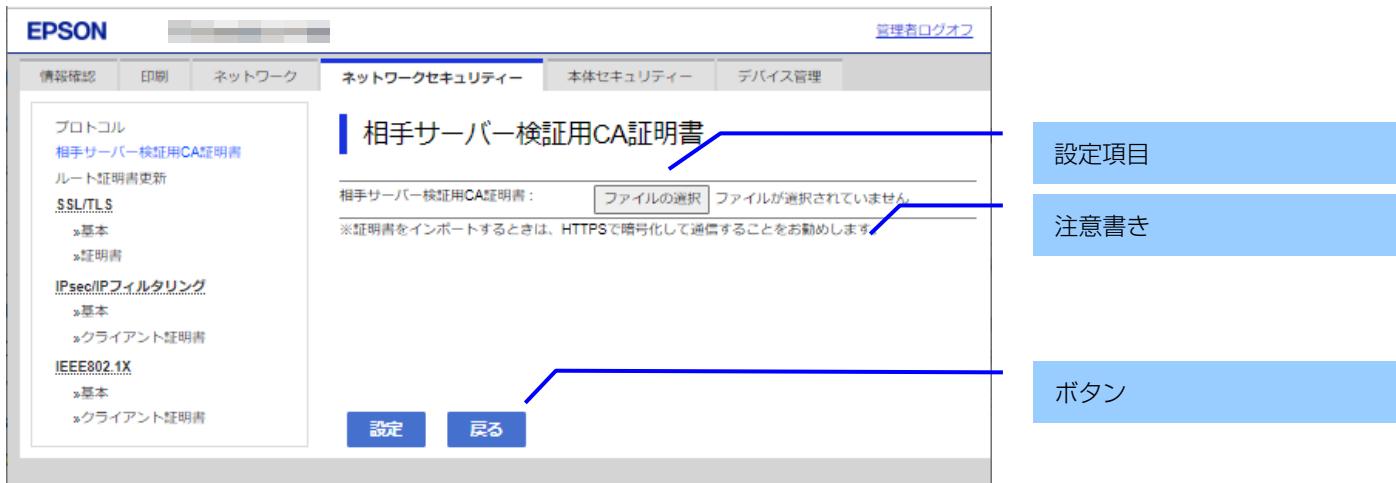


Figure 10-24 インポートページ

10.4.2.2.2 設定項目

Table 10-57 設定項目

項目	説明
"相手サーバー検証用 CA 証明書"	インポートする CA 証明書ファイルを指定できる。フォルダー参照ボタンで入力する。

10.4.2.2.3 注意書き

相手サーバー検証用 CA 証明書インポートページに、注意書き欄設ける。

Table 10-58 注意書き

項目	説明
"※証明書をインポートするときは、HTTPS で暗号化して通信することをお勧めします。"	固定文字列

10.4.2.2.4 ボタン

Table 10-59 ボタン

項目	説明
"設定"	インポートを実施する。 インポートボタンが押された後に、結果によって以下のページへ遷移する。 <ul style="list-style-type: none">● インポートに成功した場合はトップページに遷移する。● インポートに失敗した場合は結果表示ページに遷移する。● 入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。
"戻る"	相手サーバー検証用 CA 証明書設定トップページに遷移する。

10.4.2.2.5 エラーポップアップウィンドウ

Table 10-60 エラーポップアップウィンドウ

項目	説明
"相手サーバー検証用 CA 証明書を指定してください。"	相手サーバー検証用 CA 証明書のパスが未入力の場合に表示する。

10.4.2.3 結果表示ページ

インポートボタンが押された後に、インポートに成功した場合はトップページに遷移する。

インポートボタンが押された後に、インポートに失敗した場合は以下の設定結果を表示するページに遷移する。

10.4.2.3.1 イメージ図

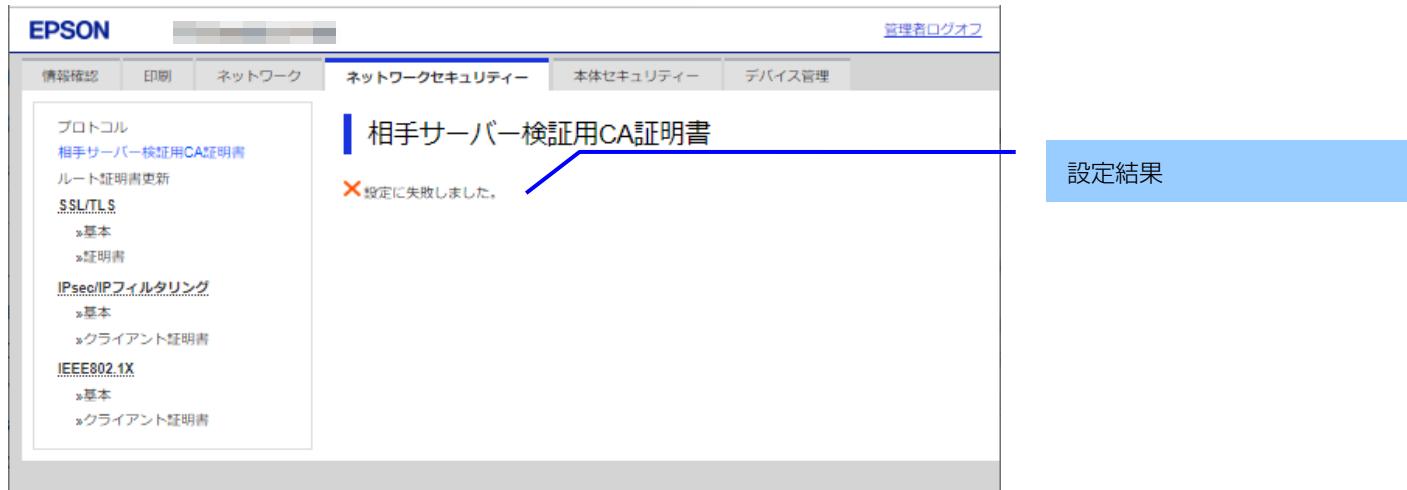


Figure 10-25 結果表示ページ

10.4.2.3.2 設定結果

Table 10-61 設定結果

項目	説明
"不正なファイルです。"	以下の場合に表示する。 ・証明書が不正 -ファイル形式が X.509 形式でない -5K 以上 24K 未満のサイズオーバーの証明書をインポートしようとした(※)
"日付/時刻が設定されていません。"	有効期間外の証明書をインポートしようとしたときに表示する。(日時未設定状態)
"有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、または日付/時刻設定を確認してください。"	有効期間外の証明書をインポートしようとしたときに表示する。(日時設定済状態)
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。" "再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザーに「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"	ネットワーククリブート成功時に表示する。
"設定に失敗しました。"	証明書インポート失敗時、あるいはネットワーク再起動失敗時に表示する。

※インポートする証明書のサイズが 24Kbyte 以上の場合、読み込みできず Web ブラウザーのエラーが表示される。

10.4.3 ルート証明書更新

10.4.3.1 トップページ

EPSON Web Config のルート証明書の更新機能では、インターネット上の Epson サーバーからルート証明書データをダウンロードし、ルート証明書をアップデートすることが可能である。

10.4.3.1.1 イメージ図

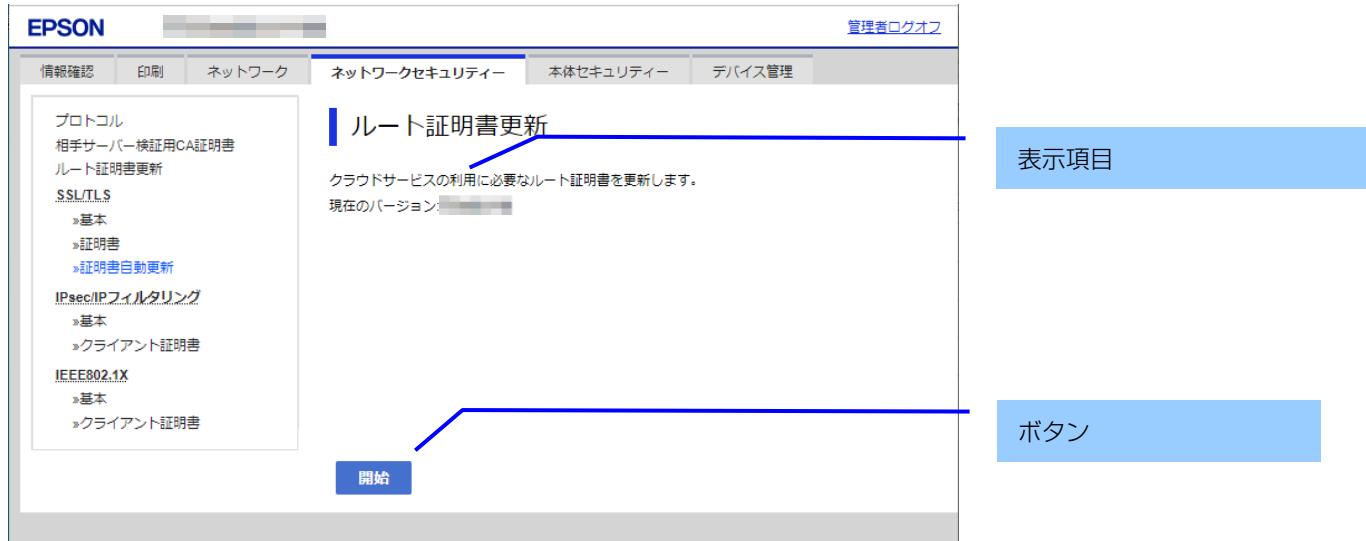


Figure 10-26 トップページ

10.4.3.1.2 説明文

Table 10-62 説明文

項目	説明
"クラウドサービスの利用に必要なルート証明書を更新します。"	固定文字列

10.4.3.1.3 ボタン

Table 10-63 ボタン

項目	説明
"開始"	ボタンを押下することで実行中ページへ遷移する。

10.4.3.2 実行中ページ

10.4.3.2.1 イメージ図

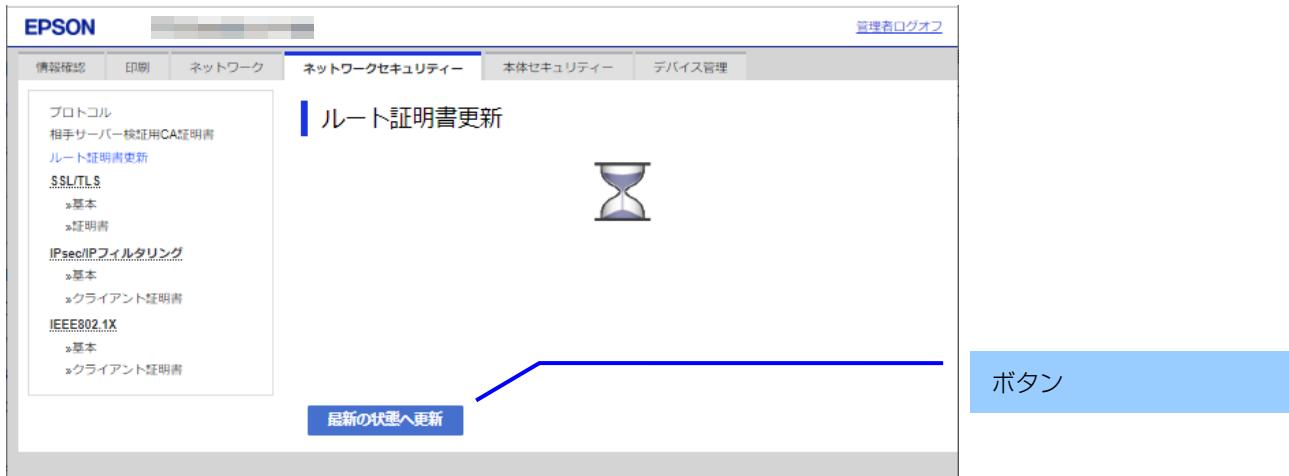


Figure 10-27 実行中ページ

10.4.3.2.2 ボタン

Table 10-64 ボタン

表示項目	説明
"最新の状態へ更新"	ボタンの押下時に完了の場合は結果表示のページに遷移し、未完了の場合は実行中ページを表示する。

10.4.3.3 結果表示ページ

10.4.3.3.1 イメージ図

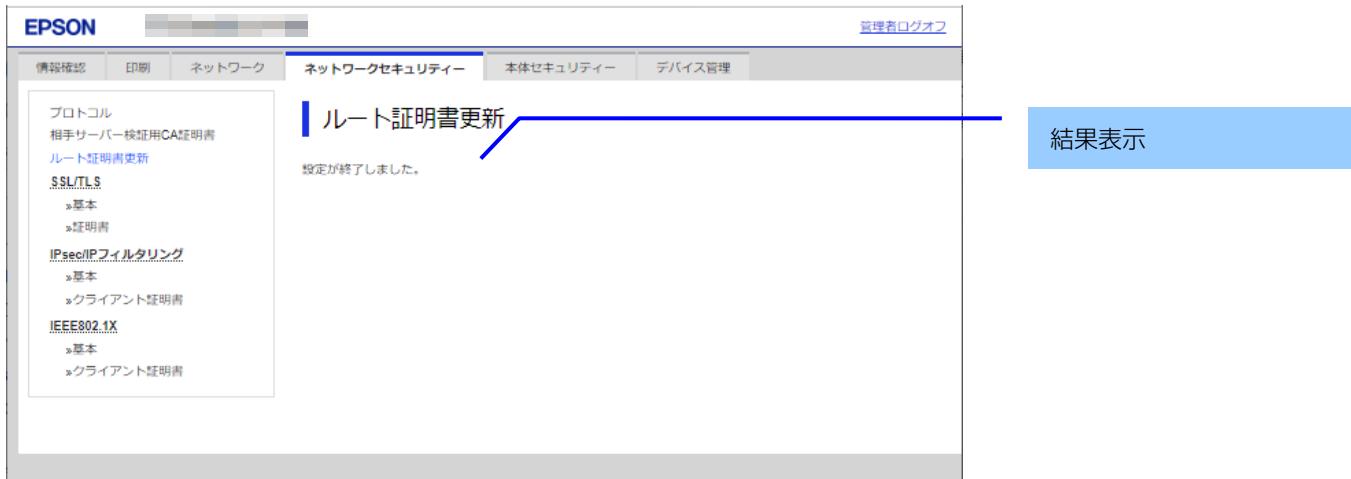


Figure 10-28 結果表示ページ

10.4.3.3.2 結果表示

Table 10-65 結果表示

項目	説明
"設定が終了しました。"	設定成功時に表示する。
" ✖ インストールされているルート証明書は最新です。"	ルート証明書が最新の場合に表示する。
" ✖ エプソンのサーバーに接続できません。"	Epson サーバーに接続不可能な状態に表示する。
" ✖ 処理を実行できませんでした。"	製品動作中、他デバイスでユーザーが設定中などの時に表示する。

10.4.4 SSL/TLS

SSL/TLS 設定では、SSL/TLS に関する、基本設定、証明書設定が可能である。

本設定のメニューでは、以下のサブメニューをサポートする。

Table 10-66 SSL/TLS 設定のサブメニュー

サブメニュー - Sub menu	
"基本"	
"証明書"	

10.4.4.1 基本

10.4.4.1.1 トップページ

10.4.4.1.1.1 イメージ図

以下にトップページの画面イメージを示す。



Figure 10-29 トップページ

10.4.4.1.1.2 設定項目

Table 10-67 SSL/TLS 基本設定 設定項目

項目	説明
"暗号強度"	暗号の強度をドロップダウンリストで選択する。 "80bit" / "112 bit" / "128 bit" / "192 bit" / "256 bit"
"HTTP を HTTPS にリダイレクト"	HTTP でアクセスされた場合に HTTPS ヘリダイレクトする否かをドロップダウンリストで選択する。 "有効" / "無効"
"TLS1.0"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効" / "無効"
"TLS1.1"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効" / "無効"

10.4.4.1.1.3 ボタン

Table 10-68 SSL/TLS 基本設定 設定ボタン

項目	説明
"次へ"	ページ最下部にボタンを設ける。このボタンが押されると入力確認ページに遷移する。

10.4.4.1.2 入力確認ページ

設定ページで"次へ"ボタンが押下されたら、入力された設定値を確認するための入力確認ページに遷移する。

10.4.4.1.2.1 イメージ図



Figure 10-30 入力確認ページ

10.4.4.1.2.2 設定項目

"以下の内容で設定します。"という文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。

また設定項目の最下部に以下の注意文を表示する。

"※ 設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。設定を変更した直後はネットワーク接続できません。"

10.4.4.1.2.3 ボタン

入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-69 ボタン

項目	説明
"設定"	入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタン。ボタンを押下することで結果表示のページへ遷移する。
"戻る"	設定入力ページへ戻るためのボタン。ボタンを押下することで設定入力ページへ遷移する。

10.4.4.1.3 結果表示

設定ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

10.4.4.1.3.1 イメージ図

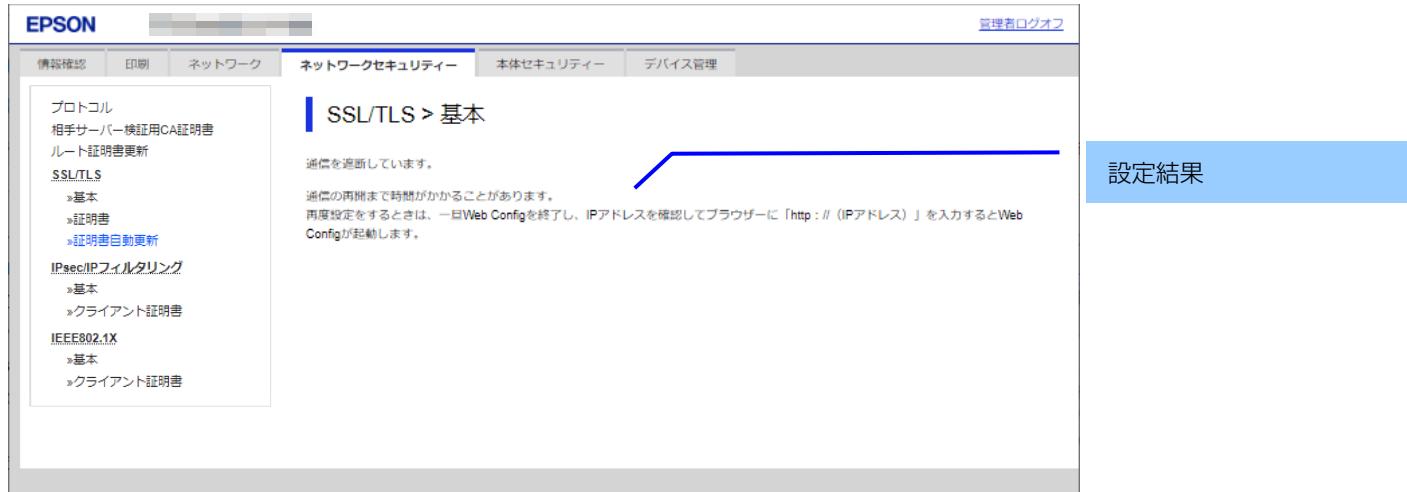


Figure 10-31 結果表示

10.4.4.1.3.2 設定結果

Table 10-70 SSL/TLS 基本設定 設定結果

項目	説明
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。"	成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)
"再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザーに「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"	
"設定に失敗しました。"	失敗の場合に表示する。

10.4.4.2 証明書

10.4.4.2.1 トップページ

10.4.4.2.1.1 イメージ図

以下にトップページの画面イメージを示す。

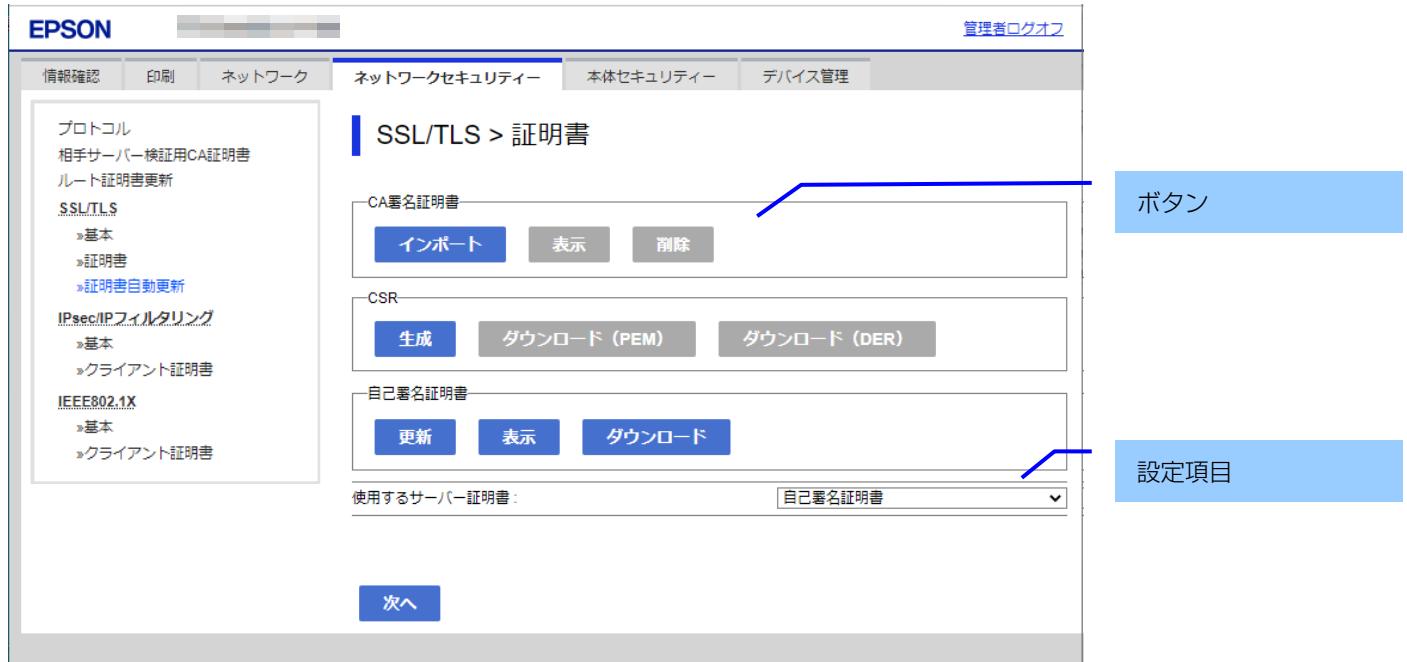


Figure 10-32 トップページ

10.4.4.2.1.2 設定項目

SSL/TLS 通信時に使用するサーバー証明書をドロップダウンリストで選択できる。

Table 10-71 設定項目

項目	説明
"使用するサーバー証明書"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "CA 署名証明書"/"自己署名証明書" CA 署名証明書が未インポート時は、選択肢は"自己署名証明書"固定

10.4.4.2.1.3 ボタン

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページで表示するボタンについて説明する。

Table 10-72 SSL/TLS 証明書トップページのボタンについて

項目(グループ名)	項目(ボタン名)	説明	有効条件
"使用するサーバー証明書"	"次へ"	使用するサーバー証明書を切り替える。	-
"CA 署名証明書"	"インポート"	CA 署名証明書のインポートの設定ページに遷移する	-
	"表示"	CA 署名証明書の情報確認ページに遷移する	CA 署名証明書がインポート済時
	"削除"	ポップアップ表示後、インポート済みの CA 署名証明書を削除する	CA 署名証明書がインポート済時、かつ、未使用時

"CSR"	"生成"	CSR の生成するための設定画面に遷移する	-
	"ダウンロード (PEM)"	生成した CSR を PEM 形式でダウンロードする	CSR が生成済時
	"ダウンロード (DER)"	生成した CSR を DER 形式でダウンロードする	CSR が生成済時
"自己署名証明書"	"更新"	自己署名証明書の更新/作成の設定ページに遷移する。 "日付時刻設定が未設定です。"の文言が表示される日時未設定のエラー画面に遷移する。	-
	"表示"	自己署名証明書の情報確認ページに遷移する	-
	ダウンロード	自己署名証明書を PEM 形式（拡張子 : .cer）でダウンロードする。 ダウンロードされるファイルの初期名は、"SelfSigned_<日付時刻>" の形式である。 <日付時刻>は、プリンターに設定されている日付時刻をあらわす。 例: 20181010143021	常に表示する（管理者ログオフまたは登録ユーザー一ログオン状態のときは、このボタンのみがトップページに表示される）

10.4.4.2.2 CA 署名証明書「インポート」

10.4.4.2.2.1 インポートトップページ

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページの CA 署名証明書のインポートボタンを、押下することによって、以下の CA 署名証明書インポート設定ページに遷移する。

10.4.4.2.2.1.1 イメージ図



Figure 10-33 インポートトップページ

10.4.4.2.2.1.2 設定項目

インポートトップページでは、以下の設定が可能である。

Table 10-73 CA 署名証明書インポート 設定項目

項目	説明	有効条件
"サーバー証明書"	インポートするサーバー証明書ファイルを指定できる。フォルダー参照ボタンで入力する。	-
ファイル形式	インポートするサーバー証明書のファイル形式をドロップダウンリストで選択する。 "証明書(PEM/DER)" / "秘密鍵付き証明書(PKCS#12)"	-
"秘密鍵"	インポートするサーバー証明書に関する秘密鍵ファイルが指定できる。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式が「証明書(PEM/DER)」を選択された時
"パスワード"	秘密鍵を暗号化するためのパスフレーズをテキストボックスで入力する。ASCII 文字コード (0x20-0x7E) 0 文字以上 48 文字以下 入力した文字は、"*"でマスクして表示する。	ファイル形式が「秘密鍵付き証明書(PKCS#12)」を選択された時
"CA 証明書 1"	サーバー証明書を発行した機関の証明書をインポートするためにファイルを指定する。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式が「証明書(PEM/DER)」を選択された時
"CA 証明書 2"	CA 証明書 1 を発行した機関の証明書をインポートするためにファイルを指定する。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式が「証明書(PEM/DER)」を選択された時

10.4.4.2.2.1.3 説明文

Table 10-74 CA 署名証明書情報 説明文

項目	説明
"※証明書をインポートするときは、HTTPS で暗号化して通信することをお勧めします。"	固定文字列
"ePOS-Device を利用する場合は、公開鍵長が RSA の証明書を使用してください。"	固定文字列

10.4.4.2.2.1.4 ボタン

インポートページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-75 CA 署名証明書インポート ボタン

項目	説明
"設定"	インポートを実施する。 "OK"ボタンが押された際に、条件によって下記の動作を行う。 <ul style="list-style-type: none">● 入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。● 入力値に誤りがなく、かつ既に証明書がインポートされている場合は、警告としてポップアップウィンドウを出す。● 入力値に誤りがなく、かつ証明書がインポートされていない場合は、結果表示ページへ遷移する。
"戻る"	SSL/TLS 証明書設定トップページに遷移する

10.4.4.2.3 CA 署名証明書「表示」

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページの CA 署名証明書の表示ボタンを、押下することによって、以下の CA 署名証明書情報確認ページに遷移する。

10.4.4.2.3.1 「表示」ページ

10.4.4.2.3.1.1 イメージ図

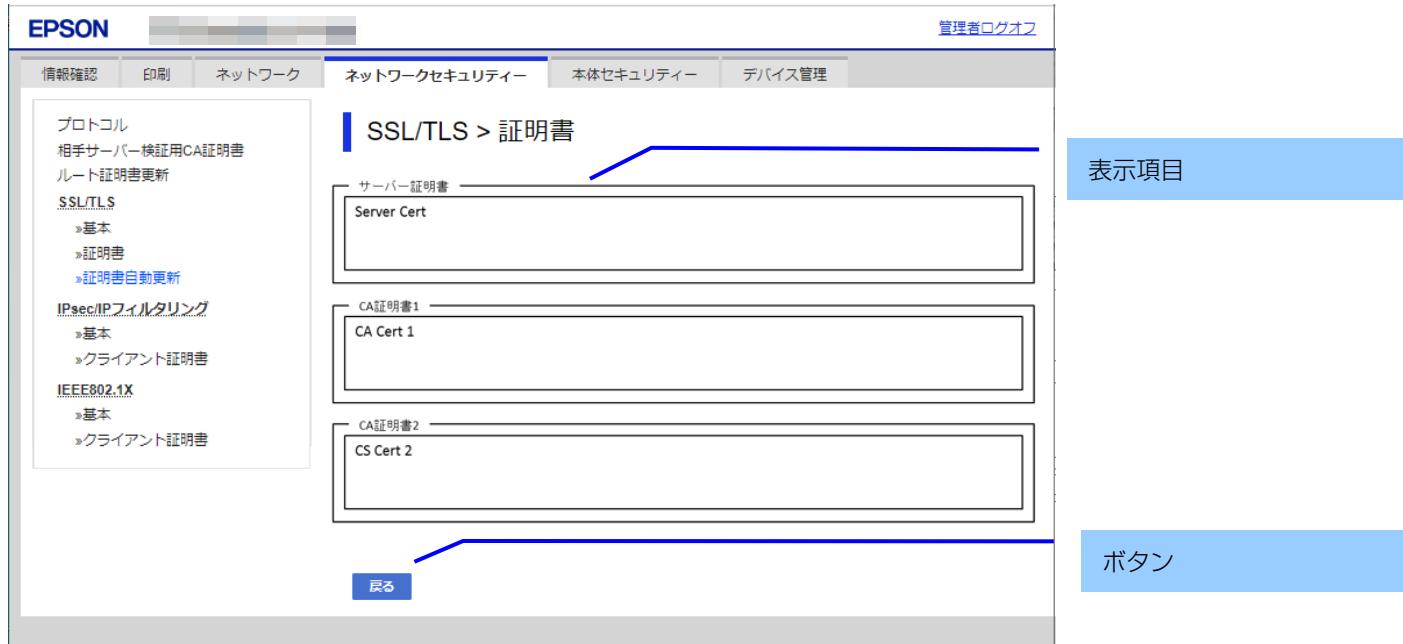


Figure 10-34 CA 署名証明書「表示」

10.4.4.2.3.1.2 表示項目

Table 10-76 CA 署名証明書情報 表示項目

項目	説明
"サーバー証明書"	サーバー証明書の情報を表示する。 ASCII 最大 8192Byte。
"CA 証明書 1"	CA 証明書 1 の情報を表示する。なければ項目自体表示しない。 ASCII 最大 8192Byte。
"CA 証明書 2"	CA 証明書 2 の情報を表示する。なければ項目自体表示しない。 ASCII 最大 8192Byte。

10.4.4.2.3.1.3 ボタン

Table 10-77 CA 署名証明書情報 ボタン

項目	説明
"戻る"	SSL/TLS 証明書設定トップページに遷移する。

10.4.4.2.4 CSR(署名リクエスト)「生成」

10.4.4.2.4.1 生成トップページ

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページの CSR の生成ボタンを、押下することによって、以下の CSR 生成設定ページに遷移する。

10.4.4.2.4.1.1 イメージ図



Figure 10-35 CSR(署名リクエスト)「生成」

10.4.4.2.4.1.2 設定項目

CSR の生成には以下の情報をユーザーに入力してもらう必要がある。

Table 10-78 CSR 生成 設定項目

項目	説明
"公開鍵長"	CSR 作成に用いる公開鍵長を設定する。 以下をドロップダウンリストで選択する。 "RSA 1024bit - SHA-1" / "RSA 2048bit - SHA-256" / "RSA 3072bit - SHA-256" / "EC 256bit - SHA-256" / "RSA 4096bit - SHA-384" / "EC 384bit - SHA-384" / "EC 521bit - SHA-512"
"コモンネーム"	CSR 作成に用いるコモンネームを設定する。 テキストボックスで入力を行う。 1 文字以上 128 文字以下 IPv4 形式、IPv6 形式（括弧 "[" "]" で囲む書式を許容）、ホスト名形式、FQDN 形式で入力可能。また、カンマ (0x2c) は、制御用文字として特殊な意味を持つ。※参照
"組織名"	CSR 作成に用いる組織名を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"部署名"	CSR 作成に用いる部署名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。

"市町村名"	CSR 作成に用いる市町村名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"都道府県名"	CSR 作成に用いる都道府県名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"国コード"	CSR 作成に用いる国別記号（ISO-3166）を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 2 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"送信元アドレス"	メール送信するための送信元アドレスを指定する。 テキストボックスに 0~255 文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。 (:();<>[],¥",;を除く)

※ コモンネームやにカンマ(,)文字を使用して複数入力が可能。入力した情報はカンマ(,)によって複数に分割される。

10.4.4.2.4.1.3 ボタン

Table 10-79 CSR 生成設定ページのボタンについて

項目	説明
"設定"	CSR 生成を実施する
"戻る"	SSL/TLS 証明書設定トップページに遷移する

生成ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-80 CSR 生成 エラーポップアップウィンドウ

項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。%n -%s%n -%s%..."	入力値エラーの場合に表示する。

10.4.4.2.4.2 結果表示ページ

設定ボタンが押された後で、砂時計ページを表示し、設定結果を表示するページに遷移する。

(イメージ図は CA 署名証明書「削除」を参照。)

10.4.4.2.4.2.1 結果表示

Table 10-81 CSR 生成 設定結果

項目	説明
"設定が終了しました。"	成功時に表示する。
"設定に失敗しました。"	上記以外の場合に表示する。

10.4.4.2.5 CSR（署名リクエスト）「ダウンロード」

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページの CSR 「ダウンロード (PEM)」 ボタン、もしくは CSR 「ダウンロード (DER)」 ボタンを、押下することによって、生成した CSR のダウンロードが可能である。

「ダウンロード (PEM)」 ボタン押下した場合は、PEM のファイル形式でダウンロードでき、「ダウンロード (DER)」 ボタン押下した場合は、DER のファイル形式でダウンロードできる。

ダウンロードされるファイルの初期名は、"EXPORT_CSR_<製造番号>_<日付時刻>" の形式である。

<製造番号>は、製品の製造番号をあらわす。

<日付時刻>は、プリンターに設定されている日付時刻をあらわす。例:20181010143021

CSR のダウンロード方法は、ブラウザーによって異なる。

10.4.4.2.6 自己署名証明書「更新」

10.4.4.2.6.1 更新トップページ

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページの自己署名証明書「更新」ボタンを、押下することによって、以下の自己署名証明書更新設定ページに遷移する。

10.4.4.2.6.1.1 イメージ図



Figure 10-36 自己署名証明書「更新」

10.4.4.2.6.1.2 設定項目

Table 10-82 自己署名証明書更新作成 設定項目

項目	説明
"公開鍵長"	自己署名証明書更新に用いる公開鍵長を設定する。 以下をドロップダウンリストで選択する。 "RSA 1024bit - SHA-1" / "RSA 2048bit - SHA-256" / "RSA 3072bit - SHA-256" / "EC 256bit - SHA-256" / "RSA 4096bit - SHA-384" / "EC 384bit - SHA-384" / "EC 521bit - SHA-512"
"コモンネーム"	CSR 作成に用いるコモンネームを設定する。 テキストボックスで入力を行う。 1 文字以上 128 文字以下 IPv4 形式、IPv6 形式（括弧 "["、 "]" で囲む書式を許容）、ホスト名形式、FQDN 形式で入力可能。また、カンマ（ $0 \times 2c$ ）は、制御用文字として特殊な意味を持つ。※参照
"組織名"	"SEIKO EPSON CORP." 固定
"有効期間開始日時(UTC)"	この自己署名証明書更新ページを開いた時点での Web Config にアクセスしているクライアント端末の時刻（UTC）から 5 分引いた時刻を表示する。
"有効期間（年）"	有効期間を以下のドロップダウンリストで表示する。 "1" / "2" / "3" / "4" / "5" / "6" / "7" / "8" / "9" / "10" (単位は「年」)
"ePOS-Device を利用する場合は、 公開鍵長が RSA の証明書を使用 してください。"	固定文字列

※コモンネームの入力にカンマ(,)文字を使用して複数入力が可能。入力した情報はカンマ(,)によって複数に分割される。

10.4.4.2.6.1.3 ボタン

Table 10-83 自己署名証明書更新作成設定ページのボタンについて

項目	説明
"次へ"	自己署名証明書更新作成を実施する
"戻る"	SSL/TLS 証明書設定トップページに遷移する

"次へ"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-84 CA 署名証明書インポート エラー ポップアップ ウィンドウ

項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。%n -%s%n -%s%n…"	入力値エラーの場合に表示する。

10.4.4.2.6.2 入力確認ページ

設定ページで"設定"ボタンが押下されたら、入力された設定値を確認するための入力確認ページに遷移する。

10.4.4.2.6.2.1 イメージ図



Figure 10-37 入力確認ページ

10.4.4.2.6.2.2 設定項目

"以下の内容で設定します。"という文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。

また設定項目の最下部に以下の注意文を表示する。

"※ 設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。設定を変更した直後はネットワーク接続できません。"

10.4.4.2.6.2.3 ボタン

入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-85 ボタン

項目	説明
"設定"	入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタン。ボタンを押下することで結果表示のページへ遷移する。
"戻る"	設定入力ページへ戻るためのボタン。ボタンを押下することで設定入力ページへ遷移する。

10.4.4.2.6.3 結果表示

設定ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

(イメージ図は CA 署名証明書「削除」を参照。)

10.4.4.2.6.3.1 結果表示

Table 10-86 自己署名証明書更新作成 設定結果

項目	説明
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。"	成功時に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)
"再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザーに「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"	
"日付時刻設定が未設定です。"	日時未設定の場合に表示する。
"設定に失敗しました。"	上記以外の場合に表示する。

10.4.4.2.7 自己署名証明書「表示」

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページの自己署名証明書の表示ボタンを、押下することによって、以下の自己署名証明書情報確認ページに遷移する。

10.4.4.2.7.1 表示トップページ

10.4.4.2.7.1.1 イメージ図

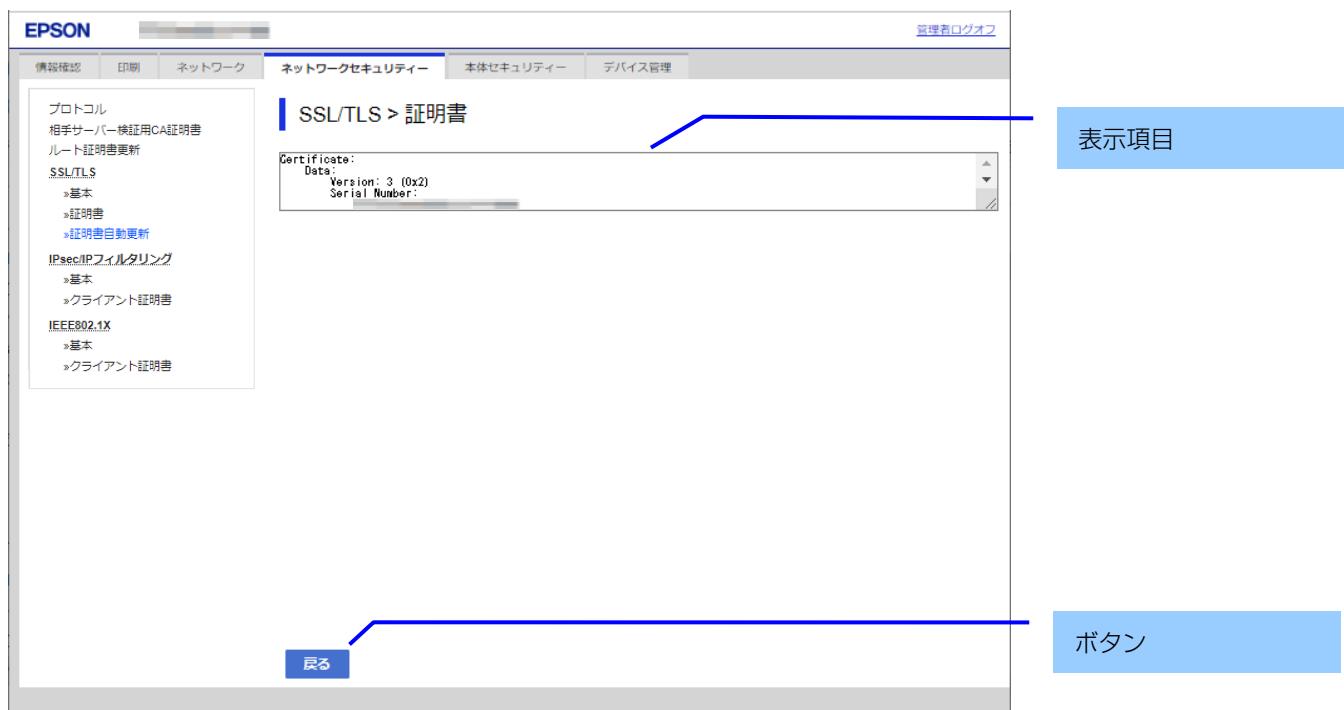


Figure 10-38 自己署名証明書「表示」

10.4.4.2.7.1.2 表示項目

Table 10-87 CA 署名証明書情報 表示項目

項目	説明
"自己署名証明書"	自己署名証明書の情報を表示する。 ASCII 最大 8192Byte。

10.4.4.2.7.1.3 ボタン

Table 10-88 自己署名証明書情報確認ページのボタンについて

項目	説明
"戻る"	SSL/TLS 証明書設定トップページに遷移する

10.4.4.2.8 自己署名証明書「ダウンロード」

SSL/TLS 設定の証明書設定トップページの自己署名証明書「ダウンロード」ボタンを押下することによって、自己署名証明書のダウンロードが可能である。

ダウンロードファイルは PEM 形式である。（拡張子 : .cer）

ダウンロードされるファイルの初期名は、"SelfSigned_<日付時刻>"の形式である。

<日付時刻>は、プリンターに設定されている日付時刻をあらわす。例:20181010143021

自己署名証明書のダウンロードでは、以下のようなダイアログが表示される。

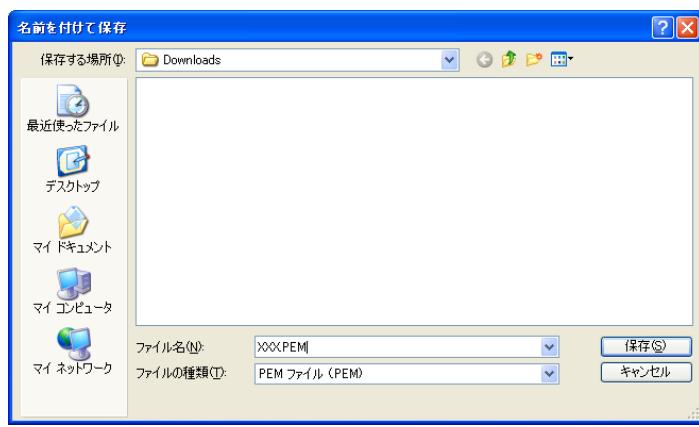


Figure 10-39 自己署名証明書「ダウンロード」

このダイアログ表示は、ブラウザーの標準機能として表示されるため、ブラウザー毎に異なる。

10.4.4.3 証明書自動更新

10.4.4.3.1 トップページ

10.4.4.3.1.1 イメージ図



Figure 10-40 トップページ

10.4.4.3.1.2 設定項目

Table 10-89 設定項目

項目	説明
"CA署名証明書自動更新"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効" / "無効"
"設定を有効にすると、プリンタ起動毎に更新処理を行います。"	固定文字列
"更新時刻 (0:00 - 23:59)"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効" / "無効"
	上記の更新時刻(ラジオボタン)を"有効"にしている場合に有効になる。時間のテキストボックス、":"、分のテキストボックスを順で並べて表示する。 それぞれのテキストボックスの入力可能文字 "0"~"9" 24 時制のみ入力可能。

10.4.4.3.1.3 コメント

以下のコメントを記載する。

Table 10-90 コメント

コメント	説明
"本機能を使用するには以下の設定が必要です。" "ネットワーク >> ネットワーク基本 >> プロキシサーバー設定" "デバイス管理 >> 日付/時刻 >> 日付/時刻" "デバイス管理 >> 日付/時刻 >> タイムサーバー"	ページ下部に記載する。

10.4.4.3.1.4 ボタン

入力を確認するためのボタンを設ける。

Table 10-91 ボタン

項目	説明
"次へ"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。 ボタンが押されると入力確認ページに遷移する。

"次へ"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-92 エラー ポップアップ

項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。"	テキストボックスへの入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は1行に1項目表示する。

10.4.4.3.1 入力確認ページ

10.4.4.3.1.1 イメージ図



Figure 10-41 入力確認ページ

10.4.4.3.1.2 設定項目

"以下の内容で設定します。"という文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。また設定項目の最下部に以下の注意文を表示する。

"※ 設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。設定を変更した直後はネットワーク接続できません。"

10.4.4.3.1.3 ボタン

入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-93 ボタン

項目	説明
"設定"	入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタン。ボタンを押下することで結果表示のページへ遷移する。
"戻る"	設定入力ページへ戻るためのボタン。ボタンを押下することで設定入力ページへ遷移する。

10.4.4.3.1 結果表示ページ

10.4.4.3.1.1 イメージ図

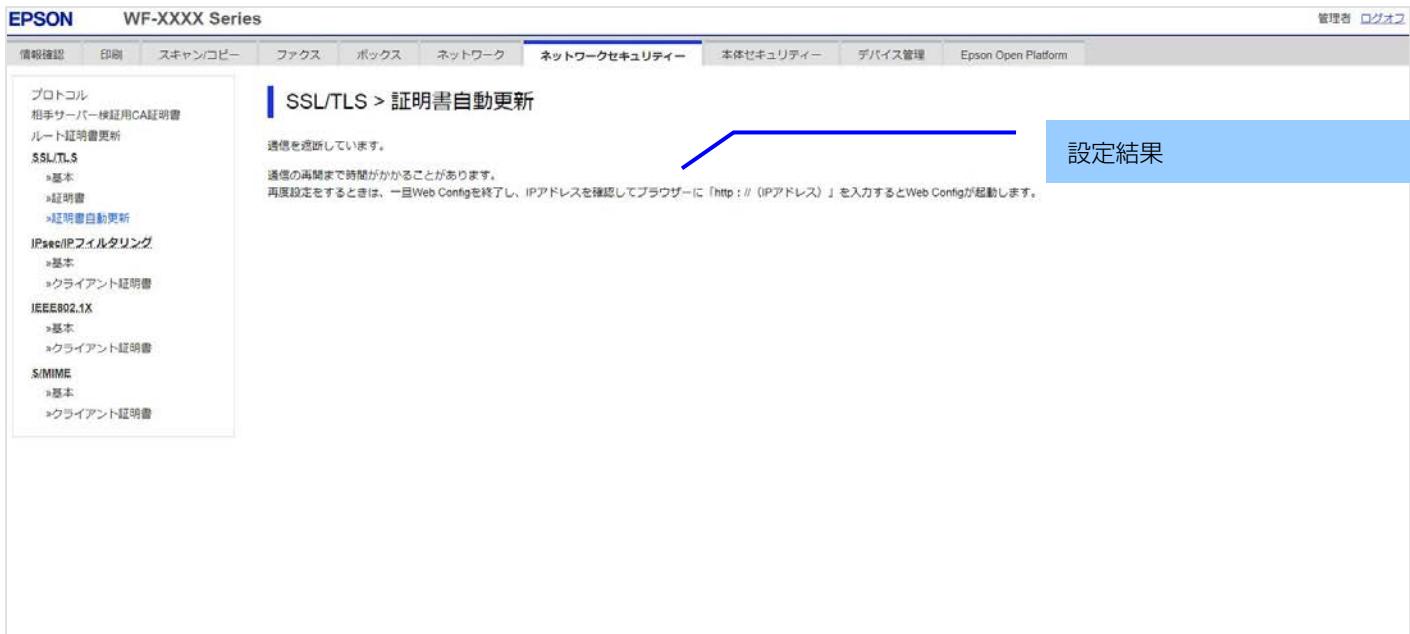


Figure 10-42 結果表示ページ

10.4.4.3.1.2 設定結果

Table 10-94 設定結果

コメント	説明
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。" "再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザーに「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"	成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)
"設定に失敗しました。"	失敗の場合に表示する。

10.4.5 IPsec/IP フィルタリング

IPsec/IP フィルタリング設定では、IPsec 及び IP フィルタリングの設定が可能である。

Table 10-95 IPsec 設定のサブメニュー

サブメニュー
"基本"
"クライアント証明書"

10.4.5.1 基本- Basic

基本設定では、IPsec/IP フィルタリングの基本ポリシー及び各個別ポリシーの設定が可能である。基本ポリシー及び各個別ポリシーは、タブによって表示を切り替えることができ、設定は一括で行われる。IPsec/IP フィルタリング 基本は基本ポリシーと個別ポリシー1~10 から構成される。

10.4.5.1.1 トップページ

10.4.5.1.1.1 基本ポリシー

10.4.5.1.1.1.1 イメージ図

以下に基本ポリシーの設定項目の画面イメージを示す。

The screenshot shows the 'IPsec/IP フィルタリング > 基本' (IPsec/IP Filtering > Basic) configuration page. The left sidebar lists protocols: SSL/TLS (Basic, Certificate), IPsec/IP Filtering (Basic, Client Certificate), and IEEE802.1X (Basic, Client Certificate). The main area shows the 'IPsec/IP フィルタリング' tab selected. It includes fields for 'IPsec/IP フィルタリング' (Enabled/Disabled), 'IKE Version' (IKEv1/IKEv2), 'Pre-shared Key' (pre-shared key input field), 'IKE SA Lifetime' (Transport Mode), and 'Protocol' (ESP). Below these are sections for 'IKE' (Encryption, Authentication, IKE SA Lifetime), 'ESP' (Encryption, Authentication), and 'AH' (Authentication). A blue box labeled '基本ポリシーの設定項目' highlights the 'IPsec/IP フィルタリング' and 'IKE' sections. A blue button labeled 'ボタン' is at the bottom right. A blue arrow points from the 'ボタン' button to the '次へ' (Next) button at the bottom left.

Figure 10-43 IPsec 設定ページ

10.4.5.1.1.2 基本ポリシーの設定項目

以下の項目の設定が可能である。

Table 10-96 設定項目

項目	説明	有効条件
"ポリシー適用の優先順位"	ポリシーの説明	-
"個別ポリシー1 > 個別ポリシー2 > … 個別ポリシー10 > デフォルトポリシー"		
"IPsec/IP フィルタリング"	"有効"/ "無効"をラジオボタンで選択	-
"デフォルトポリシー"	タイトル	-
"通信処理"	"通信を通過" / "通信を遮断" / "IPsec の使用"をドロップダウンリストで選択	"IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ"通信処理"が"IPsec の使用"
"IKE バージョン"	"IKEv1" / "IKEv2"をラジオボタンで選択。	"IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のときのみ項目が有効になる。
"認証方式"	"事前共有キー" / "証明書"をドロップダウンリストで選択	"IKE バージョン"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のときのみ項目が有効になる。
"事前共有キー"	Max Length = 127 文字 ASCII:0x20-0x7E 空文字列入力は不可とする 表示はマスクする	"IKE バージョン"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のときのみ項目が有効になる。
"事前共有キー確認入力"	"事前共有キー"と同様	"事前共有キー"と同様
"ローカル認証"	タイトル	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。
"認証方式"	"事前共有キー" / "証明書"をドロップダウンリストで選択	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のとき項目が有効になる。
"ID の種類"	ドロップダウンリストで選択する。 "識別名" / "IP アドレス" / "FQDN" / "メールアドレス" / "任意の文字列"	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ"ローカル認証"の"認証方式"が"事前共有キー"のとき項目が有効になる。

"ID"	入力可能値は"ID の種類"の選択による。ただし全てにおいて先頭での「@」「#」「=」の使用は不可である。 "識別子" : ASCII で 1~255 文字。ただし「=」を必ず使用する。 "IP アドレス" : IPv4、Ipv6 "FQDN" : ASCII のうち英数、ドット、ハイフンが使用可能で 1~255 文字。 "メールアドレス" : ASCII で 1~255 文字。ただし「@」を必ず使用し、「=」は使用不可。 "任意の文字列" : ASCII で 1~255 文字	"IKE バージョン"が"IKEv2"かつ"口一 カル認証"の"ID の種類"が"IP アドレ ス"以外のとき、項目が表示される。 "IPsec/IP フィルタリング"が"有効" かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ "口一カル認証"の"認証方式"が"事前 共有キー"のとき項目が有効になる。
"事前共有キー"	Max Length = 127 文字 ASCII:0x20-0x7E 空文字列入力は不可とする 表示はマスクする	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときの み項目が表示される。 "IPsec/IP フィルタリング"が"有効" かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ "口一カル認証"の"認証方式"が"事前 共有キー"のとき項目が有効になる。
"事前共有キー確認入力"	"事前共有キー"と同様	"事前共有キー"と同様
"リモート認証"	タイトル	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときの み項目が表示される。
"認証方式"	"事前共有キー" / "証明書" をドロップダウンリストで選択	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときの み項目が表示される。 "IPsec/IP フィルタリング"が"有効" かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のと き項目が有効になる。
"ID の種類"	ドロップダウンリストで選択する。 "識別名" / "IP アドレス" / "FQDN" / "メールアドレス" / "任意 の文字列"	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときの み項目が表示される。 "IPsec/IP フィルタリング"が"有効" かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ "リモート認証"の"認証方式"が"事前 共有キー"のとき項目が有効になる。
"ID"	入力可能値は"ID の種類"の選択による。ただし全てにおいて先頭での「@」「#」「=」の使用は不可である。 "識別子" : ASCII で 1~255 文字。ただし「=」を必ず使用する。 "IP アドレス" : IPv4、IPv6 "FQDN" : ASCII のうち英数、ドット、ハイフンが使用可能で 1~255 文字。 "メールアドレス" : ASCII で 1~255 文字。ただし「@」を必ず使用し、「=」は使用不可。 "任意の文字列" : ASCII で 1~255 文字	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときの み項目が表示される。 "IPsec/IP フィルタリング"が"有効" かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ "リモート認証"の"認証方式"が"事前 共有キー"のとき項目が有効になる。
"事前共有キー"	Max Length = 127 文字 ASCII:0x20-0x7E 空文字列入力は不可とする 表示はマスクする	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときの み項目が表示される。 "IPsec/IP フィルタリング"が"有効" かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ "リモート認証"の"認証方式"が"事前 共有キー"のとき項目が有効になる。

"事前共有キー確認入力"	"事前共有キー"と同様	"事前共有キー"と同様
"カプセル化"	"トランSPORTモード" / "トンネルモード"をドロップダウンリストで選択	"IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ "通信処理"が"IPsec の使用"
"リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)"	Max Length = 39 文字 39 文字なので IPv4 と IPv6 のみ 空文字入力は不可とする	"IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ "通信処理"が"IPsec の使用"かつ "カプセル化モード"が"トンネルモード"
"セキュリティープロトコル"	"ESP" / "AH"をドロップダウンリストで選択	"IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ "通信処理"が"IPsec の使用"
"アルゴリズム設定"	タイトル文字列。メンバーに"IKE"、"ESP"、"AH"を持つ。	-
"IKE"	タイトル文字列。メンバーに"暗号化アルゴリズム"、"認証アルゴリズム"、"鍵交換アルゴリズム"を持つ。	-
"暗号化アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "AES-CBC-128" / "AES-CBC-192" / "AES-CBC-256" / "3DES" / "任意"	"IKE バージョン"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のとき項目が有効になる。
"暗号化アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "AES-CBC-128" / "AES-CBC-192" / "AES-CBC-256" / "AES-GCM-128" / "AES-GCM-192" / "AES-GCM-256" / "3DES" / "任意"	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のとき項目が有効になる。
"認証アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "SHA-1" / "SHA-256" / "SHA-384" / "SHA-512" / "MD5" / "任意"	"IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のとき項目が有効になる。
"鍵交換アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "DH グループ 1" / "DH グループ 2" / "DH グループ 5" / "DH グループ 14" / "DH グループ 15" / "DH グループ 16" / "DH グループ 17" / "DH グループ 18" / "DH グループ 19" / "DH グループ 20" / "DH グループ 21" / "DH グループ 22" / "DH グループ 23" / "DH グループ 24" / "DH グループ 25" / "DH グループ 26" / "任意"	"IKE バージョン"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のとき項目が有効になる。
"鍵交換アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "DH グループ 1" / "DH グループ 2" / "DH グループ 5" / "DH グループ 14" / "DH グループ 15" / "DH グループ 16" / "DH グループ 17" / "DH グループ 18" / "DH グループ 19" / "DH グループ 20" / "DH グループ 21" / "DH グループ 22" / "DH グループ 23" / "DH グループ 24" / "DH グループ 25" / "DH グループ 26" / "DH グループ 27" / "DH グループ 28" / "DH グループ 29" /	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のとき項目が有効になる。

	"DH グループ 30" / "任意"	
"ESP"	タイトル文字列。メンバーに"暗号化アルゴリズム"、"認証アルゴリズム"を持つ。	-
"暗号化アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "AES-CBC-128" / "AES-CBC-192" / "AES-CBC-256" / "AES-GCM-128" / "AES-GCM-192" / "AES-GCM-256" / "3DES" / "任意"	"IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ"セキュリティープロトコル"が"ESP"のとき項目が有効になる。
"認証アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "SHA-1" / "SHA-256" / "SHA-384" / "SHA-512" / "MD5" / "任意"	"IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ"セキュリティープロトコル"が"ESP"のとき項目が有効になる。 "ESP"の"暗号化アルゴリズム"で"AES-GCM-128" / "AES-GCM-192" / "AES-GCM-256"が選択されているときは無効となる。
"AH"	タイトル文字列。メンバーに"認証アルゴリズム"を持つ。	-
"認証アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。サポートするアルゴリズムはネットワーク機能仕様書を参照する。 "SHA-1" / "SHA-256" / "SHA-384" / "SHA-512" / "MD5" / "任意"	"IPsec/IP フィルタリング"が"有効"かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ"セキュリティープロトコル"が"AH"のとき項目が有効になる。

10.4.5.1.1.1.3 ボタン

IPsec 基本設定を設定するためのボタンを設ける。

Table 10-97 ボタン

項目	説明
"次へ"	入力確認ページへ遷移する。

"次へ"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーポップアップウィンドウを出す。

Table 10-98 エラーポップアップ

項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。" <印刷機能あり機種の場合> "ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組合せが不正です。" <スキャナーの場合> "ローカルアドレス（スキャナー）とリモートアドレス（ホスト）の組合せが不正です。"	テキストボックスへの入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は 1 行に 1 項目表示する。 また、ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）とリモートアドレス（ホスト）が IPv6 で入力されているにも関わらず、トранSPORTプロトコルが ICMPv4 が入力されている場合や、リモートアドレス（ホスト）とリモートアドレスの IP v4/v6 の組合せが不正な場合にも表示される。
	ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）とリモートアドレス（ホスト）の組み合わせが不正な場合に表示する。 使用可能な組み合わせは以下の表を参照。

"サービス名は1~10件選択してください。"	"サービス名"のチェックが0件、または11件以上の場合に表示する。
"事前共有キーと確認入力の値が一致しません。"	事前共有キーと事前共有キーの確認の入力した値が一致しない場合に表示する。

通信を通過または遮断の場合。

通信を通過または遮断		ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）			
		IPv4	fe80::～	fe80::～以外	Any
リモートアドレス (ホスト)	(単一指定) IPv4	○	×	×	○
	(単一指定) fe80::～	×	○	×	×
	(単一指定) fe80::～以外	×	×	○	○
	(範囲指定) IPv4	○	×	×	○
	(範囲指定) fe80::～を含む	×	○	×	×
	(範囲指定) fe80::～を含まない	×	×	○	○
	(空白) すべて	○	×	○	○

IPsec の使用の場合。

IPsec の使用		ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）			
		IPv4	fe80::～	fe80::～以外	Any※
リモートアドレス (ホスト)	(単一指定) IPv4	○	×	×	○
	(単一指定) fe80::～	×	×	×	×
	(単一指定) fe80::～以外	×	×	○	○
	(範囲指定) IPv4	×	×	×	×
	(範囲指定) fe80::～を含む	×	×	×	×
	(範囲指定) fe80::～を含まない	×	×	×	×
	(空白) すべて	○	×	○	○

○：設定可能で、動作としてもポリシーが有効として動作する

×：設定不可。この組合せで"次へ"を押下された場合、"ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）"とリモートアドレス（ホスト）の組合せが不正です。"が表示される

※：IPv6 リンクローカルアドレスは含まない。

10.4.5.1.1.2 個別ポリシー

10.4.5.1.1.2.1 イメージ図

以下に個別ポリシーの設定項目の画面イメージを示す。

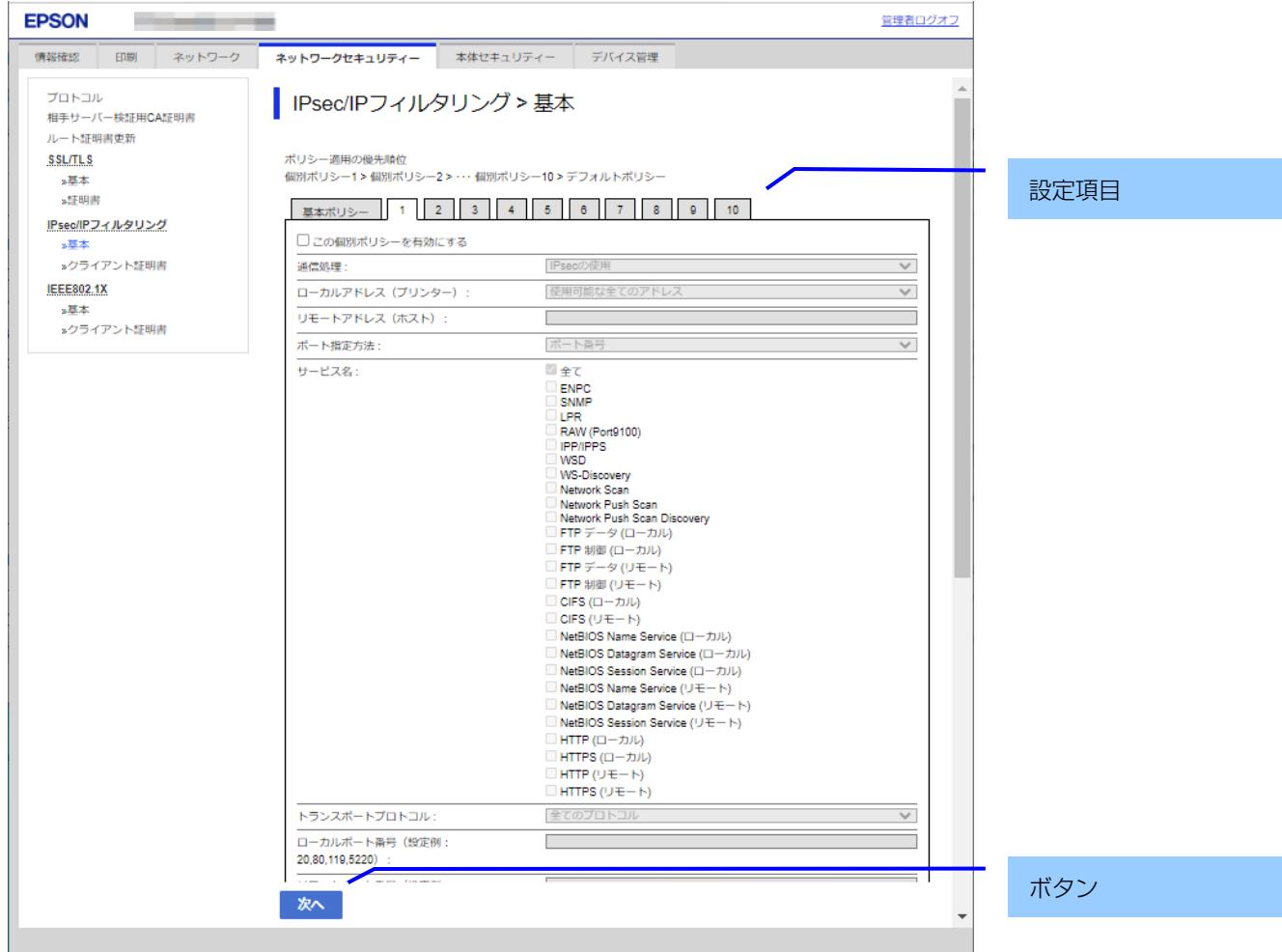


Figure 10-44 IPsec トップページ 個別ポリシー

10.4.5.1.1.2.2 個別ポリシーの設定項目

以下の項目の設定が可能である。個別ポリシーは 1~10 までタブによって表示を切り替えるが、設定は一括で行う。

Table 10-99 設定項目

項目	説明	説明
"ポリシー適用の優先順位" "個別ポリシー1 > 個別ポリシー2 > … 個別ポリシー10 > デフォルトポリシー"	ポリシーの説明	-
"この個別ポリシーを有効にする"	チェックボックスにチェックあり：有効 チェックボックスにチェックなし：無効	-
"通信処理"	"通信を通過" / "通信を遮断" / "IPsec の使用"をドロップダウンリストで選択	"この個別ポリシーを有効にする"が有効
<印刷機能あり機種の場合> "ローカルアドレス(プリンター)" <スキャナーの場合> "ローカルアドレス(スキャナー)"	<p>"使用不可" / "使用可能な全てのアドレス" / "自動取得した IPv4 アドレスを使用する (xxx.xxx.xxx.xxx)"/IPv4 アドレス/IPv6 アドレス/IPv6 リンクローカルアドレス/IPv6 ステートフルアドレス/IPv6 ステートレスアドレス 1/IPv6 ステートレスアドレス 2/IPv6 ステートレスアドレス 3</p> <p>をドロップダウンリストで選択</p> <p>IPv6 アドレス～IPv6 ステートレスアドレス 3 は、アドレスが設定済みの場合に表示する。</p> <p>"使用不可"は、設定されているローカルアドレスとプリンターの IP アドレスの組み合わせが不正な場合に表示される。"使用不可"は設定することはできない。</p> <p>IP アドレスの取得方法が自動設定の場合、以下の項目を選択することが可能。</p> <p>"自動取得した IPv4 アドレスを使用する (xxx.xxx.xxx.xxx)"</p> <p>自動追従しない場合は、以下のように IP アドレスのみの項目を設定する。</p> <p>"xxx.xxx.xxx.xxx"</p>	"この個別ポリシーを有効にする"が有効
"リモートアドレス(ホスト)"	<p>Max Length = 43 文字</p> <p>IPv4 形式、IPv6 形式で入力。</p> <p>空文字列入力は可能。空文字列入力した場合、すべての IP アドレスが対象</p> <p>プレフィックスを使用することで範囲指定。</p> <p>255.255.255.255、0.0.0.0 の入力は不可とする。</p>	"この個別ポリシーを有効にする"が有効
"ポート指定方法"	"サービス名指定" / "ポート番号指定"をドロップダウンリストで選択	"この個別ポリシーを有効にする"が有効
"サービス名"	<p>"サービス名"は、以下の中から 1 件以上 10 件以下の選択が可能。</p> <p>但し、"すべて"が選択された場合は、"すべて"以外の項目はグレーワークトする</p> <p>"全て" / "ENPC" / "SNMP" / "LPR" / "RAW (Port9100)" / "IPP/IPPS" / "WSD" / "WS-Discovery" /</p>	<p>"この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"ポート指定方法"が"サービス名指定"</p> <p>以下は機能をサポートする場合のみ有効となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> · LPR 機能ありの場合 "LPR"

	<p>"Network Scan"/ "Network Push Scan"/ "Network Push Scan Discovery"/ "CIFS (□一カル)"/ "CIFS (リモート)"/ "NetBIOS Name Service (□一カル)"/ "NetBIOS Datagram Service (□一カル)"/ "NetBIOS Session Service (□一カル)"/ "NetBIOS Name Service (リモート)"/ "NetBIOS Datagram Service (リモート)"/ "NetBIOS Session Service (リモート)"/ "HTTP (□一カル)"/ "HTTPS (□一カル)"/ "HTTP (リモート)"/ "HTTPS (リモート)"</p>	<ul style="list-style-type: none"> RAW (Port9100)機能ありの場合 "RAW (Port9100)" IPP 機能ありの場合 "IPP/IPPS" WSD スキャン機能ありの場合 "WSD" / "WS-Discovery" スキャン機能ありの場合 "Network Scan" Push スキャン機能有りの場合 "Network Push Scan"/ "Network Push Scan Discovery" ScanToFolder 機能ありの場合 "FTP データ (リモート)"/ "FTP 制御 (リモート)"/ "CIFS (リモート)"/ "NetBIOS Name Service (リモート)"/ "NetBIOS Datagram Service (リモート)"/ "NetBIOS Session Service (リモート)" ファイル共有機能ありの場合 "CIFS (□一カル)"/ "NetBIOS Name Service (□一カル)"/ "NetBIOS Datagram Service (□一カル)"/ "NetBIOS Session Service (□一カル)"
"トランSPORTプロトコル"	"全てのプロトコル" / "TCP" / "UDP" / "ICMPv4" をドロップダウンリストで選択	"この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"ポート指定方法"が"ポート番号指定"
"□一カルポート番号 (設定例: 20,80,119,5220) "	Max Length = 60 文字 数字、コンマ、スペースを入力 OK とする。 空文字列入力は可能。空文字列入力した場合、すべてのポート番号が対象。 コンマ区切りで複数入力可能。（最大 10 個）値の範囲は、1~65535	"この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"ポート指定方法"が"ポート番号指定" "トランSPORTプロトコル"が"TCP"または"UDP"
"リモートポート番号 (設定例: 25,80,143,5220) "	Max Length = 60 文字 数字、コンマ、スペースを入力 OK とする。 空文字列入力は可能。空文字列入力した場合、すべてのポート番号が対象。 コンマ区切りで複数入力可能。（最大 10 個）値の範囲は、1~65535	"この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"ポート指定方法"が"ポート番号指定" "トランSPORTプロトコル"が

		"TCP"または"UDP"
"IKE バージョン"	"IKEv1" / "IKEv2"をラジオボタンで選択。	"この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ "通信処理"が"IPsec の使用"
"認証方式"	"事前共有キー" / "証明書"をドロップダウンリストで選択	"IKE バージョン"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のときのみ項目が有効になる。
"事前共有キー"	Max Length = 127 文字 ASCII:0x20-0x7E 空文字列入力は不可とする 表示はマスクする	"IKE バージョン"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のときのみ項目が有効になる。
"事前共有キー確認入力"	"事前共有キー"と同様	"事前共有キー"と同様
"ローカル認証"	タイトル	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。
"認証方式"	"事前共有キー" / "証明書"をドロップダウンリストで選択	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のとき項目が有効になる。
"ID の種類"	ドロップダウンリストで選択する。 "識別名" / "IP アドレス" / "FQDN" / "メールアドレス" / "任意の文字列"	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ"ローカル認証"の"認証方式"が"事前共有キー"のとき項目が有効になる。
"ID"	入力可能値は"ID の種類"の選択による。ただし全てにおいて先頭での「@」「#」「=」の使用は不可である。 "識別子" : ASCII で 1~255 文字。ただし「=」を必ず使用する。 "IP アドレス" : IPv4、IPv6 "FQDN" : ASCII のうち英数、ドット、ハイフンが使用可能で 1~255 文字。 "メールアドレス" : ASCII で 1~255 文字。ただし「@」を必ず使用し、「=」は使用不可。 "任意の文字列" : ASCII で 1~255 文字	"IKE バージョン"が"IKEv2"かつ"ローカル認証"の"ID の種類"が"IP アドレス"以外のとき項目が表示される。 "この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ"ローカル認証"の"認証方式"が"事前共有キー"のとき項目が有効になる。
"事前共有キー"	Max Length = 127 文字 ASCII:0x20-0x7E 空文字列入力は不可とする 表示はマスクする	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ"ローカル認証"の"認証方式"が"事前共有キー"のとき項目が有効になる。

"事前共有キー確認入力"	"事前共有キー"と同様	"事前共有キー"と同様
"リモート認証"	タイトル	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。
"認証方式"	"事前共有キー" / "証明書"をドロップダウンリストで選択	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のとき項目が有効になる。
"ID の種類"	ドロップダウンリストで選択する。 "識別名" / "IP アドレス" / "FQDN" / "メールアドレス" / "任意の文字列"	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ"リモート認証"の"認証方式"が"事前共有キー"のとき項目が有効になる。
"ID"	入力可能値は"ID の種類"の選択による。ただし全てにおいて先頭での「@」「#」「=」の使用は不可である。 "識別子" : ASCII で 1~255 文字。ただし「=」を必ず使用する。 "IP アドレス" : IPv4、IPv6 "FQDN" : ASCII のうち英数、ドット、ハイフンが使用可能で 1~255 文字。 "メールアドレス" : ASCII で 1~255 文字。ただし「@」を必ず使用し、「=」は使用不可。 "任意の文字列" : ASCII で 1~255 文字	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ"リモート認証"の"認証方式"が"事前共有キー"のとき項目が有効になる。
"事前共有キー"	Max Length = 127 文字 ASCII:0x20-0x7E 空文字列入力は不可とする 表示はマスクする	"IKE バージョン"が"IKEv2"のときのみ項目が表示される。 "この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ"リモート認証"の"認証方式"が"事前共有キー"のとき項目が有効になる。
"事前共有キー確認入力"	"事前共有キー"と同様	"事前共有キー"と同様
"カプセル化"	"トランSPORTモード" / "トンネルモード"をドロップダウンリストで選択	"この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"
"リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)"	Max Length = 39 文字 39 文字なので IPv4 と IPv6 のみ 空文字,255.255.255.255、0.0.0.0 の入力は不可とする	"この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ"カプセル化モード"が"トンネルモード"

"セキュリティープロトコル"	"ESP" / "AH" をドロップダウンリストで選択	"この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ "通信処理"が"IPsec の使用"
"アルゴリズム設定"	タイトル文字列。メンバーに"IKE"、"ESP"、"AH"を持つ。	-
"IKE"	タイトル文字列。メンバーに"暗号化アルゴリズム"、"認証アルゴリズム"、"鍵交換アルゴリズム"を持つ。	-
"暗号化アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "AES-CBC-128" / "AES-CBC-192" / "AES-CBC-256" / "3DES" / "任意"	"IKE バージョン"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のとき項目が有効になる。
"認証アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "SHA-1" / "SHA-256" / "SHA-384" / "SHA-512" / "MD5" / "任意"	"この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のとき項目が有効になる。
"鍵交換アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "DH グループ 1" / "DH グループ 2" / "DH グループ 5" / "DH グループ 14" / "DH グループ 15" / "DH グループ 16" / "DH グループ 17" / "DH グループ 18" / "DH グループ 19" / "DH グループ 20" / "DH グループ 21" / "DH グループ 22" / "DH グループ 23" / "DH グループ 24" / "DH グループ 25" / "DH グループ 26" / "任意"	"IKE バージョン"が"IKEv1"のときのみ項目が表示される。 "この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のとき項目が有効になる。
"認証アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "SHA-1" / "SHA-256" / "SHA-384" / "SHA-512" / "MD5" / "任意"	"この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"のとき項目が有効になる。
"ESP"	タイトル文字列。メンバーに"暗号化アルゴリズム"、"認証アルゴリズム"を持つ。	-
"暗号化アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "AES-CBC-128" / "AES-CBC-192" / "AES-CBC-256" / "AES-GCM-128" / "AES-GCM-192" / "AES-GCM-256" / "3DES" / "任意"	"この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ"セキュリティープロトコル"が"ESP"のとき項目が有効になる。

"認証アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "SHA-1" / "SHA-256" / "SHA-384" / "SHA-512" / "MD5" / "任意"	"この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ"セキュリティープロトコル"が"ESP"のとき項目が有効になる。"ESP"の"暗号化アルゴリズム"で"AES-GCM-128" / "AES-GCM-192" / "AES-GCM-256"が選択されているときは無効となる。
"AH"	タイトル文字列。メンバーに"認証アルゴリズム"を持つ。	-
"認証アルゴリズム"	以下をドロップダウンリストで選択する。サポートするアルゴリズムはネットワーク機能仕様書を参照する。 "SHA-1" / "SHA-256" / "SHA-384" / "SHA-512" / "MD5" / "任意"	"この個別ポリシーを有効にする"が有効かつ"通信処理"が"IPsec の使用"かつ"セキュリティープロトコル"が"AH"のとき項目が有効になる。

10.4.5.1.1.2.3 ボタン

IPsec 基本設定を設定するためのボタンを設ける。

Table 10-100 ボタン

項目	説明
"次へ"	入力確認ページへ遷移する。

"次へ"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーpopupアップウィンドウを出す。

Table 10-101 エラーpopupアップ

項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。"	テキストボックスへの入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は 1 行に 1 項目表示する。 また、ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）とリモートアドレス（ホスト）が IPv6 で入力されているにも関わらず、トランSPORTプロトコルが ICMPv4 が入力されている場合や、リモートアドレス（ホスト）とリモートアドレスの IP v4/v6 の組合せが不正な場合にも表示される。
<印刷機能あり機種の場合> "ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組合せが不正です。"	ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）とリモートアドレス（ホスト）の組み合わせが不正な場合に表示する。 使用可能な組み合わせは以下の表を参照。
<スキャナーの場合> "ローカルアドレス（スキャナー）とリモートアドレス（ホスト）の組合せが不正です。"	
"サービス名は 1~10 件選択してください。"	"サービス名"のチェックが 0 件、または 11 件以上の場合に表示する。
"事前共有キーと確認入力の値が一致しません。"	事前共有キーと事前共有キーの確認の入力した値が一致しない場合に表示する。

通信を通過または遮断の場合。

通信を通過または遮断		ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）			
		IPv4	fe80::～	fe80::～以外	Any
リモートアドレス (ホスト)	(単一指定) IPv4	○	×	×	○
	(単一指定) fe80::～	×	○	×	×
	(単一指定) fe80::～以外	×	×	○	○
	(範囲指定) IPv4	○	×	×	○
	(範囲指定) fe80::～を含む	×	○	×	×
	(範囲指定) fe80::～を含まない	×	×	○	○
	(空白) すべて	○	×	○	○

IPsec の使用の場合。

IPsec の使用		ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）			
		IPv4	fe80::～	fe80::～以外	Any※
リモートアドレス (ホスト)	(単一指定) IPv4	○	×	×	○
	(単一指定) fe80::～	×	×	×	×
	(単一指定) fe80::～以外	×	×	○	○
	(範囲指定) IPv4	×	×	×	×
	(範囲指定) fe80::～を含む	×	×	×	×
	(範囲指定) fe80::～を含まない	×	×	×	×
	(空白) すべて	○	×	○	○

○ : 設定可能で、動作としてもポリシーが有効として動作する

× : 設定不可。この組合せで"次へ"を押下された場合、"ローカルアドレス（プリンター/スキャナー）"とリモートアドレス（ホスト）の組合せが不正です。"が表示される

※ : IPv6 リンクローカルアドレスは含まない。

10.4.5.1.2 入力確認ページ

設定ページで"次へ"ボタンが押下されたら、入力された設定値を確認するための入力確認ページに遷移する。入力確認ページでは、基本ポリシー及び個別ポリシー毎にタブ分割せず、1ページで全ポリシーの入力値を確認することができる。

10.4.5.1.2.1 イメージ図

EPSON [管理者ログオフ]

情報確認 印刷 ネットワーク ネットワークセキュリティ 本体セキュリティ デバイス管理

プロトコル
相手リバーバ接証用CA証明書
ルート証明書更新
SSL/TLS
・基本
・証明書
IPsec/IPフィルタリング
・基本
・クライアント証明書
IEEE802.1X
・基本
・クライアント証明書

IPsec/IPフィルタリング > 基本

以下の内容で設定します。

IPsec/IPフィルタリング： 無効

デフォルトポリシー

個別ポリシー1
この個別ポリシーを有効にする： この個別ポリシーを有効にする

個別ポリシー2
この個別ポリシーを有効にする： この個別ポリシーを有効にする

個別ポリシー3
この個別ポリシーを有効にする： この個別ポリシーを有効にする

個別ポリシー4
この個別ポリシーを有効にする： この個別ポリシーを有効にする

個別ポリシー5
この個別ポリシーを有効にする： この個別ポリシーを有効にする

個別ポリシー6
この個別ポリシーを有効にする： この個別ポリシーを有効にする

個別ポリシー7
この個別ポリシーを有効にする： この個別ポリシーを有効にする

個別ポリシー8
この個別ポリシーを有効にする： この個別ポリシーを有効にする

個別ポリシー9
この個別ポリシーを有効にする： この個別ポリシーを有効にする

個別ポリシー10
この個別ポリシーを有効にする： この個別ポリシーを有効にする

設定 戻る

設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。
設定を変更した直後はネットワーク接続できません。

入力項目

ボタン

Figure 10-45 入力確認ページ

10.4.5.1.2.2 入力項目

Table 10-102 入力項目

項目	説明
"以下の内容で設定します。"	左記の文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。
"デフォルトポリシー"	デフォルトポリシーのタイトル
"個別ポリシー1" / "個別ポリシー2" / "個別ポリシー3" / "個別ポリシー4" / "個別ポリシー5" / "個別ポリシー6" / "個別ポリシー7" / "個別ポリシー8" / "個別ポリシー9" / "個別ポリシー10"	個別ポリシー毎のタイトル
"設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。" "設定を変更した直後はネットワーク接続できません。" "設定によっては、Web Config に接続できなくなる可能性があります。"	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。
<LCD のない製品の場合> "意図せず接続できなくなったときは、製品のボタン操作でネットワークを初期化してから再設定してください。" <LCD ありの製品の場合> "意図せず接続できなくなったときは、製品の画面で IPsec/IP フィルタリングを無効にしてから再設定してください。"	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。

10.4.5.1.2.3 ボタン

IPsec 基本設定ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。設定ボタンを押下することで設定結果ページを表示する。

Table 10-103 ボタン

項目	説明
"設定"	入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。ボタンを押下することで設定結果ページへ遷移する。
"戻る"	IPsec 基本ポリシー設定ページへ戻るためのボタンを設ける。ボタンを押下することで IEEE802.1X 設定ページへ遷移する。

10.4.5.1.2.4 設定結果ページ

設定ボタンを押すと結果ページが表示される。設定成功時に表示されるページと設定失敗時に表示されるページを以下に示す。

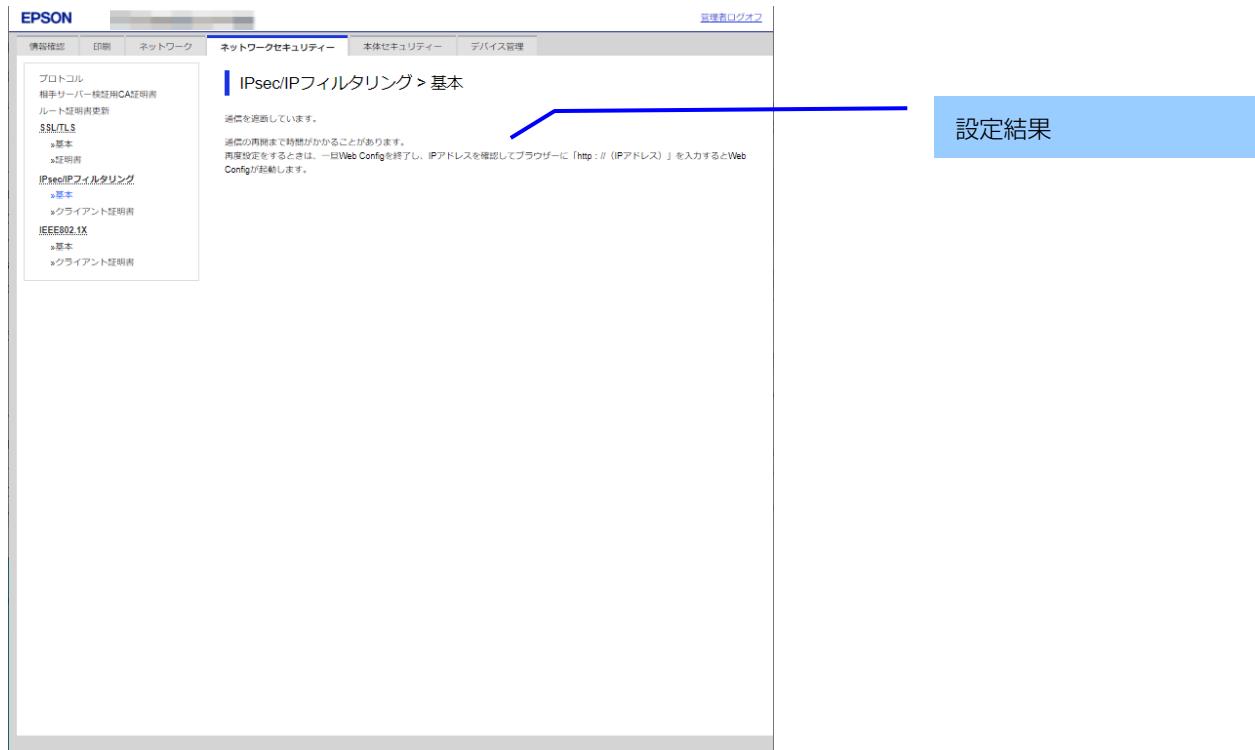


Figure 10-46 設定成功ページ

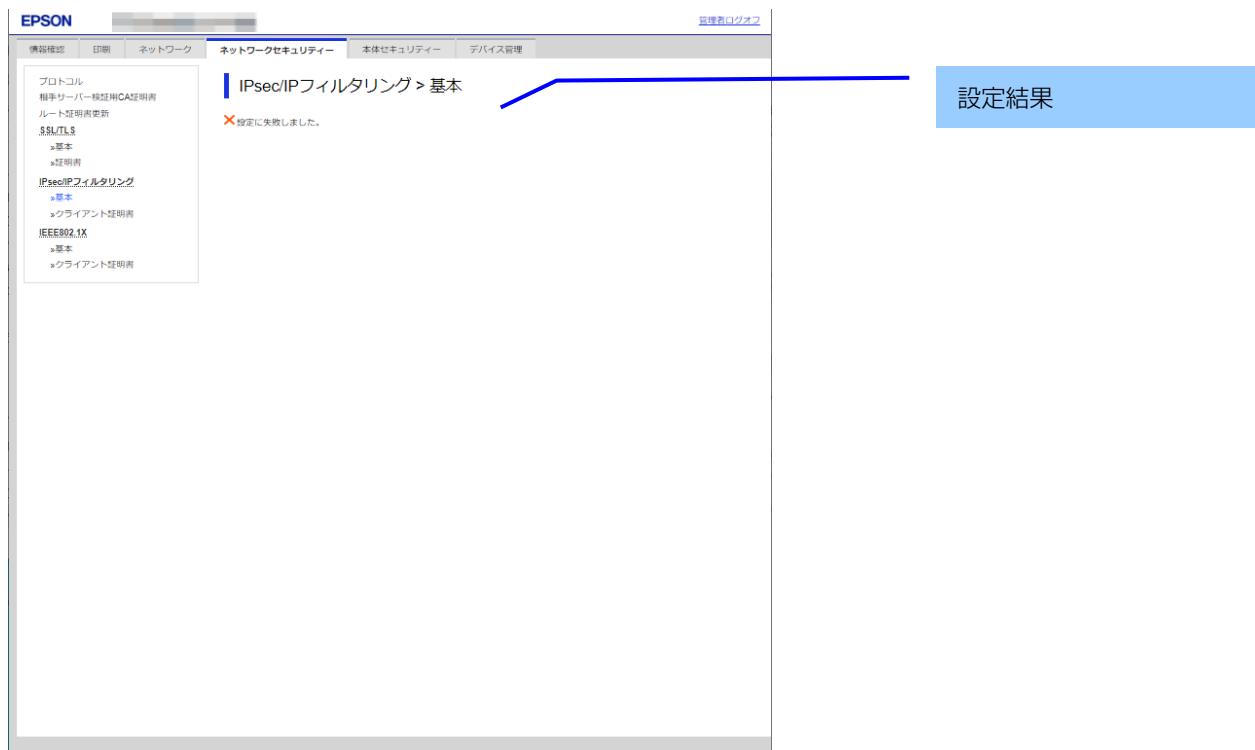


Figure 10-47 設定失敗ページ

10.4.5.1.2.5 設定結果

Table 10-104 設定結果

項目	説明
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。" "再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザ ーに「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"	成功の場合に表示する。(ネットワーク リブートが発生する。)
"設定に失敗しました。"	失敗の場合に表示する。

10.4.5.2 クライアント証明書

10.4.5.2.1 トップページ

10.4.5.2.1.1 イメージ図

トップページは以下に示す。

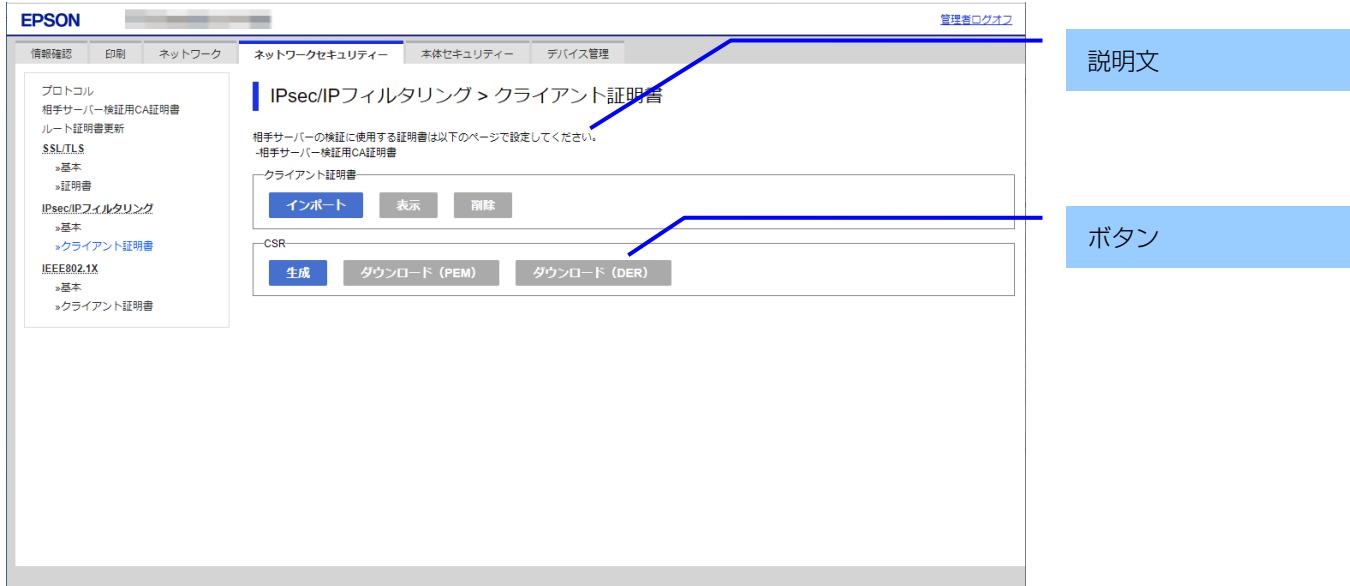


Figure 10-48 トップページ

10.4.5.2.1.2 説明文

Table 10-105 トップページ 説明文

項目	説明
"相手サーバーの検証に使用する証明書は以下のページで設定してください。" "-相手サーバー検証用 CA 証明書"	固定文字列

10.4.5.2.1.3 コピー元選択肢

どの機能から本機能へ証明書をコピーするかをドロップダウンリストで選択できる。

Table 10-106 コピー元選択肢

項目	説明	有効条件
"コピー元"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "SSL/TLS 用証明書" / "IEEE802.1X 用証明書" / "S/MIME 用証明書" "SSL/TLS 用証明書"は SSL/TLS の証明書ページでクライアント証明書がインポートされている場合のみ表示される。 "IEEE802.1X 用証明書"は IEEE802.1X の証明書ページでクライアント証明書がインポートされている場合のみ表示される。 "S/MIME 用証明書"は S/MIME の証明書ページでクライアント証明書がインポートされている場合のみ表示される。	"コピー元"は、以下ページで 1 つでもクライアント証明書がインポートされている場合に表示される。 ・ SSL/TLS の証明書ページ ・ IEEE802.1X の証明書ページ ・ S/MIME の証明書ページ

10.4.5.2.1.4 ボタン

IPsec/IP フィルタリング設定の証明書設定トップページで表示するボタンについて説明する。

Table 10-107 トップページのボタンについて

項目(グループ名)	項目(ボタン名)	説明	有効条件
"クライアント証明書"	"インポート"	クライアント証明書のインポートの設定ページに遷移する	-
	"表示"	クライアント証明書の情報確認ページに遷移する	クライアント証明書がインポート済時
	"削除"	ポップアップ表示後、インポート済みのクライアント証明書を削除する	クライアント証明書がインポート済時、かつ、未使用時
	"コピー"	他機能でインポート済みの証明書をドロップダウンリストから選択し、本機能へコピーする。 本機能でクライアント証明書が既にインポートされている場合は、警告ポップアップウィンドウが表示される。 本機能でクライアント証明書が未インポートの場合は、結果ページへ遷移する。	"コピー"ボタンは、以下ページで 1 つでもクライアント証明書がインポートされている場合に表示される。 ・SSL/TLS の証明書ページ ・IEEE802.1X の証明書ページ
"CSR"	"生成"	CSR の生成するための設定画面に遷移する。	-
	"ダウンロード (PEM)"	生成した CSR を PEM 形式でダウンロードする。	CSR が生成済時
	"ダウンロード (DER)"	生成した CSR を DER 形式でダウンロードする。	CSR が生成済時

10.4.5.2.2 結果表示ページ

10.4.5.2.2.1 イメージ図

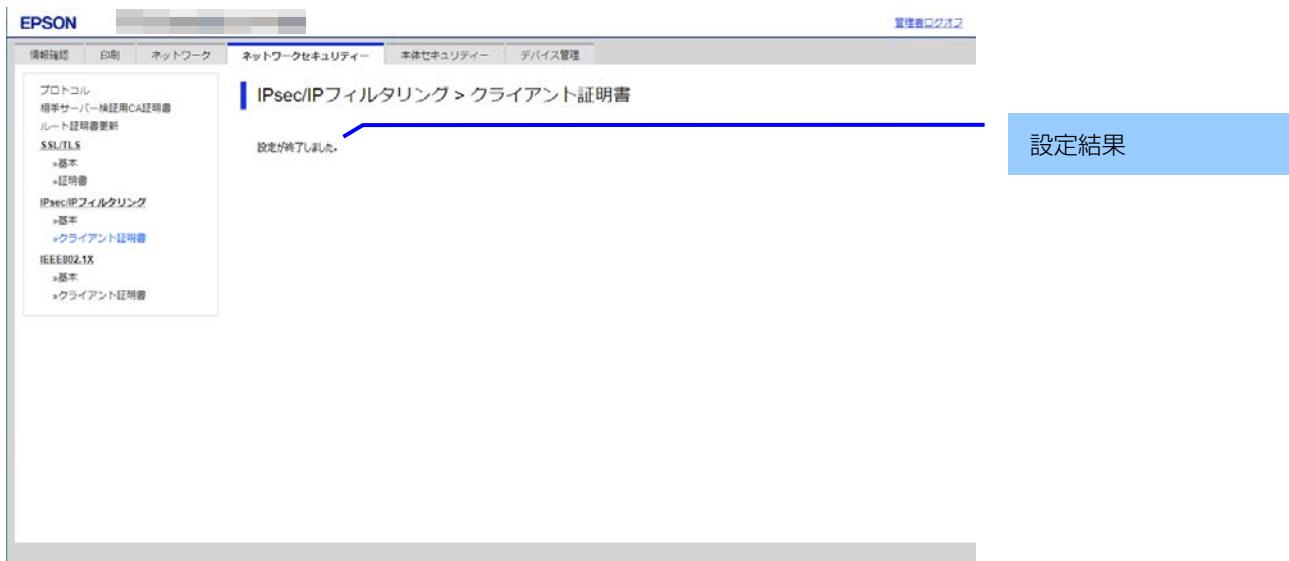


Figure 10-49 結果表示ページ

10.4.5.2.2.2 設定結果

コピーボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

Table 10-108 「使用するサーバー証明書」の切り替え 結果表示

項目	説明
"設定が終了しました。"	上書きでない証明書インポート成功の場合に表示する。
"設定に失敗しました。"	失敗の場合に表示する。

10.4.5.2.3 クライアント証明書「インポート」

10.4.5.2.3.1 インポートトップページ

IPsec/IP フィルタリング設定の証明書設定トップページのクライアント証明書のインポートボタンを、押下することによって、以下のクライアント証明書インポート設定ページに遷移する。

10.4.5.2.3.1.1 イメージ図

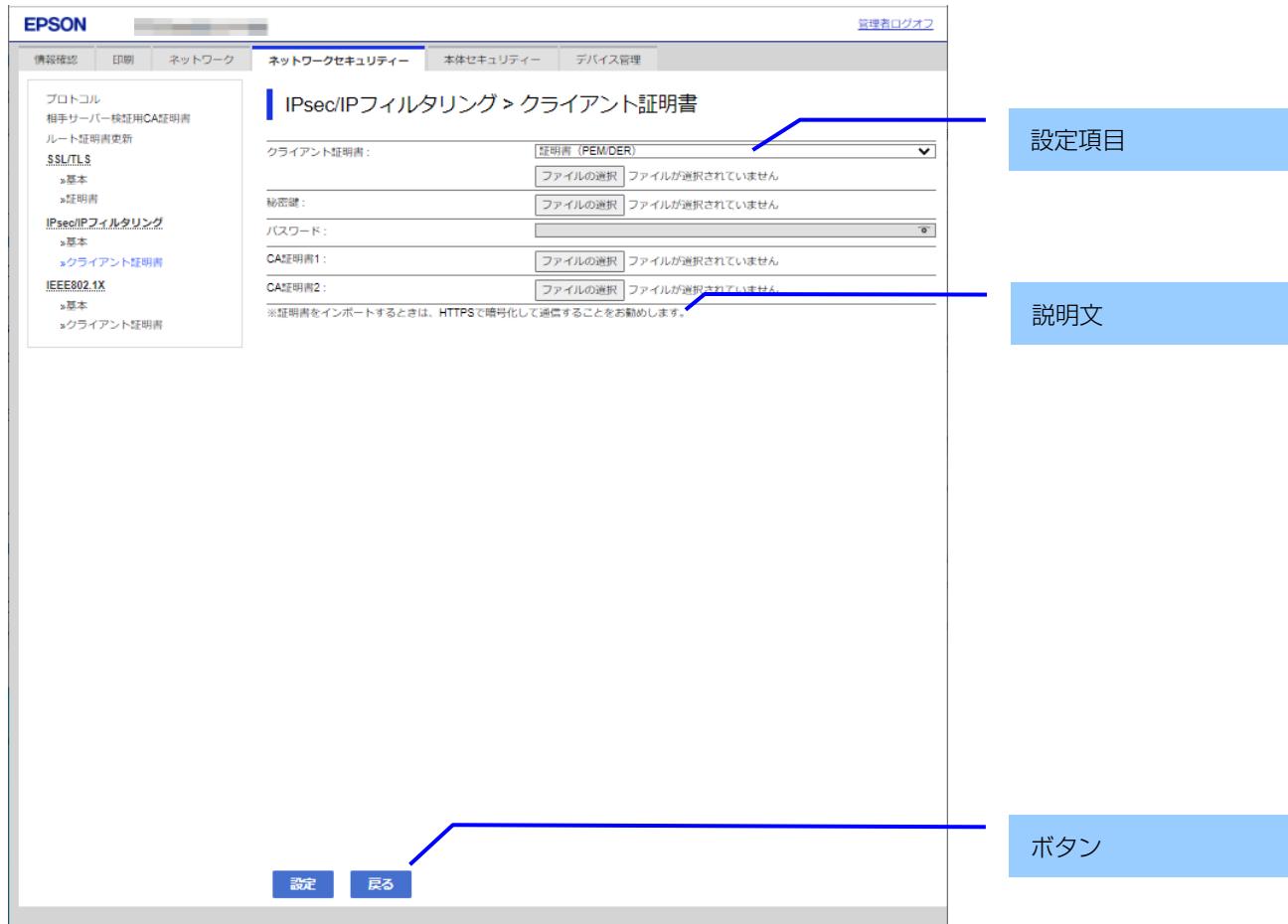


Figure 10-50 インポートトップページ

10.4.5.2.3.1.2 設定項目

インポートトップページでは、以下の設定が可能である。

Table 10-109 クライアント証明書インポート 設定項目

項目	説明	有効条件
"クライアント証明書"	インポートするクライアント証明書ファイルを指定できる。フォルダー参照ボタンで入力する。	-
ファイル形式	インポートするサーバー証明書のファイル形式をドロップダウンリストで選択する。 "証明書(PEM/DER)" / "秘密鍵付き証明書(PKCS#12)"	-
"秘密鍵"	インポートするサーバー証明書に関する秘密鍵ファイルが指定できる。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式が「証明書(PEM/DER)」を選択された時
"パスワード"	秘密鍵を暗号化するためのパスフレーズをテキストボックスで入力する。ASCII 文字コード (0x20-0x7E) 0 文字以上 48 文字以下 入力した文字は、"*"でマスクして表示する。	ファイル形式が「秘密鍵付き証明書(PKCS#12)」を選択された時

"CA 証明書 1"	サーバー証明書を発行した機関の証明書をインポートするためにファイルを指定する。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式が「証明書(PEM/DER)」を選択された時
"CA 証明書 2"	CA 証明書 1 を発行した機関の証明書をインポートするためにファイルを指定する。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式が「証明書(PEM/DER)」を選択された時

10.4.5.2.3.1.3 説明文

Table 10-110 クライアント証明書情報 説明文

項目	説明
"※証明書をインポートするときは、HTTPS で暗号化して通信することをお勧めします。"	固定文字列

10.4.5.2.3.1.4 ボタン

インポートページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-111 クライアント証明書インポート ボタン

項目	説明
"設定"	インポートを実施する。 "OK"ボタンが押された際に、条件によって下記の動作を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ● 入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。 ● 入力値に誤りがなく、かつ既に証明書がインポートされている場合は、警告としてポップアップウィンドウを出す。 ● 入力値に誤りがなく、かつ証明書がインポートされていない場合は、結果表示ページへ遷移する。
"戻る"	IEEE802.1X 証明書設定トップページに遷移する

10.4.5.2.3.2 結果表示ページ

設定または"OK"ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

10.4.5.2.3.2.1 イメージ図

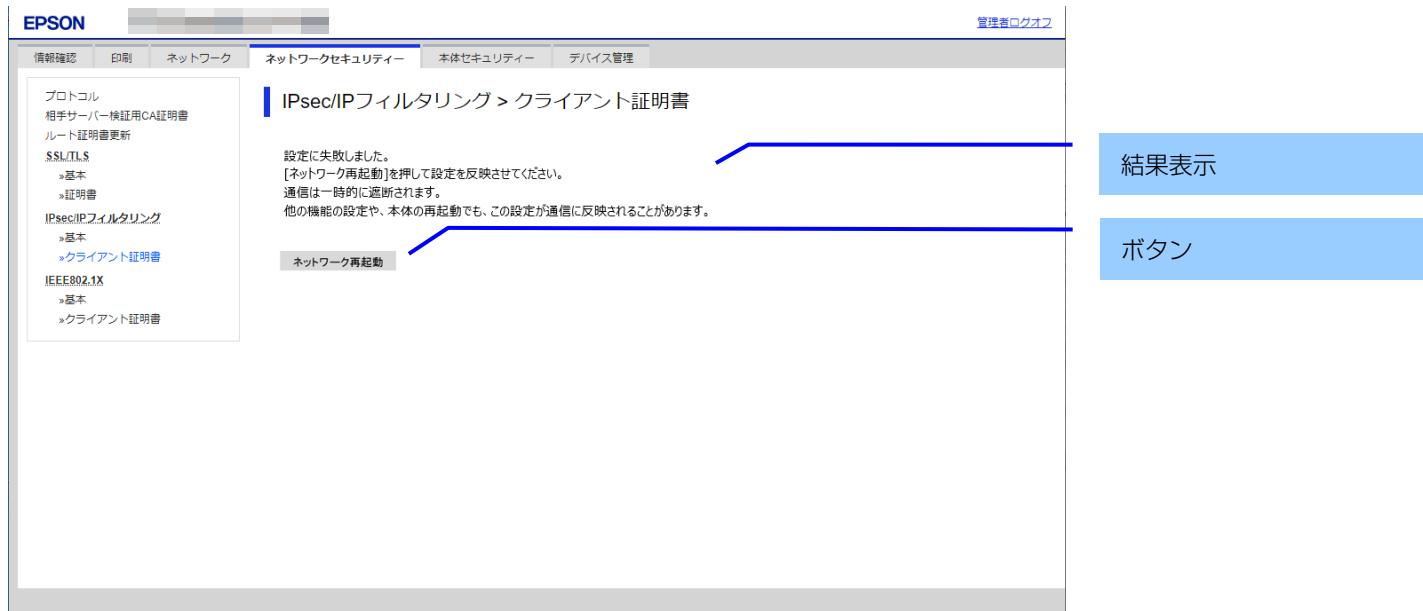


Figure 10-51 結果表示ページ

10.4.5.2.3.2.2 結果表示

Table 10-112 クライアント証明書インポート 結果表示

項目	説明	インポートトップページから遷移	警告ポップアップから遷移	ネットワーク再起動ボタン押下後遷移
"設定が終了しました。"	証明書インポート成功の場合に表示する。	する	しない	しない
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。"	上書き証明書インポート成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)	しない	する	する
"再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザに「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"				
"パスワードが正しくありません。"	パスワードが不正の場合に表示する。	する	する	しない
"不正なファイルです。"	以下の場合に表示する。 ・証明書が不正 -ファイル形式が X.509 形式でない -5K 以上 24K 未満のサイズオーバーの証明書をインポートしようとした(※) ・秘密鍵ファイルと証明書がマッチしない ・チェーンが不正	する	する	しない
"日付/時刻が設定されていません。"	有効期間外の証明書をインポートしようとしたときに表示する。(日時未設定状態)	する	する	しない
"有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、または日付/時刻設定を確認してください。"	有効期間外の証明書をインポートしようとしたときに表示する。(日時設定済状態)	する	する	しない

"3つ以上の CA 証明書が含まれたクライアント証明書は使用できません"	証明書をサーバー証明書1つと CA 最大件数オーバー ・PKCS#12に3つ以上のCA 証明書が含まれている	する	する	しない
"秘密鍵が必要な証明書ファイルです。"	秘密鍵が必要な証明書にファイルがなかった場合に表示する。	する	する	しない
"設定に失敗しました。"	証明書インポート失敗時に表示する。	する	する	しない
"設定に失敗しました。" "[ネットワーク再起動]を押して設定を反映させてください。" "通信は一時的に遮断されます。" "他の機能の設定や、本体の再起動でも、この設定が通信に反映されることがあります。"	ネットワーク再起動に失敗した時に表示する。	しない	する	する

※インポートする証明書のサイズが24Kbyte以上の場合、読み込みできずWebブラウザーのエラーが表示される。

10.4.5.2.3.2.3 ボタン

Table 10-113 ボタン

項目	説明	有効条件
"ネットワーク再起動"	ネットワーク再起動を実施する。 ネットワーク再起動に成功した場合は、成功結果ページへ遷移する。 ネットワーク再起動に失敗した場合は、同じページへ遷移する。	ネットワーク再起動に失敗した場合のみ表示

10.4.5.2.4 クライアント証明書「表示」

10.4.5.2.4.1 トップページ

IPsec/IP フィルタリング設定の証明書設定トップページのクライアント証明書の表示ボタンを、押下することによって、以下のクライアント証明書情報確認ページに遷移する。

表示されるページの形式は"CA 署名証明書の「表示」"と同じである。

10.4.5.2.4.1.1 表示項目

Table 10-114 クライアント証明書情報 表示項目

項目	説明
"クライアント証明書"	クライアント証明書の情報を表示する。 ASCII 最大 8192Byte。
"CA 証明書 1"	CA 証明書 1 の情報を表示する。なければ項目自体表示しない。 ASCII 最大 8192Byte。
"CA 証明書 2"	CA 証明書 2 の情報を表示する。なければ項目自体表示しない。 ASCII 最大 8192Byte。

10.4.5.2.4.1.2 ボタン

Table 10-115 クライアント証明書情報 ボタン

項目	説明
"戻る"	IPsec 証明書設定トップページに遷移する

10.4.5.2.5 CSR(署名リクエスト)「生成」

10.4.5.2.5.1 生成トップページ

IPsec/IP フィルタリング設定の証明書設定トップページの CSR の生成ボタンを、押下することによって、以下の CSR 生成設定ページに遷移する。

表示されるページの形式は"SSL/TLS > 証明書 > CSR 「生成」"と同じである。

10.4.5.2.5.1.1 イメージ図

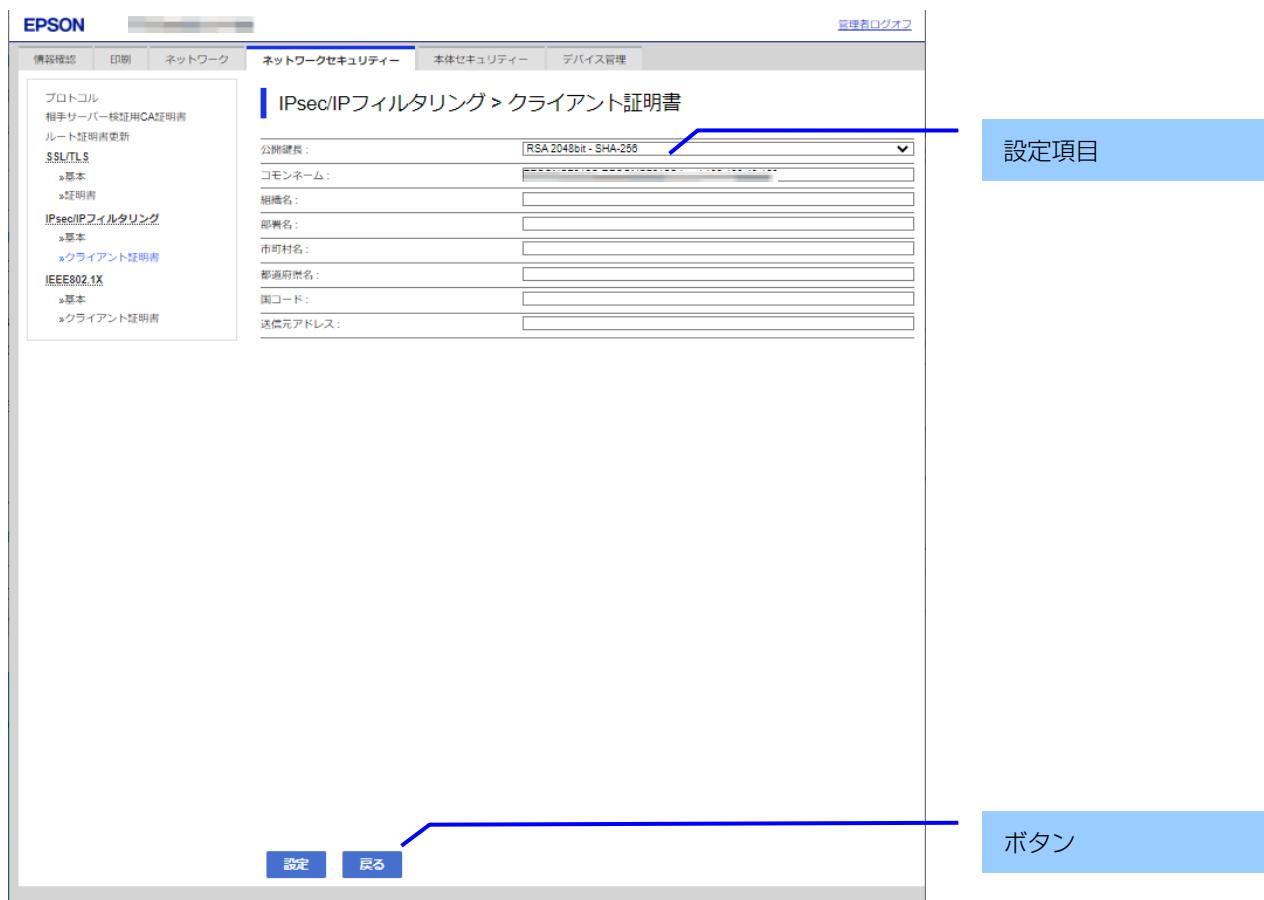


Figure 10-52 CSR(署名リクエスト)「生成」

10.4.5.2.5.1.2 設定項目

CSR の生成には以下の情報をユーザーに入力してもらう必要がある。

Table 10-116 CSR 生成 設定項目

項目	説明
"公開鍵長"	CSR 作成に用いる公開鍵長を設定する。 以下をドロップダウンリストで選択する。 "RSA 1024bit- SHA-1" / "RSA 2048bit- SHA-256" / "RSA 3072bit - SHA-256" / "EC 256bit- SHA-256" / "RSA 4096bit - SHA-384" / "EC 384bit - SHA-384" / "EC 521bit- SHA-512"
"コモンネーム"	CSR 作成に用いるコモンネームを設定する。 テキストボックスで入力を行う。 1 文字以上 128 文字以下 IPv4 形式、IPv6 形式（括弧 "["、 "]" で囲む書式を許容）、ホスト名形式、FQDN 形式で入力可能。また、カンマ (0x2c) は、制御用文字として特殊な意味を持つ。※参照
"組織名"	CSR 作成に用いる組織名を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。

"部署名"	CSR 作成に用いる部署名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"市町村名"	CSR 作成に用いる市町村名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"都道府県名"	CSR 作成に用いる都道府県名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"国コード"	CSR 作成に用いる国別記号（ISO-3166）を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 2 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"送信元アドレス"	メール送信するための送信元アドレスを指定する。 テキストボックスに 0~255 文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。 (:()<>[];¥"; を除く)

※ コモンネームやにカンマ(,)文字を使用して複数入力が可能。入力した情報はカンマ(,)によって複数に分割される。

10.4.5.2.5.1.3 ボタン

生成ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-117 CSR 生成設定ページのボタンについて

項目	説明
"設定"	CSR 生成を実施する
"戻る"	IPsec 証明書設定トップページに遷移する

Table 10-118 CSR 生成エラー ポップアップ ウィンドウ

項目	説明
"以下の入力値が不正です。%n -%s%n -%s%n…"	入力値エラーの場合に表示する。

10.4.5.2.5.2 結果表示

設定ボタンが押された後で、砂時計ページを表示し、設定結果を表示するページに遷移する。

10.4.5.2.5.2.1 イメージ図

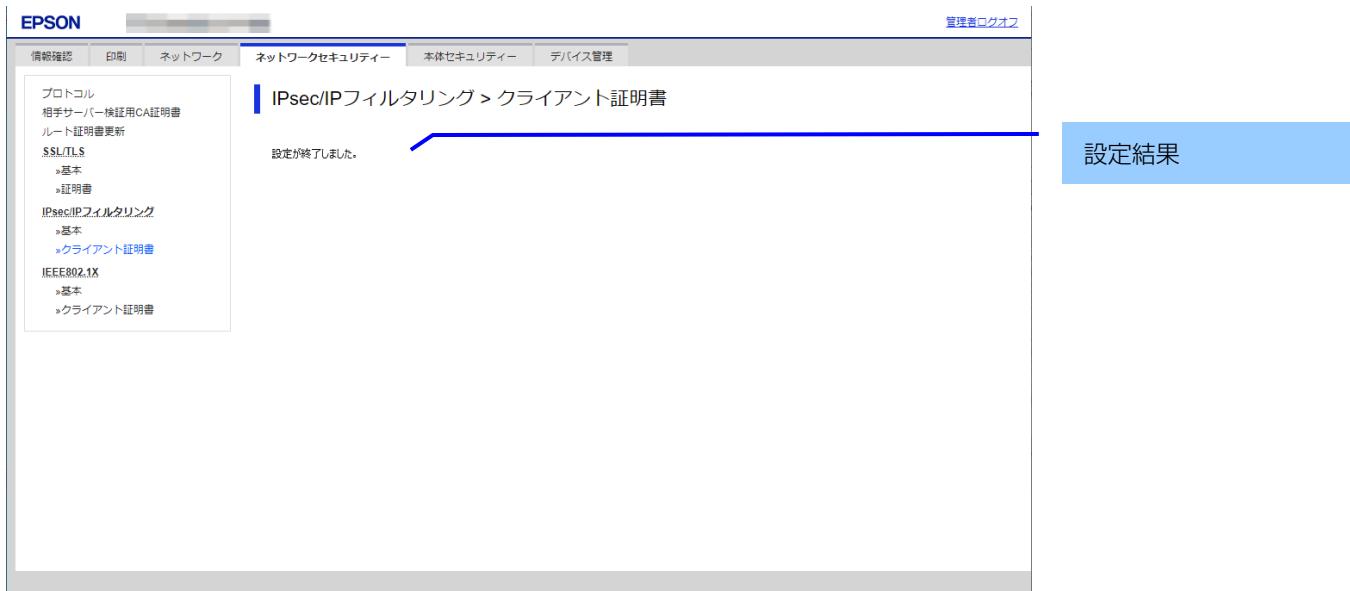


Figure 10-53 結果表示ページ

10.4.5.2.5.2.2 設定結果

Table 10-119 設定結果

項目	説明
"設定が終了しました。"	成功時に表示する。
"設定に失敗しました。"	上記以外の場合に表示する。

10.4.5.2.6 CSR (署名リクエスト) 「ダウンロード」

IPsec/IP フィルタリング設定の証明書設定トップページの CSR「ダウンロード (PEM)」ボタン、もしくは CSR「ダウンロード (DER)」ボタンを、押下することによって、生成した CSR のダウンロードが可能である。

「ダウンロード (PEM)」ボタン押下した場合は、PEM のファイル形式でダウンロードでき、「ダウンロード (DER)」ボタン押下した場合は、DER のファイル形式でダウンロードできる。

ダウンロードされるファイルの初期名は、"EXPORT_CSR_<製造番号>_<日付時刻>"の形式である。

<製造番号>は、製品の製造番号をあらわす。

<日付時刻>は、プリンターに設定されている日付時刻をあらわす。例:20181010143021

CSR のダウンロード方法は、ブラウザーによって異なる。

10.4.6 IEEE802.1X

IEEE802.1X 設定では、IEEE802.1X に関する、基本設定、証明書設定が可能である。

本設定のメニューでは、以下のサブメニューをサポートする。

Table 10-120 IEEE802.1X 設定のサブメニュー

サブメニュー	
"基本"	
"クライアント証明書"	

10.4.6.1 基本

10.4.6.1.1 基本設定 トップページ

10.4.6.1.1.1 イメージ図

以下に IEEE802.1X の基本設定の画面イメージを示す。

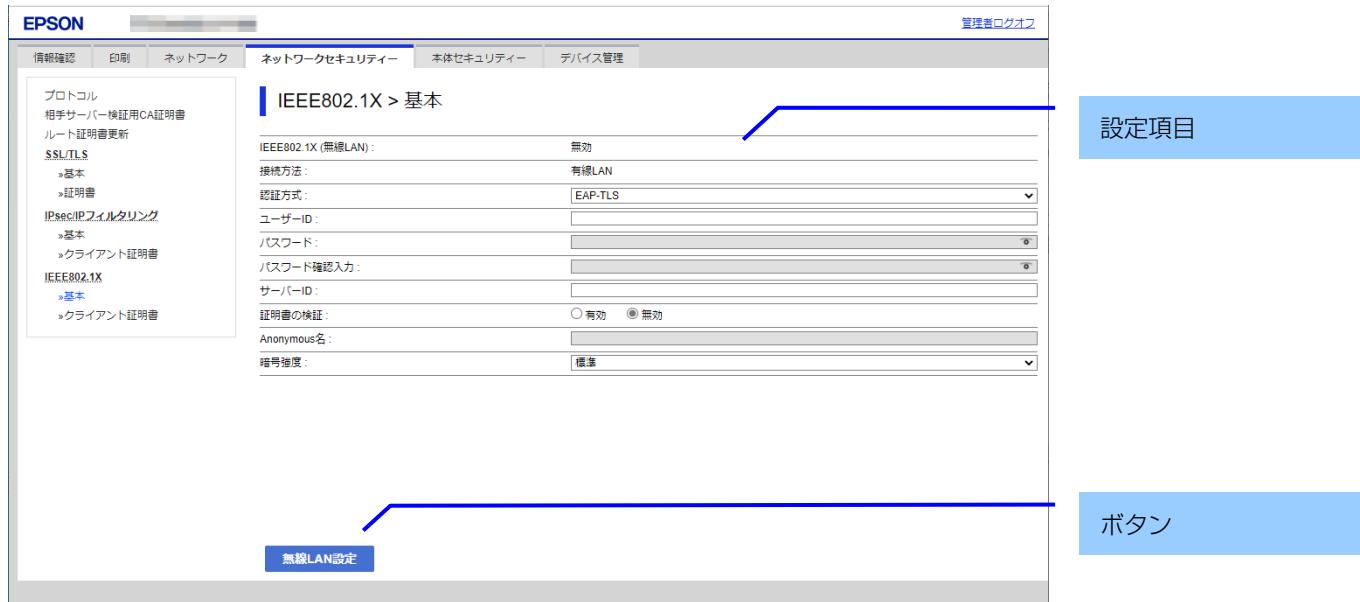


Figure 10-54 IEEE802.1X 基本設定トップページ

10.4.6.1.1.2 設定項目

以下の項目の設定が可能である。

Table 10-121 設定項目

項目	説明	有効条件
"IEEE802.1X (有線 LAN)"	"有効" / "無効" をラジオボタンで選択	有線 LAN 対応機種のみ項目を表示する。
"IEEE802.1X (無線 LAN)"	"有効" / "無効"を表示	Read Only WPA2/WPA3-Enterprise 対応機種のみ項目を表示する。
"接続方法"	"有線 LAN" / "無線 LAN" / "無効"を表示。	Read Only WPA2/WPA3-Enterprise 対応機種のみ項目を表示する。
"認証方式"	■Wi-Fi チップ搭載機種以外 "EAP-TLS" / "PEAP-TLS" / "PEAP/MSCHAPv2" をドロップダウンリストで選択。 ■Wi-Fi チップ搭載機種 "EAP-TLS" / "EAP-TTLS" / "PEAP-TLS" / "PEAP/MSCHAPv2" をドロップダウンリストで選択。	-

"ユーザーID"	<ul style="list-style-type: none"> テキストボックスに1～128byteの半角文字で入力する。 ASCII文字コード 0x20～0x7E 	-
"パスワード"	<ul style="list-style-type: none"> テキストボックスに1～128byteの半角文字で入力する。 ASCII文字コード 0x20～0x7E <p>認証方式がPEAP/MSCHAPv2またはEAP-TTLSの場合、空文字入力は不可。必ず、入力が必要。</p>	<p>■Wi-Fiチップ搭載機種以外 "認証方式"が"PEAP/MSCHAPv2"のとき入力可能。</p> <p>■Wi-Fiチップ搭載機種 "認証方式"が"PEAP/MSCHAPv2"または、"EAP-TTLS"のとき入力可能。</p>
"パスワード確認入力"	"パスワード"と同様	"パスワード"と同様
"サーバーID"	<ul style="list-style-type: none"> テキストボックスに0～128byteの半角文字で入力する。 ASCII文字コード 0x20～0x7E 	-
"証明書の検証"	以下を選択するラジオボタンを設ける。 "有効" / "無効"	-
"Anonymous名"	<ul style="list-style-type: none"> テキストボックスに0～128byteの半角文字で入力する。 ASCII文字コード 0x20～0x7E 	"認証方式"が"PEAP-TLS" / "PEAP/MSCHAPv2" / "EAP-TTLS"のときに入力可能。
"暗号強度"	"標準" / "高い"をドロップダウンリストで選択	-

10.4.6.1.1.3 ボタン

Table 10-122 ボタン

項目	説明	有効条件
"次へ"	入力確認ページへ遷移する。	有線 LAN 対応機種のみ表示する。
"無線 LAN 設定"	WPA2/WPA3-Enterpriseによる無線接続設定を開始するために、SSID探索ページに遷移する。	WPA2/WPA3-Enterprise 対応機種のみ表示する。

ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーpopupアップウィンドウを出す。

Table 10-123 エラーpopupアップ

項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。"	テキストボックスへの入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は1行に1項目表示する。
"パスワードと確認入力の値が一致しません。"	パスワードとパスワードの確認の入力した値が一致しない場合に表示する。

10.4.6.1.2 SSID 探索ページ

"無線 LAN 設定"ボタン押下により SSID 探索ページに遷移する。SSID 探索ページは以下のようになる。"最新の状態へ更新"ボタンの押下、あるいは定期的に SSID 探索が完了したかを確認し、完了している場合は無線設定ページへ遷移し、未完了の場合は SSID 探索ページへ遷移し、探索に失敗した場合は設定結果のページに遷移する。

10.4.6.1.2.1 イメージ図

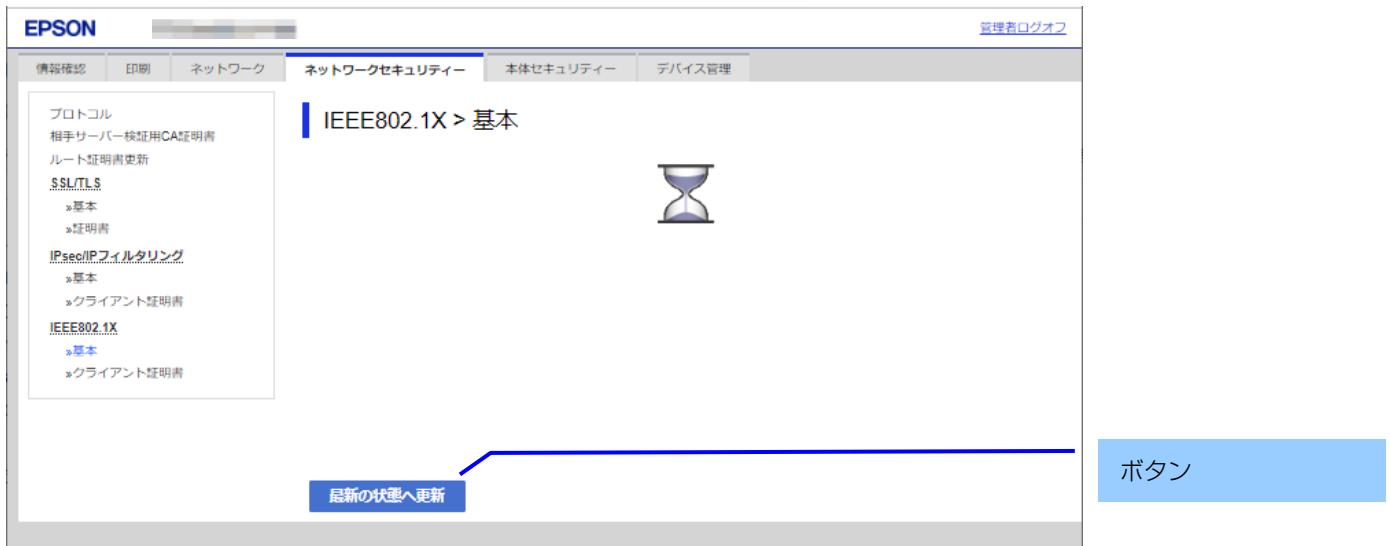


Figure 10-55 SSID 探索ページ

10.4.6.1.2.2 ボタン

Table 10-124 ボタン

項目	説明
"最新の状態へ更新"	ボタン押下により SSID 探索が完了していた場合は無線設定ページを、未完了の場合は SSID 探索ページへ遷移する。

10.4.6.1.3 無線設定ページ

SSID 探索ページより、"最新の状態へ更新"ボタンの押下、あるいは定期的な探索結果確認により SSID の探索が完了した時点で、無線設定ページに遷移する。無線設定ページは以下のようになる。ラジオボタンにて、探索された SSID、あるいは手動設定の SSID の中から設定する SSID を選択する。

10.4.6.1.3.1 イメージ図

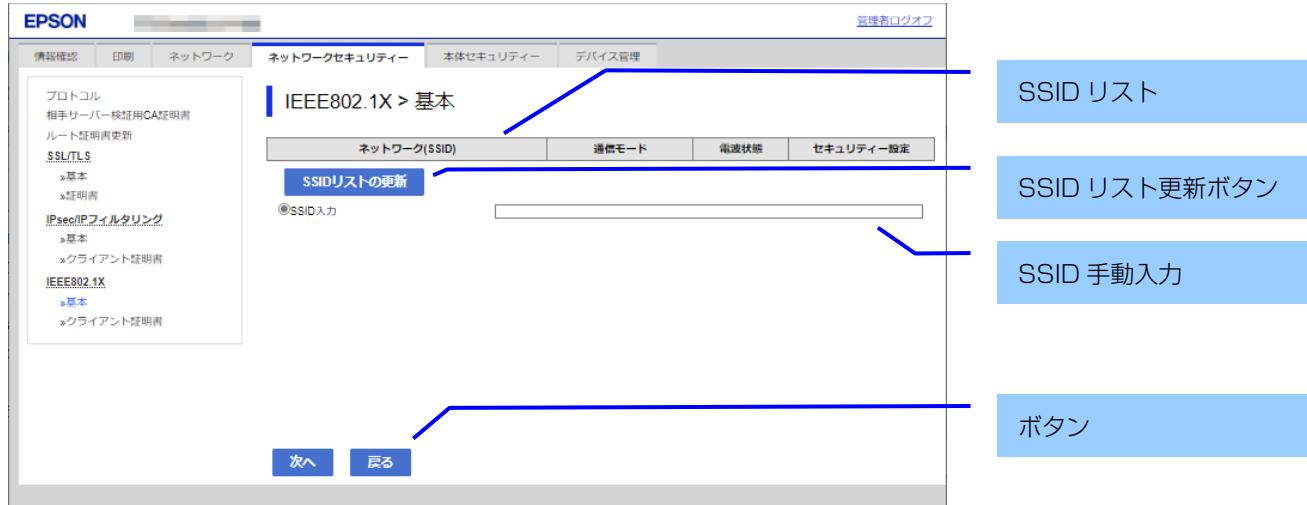


Figure 10-56 無線設定ページ

10.4.6.1.3.2 SSID リスト

SSID リストから設定する SSID を選択する。SSID リストは以下のように構成され、信号強度の強い順に、セキュリティ設定が WPA2/WPA3-Enterprise の SSID を最大 10 個まで表示する。

Table 10-125 SSID リスト

項目	説明	条件
"ネットワーク (SSID)"	SSID 名を表示する。	-
"通信モード"	通信方法を表示する。表示される文字列は"インフラストラクチャー"である。	-
"電波状態"	電波状態を表示する。表示される文字列は "非常に良い" / "良い" / "弱い" / "悪い" / "不定" である。	Wi-Fi チップ搭載機種のみ表示される。
"セキュリティ設定"	セキュリティの方式を表示する。表示される文字列は"WPA2/WPA3-Enterprise"である。	-

10.4.6.1.3.3 SSID 手動入力

手動入力した SSID に対する設定を行う。

Table 10-126 SSID 手動入力

項目	説明
"SSID 入力"	SSID 手動入力用のテキストボックスを設ける。入力可能文字は、1~32 文字の範囲で、半角英数字、半角記号 (ASCII コードでは 0x20-0x7E の範囲) である。

10.4.6.1.3.4 SSID リスト更新ボタン

SSID リストを更新するためのボタンを設ける。

Table 10-127 SSID リスト更新ボタン

項目	説明
"SSID リストの更新"	ボタンを押下することで SSID 探索ページへ遷移する。

10.4.6.1.3.5 ボタン

無線設定ページで入力された値で無線 LAN 設定を進める、あるいは操作を戻すためのボタンを設ける。

Table 10-128 ボタン

項目	説明
"次へ"	無線設定ページで入力された値で WPA2/WPA3-Enterprise 設定を進めるためのボタン。ボタン押下でも設定は反映されず、入力確認ページへ遷移する。
"戻る"	無線設定ページで入力された値を破棄し、IEEE802.1X 基本設定トップページへ遷移するためのボタン。

"設定"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーpopupアップウィンドウを出す。

Table 10-129 エラーpopupアップ

項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。"	SSID の入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。

10.4.6.1.4 入力確認ページ

基本設定トップページ、無線設定ページで"次へ"ボタンが押下されたら、入力された設定値を確認するための入力確認ページに遷移する。

10.4.6.1.4.1 イメージ図

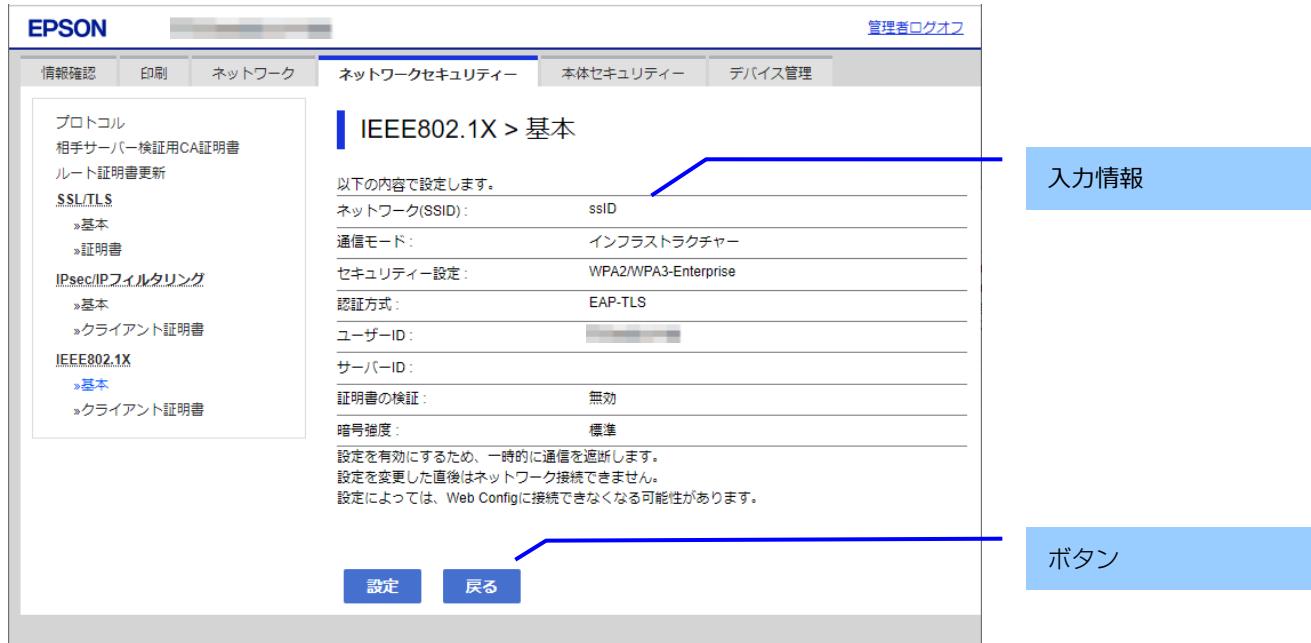


Figure 10-57 入力確認ページ

10.4.6.1.4.2 入力情報

入力情報は入力確認ページへの遷移が、IEEE802.1X 基本設定トップページから遷移したか、無線設定ページから遷移したかにより表示する項目が異なる。以下に各遷移で表示する項目を示す。

Table 10-130 遷移による表示項目の違い

項目	基本設定トップページからの遷移	無線設定ページからの遷移
"ネットワーク(SSID)"	×	○
"通信モード"	×	○
"セキュリティ設定"	×	○
"IEEE802.1X (有線 LAN)"	○	○
"認証方式"	○	○
"ユーザーID"	○	○
"パスワード"	○	○
"サーバーID"	○	○
"Anonymous 名"	○	○
"暗号強度"	○	○

○：表示、×：非表示

IEEE802.1X 基本設定トップページで無効になっていた項目は入力確認ページでは表示しない。
また、表示項目の上下に以下の文言を記載する。

Table 10-131 説明文

項目	説明	有効条件
"以下の内容で設定します。"	左記の文言に続き、設定項目を表示し、前のページで設定された値を表示する。	-
"設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。" "設定を変更した直後はネットワーク接続できません。" "設定によっては、Web Config に接続できなくなる可能性があります。"	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。	-
<LCD のない製品の場合> "意図せず接続できなくなったときは、製品のボタン操作でネットワークを初期化してから再設定してください。" <LCD ありの製品の場合> "意図せず接続できなくなったときは、製品の画面で IEEE802.1X を無効にしてから再設定してください。"	設定項目の最下部に左記の注意文を表示する。	基本設定トップページからの遷移時のみ表示。

10.4.6.1.4.3 ボタン

表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。設定ボタンを押下することで設定結果ページを表示する。

Table 10-132 ボタン

項目	説明
"設定"	入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。ボタンを押下することで設定結果ページへ遷移する。
"戻る"	基本設定 トップページから入力確認ページに遷移してきた場合は基本設定 トップページに、無線設定ページから入力確認ページに遷移してきた場合は無線設定ページに戻るためのボタン。

10.4.6.1.5 設定結果ページ

"設定"ボタンを押すと結果ページが表示される。

10.4.6.1.5.1 イメージ図

設定成功時に表示されるページと設定失敗時に表示されるページを以下に示す。

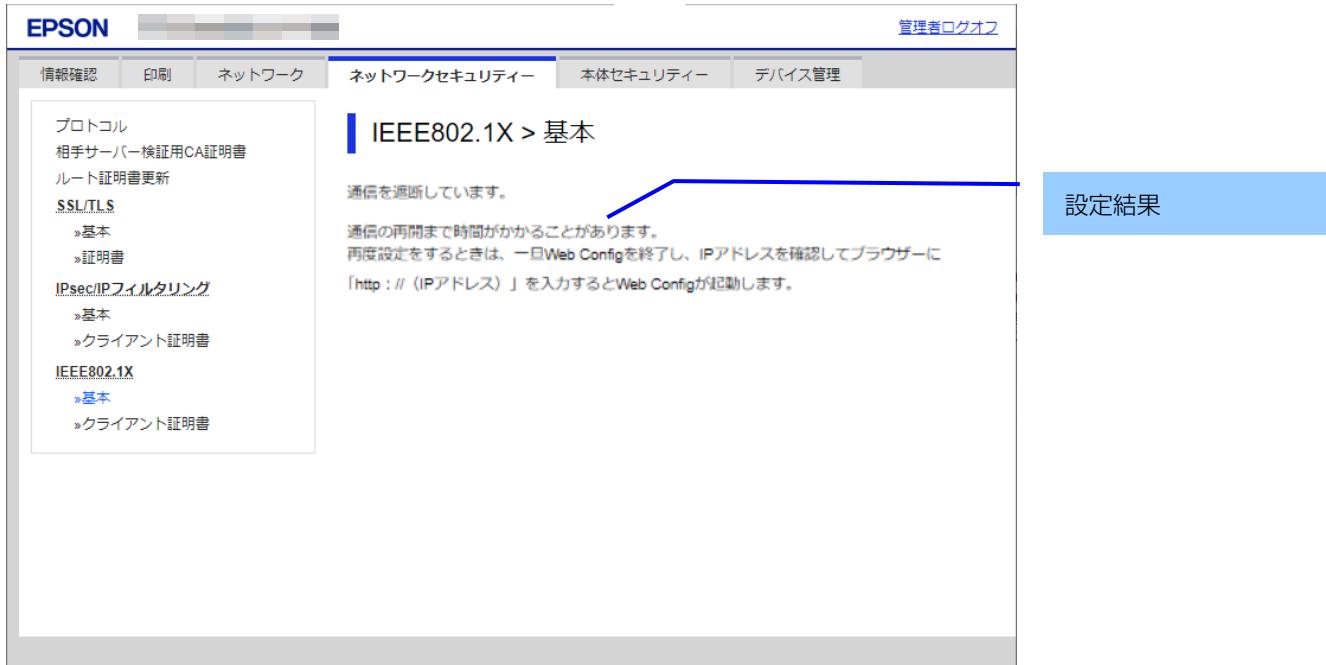


Figure 10-58 設定結果ページ

10.4.6.1.5.2 設定結果

Table 10-133 設定結果

項目	説明
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。" "再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザーに 「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"	成功の場合に表示する。(ネットワーククリブートが発生する。)
"設定に失敗しました。"	失敗の場合に表示する。

10.4.6.2 クライアント証明書設定

10.4.6.2.1 トップページ

IEEE802.1X 設定の証明書設定トップページは以下に示す。

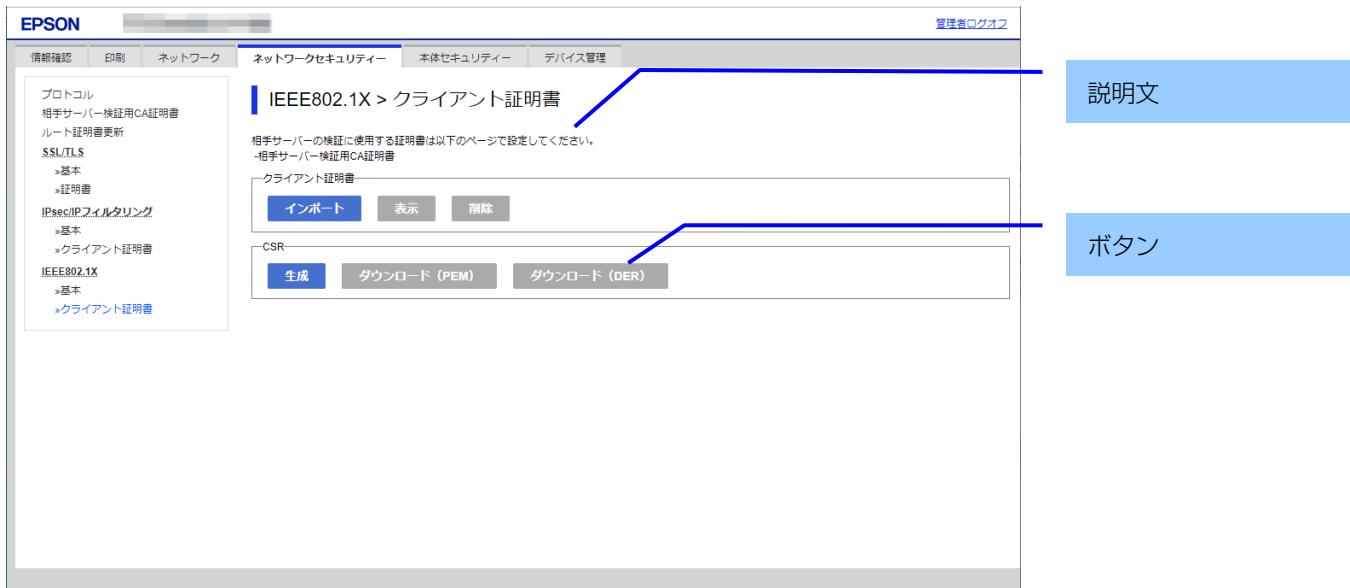


Figure 10-59 クライアント証明書設定トップページ

10.4.6.2.1.1 説明文

Table 10-134 トップページ 説明文

項目	説明
"相手サーバーの検証に使用する証明書は以下のページで設定してください。" "-相手サーバー検証用 CA 証明書"	固定文字列

10.4.6.2.1.2 コピー元選択肢

どの機能から本機能へ証明書をコピーするかをドロップダウンリストで選択できる。

Table 10-135 コピー元選択肢

項目	説明	有効条件
"コピー元"	以下をドロップダウンリストで選択する。 "SSL/TLS 用証明書" / "IPsec 用証明書" / "S/MIME 用証明書" "SSL/TLS 用証明書"は SSL/TLS の証明書ページでクライアント証明書がインポートされている場合のみ表示される。 "IPsec 用証明書"は IPsec の証明書ページでクライアント証明書がインポートされている場合のみ表示される。 "S/MIME 用証明書"は S/MIME の証明書ページでクライアント証明書がインポートされている場合のみ表示される。	"コピー元"は、以下ページで 1 つでもクライアント証明書がインポートされている場合に表示される。 ・ SSL/TLS の証明書ページ ・ IPsec の証明書ページ ・ "S/MIME 用証明書"

10.4.6.2.1.3 ボタン

トップページで表示するボタンについて説明する。

Table 10-136 トップページのボタンについて

項目(グループ名)	項目(ボタン名)	説明	有効条件
"クライアント証明書"	"インポート"	クライアント証明書のインポートの設定ページに遷移する	-
	"表示"	クライアント証明書の情報確認ページに遷移する	クライアント証明書がインポート済時
	"削除"	ポップアップ表示後、インポート済みのクライアント証明書を削除する	クライアント証明書がインポート済時、かつ、未使用時
	"コピー"	他機能でインポート済みの証明書をドロップダウンリストから選択し、本機能へコピーする。 本機能でクライアント証明書が既にインポートされている場合は、警告ポップアップウインドウが表示される。 本機能でクライアント証明書が未インポートの場合は、結果ページへ遷移する。	"コピー"ボタンは、以下ページで1つでもクライアント証明書がインポートされている場合に表示される。 ・SSL/TLS の証明書ページ ・IPsec の証明書ページ
"CSR"	"生成"	CSR の生成するための設定画面に遷移する	-
	"ダウンロード (PEM)"	生成した CSR を PEM 形式でダウンロードする	CSR が生成済時
	"ダウンロード (DER)"	生成した CSR を DER 形式でダウンロードする	CSR が生成済時

10.4.6.2.2 結果表示ページ

コピーボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

10.4.6.2.2.1 イメージ図

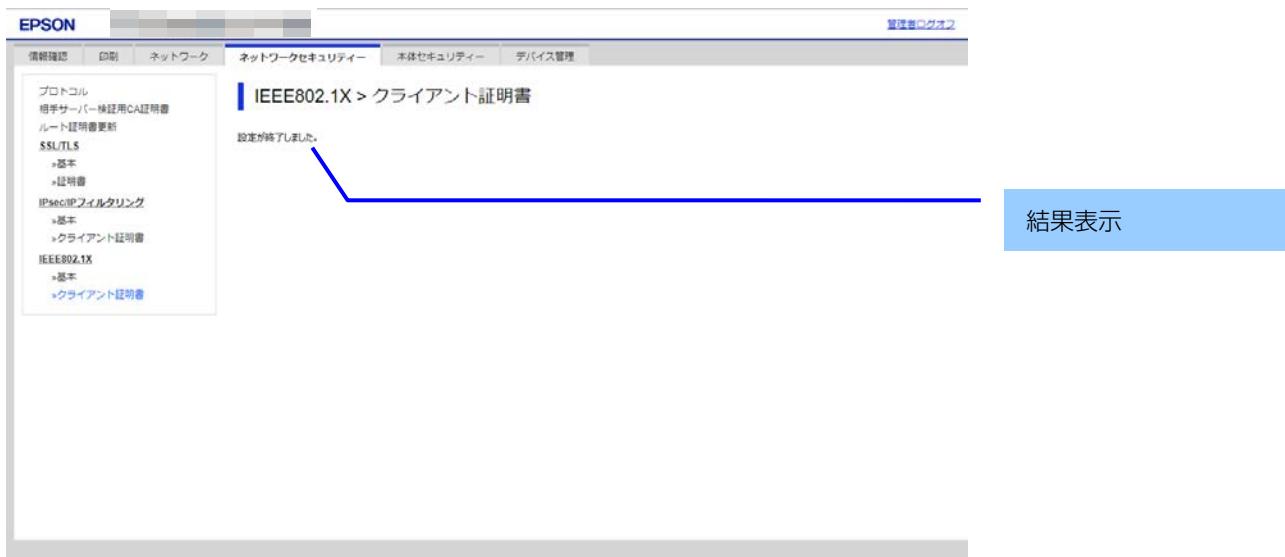


Figure 10-60 結果表示ページ

10.4.6.2.2.2 結果表示

Table 10-137 結果表示

項目	説明
"設定が終了しました。"	上書きでない証明書インポート成功の場合に表示する。
"設定に失敗しました。"	失敗の場合に表示する

10.4.6.2.3 クライアント証明書「インポート」

10.4.6.2.3.1 インポートトップページ

IEEE802.1X 設定の証明書設定トップページのクライアント証明書のインポートボタンを、押下することによって、以下のクライアント証明書インポート設定ページに遷移する。

表示されるページの形式は"IPsec/IP フィルタリング > クライアント証明書「インポート」"と同じである。

10.4.6.2.3.1.1 設定項目

インポートトップページでは、以下の設定が可能である。

Table 10-138 クライアント証明書インポート 設定項目

項目	説明	有効条件
"クライアント証明書"	インポートするクライアント証明書ファイルを指定できる。フォルダー参照ボタンで入力する。	-
ファイル形式	インポートするサーバー証明書のファイル形式をドロップダウンリストで選択する。 "証明書(PEM/DER)" / "秘密鍵付き証明書(PKCS#12)"	-
"秘密鍵"	インポートするサーバー証明書に関する秘密鍵ファイルが指定できる。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式が「証明書(PEM/DER)」を選択された時
"パスワード"	秘密鍵を暗号化するためのパスフレーズをテキストボックスで入力する。ASCII 文字コード (0x20-0x7E) 0 文字以上 48 文字以下 入力した文字は、"*"でマスクして表示する。	ファイル形式が「秘密鍵付き証明書(PKCS#12)」を選択された時
"CA 証明書 1"	サーバー証明書を発行した機関の証明書をインポートするためにファイルを指定する。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式が「証明書(PEM/DER)」を選択された時
"CA 証明書 2"	CA 証明書 1 を発行した機関の証明書をインポートするためにファイルを指定する。フォルダー参照ボタンで入力する。	ファイル形式が「証明書(PEM/DER)」を選択された時

10.4.6.2.3.1.2 説明文

Table 10-139 クライアント証明書情報 説明文

項目	説明
"※証明書をインポートするときは、HTTPS で暗号化して通信することをお勧めします。"	固定文字列

10.4.6.2.3.1.3 ボタン

インポートページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-140 クライアント証明書インポート ボタン

項目	説明
"設定"	インポートを実施する。 "OK"ボタンが押された際に、条件によって下記の動作を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ● 入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。 ● 入力値に誤りがなく、かつ既に証明書がインポートされている場合は、警告としてポップアップウィンドウを出す。 ● 入力値に誤りがなく、かつ証明書がインポートされていない場合は、結果表示ページへ遷移する。
"戻る"	IEEE802.1X 証明書設定トップページに遷移する

10.4.6.2.3.2 エラーップアップウィンドウ

"OK"ボタン押下時に、入力値に誤りがある旨を通知するためのエラーップアップを表示する。
表示されるページの形式は"IPsec/IP フィルタリング > クライアント証明書「インポート」"と同じである。

10.4.6.2.3.2.1 確認メッセージ

Table 10-141 エラーップアップウィンドウ

項目	説明
"クライアント証明書を指定してください。"	クライアント証明書のパスが未入力の場合に表示する。
"CA 証明書 1 の参照先を入力してください。"	CA 証明書 1 が未入力で、CA 証明書 2 のみ入力されている場合に表示する。
"以下の入力値が正しくありません。"	入力値エラーの場合に表示する。

10.4.6.2.3.2.2 ボタン

OK ボタンの文言は各ブラウザーの表示仕様に従う。

Table 10-142 エラーップアップウィンドウ ボタン

項目	説明
"OK"	インポートトップページに遷移する。

10.4.6.2.3.3 警告 uppアップウィンドウ

"設定"ボタン押下時に、証明書が既にインポート済みある旨を通知するためのエラーuppアップを表示する。
表示されるページの形式は"IPsec/IP フィルタリング > クライアント証明書「インポート」"と同じである。

10.4.6.2.3.3.1 確認メッセージ

Table 10-143 警告 uppアップウィンドウ

項目	説明
"証明書を上書きします。"	入力値に誤りがなく、かつ既に証明書がインポートされている場合に表示する。
"通信は一時的に遮断されます。"	

10.4.6.2.3.3.2 ボタン

OK ボタン、Cancel ボタンの文言は各ブラウザーの表示仕様に従う。

Table 10-144 警告アップウィンドウ ボタン

項目	説明
"OK"	証明書の上書きを実施する。 結果ページへ遷移する。
"キャンセル"	インポートトップページに遷移する

10.4.6.2.3.4 結果表示ページ

設定または OK ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

表示されるページの形式は“IPsec/IP フィルタリング > クライアント証明書「インポート」”と同じである。

10.4.6.2.3.4.1 結果表示

Table 10-145 クライアント結果表示

項目	説明	インポートトップページから遷移	警告ポップアップから遷移	ネットワーク再起動ボタン押下後に遷移
"設定が終了しました。"	証明書インポート成功の場合に表示する。	する	しない	しない
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。" "再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザーに「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"	上書き証明書インポート成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)	しない	する	する
"パスワードが正しくありません。"	パスワードが不正の場合に表示する。	する	する	しない
"不正なファイルです。"	以下の場合に表示する。 ・証明書が不正 -ファイル形式が X.509 形式でない -5K 以上 24K 未満のサイズオーバーの証明書をインポートしようとした(※) ・秘密鍵ファイルと証明書がマッチしない ・チェーンが不正	する	する	しない
"日付/時刻が設定されていません。"	有効期間外の証明書をインポートしようとしたときに表示する。(日時未設定状態)	する	する	しない
"有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、または日付/時刻設定を確認してください。"	有効期間外の証明書をインポートしようとしたときに表示する。(日時設定済状態)	する	する	しない
"3つ以上の CA 証明書が含まれたクライアント証明書は使用できません"	証明書をサーバー証明書 1 つと CA 最大件数オーバー ・PKCS#12 に 3 つ以上の CA 証明書が含まれている	する	する	しない
"秘密鍵が必要な証明書ファイルです。"	秘密鍵が必要な証明書にファイルがなかった場合に表示する。	する	する	しない
"設定に失敗しました。"	証明書インポート失敗時に表示する。	する	する	しない
"設定に失敗しました。" "[ネットワーク再起動]を押して設定を反映させてください。" "通信は一時的に遮断されます。" "他の機能の設定や、本体の再起動でも、この設定が通信に反映されることがあります。"	ネットワーク再起動に失敗した時に表示する。	しない	する	する

※インポートする証明書のサイズが 24Kbyte 以上の場合、読み込みできず Web ブラウザーのエラーが表示される。

10.4.6.2.3.4.2 ボタン

Table 10-146 ボタン

項目	説明	有効条件
"ネットワーク 再起動"	ネットワーク再起動を実施する。 ネットワーク再起動に成功した場合は、成功結果ページへ遷移する。 ネットワーク再起動に失敗した場合は、同じページへ遷移する。	ネットワーク再起動に失敗した場合のみ表示

10.4.6.2.4 クライアント証明書「表示」

IEEE802.1X 設定の証明書設定トップページのクライアント証明書の表示ボタンを、押下することによって、以下のクライアント証明書情報確認ページに遷移する。

表示されるページの形式は"CA 署名証明書の「表示」"と同じである。

10.4.6.2.4.1 表示項目

Table 10-147 クライアント証明書情報 表示項目

項目	説明
"クライアント証明書"	クライアント証明書の情報を表示する。 ASCII 最大 8192Byte。
"CA 証明書 1"	CA 証明書 1 の情報を表示する。なければ項目自体表示しない。 ASCII 最大 8192Byte。
"CA 証明書 2"	CA 証明書 2 の情報を表示する。なければ項目自体表示しない。 ASCII 最大 8192Byte。

10.4.6.2.4.2 ボタン

Table 10-148 クライアント証明書情報 ボタン

項目	説明
"戻る"	IEEE802.1X 証明書設定トップページに遷移する

10.4.6.2.5 クライアント証明書「削除」

10.4.6.2.5.1 警告ポップアップウィンドウ

IEEE802.1X 設定の証明書設定トップページのクライアント証明書の削除ボタンを押下することによって、全てのインポート済みクライアント証明書を削除する。

10.4.6.2.5.2 結果表示ページ

OK ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

10.4.6.2.5.2.1 イメージ図

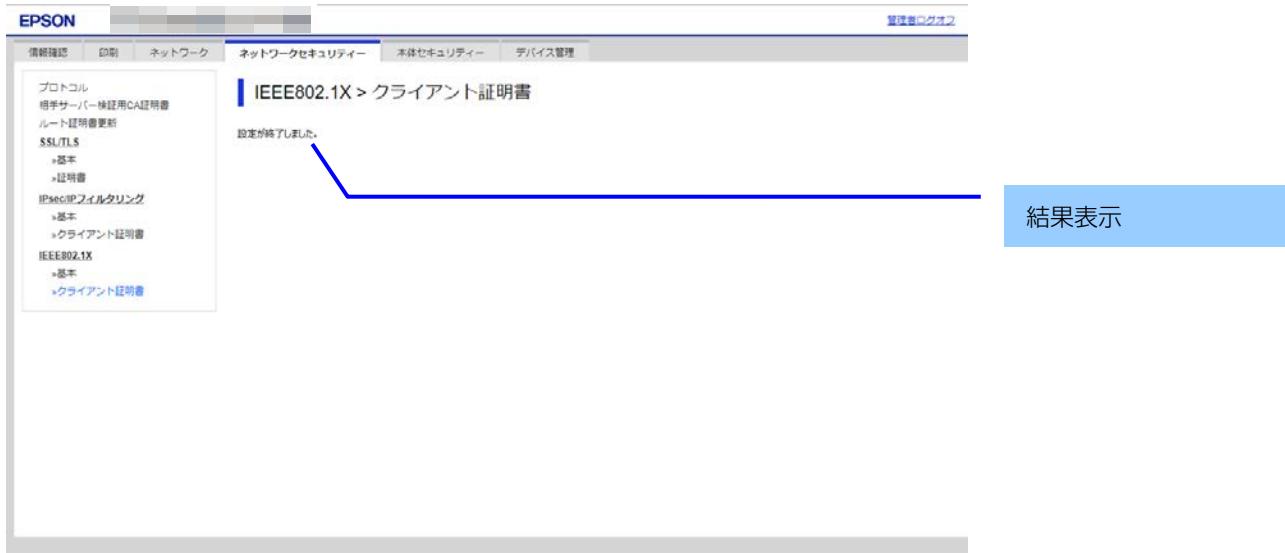


Figure 10-61 結果表示ページ

10.4.6.2.5.2.2 結果表示

Table 10-149 結果表示

項目	説明
"設定が終了しました。"	証明書の削除に成功した場合に表示する。
"設定に失敗しました。"	証明書の削除に失敗した場合に表示する。

10.4.6.2.6 クライアント証明書「上書きコピー」

10.4.6.2.6.1 警告ポップアップウィンドウ

証明書トップページのコピーボタンを押下したときに、本機能でクライアント証明書を既にインポート済みならば、以下の警告ポップアップを表示する。

表示されるページの形式は"CA 署名証明書「インポート」"と同じである。

10.4.6.2.6.1.1 確認メッセージ

Table 10-150 確認メッセージ

項目	説明
"証明書を上書きします。"	既に証明書がインポートされている場合に表示する。
"通信は一時的に遮断されます。"	

10.4.6.2.6.1.2 ボタン

OK ボタン、Cancel ボタンの文言は各ブラウザの表示仕様に従う。

Table 10-151 警告ポップアップウィンドウ ボタン

項目	説明
"OK"	証明書の上書きコピーを実施する。 結果ページへ遷移する。
"キャンセル"	インポートトップページに遷移する

10.4.6.2.6.2 結果表示ページ

OK ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

表示されるページの形式は"IPsec/IP フィルタリング > クライアント証明書「上書きコピー」"と同じである。

10.4.6.2.6.2.1 結果表示

Table 10-152 結果表示

項目	説明	警告ポップアップから遷移	結果表示から遷移
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。" "再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザーに「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"	上書き証明書コピー成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)	する	する
"設定に失敗しました。"	上書き証明書コピーに失敗した時に表示する。	する	する

10.4.6.2.7 CSR(署名リクエスト)「生成」

10.4.6.2.7.1 生成トップページ

IEEE802.1X 設定の証明書設定トップページの CSR の生成ボタンを、押下することによって、以下の CSR 生成設定ページに遷移する。表示されるページの形式は"SSL/TLS > 証明書 > CSR 「生成」"と同じである。

10.4.6.2.7.1.1 設定項目

CSR の生成には以下の情報をユーザーに入力してもらう必要がある。

Table 10-153 CSR 生成 設定項目

項目	説明
"公開鍵長"	CSR 作成に用いる公開鍵長を設定する。 以下をドロップダウンリストで選択する。 "RSA 1024bit - SHA-1" / "RSA 2048bit - SHA-256" / "RSA 3072bit - SHA-256" / "EC 256bit - SHA-256" / "RSA 4096bit - SHA-384" / "EC 384bit - SHA-384" / "EC 521bit - SHA-512"
"コモンネーム"	CSR 作成に用いるコモンネームを設定する。 テキストボックスで入力を行う。 1 文字以上 128 文字以下 IPv4 形式、IPv6 形式（括弧内 "["、"]" で囲む書式を許容）、ホスト名形式、FQDN 形式で入力可能。また、カンマ（0x2c）は、制御用文字として特殊な意味を持つ。※参照
"組織名"	CSR 作成に用いる組織名を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。

"部署名"	CSR 作成に用いる部署名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"市町村名"	CSR 作成に用いる市町村名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"都道府県名"	CSR 作成に用いる都道府県名称を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 64 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする。 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"国コード"	CSR 作成に用いる国別記号（ISO-3166）を設定する。 テキストボックスで入力を行う。 0 文字以上 2 文字以下 入力可能文字は、US-ASCII(0x20-0x7E)とする 入力文字列無い場合は "" を設定する。
"送信元アドレス"	メール送信すための送信元アドレスを指定する。 テキストボックスに 0～255 文字の範囲で ASCII 文字列を入力する。 (:(:<>[];¥",`を除く)

※ コモンネームやにカンマ(,)文字を使用して複数入力が可能。入力した情報はカンマ(,)によって複数に分割される。

10.4.6.2.7.1.2 ボタン

Table 10-154 CSR 生成設定ページのボタンについて

項目	説明
"設定"	CSR 生成を実施する
"戻る"	SSL/TLS 証明書設定トップページに遷移する

生成ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-155 CSR 生成エラー ポップアップ ウィンドウ

項目	説明
"以下の入力値が不正です。%n -%s%n -%s%n…"	入力値エラーの場合に表示する。

10.4.6.2.7.1.3 結果表示

設定ボタンが押された後で、砂時計ページを表示し、設定結果を表示するページに遷移する。

Table 10-156 CSR 生成 設定結果

項目	説明
"設定が終了しました。"	成功時に表示する。
"設定に失敗しました。"	上記以外の場合に表示する。

10.4.6.2.8 CSR（署名リクエスト）「ダウンロード」

IEEE802.1X 設定の証明書設定トップページの CSR 「ダウンロード (PEM)」 ボタン、もしくは CSR 「ダウンロード (DER)」 ボタンを、押下することによって、生成した CSR のダウンロードが可能である。

「ダウンロード (PEM)」 ボタン押下した場合は、PEM のファイル形式でダウンロードでき、「ダウンロード (DER)」 ボタン押下した場合は、DER のファイル形式でダウンロードできる。

ダウンロードされるファイルの初期名は、"EXPORT_CSR_<製造番号>_<日付時刻>" の形式である。

<製造番号>は、製品の製造番号をあらわす。

<日付時刻>は、プリンターに設定されている日付時刻をあらわす。例:20181010143021

CSR のダウンロード方法は、ブラウザーによって異なる。

10.5 本体セキュリティ

10.5.1 パスワード暗号化

10.5.1.1 トップページ

10.5.1.1.1 イメージ図



Figure 10-62 パスワード暗号化

10.5.1.1.2 設定項目

以下にソフトウェアの設定項目について記載する。

Table 10-157 ソフトウェア設定項目

項目	説明	有効条件
"パスワード暗号化"	以下を選択するラジオボタンを設ける。 "オン" / "オフ"	ソフトウェア暗号化の機種でのみ表示する。
"パスワード暗号化"	設定されている以下の値を文字列で表示する。 "オン" / "オフ"	TPM 暗号化の機種でのみ表示する。

10.5.1.1.3 ボタン

設定項目の入力値を反映するためのボタンを設ける。

Table 10-158 ボタン

項目	説明	有効条件
"設定"	ボタンを押下することで結果表示のページへ遷移する。	ソフトウェア暗号化の機種でのみ表示する。

10.5.1.1.4 確認ダイアログ

Table 10-159 確認ダイアログ

項目	説明
"パスワード暗号化の設定を反映するにはプリンターを再起動する必要があります。 再起動中に電源を切るとパスワードのデータが破損してプリンターの設定が初期化されるおそれがあります。"	"設定"ボタンが押下された場合に表示する。

10.5.1.2 結果表示ページ

設定ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

10.5.1.2.1 イメージ図

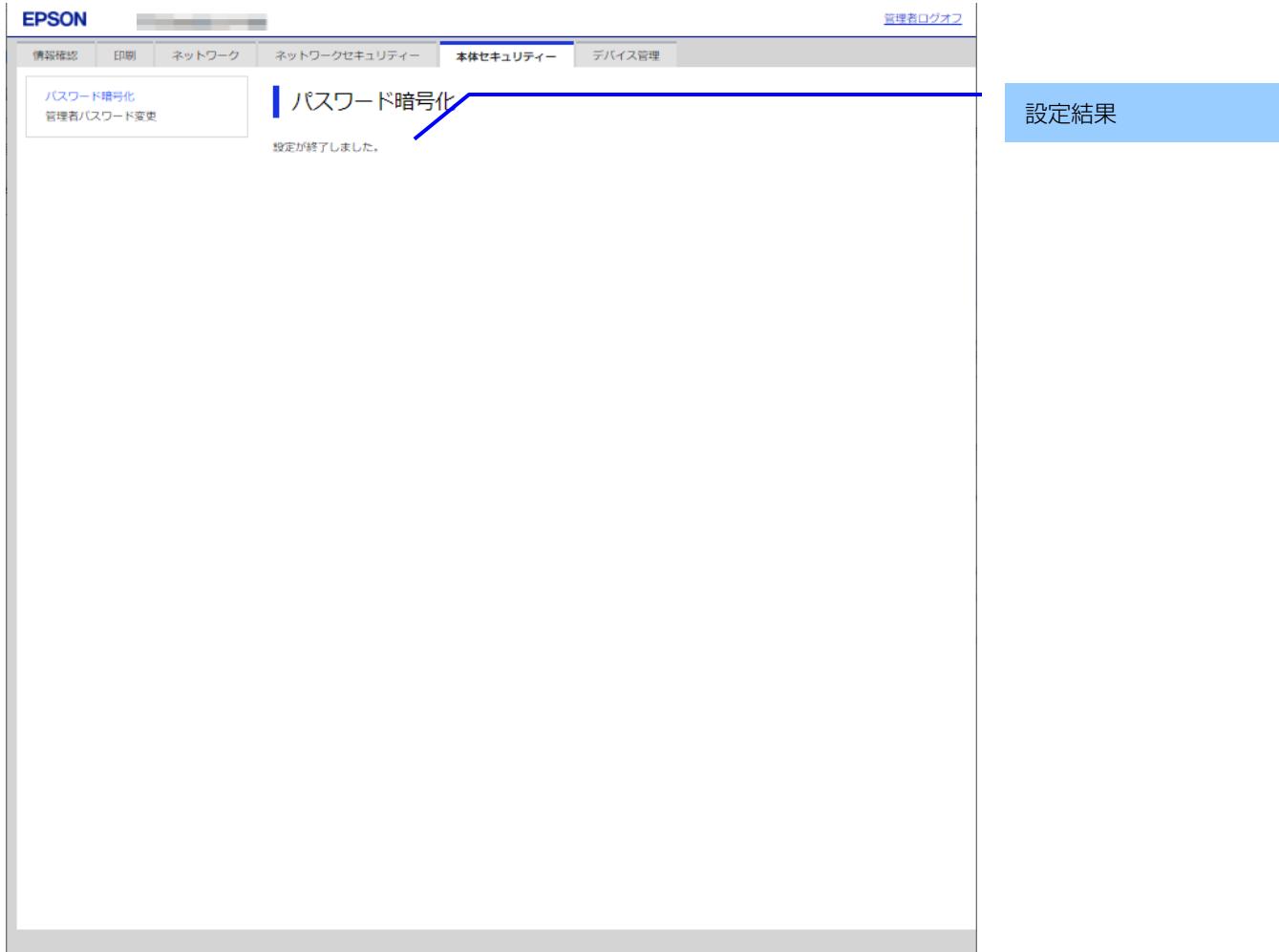


Figure 10-63 結果表示

10.5.1.2.2 設定結果

Table 10-160 結果表示

項目	説明
"設定が終了しました。"	設定成功時に表示する。
"設定に失敗しました。"	設定に失敗したときに表示する。

10.5.2 管理者パスワード変更

管理者パスワード変更では、管理者モードに必要な管理者パスワードを設定することができる。
ここで設定された項目は、管理者ログオン時に使用される。

10.5.2.1 トップページ

10.5.2.1.1 イメージ図



Figure 10-64 管理者パスワード変更

10.5.2.1.2 設定項目

以下に管理者パスワード変更の項目について記載する。

Table 10-161 管理者パスワード変更 設定項目

項目	説明	有効条件
"現在のパスワード"	現在設定されている管理者パスワードを入力するためのテキストボックス。	-
"新しいパスワード"	新しく設定するパスワードを入力するためのテキストボックス。 ASCII 文字コード (0x20-0x7E) (英数字記号) 1~20 文字。 ただし、パスワードポリシー反したパスワードの場合は設定に失敗する。	-
"半角英数字記号%d~20 文字を入力"	新しいパスワードの入力用テキストボックス上部に、表示する。 ● 英国 PSTI 法案と ISO15408 の両方対応機種 "パスワードポリシー"が"有効"の場合、"1~20 文字"を表示する。 "パスワードポリシー"が"無効"の場合、"8~20 文字"を表示する。 ● 英国 PSTI 法案のみ対応機種 "8~20 文字" ● ISO15408 のみ対応機種 ● その他機種 "1~20 文字"	-

"新しいパスワードの確認"	ASCII 文字コード（0x20-0x7E）（英数字記号）1～20 文字。 新しいパスワードと同じものを入力させるためのテキストボックス。	-
"※管理者パスワードを入力するときは、 HTTPS で暗号化して通信することをお勧めします。"	固定文字列	-

10.5.2.1.3 ボタン

管理者パスワード変更項目の入力値を反映するためのボタンを設ける。

Table 10-162 管理者パスワード変更ボタン

項目	説明	有効条件
"設定"	ページ最下部にボタンを設ける。	-
"購入時の設定に戻す"	"購入時の設定に戻しますか？"の警告ポップアップを表示し、OK ボタンを押下されたら、設定値を購入時初期設定に戻す。キャンセルボタンを押下されたら、警告ポップアップの表示を消すのみで何もしない。	管理者パスワードの初期値対応が入っている機種でのみ表示する。

設定ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-163 エラー ポップアップ

項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。"	入力されたユーザー名やパスワードの入力形式が間違っている場合に JavaScript のポップアップウィンドウで表示する。
"新しいパスワードと確認の入力が異なります。"	入力された新しいパスワードと、新しいパスワード（確認）が一致しない場合に JavaScript のポップアップウィンドウで表示する。

10.5.2.2 結果表示

設定ボタンが押された後で、設定結果を表示するページに遷移する。

10.5.2.2.1 イメージ図

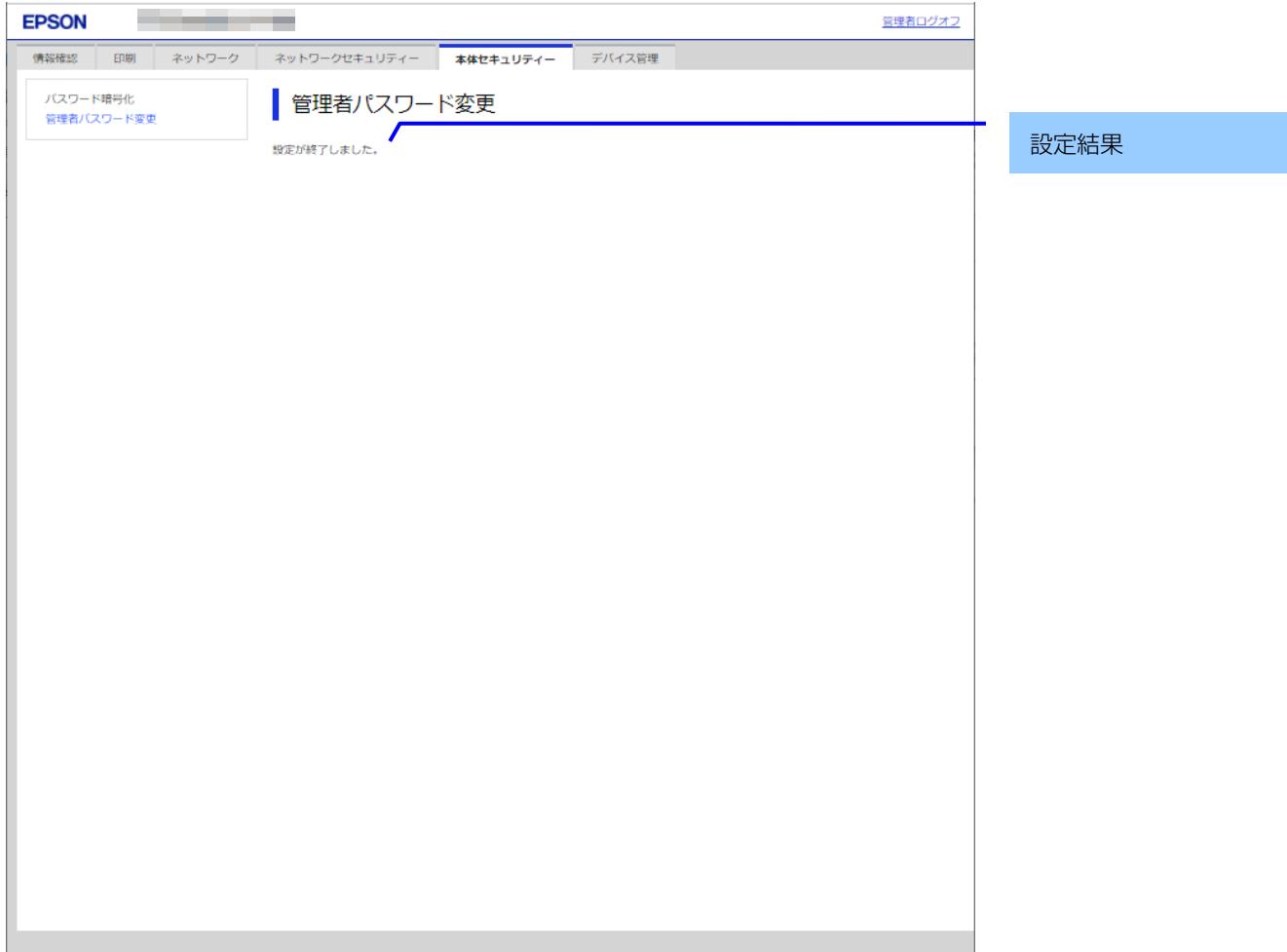


Figure 10-65 イメージ図

10.5.2.2.2 設定結果

Table 10-164 結果

項目	説明
"設定が終了しました。"	正常に設定が終了した場合に表示する。 結果表示後、自動的にページをリロードし、製品情報のページを表示する。 元の状態が管理者ログオン状態であれば管理者ログオン状態を維持し、管理者パスワード未設定状態であれば管理者ログオフ状態になる。
"設定に失敗しました." "現在のパスワードの入力が正しくありません。"	入力されたパスワードが、製品に設定されている管理者パスワードと一致しなかった場合に表示する。 本ページのすべての設定がプリンターに反映されない。
"設定に失敗しました。 パスワードの要件を満たしていません。要件を確認してください。"	パスワードポリシー違反により、設定に失敗した場合に表示する。
"設定に失敗しました。"	上記以外の設定失敗時に表示する。

10.6 デバイス管理

10.6.1 設定のエクスポート/インポート

設定のエクスポート/インポートのページでは、詳細設定の設定状態をファイルに書き出すエクスポート、詳細設定をファイルを読み込んで行うインポートが可能である。本ページでは、以下のサブメニューをサポートする。

Table 10-165 エクスポート/インポートのサブメニュー

サブメニュー	
"エクスポート"	
"インポート"	

10.6.1.1 エクスポート/インポートカテゴリー

エクスポート、インポートでの対象項目は、複数の設定項目をカテゴリーという単位でまとめたものの中から選択する。カテゴリーとそこに含まれる設定項目は以下のようになる。カテゴリーの中にはサブカテゴリーを含むものがあり、親のカテゴリーを選択するとサブカテゴリーは全て選択される。

Table 10-166 エクスポート/インポートカテゴリー

カテゴリー	説明
"全て"	下記全てのカテゴリーが選択される。
"印刷"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
"印刷設定"	メニューにある印刷設定が対象となる。
"ネットワーク"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
"ネットワーク基本"	"ネットワーク基本"
"以下を除く設定"	メニューにあるネットワーク基本が対象となる。ただし、以下の設定を除く。
"デバイス名"	ネットワーク基本設定にあるデバイス名が対象となる。
"ロケーション"	ネットワーク基本設定にあるロケーションが対象となる。
"TCP/IP 設定、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ"	ネットワーク基本設定にある TCP/IP 設定、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが対象となる。
"IPv6 アドレス、IPv6 デフォルトゲートウェイ"	ネットワーク基本設定にある IPv6 アドレス、IPv6 デフォルトゲートウェイが対象となる。
"無線 LAN"	メニューにある無線 LAN が対象となる。
"有線 LAN"	メニューにある有線 LAN が対象となる。
"Wi-Fi Direct"	<p>■Wi-Fi チップ搭載機種以外 メニューにある Wi-Fi Direct が対象となる。</p> <p>■Wi-Fi チップ搭載機種 下記のサブカテゴリー全てが選択される。</p>
"以下を除く設定"	Wi-Fi チップ搭載機種のみ表示する。 メニューにある Wi-Fi Direct が対象となる。ただし、以下の設定を除く。
"ネットワーク(SSID)、パスワード"	Wi-Fi チップ搭載機種のみ表示する。 Wi-Fi Direct にある SSID とパスワードが対象となる。
"ネットワークのセキュリティ"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
"プロトコル"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
"以下を除く設定"	メニューにあるプロトコルが対象となる。ただし、以下の設定を除く。
"Bonjour サービス名"	プロトコル設定にある Bonjour サービス名が対象となる。
"SSL/TLS"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
"基本"	メニューにある SSL/TLS の基本設定が対象となる。
"証明書"	メニューにある SSL/TLS のサーバー証明書設定が対象となる。
"IPsec/IP フィルタリング"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
"基本"	メニューにある IPsec/IP フィルタリングの基本設定が対象となる。
"クライアント証明書"	IPsec/IP フィルタリング 証明書設定のクライアント証明書が対象となる。

	"IEEE802.1X"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
	"基本"	メニューにある IEEE802.1X の基本設定が対象となる。
	"クライアント証明書"	IEEE802.1X 証明書設定のクライアント証明書設定が対象となる。
	"相手サーバー検証用 CA 証明書"	メニューにある相手サーバー検証用 CA 証明書が対象となる。
	"本体セキュリティ"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
	"利用者制限設定"	メニューにある利用者制限設定が対象となる。
	"パスワード暗号化"	メニューにあるパスワード暗号化が対象となる。
	"管理者パスワード"	メニューにある管理者パスワードが対象となる。
	"デバイス管理"	下記のサブカテゴリー全てが選択される。
	"管理者名/連絡先"	メニューにある管理者名/連絡先が対象となる。
	"日付/時刻"	メニューにある日付/時刻が対象となる。ただし、表示形式と時差とタイムサーバーが対象となる。

10.6.1.2 エクスポート

エクスポートは、トップページと結果表示ページで構成される。

10.6.1.2.1 トップページ

10.6.1.2.1.1 イメージ図

メニュー画面の"エクスポート"を選択すると表示される。エクスポートトップページは以下のようになる。

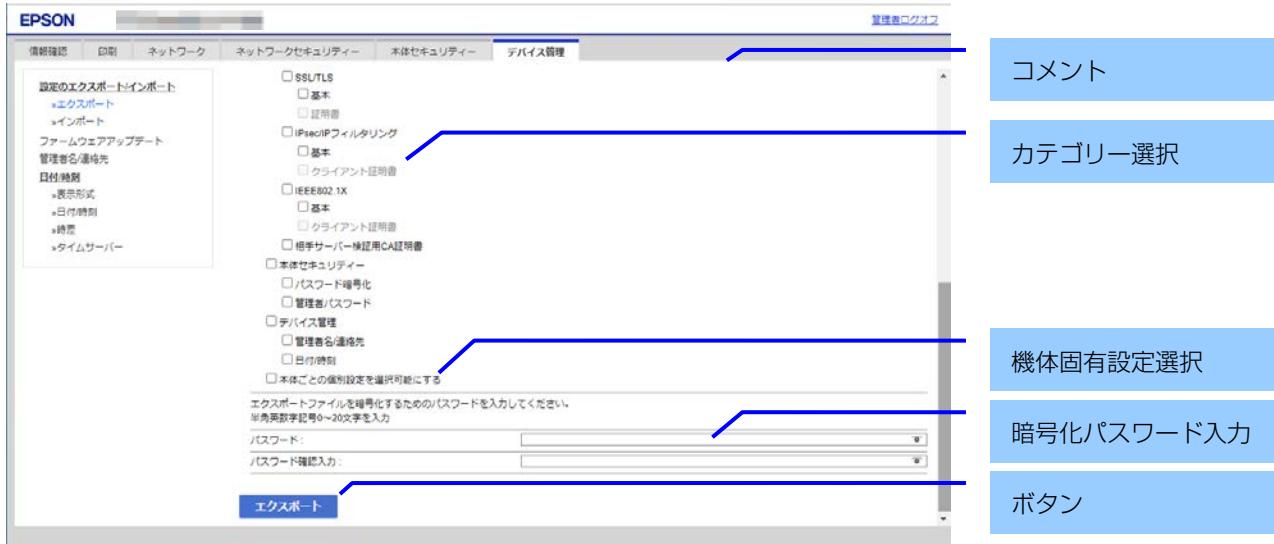


Figure 10-66 トップページ

10.6.1.2.1.2 コメント

以下のコメントを記載する。

Table 10-167 コメント

コメント	説明
"エクスポートするカテゴリーを選択してください。"	カテゴリー選択の上部に記載する。
"エクスポートファイルを暗号化するためのパスワードを入力してください。" "半角英数字記号 0~20 文字を入力。"	暗号化パスワード入力の上部に記載する。

10.6.1.2.1.3 カテゴリー選択

エクスポートするカテゴリーをチェックするための項目を設ける。選択できるカテゴリーは“エクスポート/インポートカテゴリー”で示したカテゴリーであり、ページ表示時は全カテゴリーが未チェック状態である。エクスポートでの表示については以下のような特徴がある。

Table 10-168 エクスポートカテゴリーの特徴

カテゴリー	特徴
デバイス名	
ロケーション	・「本体ごとの個別設定を選択可能にする」が未チェック時はグレーアウトし選択不可。
TCP/IP 設定、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ	・「本体ごとの個別設定を選択可能にする」が未チェック時はグレーアウトし選択不可。 ・TCP/IP 設定が“手動設定”的ときのみ項目が表示される。
IPv6 アドレス、IPv6 デフォルトゲートウェイ	
ネットワークのセキュリティ設定 > SSL/TLS > 証明書設定	
ネットワークのセキュリティ設定 > IPsec/IP フィルタリング > クライアント証明書設定	
ネットワークのセキュリティ設定 > IEEE802.1X > クライアント証明書設定	
ネットワークのセキュリティ設定 > S/MIME > クライアント証明書	
Bonjour サービス名	
SSID、パスワード	
ネットワークのセキュリティ設定 > S/MIME > クライアント証明書	S/MIME の証明書がインポート済みのときは、メールサーバー設定と連動するため、機種固有設定扱いとはしない。
本体セキュリティ > パスワード暗号化	ソフトウェア暗号化が有効になっている機種でのみ表示する。

10.6.1.2.1.4 機体固有設定選択

機体固有のカテゴリーを選択できるようにする項目を設ける。

Table 10-169 機体固有設定選択

項目	説明
“本体ごとの個別設定を選択可能にする”	本項目にチェックを入れることで、“エクスポート/インポートカテゴリー”で示した機体固有設定のカテゴリーをチェックできるようになる。

10.6.1.2.1.5 暗号化パスワード入力

エクスポートファイルを暗号化するためのパスワードを入力させる。

Table 10-170 暗号化パスワード入力

項目	説明
“パスワード”	ファイルを暗号化するためのパスワードを入力する。 テキストボックスに 0~20byte の範囲で、半角英数字記号 (ASCII の 0x20-0x7E) を入力する。入力時の表示はマスクする。
“パスワード確認入力”	暗号化パスワードと同じ。

10.6.1.2.1.6 ボタン

エクスポートファイルを作成するためのボタンを設ける。

Table 10-171 ボタン

項目	説明
"エクスポート"	ファイル作成を開始する。ファイル作成失敗時は結果ページに遷移する。ボタン押下後にトップページ内の全項目がグレーアウトする。

"エクスポート"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーポップアップウィンドウを出す。

Table 10-172 エクスポート エラーポップアップ

項目	説明
"カテゴリーが選択されていません。1つ以上選択してください。"	カテゴリーが選択されていない場合に表示する。
"以下の入力値が正しくありません。"	テキストボックスの入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は1行に1項目表示する。
"パスワードと確認入力の値が一致しません。"	パスワードとパスワード確認入力の値が一致しない場合に表示する。

ダウンロードされるファイルの初期名は、"Config_<製造番号>_<日付時刻>"の形式である。

<製造番号>は、製品の製造番号をあらわす。

<日付時刻>は、プリンターに設定されている日付時刻をあらわす。例:20181010143021

10.6.1.2.2 結果表示ページ

結果表示は失敗時のみ表示される。

Table 10-173 エクスポート 結果表示

項目	説明
"ファイル作成に失敗しました。"	ファイル作成に失敗した場合に表示する。
"エクスポートし直してください。"	

10.6.1.3 インポート

インポートはトップページ、カテゴリー選択ページ、入力確認ページ、結果表示ページと遷移して行われる。

10.6.1.3.1 トップページ

10.6.1.3.1.1 イメージ図

メニュー画面の"インポート"を選択すると表示される。インポートトップページは以下のようになる。

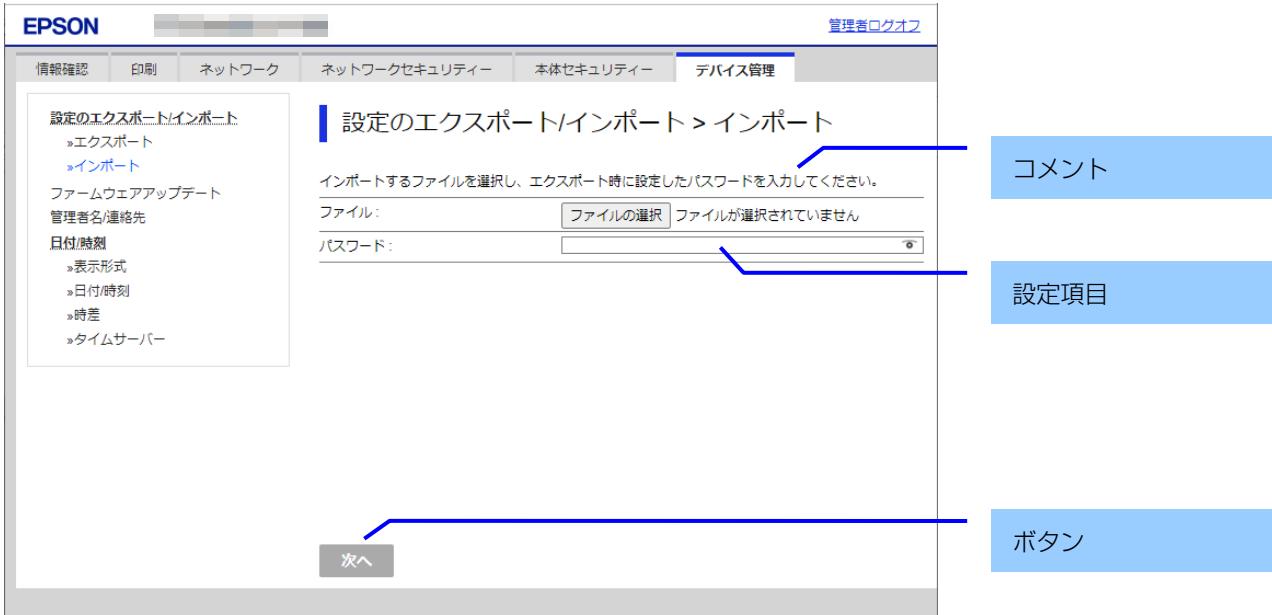


Figure 10-67 トップページ

10.6.1.3.1.2 コメント

ページ上部と"次へ"ボタン押下後にコメントを表示する。

Table 10-174 コメント

項目	説明	有効条件
"インポートするファイルを選択し、エクスポート時に設定したパスワードを入力してください。"	ページ上部に表示する。	-
"ファイルを送信しています。しばらくお待ちください。"	"次へ"ボタンの上に表示する。	"次へ"ボタンが押された後のみ表示する。

10.6.1.3.1.3 設定項目

以下の項目の設定が可能である。

Table 10-175 設定項目

項目	説明
"ファイル"	インポートするファイルを指定する。ファイル参照ボタンで指定する。
"パスワード"	ファイルを復号するためのパスワードを入力する。テキストボックスに0~20byteの範囲で、半角英数字記号(ASCIIの0x20-0x7E)を入力する。入力時の表示はマスクする。

10.6.1.3.1.4 ボタン

ファイルを解析しカテゴリー選択ページを表示するためのボタンを設ける。

Table 10-176 ボタン

項目	説明	有効条件
"次へ"	カテゴリー選択ページへ遷移する。ファイル解析に失敗した場合は結果表示ページへ遷移する。ボタン押下後はトップページ内の全項目がグレーアウトする。	インポートファイルが選択されているときのみ有効となる。

"次へ"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーポップアップウィンドウを出す。また、エラー時は全項目のグレーアウト、および"ファイルを送信しています。しばらくお待ちください。"のコメント表示は行わない。

Table 10-177 エラーポップアップ

項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。"	テキストボックスの入力値が異常な場合に表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は1行に1項目表示する。

10.6.1.3.2 カテゴリー選択ページ

10.6.1.3.2.1 イメージ図

解析が完了した時点でカテゴリー選択ページに遷移する。カテゴリー選択ページは以下のようになる。

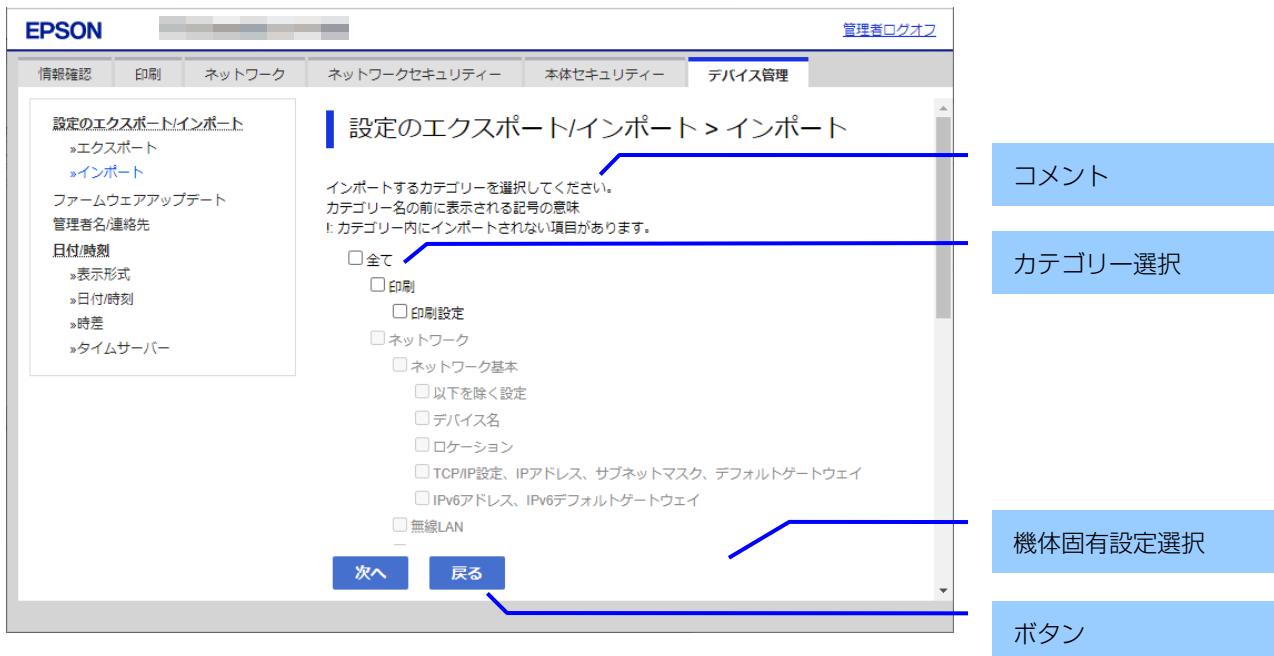


Figure 10-68 カテゴリー選択ページ

10.6.1.3.2.2 コメント

以下のコメントを記載する。

Table 10-178 コメント

コメント	説明	有効条件
"インポートするカテゴリーを選択してください。"	カテゴリー選択の上部に表示する。	-
"カテゴリー名の前に表示される記号の意味" "! : カテゴリー内にインポートされない項目があります。"	カテゴリー選択の上部に表示する。	-

10.6.1.3.2.3 カテゴリー選択

選択できるカテゴリーは"エクスポート/インポートカテゴリー"で示したカテゴリーであり、ページ表示時は全力カテゴリーが未チェック状態となっている。インポートページでの表示については以下のような特徴がある。

Table 10-179 インポートカテゴリーの特徴

カテゴリー	特徴
全力カテゴリー	<ul style="list-style-type: none"> インポートするファイルに設定が含まれてないカテゴリーはグレーアウトする。 カテゴリー内的一部の設定がインポートされない場合はカテゴリーの前に"!"を表示し選択可能にする。
デバイス名	<ul style="list-style-type: none"> 「本体ごとの個別設定を選択可能にする」が未チェック時はグレーアウトし選択不可。
ロケーション	<ul style="list-style-type: none"> インポートファイルに設定情報が含まれていない場合は、グレーアウト状態で表示する。
TCP/IP 設定、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ	<ul style="list-style-type: none"> 「本体ごとの個別設定を選択可能にする」が未チェック時はグレーアウトし選択不可。 インポートファイルの TCP/IP 設定が"自動設定"のときは表示しない。 インポートファイルに設定情報が含まれていない場合は、グレーアウト状態で表示する。
IPv6 アドレス、IPv6 デフォルトゲートウェイ	<ul style="list-style-type: none"> 「本体ごとの個別設定を選択可能にする」が未チェック時はグレーアウトし選択不可。 インポートファイルに設定情報が含まれていない場合は、グレーアウト状態で表示する。
ネットワークのセキュリティ設定 > SSL/TLS > 証明書設定	
ネットワークのセキュリティ設定 > IPsec/IP フィルタリング > クライアント証明書設定	
ネットワークのセキュリティ設定 > IEEE802.1X > クライアント証明書設定	
Bonjour サービス名	
SSID、パスワード	
ネットワーク設定 > LDAP サーバー ネットワーク設定 > Kerberos 設定	Kerberos 設定が LDAP サーバーに含まれている機種から、Kerberos 設定と LDAP 設定が独立している機種にインポートするときは、Kerberos 設定 1 に Kerberos の設定がインポートされる。逆のインポートでは Kerberos 設定 1 の値がインポートされる。
ネットワークのセキュリティ設定 > IPsec/IP フィルタリング > 基本	設定項目が少ない機種からのインポート時は、設定に不足している項目はデフォルト値が設定される。 セキュリティプロトコルの違いや、IKE バージョンの違いでグレーアウトされていたら非表示になっている項目については上書きされない。
ネットワークのセキュリティ設定 > IEEE802.1X > 基本	本カテゴリーの設定項目が不足している場合や、設定値が未対応の値の場合は、インポートは行わず設定前の値のままとする。
ネットワークのセキュリティ設定 > S/MIME > 証明書	メールサーバー設定と連動するため、機種固有設定には含めない。
本体セキュリティ > パスワード暗号化	ソフトウェア暗号化が有効になっている機種でのみ表示する。

10.6.1.3.2.4 機体固有設定選択

機体固有的カテゴリーを選択できるようにする項目を設ける。

Table 10-180 機体固有設定選択

項目	説明	有効条件
"本体ごとの個別設定を選択可能にする"	チェックを入れることで、"エクスポート/インポートカテゴリー"で示した機体固有設定のカテゴリーをチェックできるようになる。	インポートするファイルに機体固有設定が含まれていない場合はグレーアウトする。

10.6.1.3.2.5 ボタン

入力確認ページ、あるいはトップページに遷移するためのボタンを設ける。

Table 10-181 ボタン

項目	説明
"次へ"	<p>入力確認ページへ遷移する。</p> <p>S/MIME サポート機種で、S/MIME の証明書とメールサーバー設定を同時に選択しないときは、以下のポップアップを表示する。</p> <p>"・ S/MIME 用証明書とメールサーバー設定の両方を選択してください。</p> <p>同時に選択しないと、S/MIME の署名設定は自動で[署名しない]になり、証明書が削除されます。¥n 設定しますか？"</p> <p>ただし、メールサーバー設定の送信元アドレスと署名用証明書のアドレスが不整合にならない設定の場合は、実際には証明書は削除されない。</p> <p>ただし、クライアント証明書のみインポートされる場合は、不整合が起きるものとして、処理する。</p>
"戻る"	トップページに遷移する。

"次へ"ボタンが押された際に、入力値に誤りがあれば以下を表示するエラーポップアップウィンドウを表示する。

Table 10-182 エラーポップアップ

項目	説明
"カテゴリーが選択されていません。1つ以上選択してください。"	カテゴリーが選択されていない場合に表示する。

Table 10-183 ポップアップ

項目	説明
"ファームウェアをご使用することで、エンドユーザーライセンス契約に合意することになります。米国在住のお客様は集団訴訟放棄・仲裁合意条項を含む重要な契約条件に合意することになります。注意してお読みください:https://support.epson.net/eula/" 同意しますか？"	自動ファームウェアアップデートのチェックが入っている場合に表示される。

10.6.1.3.3 入力確認ページ

10.6.1.3.3.1 イメージ図

カテゴリー選択ページで"次へ"ボタン押下後、入力された設定値を確認するための入力確認ページに遷移する。

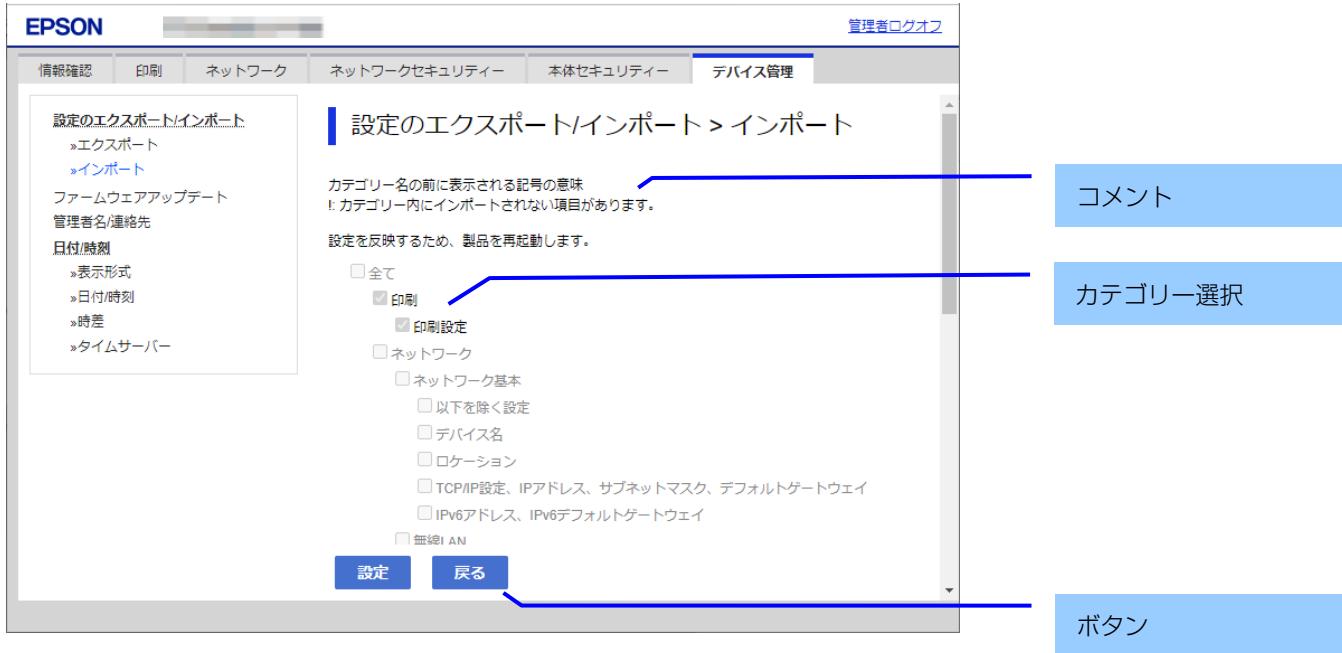


Figure 10-69 入力確認ページ

10.6.1.3.3.2 コメント

以下のコメントを記載する。

Table 10-184 コメント

コメント	説明	有効条件
"カテゴリー名の前に表示される記号の意味" "! : カテゴリー内にインポートされない項目があります。"	カテゴリー選択の上部に表示する。	-
"設定を有効にするため、一時的に通信を遮断します。設定を変更した直後はネットワーク接続できません。"	カテゴリー選択の上部に表示する。	カテゴリー選択ページで"印刷設定"がチェックされていない場合に表示する。
"設定を反映するために、製品を再起動します。"	カテゴリー選択の上部に表示する。	カテゴリー選択ページで"印刷設定"がチェックされている場合に表示する。

10.6.1.3.3.3 カテゴリー確認

前のページで入力されたカテゴリー情報が表示される。前ページで選択されなかったカテゴリーはグレーアウトして表示される。

10.6.1.3.3.4 ボタン

入力確認ページで表示した値で設定を行うためのボタンを設ける。

Table 10-185 ボタン

項目	説明
"設定"	結果表示ページへ遷移する。
"戻る"	カテゴリー選択ページへ遷移する。

10.6.1.3.4 結果表示ページ

10.6.1.3.4.1 結果表示

設定結果に応じて以下のように表示する。

Table 10-186 結果表示

項目	説明 - Description	
"通信を遮断しています。 通信の再開まで時間がかかることがあります。" "再度設定をするときは、一旦 Web Config を終了し、IP アドレスを確認してブラウザーに「http://(IP アドレス)」を入力すると Web Config が起動します。"	成功の場合に表示する。(ネットワークリブートが発生する。)	カテゴリー選択ページで"印刷設定"がチェックされていない場合に表示する。
"再起動中です。 通信の再開まで時間がかかることがあります。 再度設定をするときは、Web Config に再接続してください。"	成功の場合に表示する。(本体リブートが発生する。)	カテゴリー選択ページで"印刷設定"がチェックされている場合に表示する。
"設定が終了しました。"	成功の場合に表示する。(ネットワーキングリブートが発生しない。)	
"設定に失敗しました。"	失敗の場合に表示する。インポートファイルが変更された状態でインポートしようとした時も表示される。 製品が割り込みモード中の時も失敗する。	
"ファイルの読み込みに失敗しました." "指定したファイルとパスワードが正しいか確認しインポートし直してください。"	インポート トップページで指定したファイルが異常、あるいはパスワードが違っている場合に表示する。	

10.6.2 フームウェアアップデート

10.6.2.1 トップページ

10.6.2.1.1 イメージ図

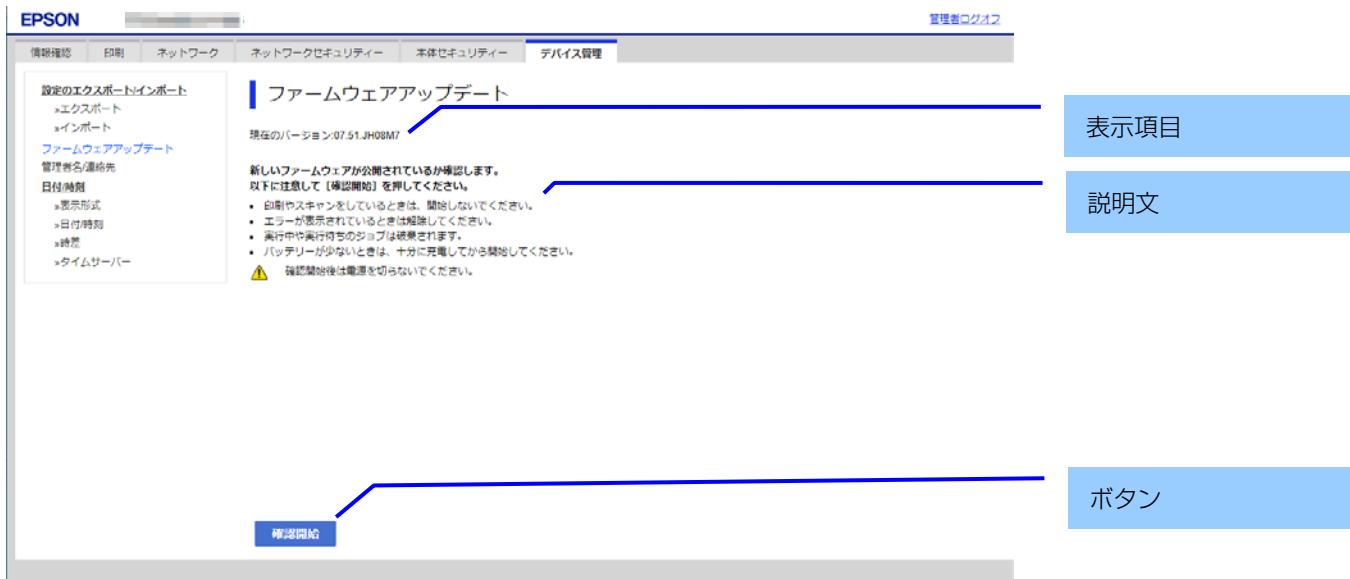


Figure 10-70 トップページ

10.6.2.1.2 表示項目

Table 10-187 表示項目

項目	説明
"現在のバージョン"	12 文字以下の ASCII 文字列。 XX.YY.ZZZZZZ -XX: Linux Kernel バージョン -YY: Linux Appli バージョン -ZZZZZZ: Main バージョン

10.6.2.1.3 説明文

Table 10-188 説明文

項目	説明	有効条件
"新しいファームウェアが公開されているか確認します。" "以下に注意して【確認開始】を押してください。"	固定文字列	-
"・印刷やスキャンをしているときは、開始しないでください。 "	固定文字列	-
"・エラーが表示されているときは解除してください。"	固定文字列	-
"・ロール紙が挿入されているときは取り外してください。"	固定文字列	ロール紙給紙サポート機種のみ表示する。
"・実行中や実行待ちのジョブは破棄されます。"	固定文字列	-
"・バッテリーが少ないときは、充電してから開始してください。"	固定文字列	バッテリー機能搭載機種のみ表示する。
"確認開始後は電源を切らないでください。"	固定文字列 文字列の前に !マークアイコンを表示する。	-

10.6.2.1.4 ボタン

Table 10-189 ボタン

項目	説明
"確認開始"	ファームウェア確認中ページに遷移する。

10.6.2.2 フームウェア確認中ページ

フームウェアアップデートトップページの確認開始ボタンを押下することによって、以下のフームウェア確認中ページに遷移する。

10.6.2.2.1 イメージ図



Figure 10-71 フームウェア確認中ページ

10.6.2.2.2 説明文

Table 10-190 説明文

項目	説明
"フームウェアを確認しています。" "アップデート可能なフームウェアが公開されているかを確認しています。￥n 確認が終了するまでしばらくお待ちください。"	固定文字列

10.6.2.2.3 ボタン

Table 10-191 ボタン

項目	説明
"最新の状態へ更新"	実行中ページ最下部にボタンを設ける。 押下するとページを最新の状態へ更新する。

10.6.2.3 アップデート前確認ページ

アップデート可能なファームウェアが見つかった場合、以下のアップデート前確認ページに遷移する。

10.6.2.3.1 イメージ図

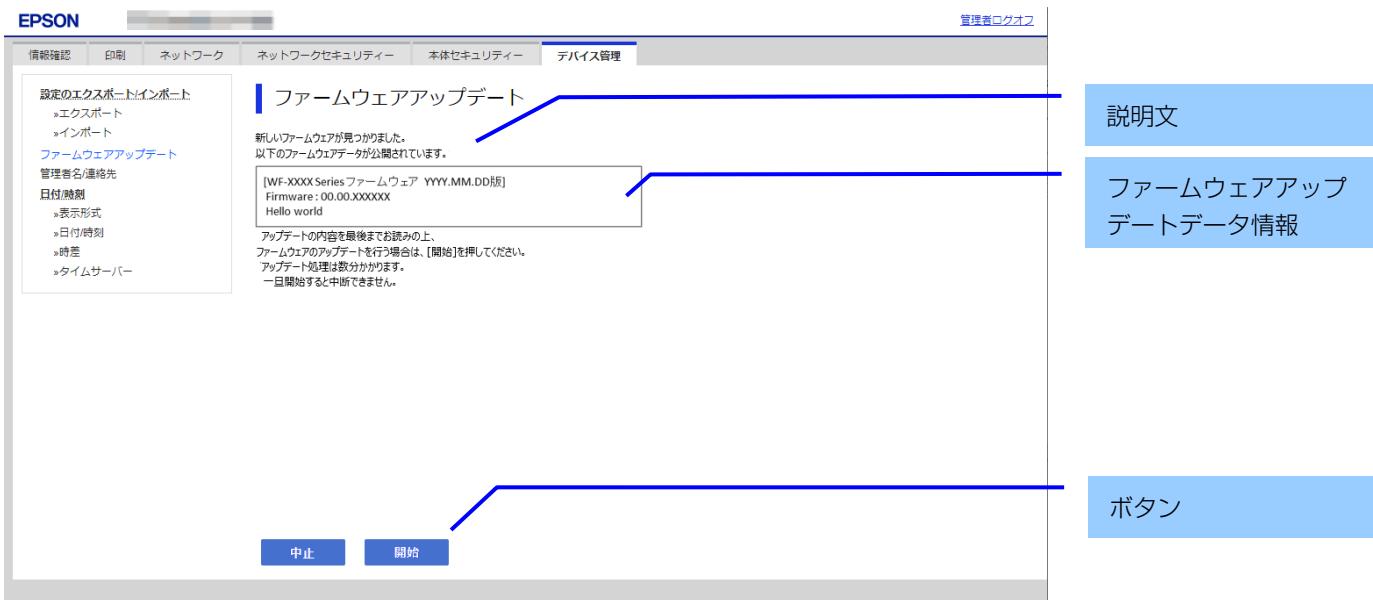


Figure 10-72 アップデート前確認ページ

10.6.2.3.2 説明文

Table 10-192 説明文

項目	説明
"新しいファームウェアが見つかりました。" "以下のファームウェアデータが公開されています。"	固定文字列
"アップデートの内容を最後までお読みの上、¥n ファームウェアのアップデートを行う場合は、[開始]を押してください。" "アップデート処理は数分かかります。 ¥n 一旦開始すると中断できません。"	固定文字列
"ファームウェアをご使用することで、エンドユーザーライセンス契約に合意することになります。米国在住のお客様は集団訴訟放棄・仲裁合意条項を含む重要な契約条件に合意することになります。注意してお読みください: https://support.epson.net/eula/ "	EULA 説明文
"同意する"	チェックボックス。本チェックボックスにチェックを入れると "開始" のボタンが有効になる。(未チェック状態の時は"開始ボタン"はグレーアウト)

10.6.2.3.3 ファームウェアアップデートデータ情報

Table 10-193 ファームウェアアップデートデータ情報

項目	説明
機種名とファームウェアアップデートファイル公開日	10 文字以下の ASCII 文字列。 YYYY.MM.DD
ファームウェアアップデートファイルバージョン	12 文字以下の ASCII 文字列。 XX.YY.ZZZZZZ -XX: Linux Kernel バージョン -YY: Linux Appli バージョン -ZZZZZZ: Main バージョン
ファームウェアアップデートデータ説明文	1024Byte 以下の UTF-8 文字列。

10.6.2.3.4 ボタン

Table 10-194 ボタン

項目	説明
"中止"	ファームウェアアップデートを中止する。
"開始"	ファームウェアアップデートを開始する。

10.6.2.4 キャンセル中ページ

10.6.2.4.1 イメージ図

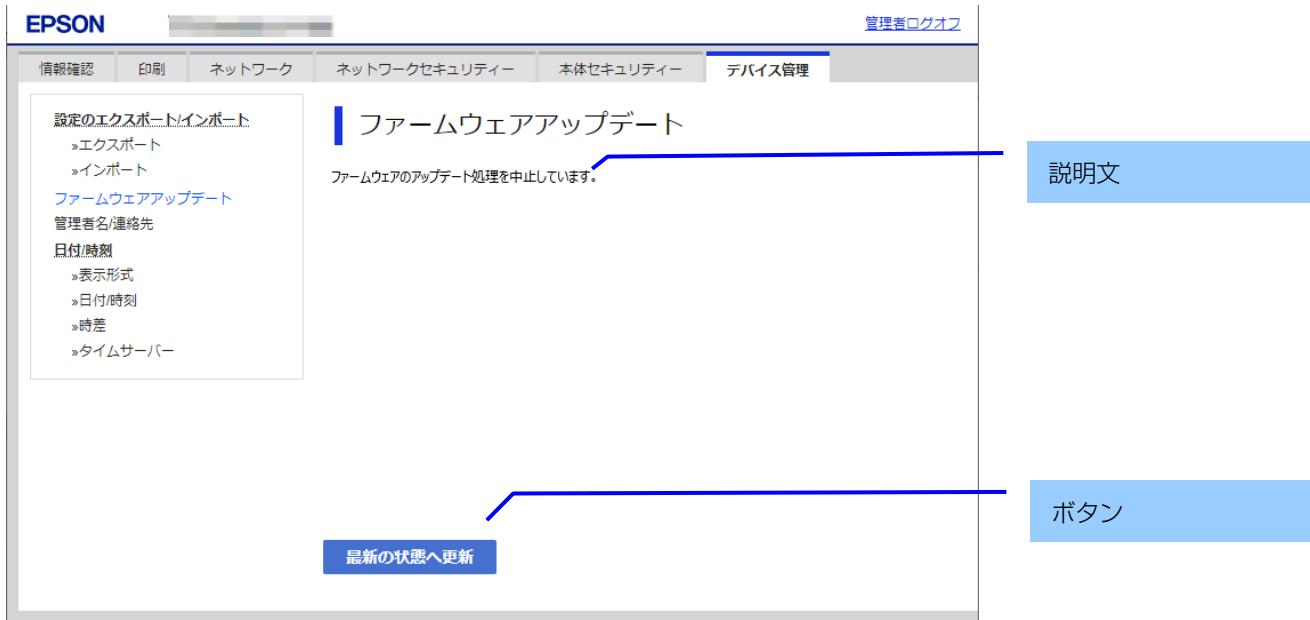


Figure 10-73 キャンセル中ページ

10.6.2.4.2 説明文

Table 10-195 説明文

項目	説明
"ファームウェアのアップデート処理を中止しています。"	固定文字列

10.6.2.4.3 ボタン

Table 10-196 ボタン

表示項目	説明
"最新の状態へ更新"	実行中ページ最下部にボタンを設ける。 押下するとページを最新の状態へ更新する。

10.6.2.5 結果表示ページ

10.6.2.5.1 イメージ図

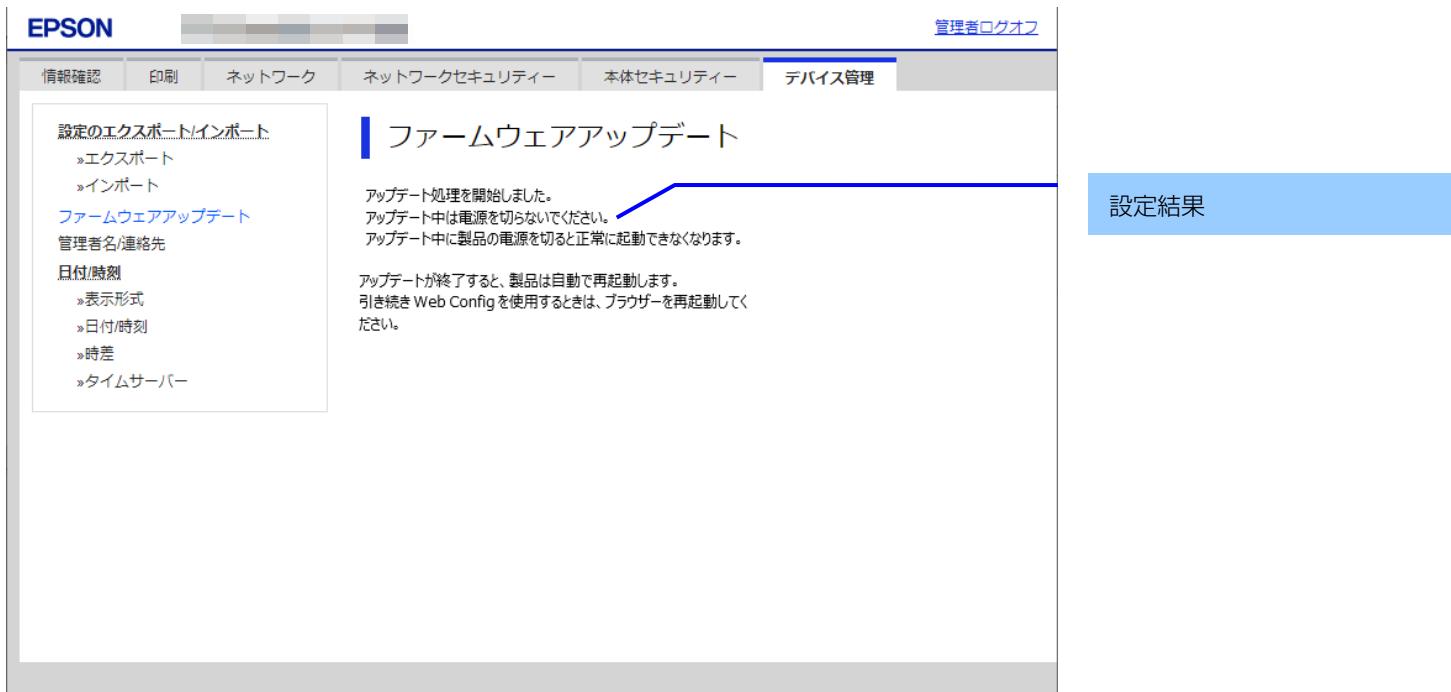


Figure 10-74 結果表示ページ

10.6.2.5.2 設定結果

Table 10-197 設定結果

項目	説明
"アップデート処理を開始しました。" "アップデート中は電源を切らないでください。" "アップデート中に製品の電源を切ると正常に起動できなくなります。"n "アップデートが終了すると、製品は自動で再起動します。"n "引き続き Web Config を使用するときは、ブラウザーを再起動してください。"	正常にアップデート処理を開始した場合に表示する。 "アップデート中は電源を切らないでください。"の先頭に ! マークアイコンを表示する。
"ファームウェアのアップデートを中止しました。"	正常に中止処理が完了した場合に表示する。
"お使いの製品のファームウェアは最新です。"	ファームウェアが最新である場合に表示する。
"エプソンのサーバーに接続できません。"	Epson サーバーに接続不可能な状態の場合に表示する。 文字列の前に × マークアイコンを表示する。
"ファームウェアアップデートを実行できません。" "・ 印刷やスキャンをしているときは終了してください。" "・ ロール紙が挿入されているときは取り外してください。" "・ パネルに警告やエラーが表示されているときはエラーを解除してください。" "※インクパックを含む消耗品等のエラーが発生している可能性もあります。" "外部メモリーを取り出してください。" "上記の対応を行ってから一旦終了し、再度実行してください。"n "それでもエラーが表示されるときは、ブラウザーを再起動してください。"	ファームウェアアップデートが実行できない状態の場合に表示する。 "ファームウェアアップデートを実行できません。"の先頭に × マークアイコンを表示する。 "・ ロール紙が挿入されているときは取り外してください。"はロール紙給紙サポート機種のみ表示する。 "AC アダプターが接続されていないときは接続してください。"はバッテリー機能搭載機種のみ表示する。

"処理を実行できませんでした。" "他のコンピュータから処理が行われている可能性があります。"	他のコンピュータから処理が行われていて処理が実行できなかつた場合に表示。 "処理を実行できませんでした。"の先頭に×マークアイコンを表示する。
"ファームウェアアップデートを実行できません。" "バッテリー残量がありません。充電してください。"	電源非接続状態、かつ、バッテリー残量が少ないため、処理が実行できなかつた場合に表示する。 "ファームウェアアップデートを実行できません。"の先頭に×マークアイコンを表示する。

10.6.3 管理者名/連絡先

管理者連絡先では、連絡先を設定変更できる。

10.6.3.1 トップページ

10.6.3.1.1 イメージ図



Figure 10-75 管理者連絡先設定

10.6.3.1.2 設定項目

以下に連絡先設定の項目について記載する。

Table 10-198 管理者連絡先設定 設定項目

項目	説明
"管理者名/連絡先"	UTF-8 0～255Byte。

10.6.3.1.3 ボタン

管理者パスワード設定項目の入力値を反映するためのボタンを設ける。

Table 10-199 管理者連絡先設定ボタン

項目	説明
"設定"	メインフレームのページ最下部にボタンを設ける。

10.6.3.2 結果表示

設定ボタンが押された後で、入力値に誤りがあればエラーpopupアップウィンドウを表示し、誤りがなければ設定結果を表示するページに遷移する。

10.6.3.2.1 結果表示

Table 10-200 管理者連絡先設定 結果表示

項目	説明
"設定が終了しました。"	正常に設定が終了した場合に表示する。
"設定に失敗しました。"	設定失敗時に表示する。
"以下の入力値が正しくありません。"	テキストボックスへの入力値が異常な場合にエラーpopupアップウィンドウで表示する。異常な入力値の項目名を左記表示の下に表示する。異常な項目が複数ある場合は1行に1項目表示する。
"管理者名/連絡先"	

10.6.4 日付/時刻

日付時刻・タイムサーバー設定では、日付や時刻の設定や、NTP サーバーに関する設定ができる。

本設定のメニューでは、以下のサブメニューをサポートする。

Table 10-201 日付時刻・タイムサーバー設定のサブメニュー

サブメニュー - Sub menu	有効条件
"表示形式"	-
"日付/時刻"	-
"時差"	-
"タイムサーバー"	NTP 対応機種のみ表示する。

10.6.4.1 表示形式

以下に日付時刻の表示形式設定の画面イメージを示す。

10.6.4.1.1 トップページ

10.6.4.1.1.1 イメージ図



Figure 10-76 表示形式設定

10.6.4.1.1.2 設定項目

Table 10-202 表示形式設定 設定項目

項目	説明
"日付表示形式"	以下の 3 種類の表示形式をドロップダウンリストで切り替えを可能にする。 "年.月.日""yyyy.mm.dd"　日付を yyyy.mm.dd 形式の表示に切り替える。 "月.日.年""mm.dd.yyyy"　日付を mm.dd.yyyy 形式の表示に切り替える。 "日.月.年""dd.mm.yyyy"　日付を dd.mm.yyyy 形式の表示に切り替える。
"時刻表示形式"	以下の表示切り替えを可能にする。 "12h" / "24h"

10.6.4.1.1.3 ボタン

表示形式を設定するためのボタンを設ける。

Table 10-203 ボタン

項目	説明
"設定"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。

10.6.4.1.2 結果表示

設定ボタンが押された際、メインフレームのページが切り替わり以下の結果を表示する。

10.6.4.1.2.1 イメージ図



Figure 10-77 結果表示

10.6.4.1.2.2 結果表示

Table 10-204 結果

項目	説明
"設定が終しました。"	設定成功時に表示する。
"設定に失敗しました。"	設定失敗時に表示する。

10.6.4.2 日付時刻

10.6.4.2.1 トップページ

10.6.4.2.1.1 イメージ図



Figure 10-78 日付時刻設定

10.6.4.2.1.2 設定項目

以下に日付時刻設定の項目について記載する。

Table 10-205 設定項目

項目	説明	有効条件
"年"	西暦で年を数値で入力できるテキストボックス。数字4桁(20XX-2099)。XXは発売年度と同じ値が入る。	-
"月"	月を数値で入力できるテキストボックス。(1-12)	-
"日"	日を数値で入力できるテキストボックス。(1-31)	-
"AM/PM"	以下のドロップダウンリストで切り替えを可能にする。 "AM" / "PM"	時刻表示形式が24hに指定されている時のみ
"時"	時間を数値で入力できるテキストボックス。 時刻表示形式が24h設定の場合:(0-23) 時刻表示形式が12h設定の場合:(0-11)	-
"分"	分を数値で入力できるテキストボックス。(0-59)	-
"このコンピューター（または端末など）の日時情報を取得します。"	"取得"ボタンの説明	
"※ ネットワークや端末の状態によっては[設定]を押しても、すぐに設定値が変更されないことがあります。"	固定の注意メッセージ	-

10.6.4.2.1.3 ボタン

日付時刻を設定するためのボタンを設ける。

Table 10-206 ボタン

項目	説明
"取得"	JavaScript でコンピュータからデータを取得するためのボタン。設定項目「分」の下にボタンを設ける。
"設定"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。

設定ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-207 エラー ポップアップ

項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。" "-年" "-月" "-日" "-時" "-分"	入力された"年""月""日""時""分"の値が、入力規則と間違っている場合に表示する。 但し、「日」の入力チェックについて、「年」または「月」の情報が無い場合、「日」が何日まで存在するかわからないので、入力チェックは実施しない。

10.6.4.2.2 結果表示

設定ボタンが押された際、メインフレームのページが切り替わり以下の結果を表示する。

10.6.4.2.2.1 イメージ図



Figure 10-79 結果表示

10.6.4.2.2.2 結果表示

設定結果は以下のように表示する。

Table 10-208 結果表示

項目	説明	有効条件
"設定が終了しました。"	設定成功時に表示する。	-
"設定に失敗しました。"	設定失敗時に表示する。	-
"日付時刻"	現在の日付時刻を設定されている表示形式で表示する。	設定成功時

10.6.4.3 時差

10.6.4.3.1 トップページ

10.6.4.3.1.1 イメージ図

以下に時差設定の画面イメージを示す。

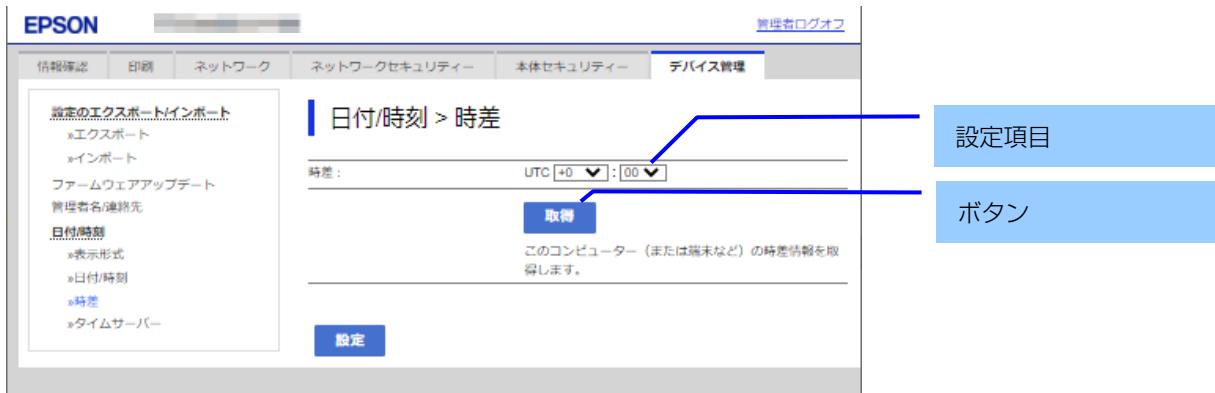


Figure 10-80 時差

10.6.4.3.1.2 設定項目

以下に時差設定の項目について記載する。

Table 10-209 設定項目

項目	説明
"Daylight Saving Time"	サマータイムの指定を以下の仕向けに応じてラジオボタンでの切り替えを可能にする。 <EAI> "Winter" / "Summer" <Euro> "OFF" / "ON" <工販>項目なし
"時差"	(UTC +/-HH:MM)の形式で時分をドロップダウンリストで入力を可能にする。 HH: 「-12」から「+13」を1刻みで選択可能。0は「+0」と「-0」を選択可能。 MM: 「00」、「15」、「30」、「45」を選択可能 [-0:00]を設定した場合は、[+0:00]として表示する。
"このコンピューター（または端末など）の時差情報を取得します。"	"取得"ボタンの説明

10.6.4.3.1.3 ボタン

時差設定を反映するためのボタンを設ける。

Table 10-210 ボタン

項目	説明
"取得"	JavaScript でコンピュータからデータを取得するためのボタン。設定項目「時差」の下にボタンを設ける。
"設定"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。

10.6.4.3.2 結果表示

設定ボタンが押された際、メインフレームのページが切り替わり以下の結果を表示する。

10.6.4.3.2.1 イメージ図

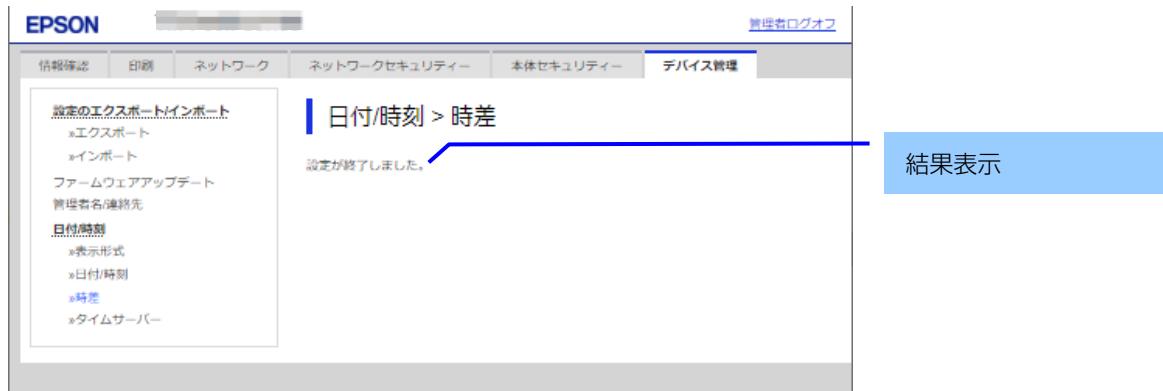


Figure 10-81 結果表示

10.6.4.3.2.2 結果表示

Table 10-211 結果表示

項目	説明
"設定が終了しました。"	設定成功時に表示する。
"設定に失敗しました。"	設定失敗時に表示する。

10.6.4.4 タイムサーバー

10.6.4.4.1 Node.js 非対応機種

10.6.4.4.1.1 トップページ

10.6.4.4.1.1.1 イメージ図

以下にタイムサーバー設定の画面イメージを示す。

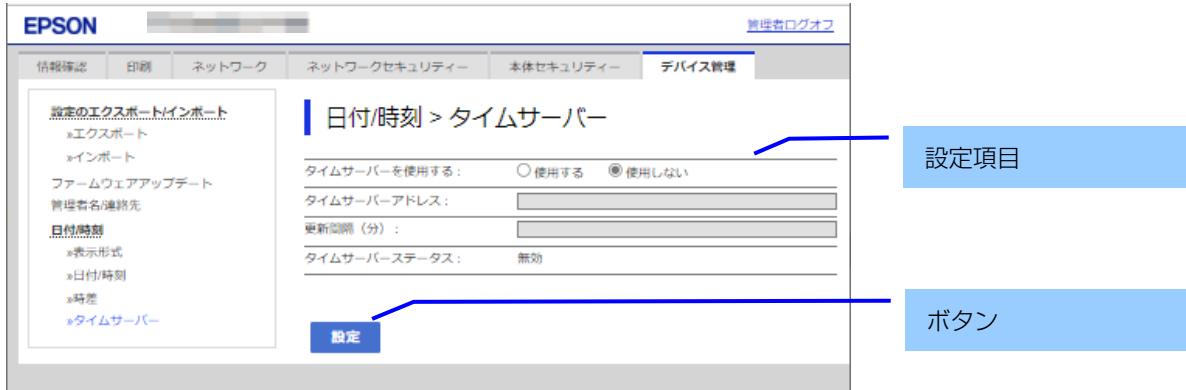


Figure 10-82 タイムサーバー設定

10.6.4.4.1.1.2 設定項目

以下にタイムサーバー設定の項目について記載する。

Table 10-212 タイムサーバー設定 設定項目

項目	説明	有効条件
"タイムサーバーを使用する"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "使用する" / "使用しない"	-
タイムサーバーアドレス	サーバーのアドレスが設定できるテキストボックスを設ける。最大入力可能文字数は 252 文字 IP アドレス(IPv4/IPv6)、及び FQDN で指定可能	"タイムサーバーを使用する"が"使用する"の時、有効
"更新間隔(分)"	時刻更新の間隔が設定できるテキストボックスを設ける。最大入力可能文字数は 5 文字。(1-10080) 分単位	"タイムサーバーを使用する"が"使用する"の時、有効
"タイムサーバーステータス"	タイムサーバーとの接続状態を以下の文字列で示す。 "同期成功" / "同期中" / "同期失敗" / "無効"	"タイムサーバーを使用する"が"使用する"の時、有効

10.6.4.4.1.1.3 ボタン

タイムサーバー設定を反映するためのボタンを設ける。

Table 10-213 ボタン

項目	説明
"設定"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。 ボタンが押されると実行中ページに遷移する。

設定ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-214 エラー ポップアップ

表示項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。" "-タイムサーバーアドレス" "-更新間隔 (分) "	タイムサーバーアドレスと更新間隔の値が、入力規則と間違っている場合に表示する。

10.6.4.4.1.2 実行中ページ

設定ボタンを押した際、以下のページを表示する。タイムサーバーへ接続するため、その間、更新ボタンの押下、あるいは定期的にページを更新し、接続の完了もしくは失敗の判定が付くまで本ページを表示する。判定が付くと結果表示ページに遷移する。

10.6.4.4.1.2.1 イメージ図

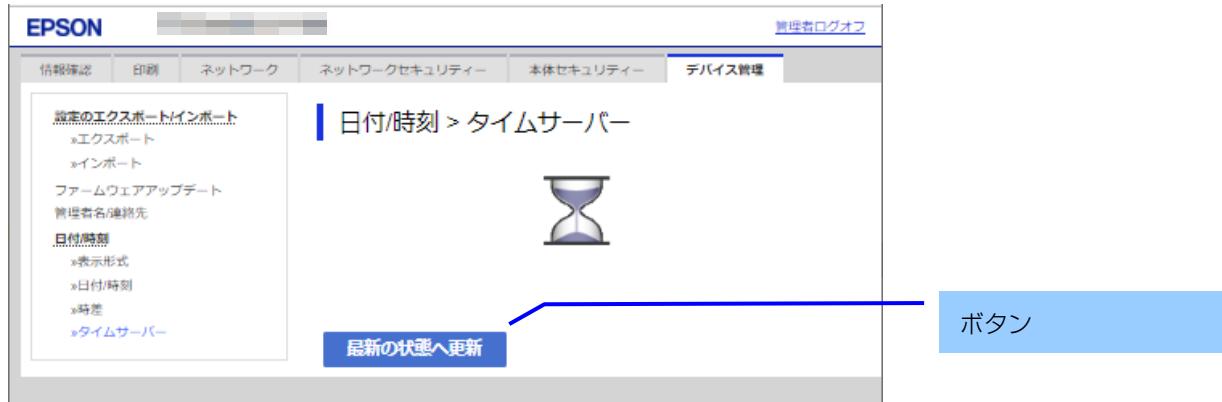


Figure 10-83 実行中ページ

10.6.4.4.1.2.2 ボタン

Table 10-215 ボタン

表示項目	説明
"最新の状態へ更新"	実行中ページ最下部にボタンを設ける。

10.6.4.4.1.3 結果表示

実行中ページからサーバーへの接続が実施され、その結果が判明すると、メインフレームのページが切り替わり以下の結果を表示する。

10.6.4.4.1.3.1 イメージ図

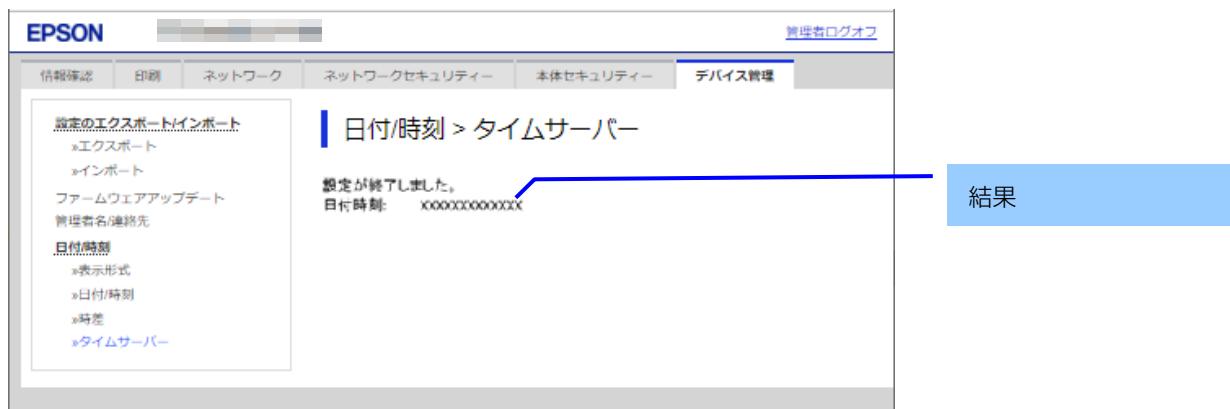


Figure 10-84 結果表示

10.6.4.4.1.3.2 設定結果

設定結果は以下のように表示する。

Table 10-216 結果

項目	説明	有効条件
"設定が終了しました。"	設定成功時に表示する。	-
"接続に失敗しました。"	接続失敗時に表示する。	-
"設定を確認してください。"		
"接続を無効にしました。"	タイムサーバーの使用を無効にした場合に表示する。	-
"製品は処理動作中のためアクセスできません。"	プリンターやスキャナなどの製品がビジーによる設定失敗時に表示する。	-
"日付時刻"	現在の日付時刻を設定されている表示形式で表示する。	設定成功時

10.6.4.4.2 Node.js 対応機種

10.6.4.4.2.1 トップページ

10.6.4.4.2.1.1 イメージ図

以下にタイムサーバー設定の画面イメージを示す。

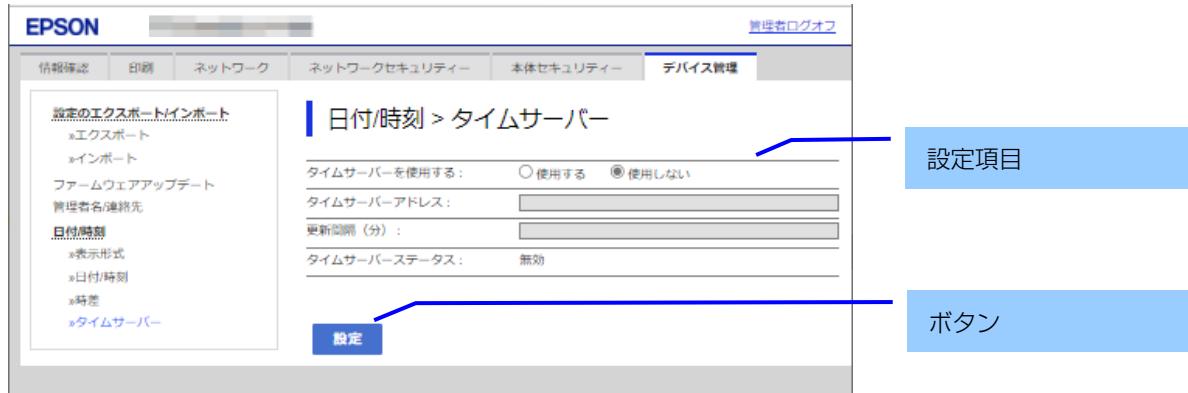


Figure 10-85 タイムサーバー設定

10.6.4.4.2.1.2 設定項目

以下にタイムサーバー設定の項目について記載する。

Table 10-217 タイムサーバー設定 設定項目

項目	説明	有効条件
"タイムサーバーを使用する"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "使用する" / "使用しない"	-
タイムサーバーアドレス	サーバーのアドレスが設定できるテキストボックスを設ける。最大入力可能文字数は 252 文字 IP アドレス(IPv4/IPv6)、及び FQDN で指定可能	"タイムサーバーを使用する"が"使用する"の時、有効
"更新間隔(分)"	時刻更新の間隔が設定できるテキストボックスを設ける。最大入力可能文字数は 5 文字。(1-10080) 分単位	"タイムサーバーを使用する"が"使用する"の時、有効
"タイムサーバーステータス"	タイムサーバーとの接続状態を以下の文字列で示す。 "同期成功" / "同期中" / "同期失敗" / "無効"	"タイムサーバーを使用する"が"使用する"の時、有効

10.6.4.4.2.1.3 ボタン

タイムサーバー設定を反映するためのボタンを設ける。

Table 10-218 ボタン

項目	説明
"設定"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。 ボタンを押下することで結果表示のページへ遷移する。

設定ボタンが押された際に、入力値に誤りがあればエラーとしてポップアップウィンドウを出す。

Table 10-219 エラー ポップアップ

表示項目	説明
"以下の入力値が正しくありません。" "-タイムサーバーアドレス" "-更新間隔 (分)"	タイムサーバーアドレスと更新間隔の値が、入力規則と間違っている場合に表示する。

10.6.4.4.2.1 結果表示

10.6.4.4.2.1.1 イメージ図

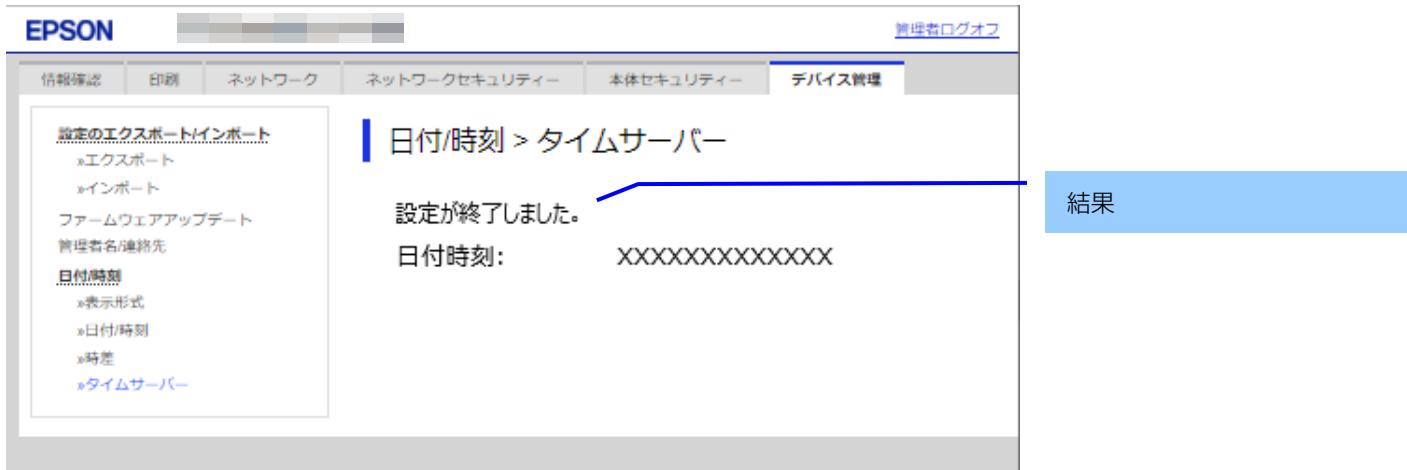


Figure 10-86 結果表示

10.6.4.4.2.1.2 設定結果

設定結果は以下のように表示する。

Table 10-220 結果

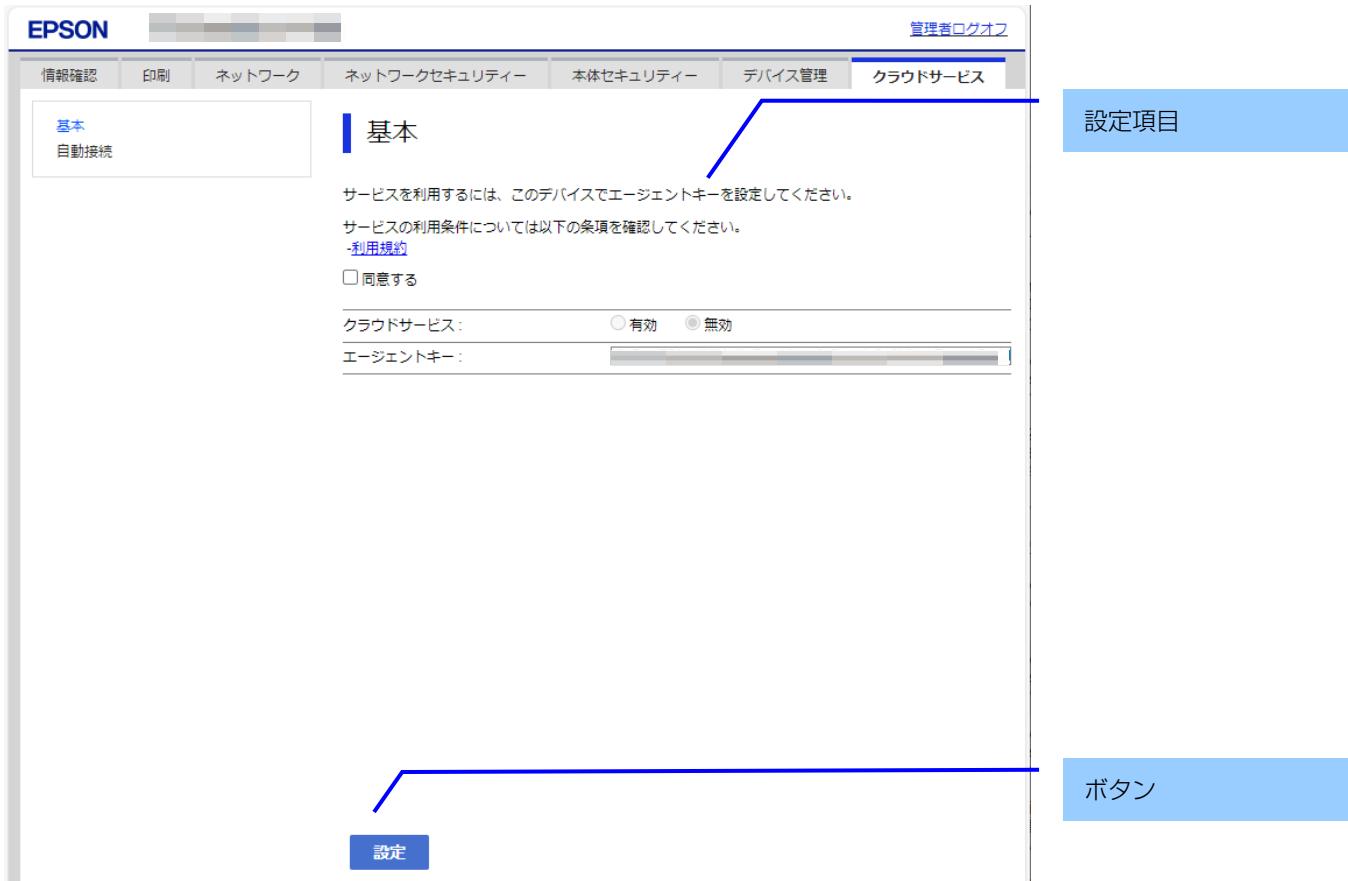
項目	説明	有効条件
"設定が終了しました。"	設定成功時に表示する。	-
"設定に失敗しました。"	設定失敗時に表示する。	CSRF でトークンが不一致の場合に表示される
"製品は処理動作中のためアクセスできません。"	プリンターやスキャナなどの製品がビジーによる設定失敗時に表示する。	-

10.7 クラウドサービス

10.7.1 基本

10.7.1.1 トップページ

10.7.1.1.1 イメージ図



10.7.1.1.2 設定項目

Table 10-221 設定項目

項目	説明	有効条件
"サービスの利用条件については以下の条項を確認してください。"	固定文字列	-
"クラウドサービス"	クラウドサービスに接続可能か表示する。 "有効" / "無効"	-
"利用規約"	文字列中の"利用規約"はリンクになっており、クリックすると別窓で https://pos-cloud-link.epson.com/documents/license.html	-
"同意する"	チェックボックス。本チェックボックスにチェックを入れると"有効"のボタンが有効になる。（未チェック状態の時は"有効ボタン"はグレーアウト）	-

10.7.1.1.3 ボタン

基本設定を反映するためのボタンを設ける。

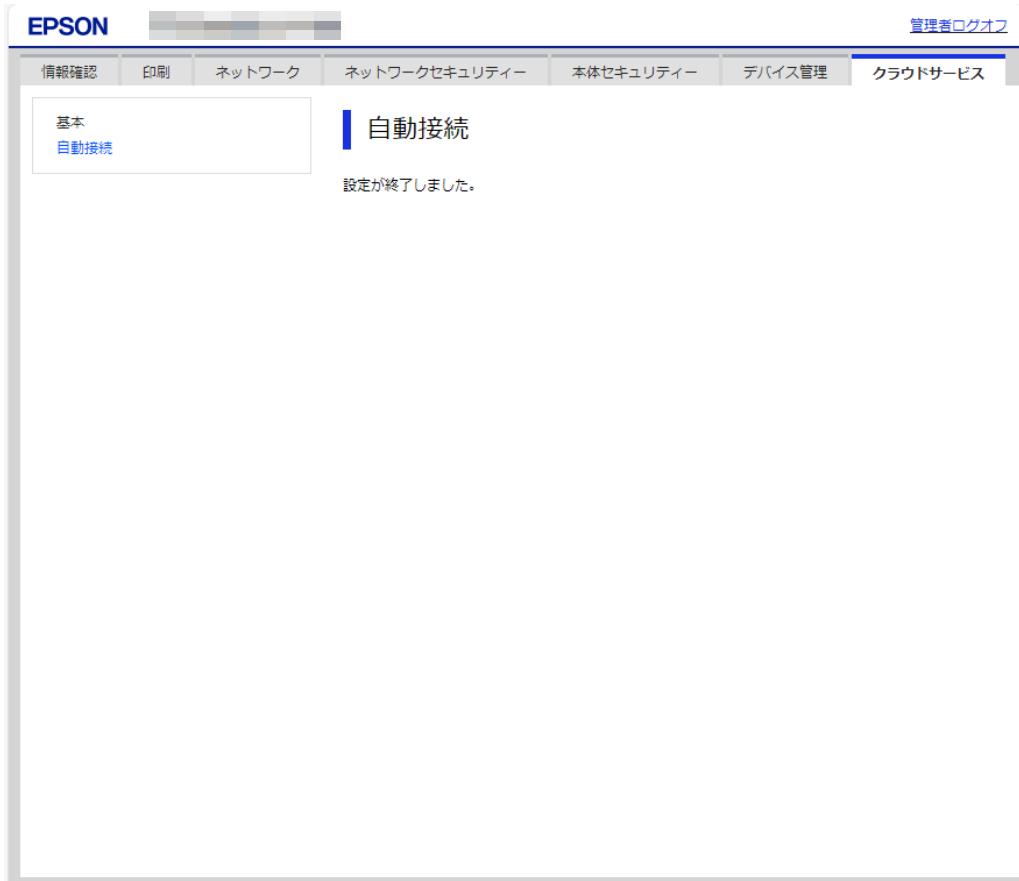
Table 10-222 ボタン

項目	説明
"設定"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。

10.7.1.2 結果表示

設定ボタンが押された際、メインフレームのページが切り替わり以下の結果を表示する。

10.7.1.2.1 イメージ図



10.7.1.2.2 結果表示

Table 10-223 基本設定 結果表示

項目	説明
"設定が終了しました。"	正常に設定が終了した場合に表示する。
"設定に失敗しました。"	設定失敗時に表示する。

10.7.2 自動接続

10.7.2.1 トップページ

10.7.2.1.1 イメージ図



10.7.2.1.2 設定項目

Table 10-224 設定項目

項目	説明	有効条件
"自動接続"	以下の2つを選択するラジオボタンを設ける。 "有効" / "無効" 初期値は"有効" "無効"を選択した場合は、クラウドサービス自動接続が無効となる。	-

10.7.2.1.3 ボタン

基本設定を反映するためのボタンを設ける。

Table 10-225 ボタン

項目	説明
"設定"	設定を開始するためのボタン。ページ最下部左側にボタンを設ける。

10.7.2.2 結果表示

設定ボタンが押された際、メインフレームのページが切り替わり以下の結果を表示する。

10.7.2.2.1 イメージ図



10.7.2.2.2 結果表示

Table 10-226 結果表示

項目	説明
"設定が終了しました。"	設定成功時に表示する。
"設定に失敗しました。"	設定失敗時に表示する。

11. TM-i 設定

11.1 基本情報

TM-i の基本情報を表示する。

11.1.1 イメージ図

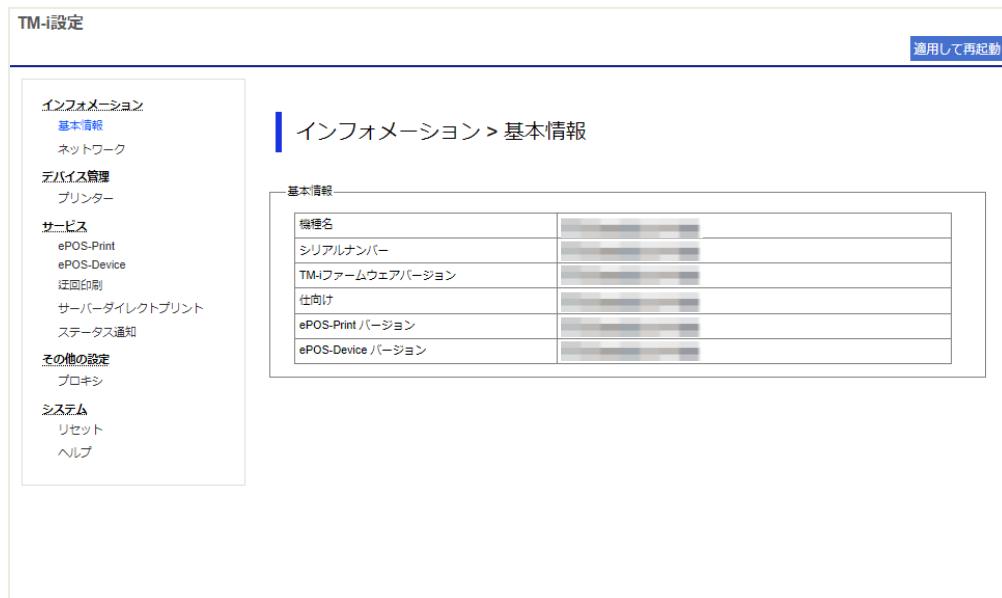


Figure 11-1 基本情報

11.1.2 表示項目

Table 11-1 基本情報 設定項目

項目	説明
機種名	機種名を表示する。
シリアルナンバー	シリアル番号を表示する。
TM-i フームウェアバージョン	TM-i のバージョン情報を表示する。
仕向け	仕向け先を表示する。
ePOS-Print バージョン	ePOS-Print のバージョンを表示する。
ePOS-Device バージョン	ePOS-Device のバージョンを表示する。

11.2 プリンター

11.2.1 イメージ図



Figure 11-2 プリンター

11.2.2 表示項目

Table 11-2 プリンター設定項目

項目	説明
プリンタリスト	登録されているプリンターを表示する。 最下段には追加するための表示枠を表示する。
ネットワークプリンター	同じネットワークに接続されているプリンターを検索した結果を表示する。
削除/新規	すでに登録されているものには「Del」ボタン、追加するものには「New」ボタンを表示する。
追加	ネットワークプリンターを追加するための「Add」ボタンを表示する。
検索	同じネットワークに接続されているプリンターを検索するボタンを表示する。
デバイス ID	登録しているデバイス ID を表示する。 ・ 使用可能文字 "A"～"Z", "a"～"z", "0"～"9", "-", ".", "_" (半角スペースは不可) ・ 文字数 1～30 文字
機種名	機種名または機種シリーズを表示する。
IP アドレス	プリンターの IP アドレスを表示する。 IP アドレスとして不成立の場合は「Invalid IP address」を表示する。

11.3 ePOS-Print

11.3.1 イメージ図



Figure 11-3 ePOS-Print

11.3.2 表示項目

Table 11-3 ePOS-Print 設定項目

項目	説明
ePOS-Print	ePOS-Print の有効無効の設定を表示する。
備考	備考を表示する。

11.4 ePOS-Device

11.4.1 イメージ図



Figure 11-4 ePOS-Device

11.4.2 表示項目

Table 11-4 ePOS-Device 設定項目

項目	説明
ePOS-Device	ePOS-Device の有効無効の設定を表示する。
備考	備考を表示する。

11.5 遠回印刷

11.5.1 イメージ図



Figure 11-5 遠回印刷

11.5.2 表示項目

Table 11-5 遠回印刷 設定項目

項目	説明
Print Forwarding	遠回印刷、スプーラーの設定を表示する。
リトライ回数	印刷できなかった時にリトライする回数の設定を表示する。
リトライ間隔(秒)	印刷できなかった時にリトライする間隔を秒単位で表示する。
遠回メッセージ	遠回印刷した時に遠回したことを印字の有無を表示する。
アラートメッセージ	遠回印刷した時に印字する内容を表示する。 長さが長すぎる場合は「Too long」を表示する。
メッセージ書式	遠回印刷したときに印字する文字装飾を表示する。 選択肢は以下とする。 太文字、アンダーライン、横倍角、縦倍角、白黒反転、倒立文字
位置	遠回印刷したときに印字する印字位置を表示する。 選択肢は以下とする。 上部、下部
カット	遠回印刷したときに印字した後、カットの有無を表示する。
遠回先登録	遠回印刷先の設定を表示する。
印刷先プリンター	最初に印刷するプリンターのデバイス ID。
遠回先プリンター1	印刷先プリンターで印字不可の時に、遠回印刷するプリンターのデバイス ID。
遠回先プリンター2	遠回先プリンター1も印字不可の時に、遠回印刷するプリンターのデバイス ID。

11.5.3 エラーメッセージ

IP アドレスとして不成立のまま New ボタンを押すと、「Invalid IP address」の警告メッセージを表示する。

IP アドレス未記入のまま New ボタンを押すと「IP Address is missing.」の警告メッセージを表示する。

11.6 サーバーダイレクトプリント

11.6.1 イメージ図

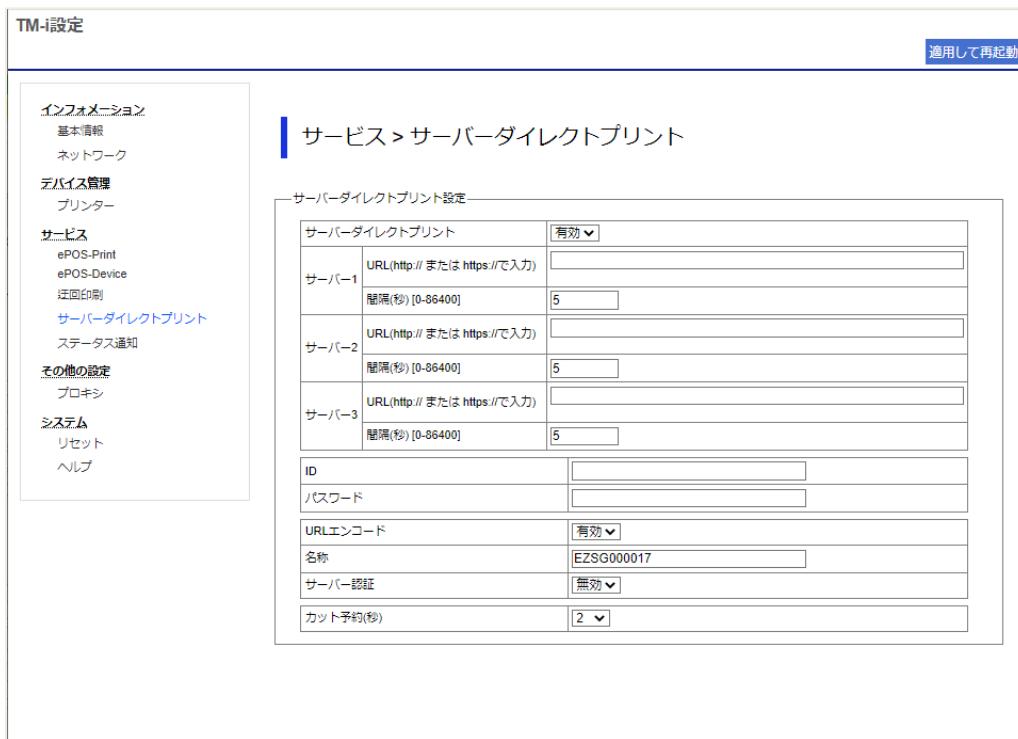


Figure 11-6 サーバーダイレクトプリント

11.6.2 表示項目

Table 11-6 サーバーダイレクトプリント 設定項目

項目	説明
サーバーダイレクトプリント	サーバーダイレクトの設定を表示する。
サーバー1	1つ目のサーバーを表示する。
サーバー2	2つ目のサーバーを表示する。
サーバー3	3つ目のサーバーを表示する。
URL(http://またはhttps://で入力)	アクセスするサーバーの URL を表示する。
間隔(秒)	アクセスする間隔を秒単位で表示する。
ID	サーバー認証に使用する ID を表示する。
パスワード	サーバー認証に使用するパスワードを表示する。
URL エンコード	URL エンコードを有効にする。
名称	プリンターを識別するための名称を表示する。
サーバー認証	サーバー認証の設定を表示する。
カット予約(秒)	カット予約の時間を表示する。

11.7 ステータス通知

11.7.1 イメージ図



Figure 11-7 ステータス通知

11.7.2 表示項目

Table 11-7 ステータス通知 設定項目

項目	説明
ステータス通知	ステータス通知の設定を表示する。
URL(http://または https://で入力)	アクセスするサーバーの URL を表示する。
間隔(秒)	アクセスする間隔を秒単位で表示する。
ID	サーバー認証に使用する ID を表示する。
パスワード	サーバー認証に使用するパスワードを表示する。
URL エンコード	URL エンコードを有効にする。
名称	プリンターを識別するための名称を表示する。
サーバー認証	サーバー認証の設定を表示する。

11.8 プロキシ

11.8.1 イメージ図



Figure 11-8 プロキシ

11.8.2 表示項目

Table 11-8 プロキシ 設定項目

項目	説明
プロキシ	プロキシーの設定を表示する。
URL(http://または https://で入力)	プロキシサーバーの URL を表示する。
ポート	プロキシサーバーのポートを表示する。
ID	プロキシー認証に使用する ID を表示する。
パスワード	プロキシー認証に使用するパスワードを表示する。
Services	設定を有効化するサービスを設定する。

11.9 リセット

11.9.1 イメージ図

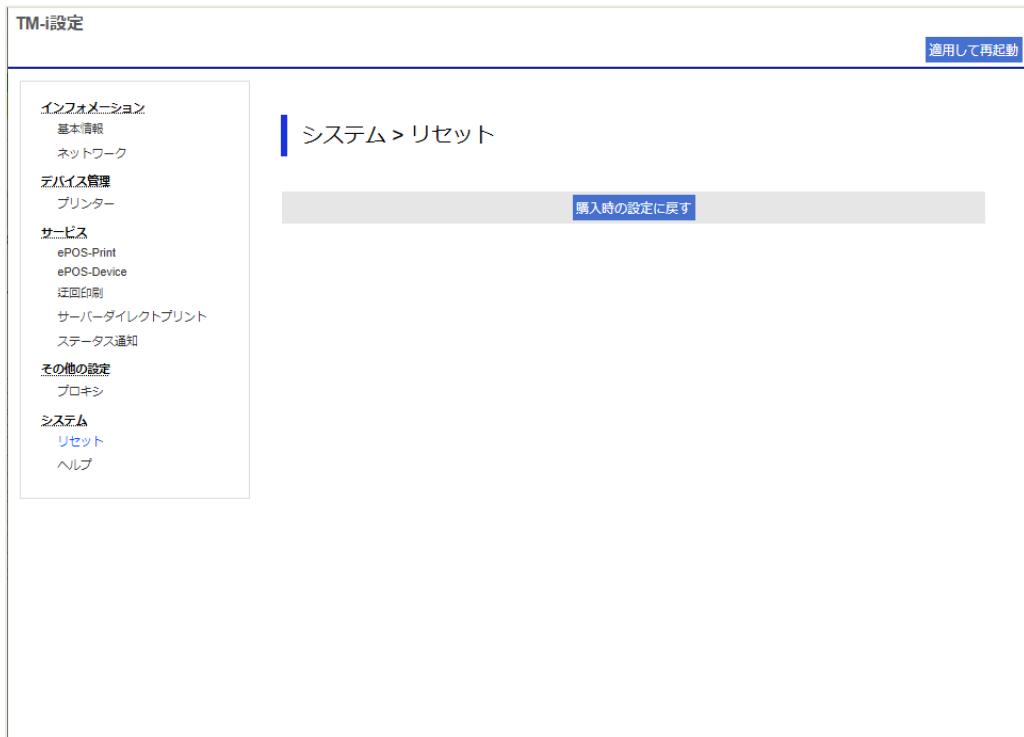


Figure 11-9 リセット

11.9.2 表示項目

Table 11-9 リセット 設定項目

項目	説明
購入時の設定に戻す	工場出荷設定値に戻すボタン。

11.10 ヘルプ

11.10.1 イメージ図



Figure 11-10 ヘルプ

11.10.2 表示項目

Table 11-10 ヘルプ 表示項目

項目	説明
入力制限	入力制限についての説明。
URL フィールド	URL の入力制限の説明を表示する。 「[http(s)://]で始まり、2043 文字以内」
ID フィールド	ID の入力制限の説明を表示する。 「[A-Z, a-z, 0-9, アンダースコア, ピリオド, ハイフン]のみ許可、30 文字以内」
パスワードフィールド	パスワードの入力制限の説明を表示する。 「[A-Z, a-z, 0-9, アンダースコア, ピリオド, ハイフン]のみ許可、30 文字以内」
名前フィールド	名前の入力制限の説明を表示する。 「[A-Z, a-z, 0-9, アンダースコア, ピリオド, ハイフン]のみ許可、30 文字以内」
デバイス ID フィールド	デバイス ID の入力制限の説明を表示する。 「[A-Z, a-z, 0-9, アンダースコア, ピリオド, ハイフン]のみ許可、30 文字以内」
間隔(秒)フィールド	間隔の入力制限の説明を表示する。 「[0-9]のみ許可」

12. 機種別機能一覧表

機能	機種	TM-P20II, TM-P80II	TM-m30III, TM-m30III-H	TM-m55, TM-m55-H
	表示			
情報確認	常に表示	○	○	○
製品情報	常に表示	○	○	○
ネットワーク情報	常に表示	○	○	○
ローミング設定	機能搭載,有効	○	-	-
TM-Intelligent	常に表示	○	○	○
印刷	常に表示	○	○	○
ネットワーク	常に表示	○	○	○
ネットワーク基本	常に表示	○	○	○
無線 LAN	機能搭載,有効	○	○	○
有線 LAN	常に表示	○	○	○
Wi-Fi Direct	機能搭載,有効	○	○	○
ネットワークセキュリティー	常に表示	○	○	○
プロトコル	常に表示	○	○	○
相手サーバー検証用 CA 証明書	常に表示	○	○	○
ルート証明書更新	常に表示	○	○	○
SSL/TLS	常に表示	○	○	○
証明書自動更新	常に表示	-	○	○
IPsec/IP フィルタリング	常に表示	○	○	○
IEEE802.1X	常に表示	○	○	○
本体セキュリティー	常に表示	○	○	○
パスワード暗号化	常に表示	○	○	○
管理者パスワード変更	常に表示	○	○	○
デバイス管理	常に表示	○	○	○
設定のエクスポート/インポート	常に表示	○	○	○
ファームウェアアップデート	常に表示	○	○	○
管理者名/連絡先	常に表示	○	○	○
日付/時刻	常に表示	○	○	○
クラウドサービス	常に表示	-	○	-
TM-Intelligent	常に表示	-	○	○